

# **歯科衛生士の勤務実態調査**

## **報告書**

平成 27 年 3 月

公益社団法人 日本歯科衛生士会

## 第8回 歯科衛生士勤務実態調査報告書

### はじめに

日本歯科衛生士会では、平成26年10月1日付で全会員を対象に調査票を郵送し、10月～11月にかけて「第8回歯科衛生士勤務実態調査」を実施した。本調査は、昭和56(1981)年から5年毎に実施している。調査内容は、就業状況、業務の実施状況や意識等の多岐にわたっており、歯科衛生士の勤務実態を把握するうえで貴重な資料となっている。そのため、調査を行うに当たり、近年の歯科衛生士を取り巻く環境の変化等を踏まえ、就業状況や働き方の変化、労働条件・福利厚生等の職場環境及び就業場所別の業務の実施状況等、その実態について具体的に把握できるよう、調査項目の検討を行った。

今回調査の回収率は54.5%であり、前回調査(平成21年)に比べ20%ほど高い結果となった。調査項目が多岐にわたり、回答しにくい設問もあったと思うが、会員の2人に1人が回答したことの意味は大きいものと考える。

回答者の年齢構成では40歳代、50歳代以上がそれぞれ3割以上を占め、雇用形態では非常勤者の割合が4割以上になるなど、過去の調査結果に比べ大きく変化している。歯科衛生士の働き方のひとつとして、20歳代後半～30歳までに結婚・出産・育児等の理由で一旦離職し、35歳～40歳以降で復職する傾向があり、同時に、家庭と仕事を両立させながら働くことを望み、その結果として、非常勤者の割合が高くなっていることが推測される。これらの状況は、総務省の労働力調査にみる女性の年齢別労働力の推移や非正規雇用労働者の増加と重なり、同様の傾向であることが認められる。また、未就業の歯科衛生士が復職する際の条件として、勤務時間の選択や短時間労働があげられていることから、常勤・非常勤の雇用形態にこだわらず、生活環境に応じた働き方を選択しており、併せて、被扶養者の立場を維持できる程度の収入でよいと判断している様子がうかがえる。これらのことと反映し、“仕事のやりがい”や“給与の満足度”等においては、常勤者に比べ非常勤の方がやや高い割合を示している。しかし、非常勤者の増加は非正規雇用の拡大につながるという懸念もある。基本的には、歯科衛生士の就業環境を整備し、離職を防止することが大切であり、常勤・非常勤の別なく、就業規則の整備や労働条件の改善を図るなどの対策が求められる。また、今回の調査結果では20歳代、30歳代の回答者が少なく、若年者の実態や意向が顕著でないことが懸念され、今後の課題でもある。

歯科衛生士の業務内容は就業場所によって異なるが、従来の業務に対して新たな業務が加わり、業務量の増加とともに多様化の傾向が認められる。また、行政をはじめ、病院、障害者歯科、介護保険施設等においては多職種連携による業務が増加しており、業務の実践とともに、企画・調整・評価等の役割と技能が求められている。これらの役割は経験を積んだ常勤者が担うことが多く、非常勤者の増加にともない、常勤者、非常勤者の業務の実施状況にやや変化が認められる。この傾向は、行政勤務者において顕著であるが、今後、

働き方の選択や多様化の進展にともない、他の就業場所にも同様な状況が生じるものと推測され、人材確保において考慮しなければならない条件の一つとなることが考えられる。

また、近年の特徴として、在宅歯科医療に係る業務の増加が認められ、診療所等における実施状況は訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導含む）が33%、「歯科訪問診療の補助」が39%と前回調査に比べ12%～15%ほど増加しており、回答者の3人に1人以上の割合で実施している。今後、ニーズの拡大にともない更に増加するものと思われ、この領域での非常勤者の増加も想定しておかなければならない。また、今回の調査項目にある「医科歯科連携のチーム医療」に係る業務は前回なかった項目であり、以前の状況は把握していないが、今回の調査結果では、病院・大学病院等の歯科衛生士の2人に1人がチーム医療に参加し、口腔ケアをはじめとする複数のチーム医療に従事していることが認められた。これらの状況は、医療提供体制の改革及び医療保険・介護保険改定等の方向性にともなう変化であり、今後も加速することが考えられるため、この領域の人材確保・育成も喫緊の課題である。

昨今では、仕事にやりがいを感じている歯科衛生士の存在を実感することが多くなったが、本調査の回答者においても“仕事にやりがいを感じている”、“ある程度感じている”的合計が80%台を示し、また、“今後も歯科衛生士として働き続けたい”と回答した者が全ての就業場所において90%以上認められ、就業意欲の高まりが感じられる。一方、回答者の13.6%が未就業であり、内50%近くが“条件が整えば再就職したい”と答え、特に25歳～34歳の約80%が再就職を希望している。これらのこととは、歯科衛生士の就業意欲と受け皿となる就業環境との乖離を示しており、適切な需給関係を構築するための施策や条件整備の必要性が示唆された。

調査結果の総括及び詳細は本文記載のとおりであるが、本報告書が今後の問題解決の一助となり、質の高い歯科衛生士の人材確保・育成に寄与するために活用されることを期待してやまない。また、本報告書とともに都道府県別集計表（報告書別冊）を作成したので、都道府県歯科衛生士会や関係方面において活用していただければ幸いである。

最後に、本調査にご協力いただいた会員の方々、また、調査方法や調査結果のまとめ、及び報告書の作成にご指導賜りました石井拓男先生、佐藤 勉先生、福島正義先生に深く感謝申し上げますとともに、集計・分析にご協力いただきました（株）山手情報処理センターの皆様に厚くお礼申し上げます。

平成27年3月

公益社団法人日本歯科衛生士会

会長 金澤紀子

## ----- 目 次 -----

### 第1章 調査の概要

I . 調査の目的	1
II . 調査方法	1
III . 調査内容	1
IV . 調査対象者	1
V . 調査実施日	1
VI . 調査回収数	1
VII . 倫理的配慮	1
VIII . 調査主体	1
IX . 指導・監修	2
X . 入力・集計・分析	2

### 第2章 調査結果の概要・総括

I . 調査結果の総括	3
-------------	---

### 第3章 調査結果の詳細

I . 回答者の属性	7
II . 就業状況	10
III . 労働条件・福利厚生・給与	14
IV . 職場環境・職務	40
V . 研究活動	50
VI . 現在の勤務先と就業の意向	56
VII . 歯科医療施設（歯科診療所・病院・大学病院等）	59
VIII . 行政（保健所・市町村等）	100
IX . 歯科衛生士教育養成機関	127
X . 介護保険施設等	141
XI . 非就業者	150

### 第4章 資料

平成26年度歯科衛生士の勤務実態調査票	159
---------------------	-----

# 第1章 調査の概要

## I. 調査の目的

本調査は、昭和 56（1981）年より 5 年毎に行い 8 回目を迎えたが、今回は近年における歯科衛生士を取り巻く環境の変化を踏まえ、歯科衛生士の就業状況、労働条件、勤務先別の業務の実施状況、研修や研究活動等の実態等を調べ、歯科衛生士のさまざまな問題解決のための基礎資料として活用することを目的に実施した。

## II. 調査方法

往信復信の郵送調査とした。

## III. 調査内容

巻末の調査票参照

## IV. 調査対象者

全国の日本歯科衛生士会の会員 16,113 人（平成 26 年 9 月 30 日現在）全員（悉皆）とした。

## V. 調査実施日

平成 26 年 10 月 1 日～10 月 31 日締め切り  
(回収数を上げるため実際は 11 月 30 日を締め切りとした)

## VI. 調査回収数

発送数：16,113 人

回収数：8,780 人

回収率：54.5%

※都道府県別回収数の詳細は表 1 参照

## VII. 倫理的配慮

本アンケートは無記名とし、個人が特定できないよう配慮した。記載はあくまでも参加者の意志決定を尊重し、厳封した返信による回答をもって承諾を得たとした。

## VIII. 調査主体

公益社団法人日本歯科衛生士会

調査担当者

金澤 紀子（会長）

武井 典子（副会長）

高橋 千鶴（常務理事）

染谷眞喜子（理事）

田野 ルミ（理事）

## IX. 指導・監修

石井 拓男 東京歯科大学副学長、社会歯科学研究室  
 佐藤 勉 日本歯科大学東京短期大学教授  
 福島 正義 新潟大学大学院医歯学総合研究科教授

## X. 入力・集計・分析

(株) 山手情報処理センター

表 1 都道府県別回収数（率）

都道府県名	発送数	回収数	回収率	都道府県名	発送数	回収数	回収率
北海道	624	377	60.4%	京都府	350	195	55.7%
青森県	103	64	62.1%	大阪府	1,084	490	45.2%
岩手県	259	162	62.5%	兵庫県	1,038	514	49.5%
宮城県	263	156	59.3%	奈良県	164	91	55.5%
秋田県	92	53	57.6%	和歌山県	134	84	62.7%
山形県	149	83	55.7%	鳥取県	110	75	68.2%
福島県	277	158	57.0%	島根県	224	135	60.3%
茨城県	324	162	50.0%	岡山県	349	161	46.1%
栃木県	146	95	65.1%	広島県	452	234	51.8%
群馬県	363	230	63.4%	山口県	228	91	39.9%
埼玉県	443	262	59.1%	徳島県	165	97	58.8%
千葉県	489	258	52.8%	香川県	304	146	48.0%
東京都	1,005	545	54.2%	愛媛県	205	97	47.3%
神奈川県	515	298	57.9%	高知県	134	77	57.5%
新潟県	531	294	55.4%	福岡県	576	281	48.8%
富山県	118	53	44.9%	佐賀県	130	91	70.0%
石川県	135	66	48.9%	長崎県	230	104	45.2%
福井県	83	51	61.4%	熊本県	541	206	38.1%
山梨県	177	77	43.5%	大分県	226	134	59.3%
長野県	518	263	50.8%	宮崎県	73	46	63.0%
岐阜県	385	223	57.9%	鹿児島県	191	110	57.6%
静岡県	468	261	55.8%	沖縄県	204	100	49.0%
愛知県	1,044	559	53.5%	不明	—	148	0.9%
三重県	300	210	70.0%	合 計	16,113	8,780	54.5%
滋賀県	190	113	59.5%				

## **第2章 調査結果の総括**

## 平成 26 年度 第 8 回 歯科衛生士の勤務実態調査から一総括一

平成 21 年に前回の調査が行われ、5 年後の平成 26 年に本調査が実施された。この間、政府においては政権交代が 2 回あり、東日本大震災が発生し、国の大規模な流れが変わるという激動の 5 年間であった。歯科衛生士においても、歯科衛生士法の改正という歴史的なことが起こった。その背景には、厚労省におけるチーム医療推進会議に象徴される医療提供体制の変化があった。一方、歯科衛生士の就業数は、平成 22 年に十万人を超える歯科医師数を上回り看護師、医師、薬剤師に次ぐ職種となった。

今回の調査において、特記すべきことは回答者数が 8,780 人となり、前回の 5,457 人を遥かに上回るものとなったことである。近年の、歯科衛生士を取り巻く我が国の諸事情が歯科衛生士の就業環境と日本歯科衛生士会にとって望ましい方向に影響していたことが推察される。また、歯科衛生士の就業人数が増えただけでなく、歯科衛生士としての職業歴の長い人が増えてきていることが注目される。調査結果にもあるが、一生続けられる職種となり、歯科衛生士自身もそう思う人が大半となったのである。

### 1. 歯科衛生士の就業状況

我が国全体として、直近はともかくこの 5 年間は必ずしも就労状態の良い社会とは言えない時期であった。正規職員や派遣社員が減少し、パートと契約社員が増加した期間であった。マスコミもこのことを取り上げ、政府の政策においても最優先課題となった。その中で、歯科衛生士の就業数は急速に増加したのである。歯科界そのものが好転したわけではなく、歯科への社会的評価が高まったわけではなかった。少なくとも、歯科医師・歯科医師会に楽観論は見られず、歯科大学・歯学部への受験希望者数は低迷していた。これらの世相に反して、歯科衛生士には追い風が吹いたようである。

堅調ともいえる歯科衛生士の勤務実態において、大変興味深いのは歯科衛生士の就業形態が多様化したことが本調査で明らかになったことである。

就業状況をはかる目安として、給与、福利厚生、社会保険、有給休暇のほか上記の正規・非正規、常勤・非常勤がある。今回の調査結果では、常勤 4,204 人(55.4%)、非常勤 3,193 人(42.1%)であり、過去の結果に比べ両者の差が少なくなった。回答者として、非常勤者の人数と割合が明らかに増加したのである。ところが、このことが社会一般と異なり必ずしも問題事項ではないようである。本調査結果の興味深いところである。

歯科衛生士の勤務実態は、本調査結果をみると概観的にはけっして悪い就業状況とは言えないようである。詳細に見れば、病院、診療所、行政、教育機関等の職場により給与、福利厚生、社会保険、有給休暇等に明かに差があり、各々は看過できないものである。しかし、この結果に常勤・非常勤の勤務状況が影響していることを加味すると、そう単純な考察はできなくなってくる。

近年病院の歯科、病院勤務の歯科衛生士の業務が歯科領域のみならず、医療全般で注目されていることは周知のことである。今回の調査結果でも、病院・大学病院勤務者としての回

答が 1,096 人であった。診療所の歯科衛生士の回答数が 3,807 人であったことから病院のその数の多さは注目すべきものと思われる。2012 年の厚労省調査では、病院勤務歯科医師は 12.2% であり、歯科衛生士は 4.8% であった。今回の調査で回答した病院勤務歯科衛生士は 14.5% であった。病院勤務歯科衛生士の回答割合が多いのがこの調査の特徴である。また、現在の日本歯科衛生士会の姿を物語っていることなのかも知れない。病院そして病院歯科の変化が、いよいよ目に見えるようになってきたようである。

今回の調査で、歯科衛生士の勤務状態が多様化していることを推測させるものとして、行政は以前からあるが、病院や教育機関でも非常勤が多いことがある。さらに、常勤者が回答した雇用保険や労災保険といった公的社会保障に加入していないという割合がかなりあったことが注目される。行政の常勤者で、これらの保険に加入していないはずはないのである。病院や教育機関でも同様である。回答者の誤解が考えられるが、さらに回答者の常勤という勤務への解釈にバラツキのあることも推察される。

年収についての回答があるが、すべての年収という質問・回答と主な勤務先での年収という質問・回答を比較すると、主な勤務先での常勤者の回答では無回答が 35.9% もあった。このことからも、常勤と答えた歯科衛生士で常勤である職場以外の勤務先を持っている人がかなりいることが考えられる。また、繰り返すが、常勤という解釈の違いがこの回答に現れていることもあり得るのである。

いずれにしても、歯科衛生士の勤務状態が多様化していることは間違いない。職場に対する改善要求として給与等の待遇改善が第 1 位にあるが、一方で、勤務先変更理由では、給与・待遇の面は最も低い理由であった。一見矛盾する結果であるが、待遇改善は一般的な希望として出てくるものであって、現実社会ではそれぞれの生活にあった多様な職場を選択して勤務しているため、なのかもしれない。

## 2. 研究、学会活動

回答者の 50% が歯科診療所に勤務しており、回答者の 42% が非常勤の勤務であることを考慮すると、19.3% の歯科衛生士が研究活動を行っているというのは結構高い割合であると思われる。歯科医師の場合、大学は研究が職務の一つとなっており、年間の発表数や論文数が義務として課せられているところがほとんどである。研究を職とする、研究専門家が歯科医師には多数存在するが、そのような職種・職場は歯科衛生士には極めて少ない。その中で、歯科衛生士にこれだけの研究に対する意欲があることは刮目すべきことである。

いわゆる大学人である歯科衛生士が存在している。その人達が研究者としての実力を磨き、業績を積むことが今後期待される。また、研究職につく歯科衛生士が今後増加することが予想される。その歯科衛生士が、研究活動のリーダーとなった時に、歯科衛生士の研究は別次元のものとなると思われる。当然、学会活動もこの調査結果とは様変わりしいているであろうことが推察される。

今回の調査結果で、関心のある分野・職域について、非常勤の歯科衛生士は「在宅歯科医療」「地域保健」「高齢者介護施設」「障害者歯科」で常勤より多い割合であった。一方常勤が上回ったのは、「診療所」「病院」「企業健康管理室」「歯科衛生士教育機関」であった。非

常勤は歯科の業務対象に、常勤は職場に関心があるよう感じられた。興味深い結果である。

### 3. 業務内容

歯科衛生士の業務については、ここ数年歯科界はじめ各方面での理解は進んだように思われる。この調査結果でも、色々な業務を歯科衛生士が行っていることが分かる。また、勤務先によってその内容が大きく異なっていることも当然ながら明確になっている。業務のトップ 10 について、診療所と病院との違いが明確に出ている。医療安全、感染予防においても同様である。また、年齢別に見た場合も、若年者層が種々の業務をより多く行っていることが明らかである。近年の歯科衛生士の業務が広がっていることの証であるかもしれない。一方で、逆に中高年の歯科衛生士のリフレッシュ、再教育の必要性を示唆する調査結果のようである。

行政における業務は、勤務が都道府県か政令市か市町村かで異なっていた。各行政の機能が、法的に定められていることから差があるのは当然のことである。ここでも常勤・非常勤による種々の差が出てくるものと思うが、企画調整への関与状況を除き残念ながら明確には把握できない。

### 4. 歯科衛生士教育養成機関

歯科衛生士の教育が、大学として行われ出した。これは歯科衛生士にとって、大変大きなことである。教員として歯科衛生士に求められることが、専門学校と大学とでは異なってくる。今回の調査は、いわゆる主要 3 科と臨床・臨地実習に重点を置いたものとなっている。歯科衛生士教員に、従来から求められていることである。ただ、この間の歯科衛生士業務について歯科界で認識が改まったことから、診療補助についての教育内容が問われることとなる。歯科衛生士の専任教員が、診療補助でどのような教育に携わっているのか。興味深いところである。このことに加え、今後は教育機関の機能・種別の教員としての調査が必要となるものと思われる。

### 5. 介護保険施設

介護保険法の制定時に、歯科衛生士は介護保険に大変な関心を示した。新たな活動分野が大きく開かれることが期待された。このことから、介護施設に常勤する歯科衛生士の勤務実態は注目されるところであった。

介護保険施設は、介護老人福祉施設が 7 千程となり、介護老人保健施設も 4 千を超える現状も増加傾向にある。その施設に勤務する歯科衛生士は、厚労省の調査(平成 24 年)では就労歯科衛生士の 0.3% にすぎない。今回の調査回答でも、介護保険施設の常勤歯科衛生士の回答は 140 人であり非常勤の 173 人を下回った。今回の調査が、介護保険施設での歯科衛生士の実態を示しているとは言い難いと思われる。介護保険の請求状況をみても、常勤歯科衛生士がいる機関としては口腔機能に関する請求率が低いように思われる。回答している歯科衛生士が、施設についてどこまで把握しているのかということも課題である。ただ、施設における歯科衛生士の業務については、一つの評価対象として良いものと思われる。

## まとめ

今回の調査結果は、先にも述べたが歯科衛生士の勢いというものを感じさせるものであった。多様化した勤務実態が明らかとなったと思われる。多くの領域からの求人に対し、歯科衛生士が自らの力量にあった職場を選択できる状況が生じつつあるようである。また、望むなら努力次第でレベルの高い職場に勤務することも可能な状況にもなりつつあるようである。希望する再就職研修の内容が5年前とは変わってきている。5年後のこの調査が楽しみな、そのような期待をもたせる歯科衛生士の勤務実態であった。

東京歯科大学 副学長  
社会歯科学研究室  
石井拓男

## **第3章 調査結果の詳細**

## 報告書をお読みいただく際の留意点

今回実施した「第8回 歯科衛生士の勤務実態調査」の調査票は巻末（159ページ）掲載のとおりであり、回答者の就業状況によって全員が回答する質問と就業場所別に回答する質問とに分かれています。つまり、全員が回答する場合は回答者全体（8,780人）が集計のベースになっているが、質問内容によっては就業状況や就業場所別に回答者数が変動します。また、質問項目において、選択肢が「補助質問へ進む」場合は、該当者のみの回答になるため、母数が異なることに留意してください。

## I. 回答者の属性

本報告書の図（図1-1～図11-9）のなかで、「全体」と比較するための内訳として「就業状況（常勤・非常勤）」や「勤務先（診療所・病院／大学病院・行政等）」を記載した図を示した。回答者数は全体で8,780人であったが、図の中の「全体」に関しては「就業状況」や「勤務先別」等の不明を含めた回答者数であるため、「全体」の回答者数と「内訳」を合計した回答者数は必ずしも一致しないことを予め付記する。

【回答者数は全体で8,780人である】

### 1. 回答者の年齢構成

回答者の年齢構成は、「40～44歳」が13.9%、「45～49歳」が17.5%、「50歳以上」が35.8%であり、「40歳以上」が7割弱を占めている。一方、「35～39歳」は10.2%、「30～34歳」が7.7%、「20～24歳」が7.1%、「25～29歳」が6.9%、「30歳代」、「20歳代」は1割強～2割弱である（図1-1）。

また、平成11年と比較すると、「50歳以上」の割合が3倍以上に増加し、「20～24歳」は半減しており、加齢が進んでいる。

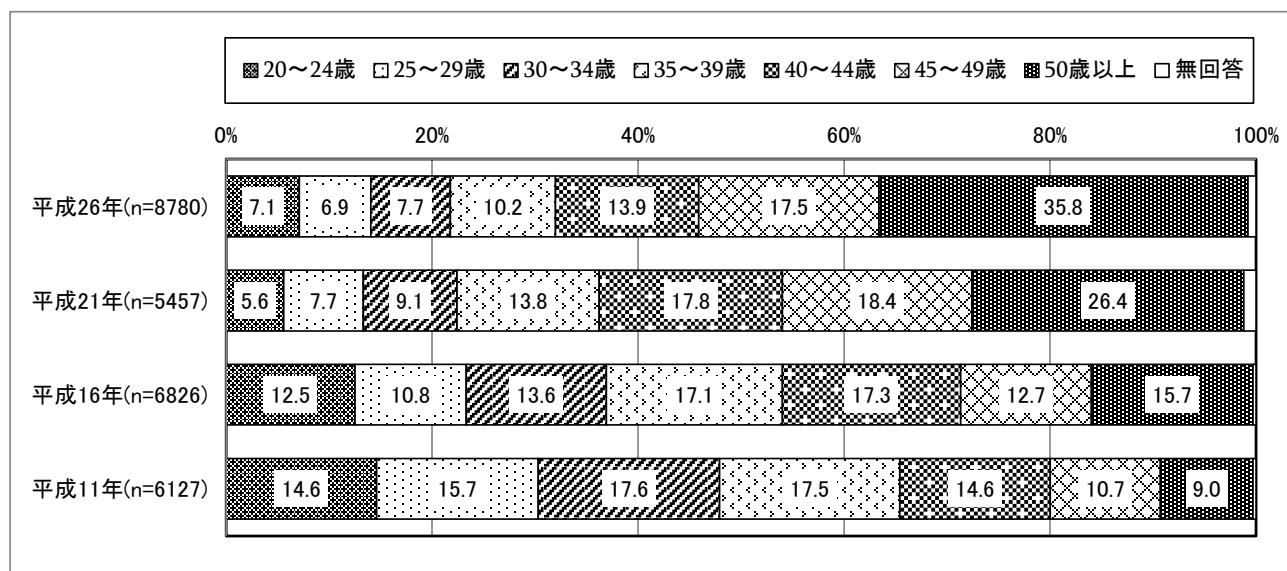


図1-1 回答者の年齢構成

## 2. 最終学歴

最終学歴について全体でみると、「歯科衛生士専門学校」が77.9%、「短期大学」が13.7%、「大学」が4.7%、「大学院修士課程修了」が0.9%、「歯科衛生士専門学校以外の専門学校」が0.7%、「大学院博士課程修了」が0.5%である（図1-2）。

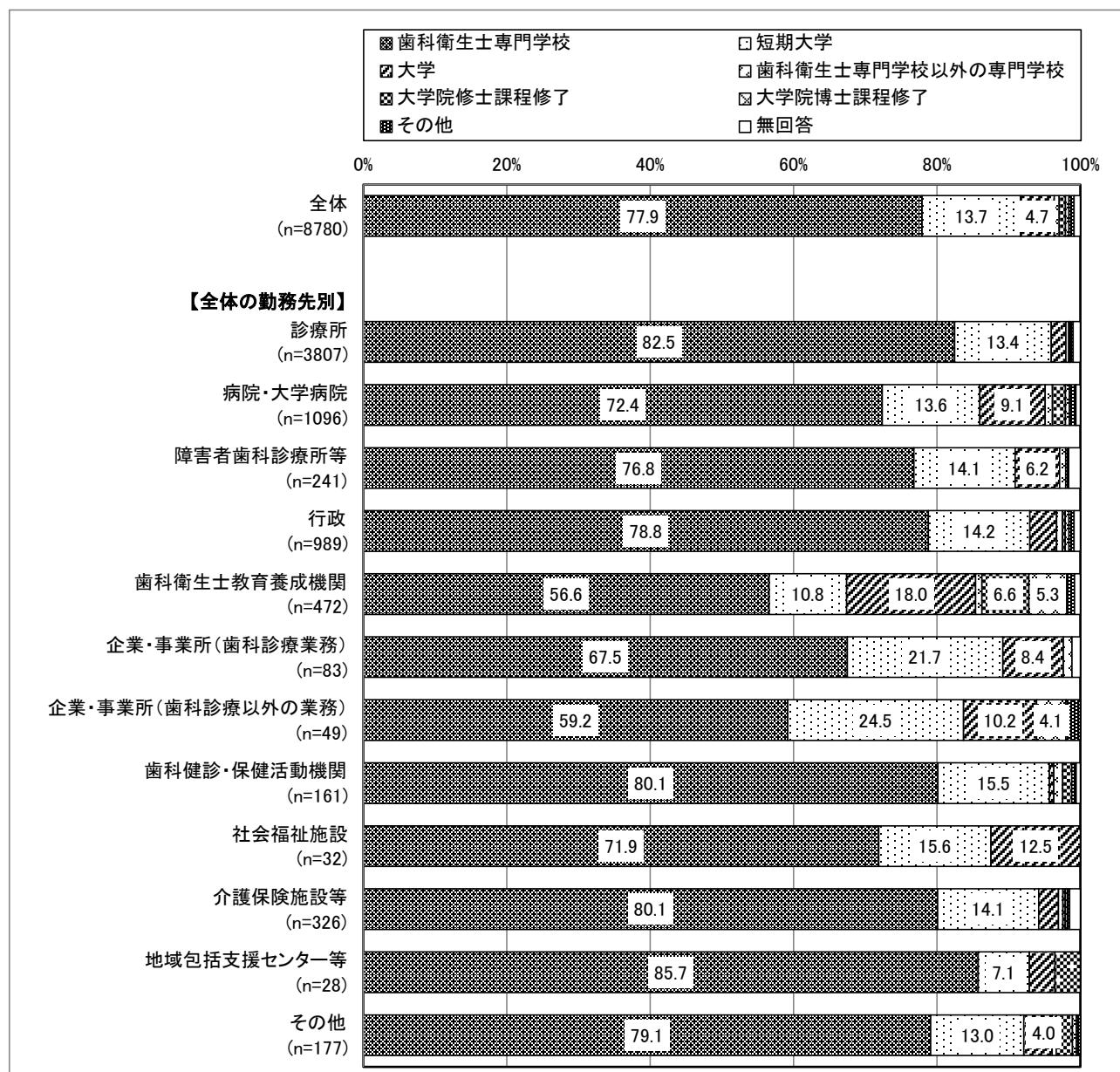


図1-2 最終学歴

### 3. 就業経験年数

歯科衛生士として働いた就業経験年数を全体でみると、「20年以上」が41.4%、「10～15年未満」が15.0%、「15～20年未満」が14.7%、「5～10年未満」が13.4%、「5年未満」が11.9%であり、20年以上の割合は前回調査よりも5.4%増加していることからも、就業経験年数の延伸にともない回答者の高齢化が進んでいる一端をうかがうことができる。

就業状況別でみると、「常勤」では「20年以上」が40.4%、「5年未満」が18.3%、「5～10年未満」が13.2%、「15～20年未満」が12.7%、「10～15年未満」が12.6%であり、「常勤」の平均就業経験年数は16.6年である。また、「非常勤」では「20年以上」が46.5%、「15～20年未満」が18.4%、「10～15年未満」が16.5%、「5～10年未満」が10.5%、「5年未満」が3.8%であり、「非常勤」の平均就業経験年数は19.4年である（図1-3）。

以上の結果から、「常勤」、「非常勤」を問わず就業経験年数は長くなる傾向がみられた。

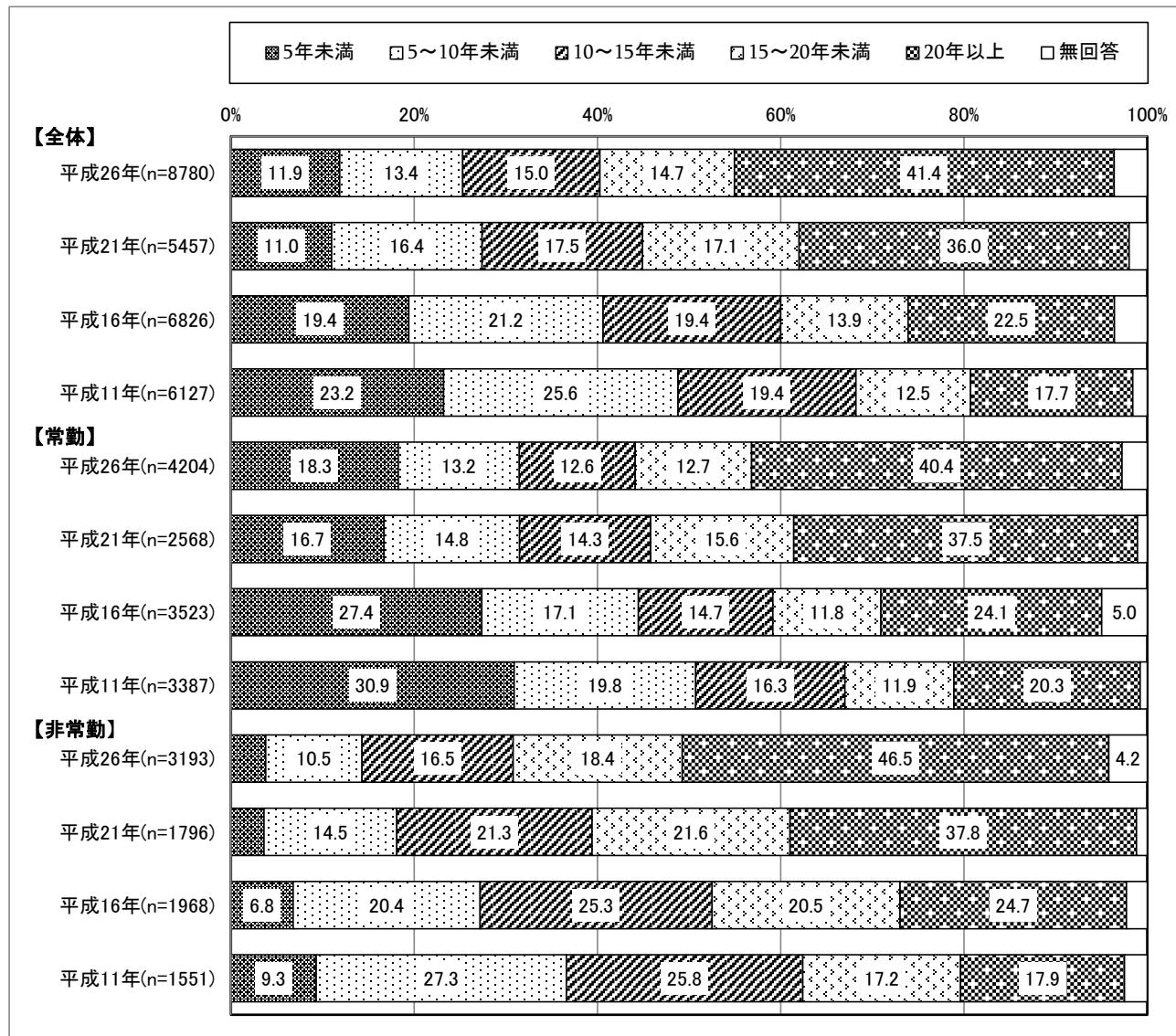


図1-3 就業経験年数

## II. 就業状況

【全回答者の内、就業者数は 7,582 人である】

### 1. 歯科衛生士としての就業の有無

歯科衛生士としての就業の有無を全回答者でみると、「就業している」が 86.4% で、前回調査の 84.8% と比べ、1.6% の増加である。一方、「就業していない」は 13.6% である（図 2-1、表 2-1）。

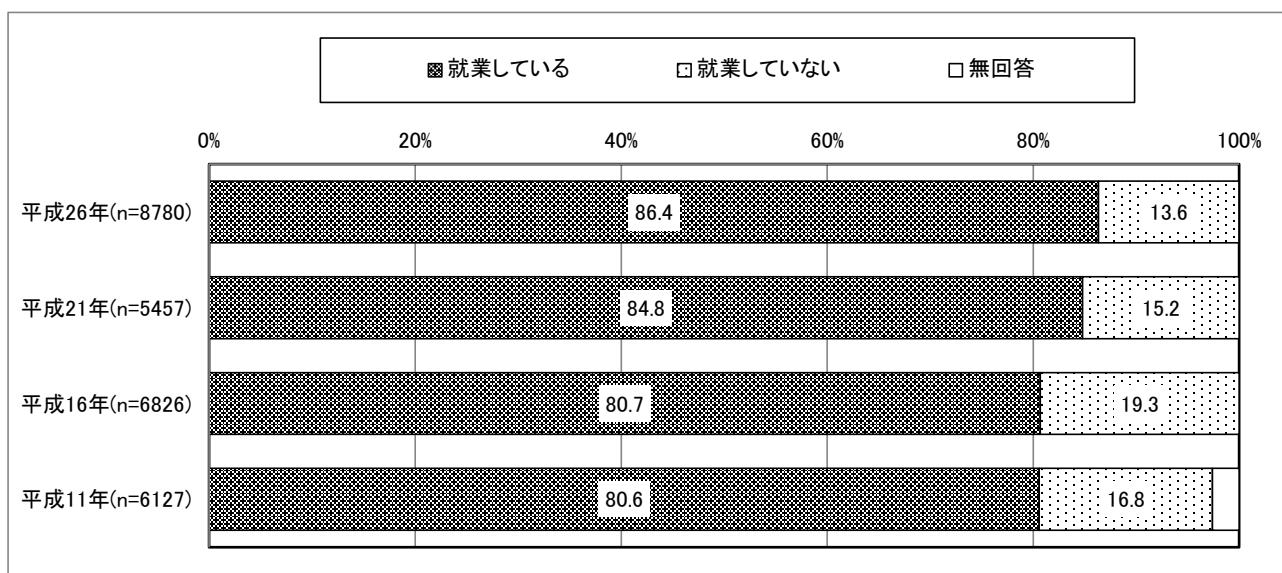


図 2-1 歯科衛生士としての就業の有無

表 2-1 平成 11 年、平成 16 年、平成 21 年、平成 26 年の就業形態

	N	常勤者	非常勤者	その他	無回答
全体(平成26年)	7,582	4,204 (55.4%)	3,193 (42.1%)	122 (1.6%)	63 (0.8%)
全体(平成21年)	4,625	2,568 (55.6%)	1,796 (38.6%)	177 (3.8%)	84 (1.8%)
全体(平成16年)	5,506	3,523 (64.0%)	1,968 (35.7%)	-	15 (0.3%)
全体(平成11年)	4,938	3,387 (68.6%)	1,551 (31.4%)	-	0 (0.0%)

※平成 26 年の非常勤は日々雇用も含む

平成 11 年からの推移をみると、各年とも常勤者の割合が減少し、逆に非常勤者の割合が増加していく傾向があり、このことは働き方の多様化を示すものと考えられる。

## 2. 現在の就業状況

現在の就業状況を全体でみると、「常勤（正規雇用）」が51.8%、「常勤（非正規雇用・任期付き等）」が3.7%で、「常勤」（正規雇用と非正規雇用・任期付きの合計）が55.5%となり、「非常勤」が40.1%、「日々雇用」が2.0%である（図2-2）。

年齢別でみると、「20～24歳」では「常勤（正規雇用）」が85.0%、「非常勤」が11.3%、「55歳以上」では「常勤（正規雇用）」が34.9%、「非常勤」が51.5%であり、年齢が高くなるに連れて「常勤（正規雇用）」勤務者の割合が減少している。

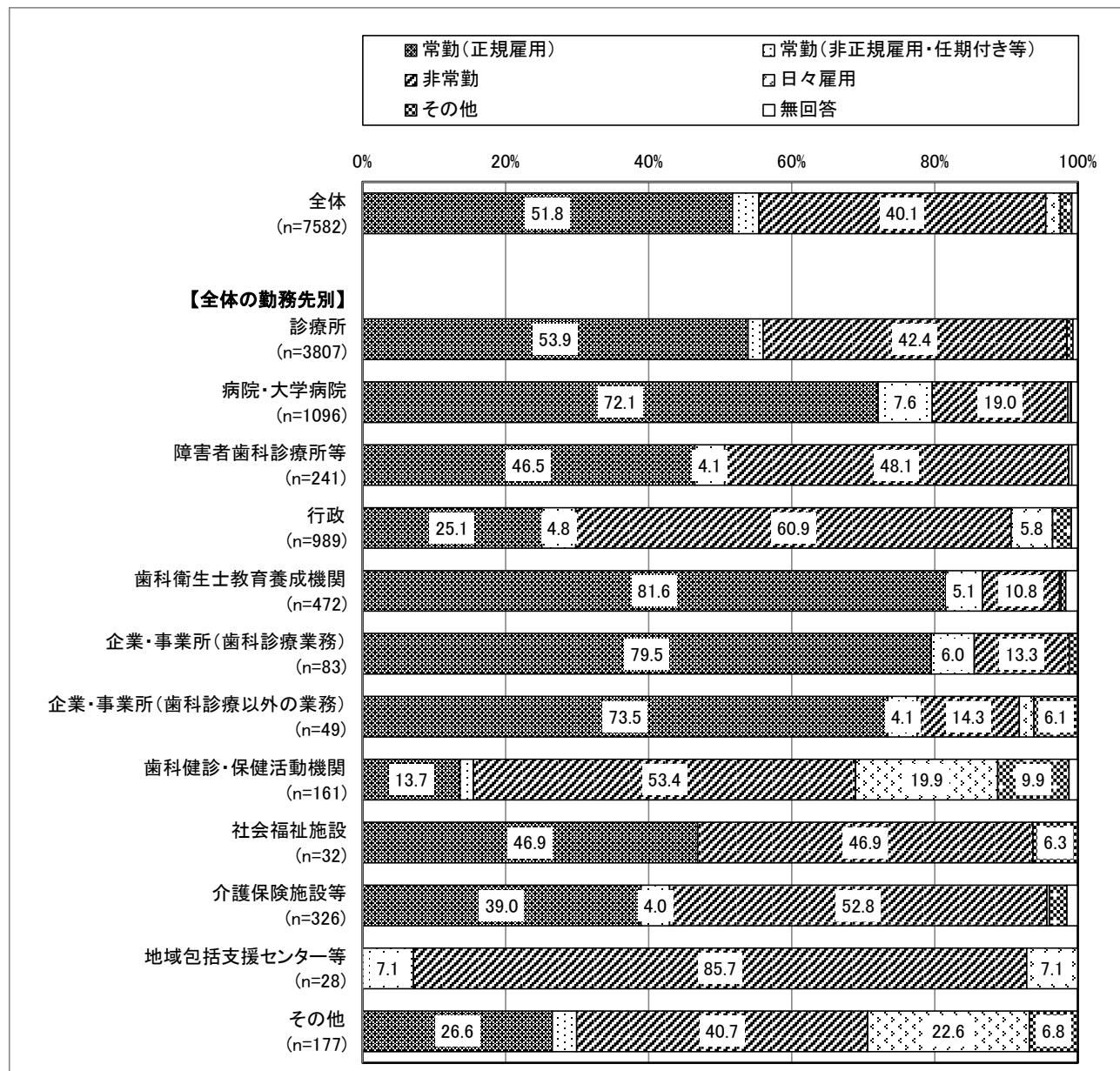


図2-2 現在の就業状況

### 3. 現在の職場における勤務年数

現在の職場における勤務年数を「常勤」でみると、「5年未満」が38.0%、「5~10年未満」が20.5%、「20年以上」が19.3%である。前回調査がそれぞれ37.6%、19.1%、20.1%であったことと比較すると、勤務年数については微動である。

勤務先別の勤務年数の区分で割合の多いものは、「診療所」では「5年未満」が44.1%、「病院・大学病院」では「5年未満」が32.3%、「障害者歯科診療所等」では「5年未満」が31.1%、「行政」では「20年以上」が36.3%、「歯科衛生士教育養成機関」では「5年未満」が34.2%、「企業・事業所（歯科診療業務）」では「20年以上」が52.1%、「企業・事業所（歯科診療以外の業務）」では「5~10年未満」が39.5%、「歯科健診・保健活動機関」では「20年以上」が36.0%、「社会福祉施設」では「5~10年未満」が40.0%、「介護保険施設等」では「5年未満」が50.0%であり、他の勤務先に比べ勤務年数が短い（図2-3）。

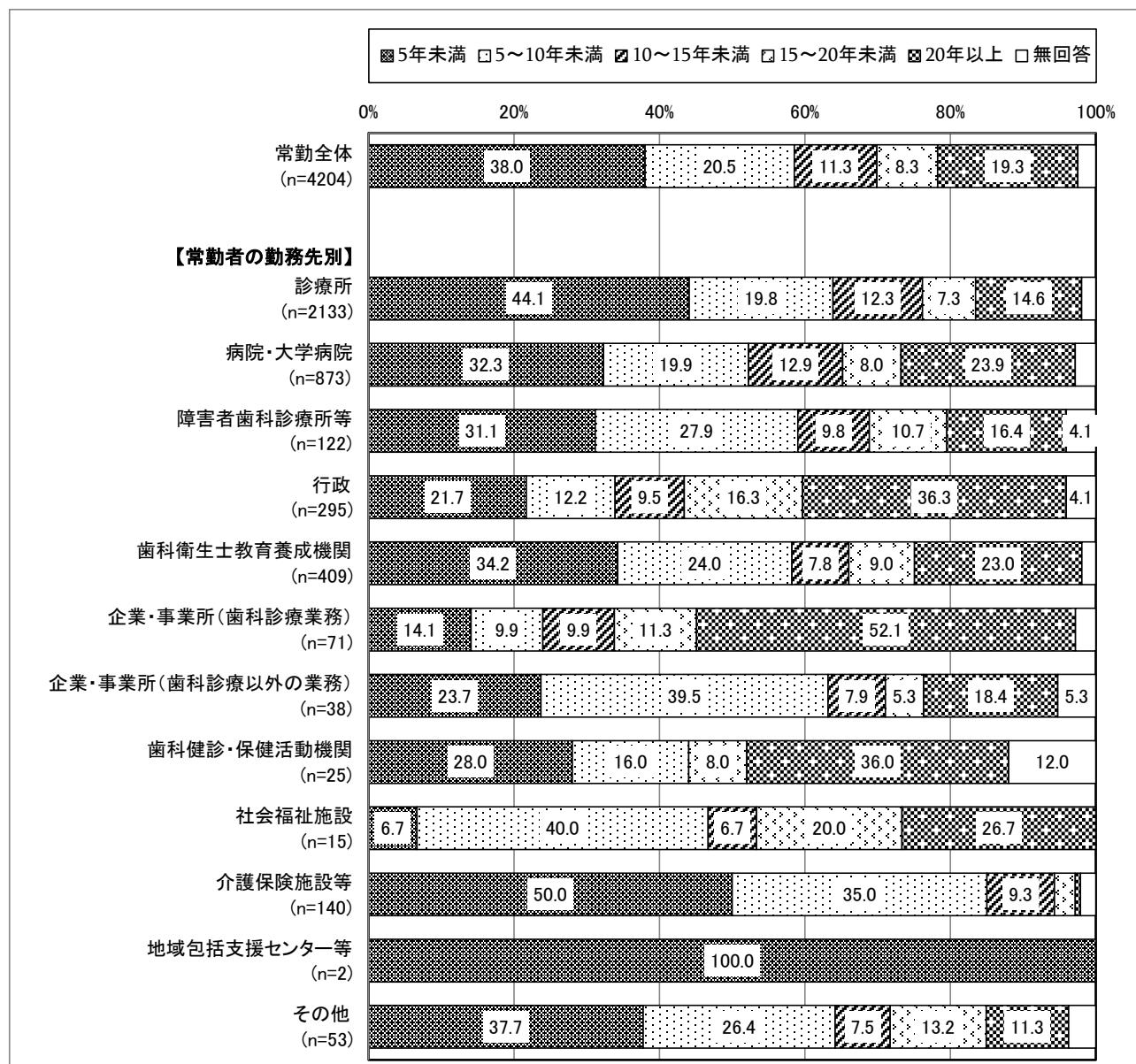


図2-3 現在の勤務先における勤務年数（常勤）

#### 4. 勤務先の数

非常勤と回答した者の勤務先の数をみると、「1か所のみで勤務している」が43.1%、「複数の勤務先に勤務している」が56.4%である。

勤務先別の就業場所の区分で割合の多いものは、「1か所のみで勤務している」では「病院・大学病院」が70.7%、「複数の勤務先に勤務している」では「企業・事業所（歯科診療以外の業務）」が85.7%である（図2-4）。

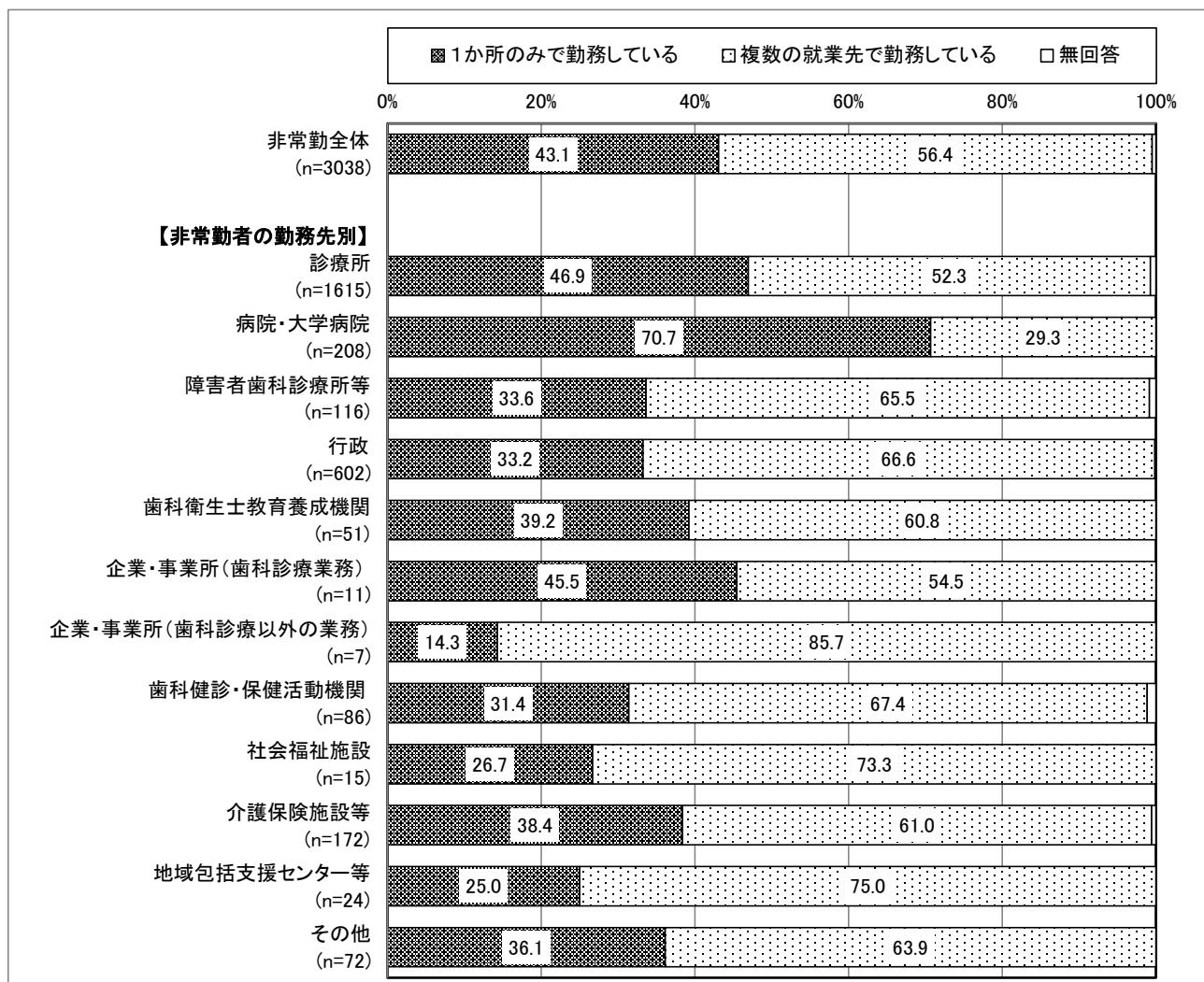


図2-4 非常勤者の勤務先の数

複数の勤務先に勤務している者の勤務先の数（直近1か月間）を全体でみると、「2か所」が42.6%、「3か所」が26.9%、「5か所以上」が14.7%、「4か所」が12.7%である（図2-5）。

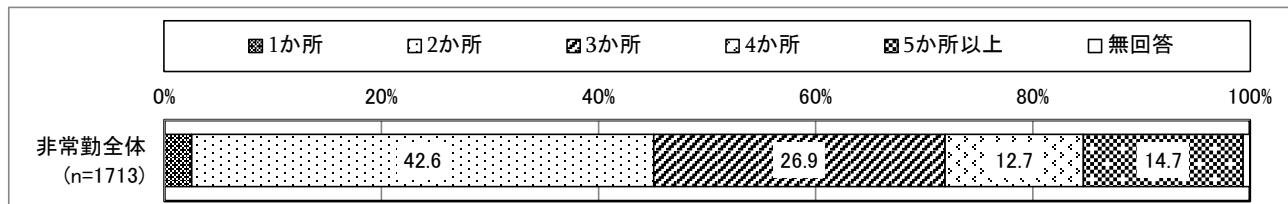


図2-5 複数の勤務先の数（直近1か月間）

### III. 労働条件・福利厚生・給与

#### 1. 就業規則の有無

就業規則の有無を全体でみると、「ある」が 71.8%で、前回調査の 69.9%、前々回調査の 65.0%と比較してみても大きな変化はみられなかった。一方、「ない」は 10.4%である（図 3-1）。

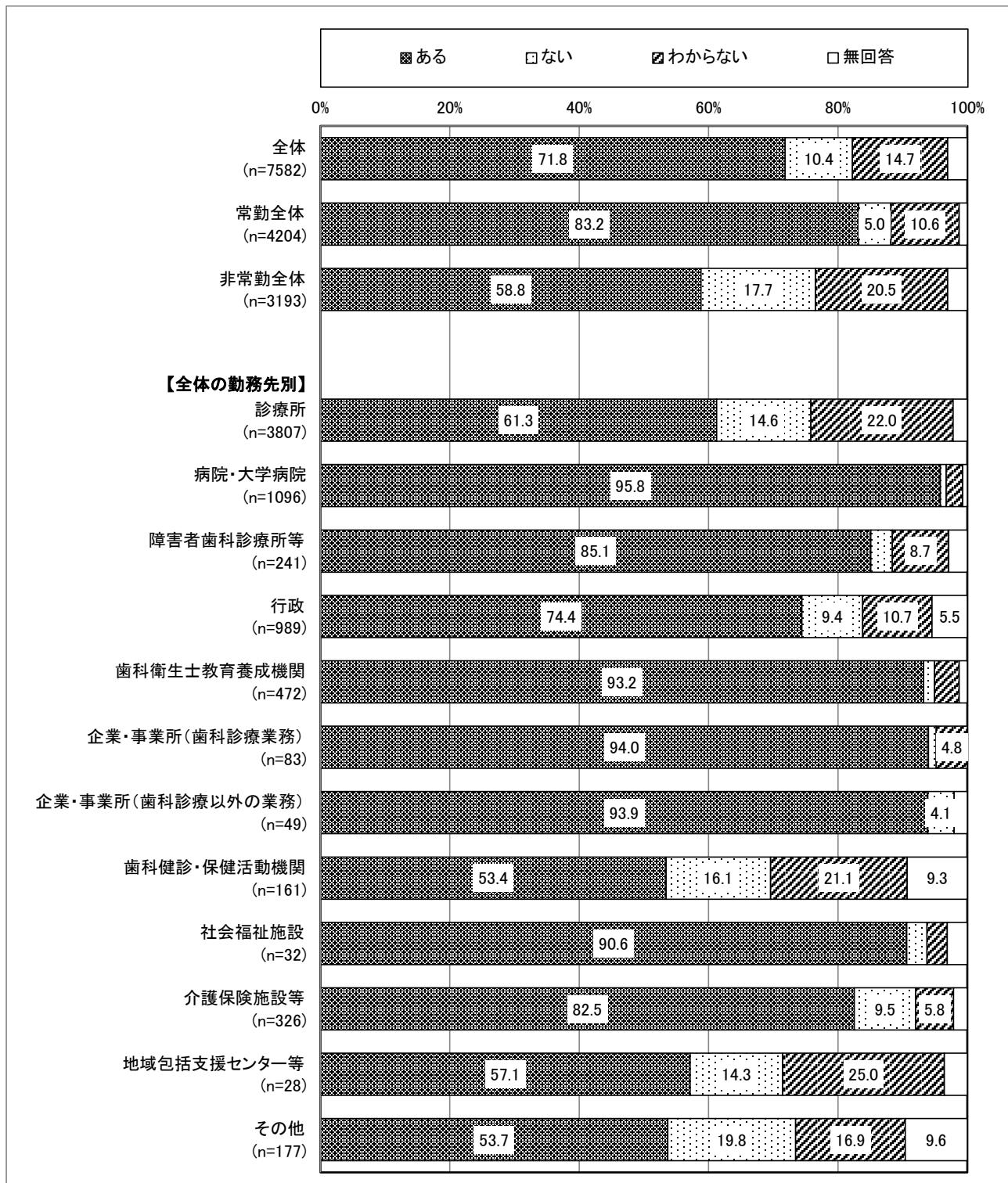


図 3－1 就業規則の有無

## 2. 有給休暇の有無と有給休暇日数

有給休暇の有無を「常勤」でみると、「ある」が84.8%で、前回調査より2.5%増加している。一方、「ない」は14.5%である。

勤務先別でみると、「診療所」では「ある」が71.5%で、前回調査の67.9%と比較すると、3.6%増加し改善されていたが、他の勤務先では、約9割以上が「ある」と回答しているのに比べると、低い値である（図3-2）。

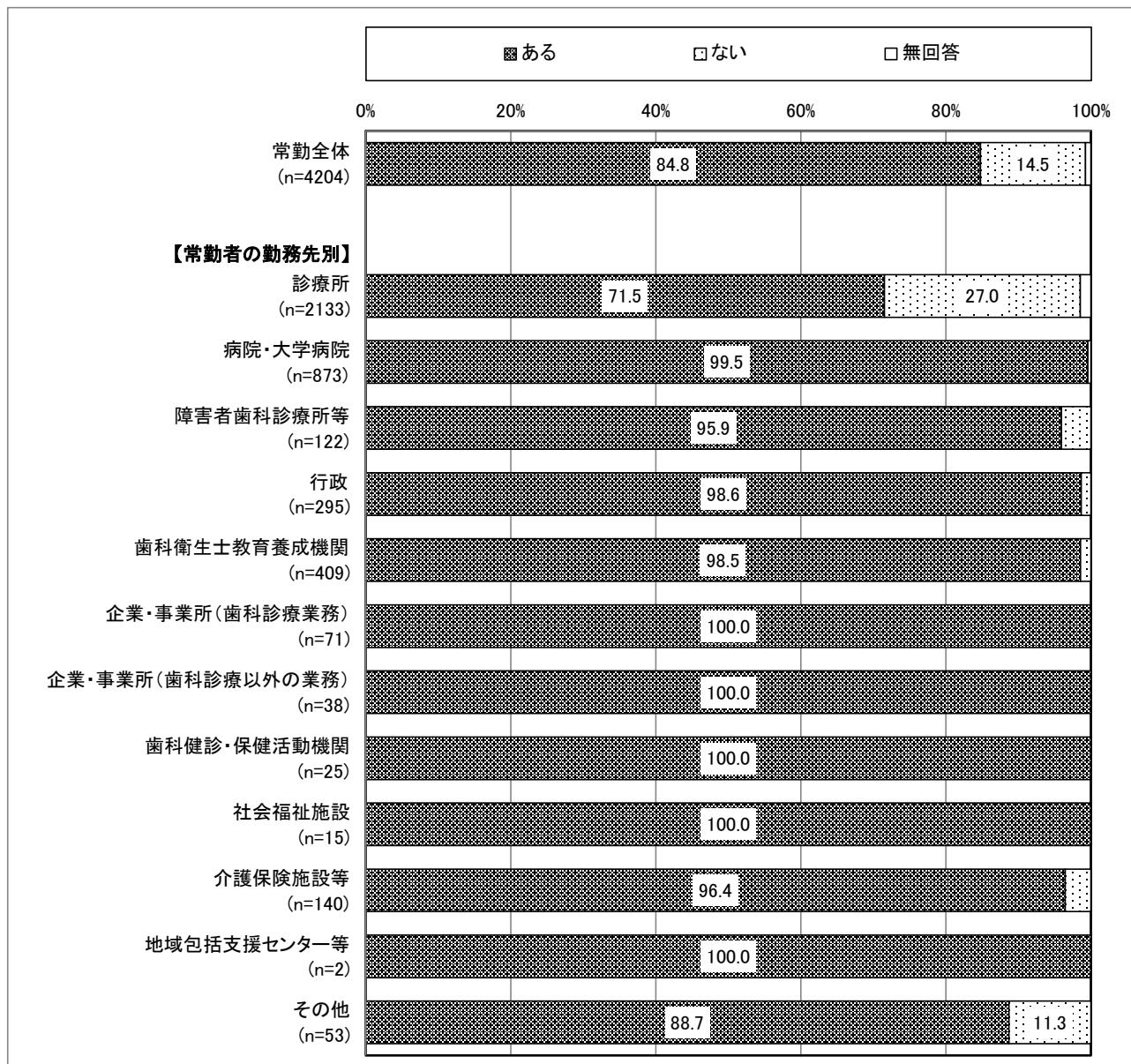


図3－2 有給休暇の有無（常勤）

有給休暇日数を「常勤」でみると、「15～21日」が32.9%、「8～14日」が22.9%、「36日以上」が7.2%、「8日未満」が7.0%である。

勤務先別の有給休暇日数の平均をみると、「診療所」が12.4日、「地域包括支援センター等」が11.5日で他の勤務先に比べてやや少なく、「社会福祉施設」が25.8日で最も多い(図3-3)。

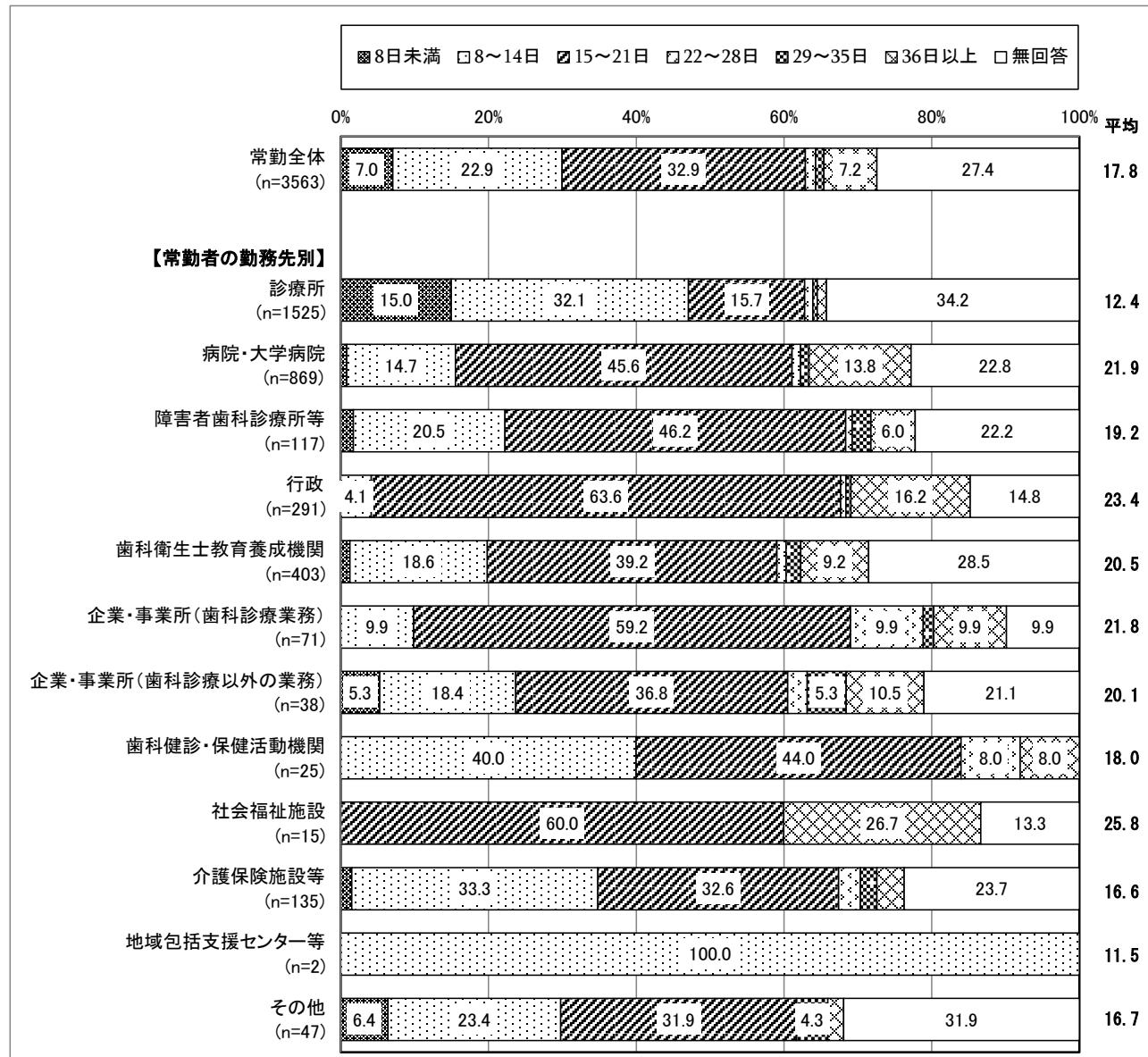


図3-3 有給休暇日数(常勤)

### 3. 特別休暇制度の有無とその内容

特別休暇制度の有無を「常勤」でみると、「ある」が 93.3% で、前回調査の 91.5% と比較すると、1.8% の改善がみられた。一方、「ない」は 6.0% である。

勤務先別で「ある」をみると、ほぼ全ての勤務先で 9 割を超えており（図 3-4）。

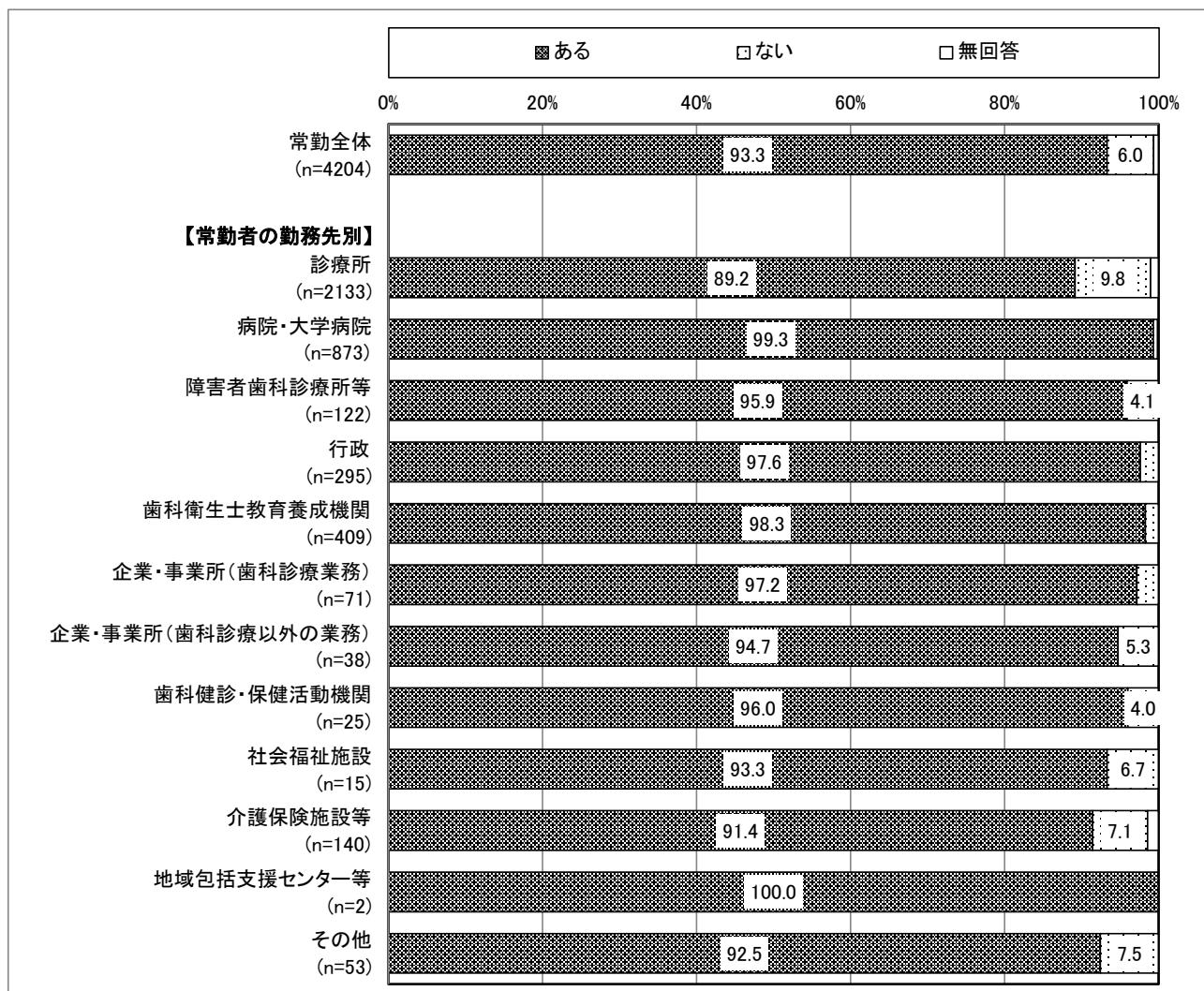


図 3-4 特別休暇制度の有無（常勤）

特別休暇の内容を「常勤」でみると、「年末年始」が 91.2%、「夏休み」が 86.0%、「忌引き」が 74.9%、「産休」が 61.9%、「育休」が 52.8%、「結婚」が 48.0%、「介護休」が 32.2% である（図 3-5）。

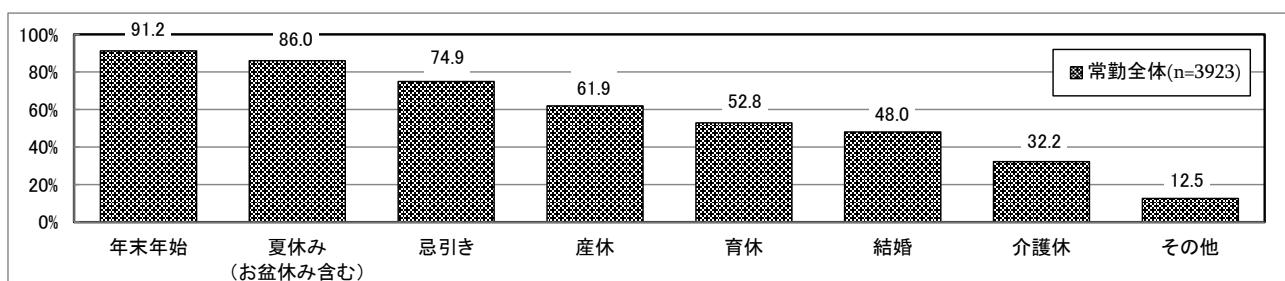


図 3-5 特別休暇の内容（複数回答）

#### 4. 勤務日数と勤務時間

一週間あたりの勤務日数を「常勤」でみると、「4.6～5日」が67.9%（前回64.1%）、「5.1～5.5日」が18.4%（前回21.4%）、「4～4.5日」が6.9%（前回6.0%）、「5.6～6日」が3.3%（前回4.5%）である。5年前に比べ勤務日数の短縮化が図られている状況がうかがえる。

勤務先別で「4.6～5日」をみると、「企業・事業所（歯科診療業務）」が95.8%、「行政」が92.9%、「社会福祉施設」が86.7%であるが、診療所は62.2%となっている（図3-6）。

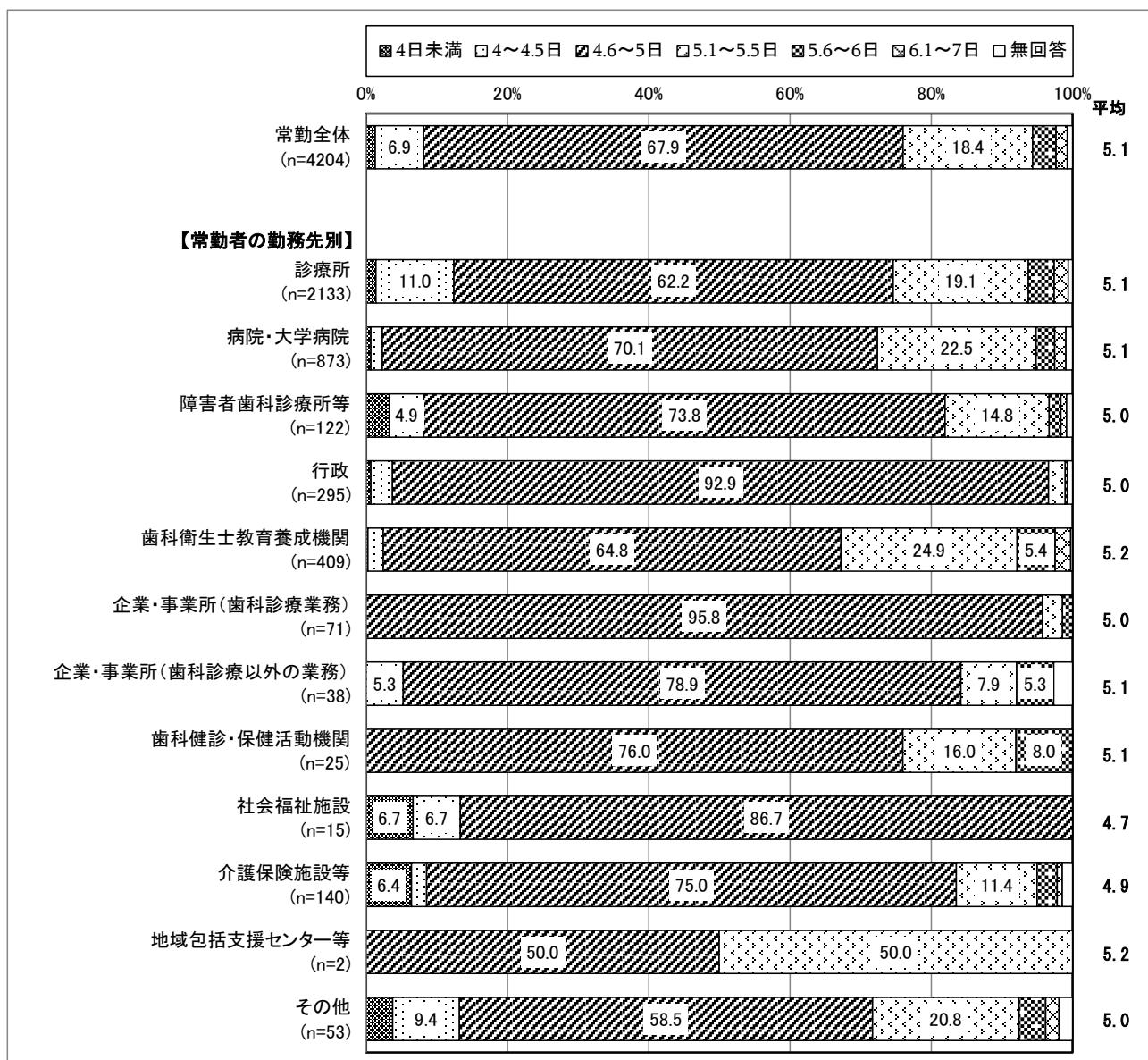


図3－6 勤務日数（常勤）

1日あたりの勤務時間を全体でみると、「8時間」が28.6%、「8時間以上12時間未満」が23.2%、「3時間以上5時間未満」が16.1%、「7時間以上8時間未満」が13.9%である。

就業状況別でみると、「常勤」では「8時間」が42.0%、「8時間以上12時間未満」が37.6%であり、この時間帯内の勤務時間が多い。一方、「非常勤」では「3時間以上5時間未満」が36.9%であり最も多い(図3-7)。

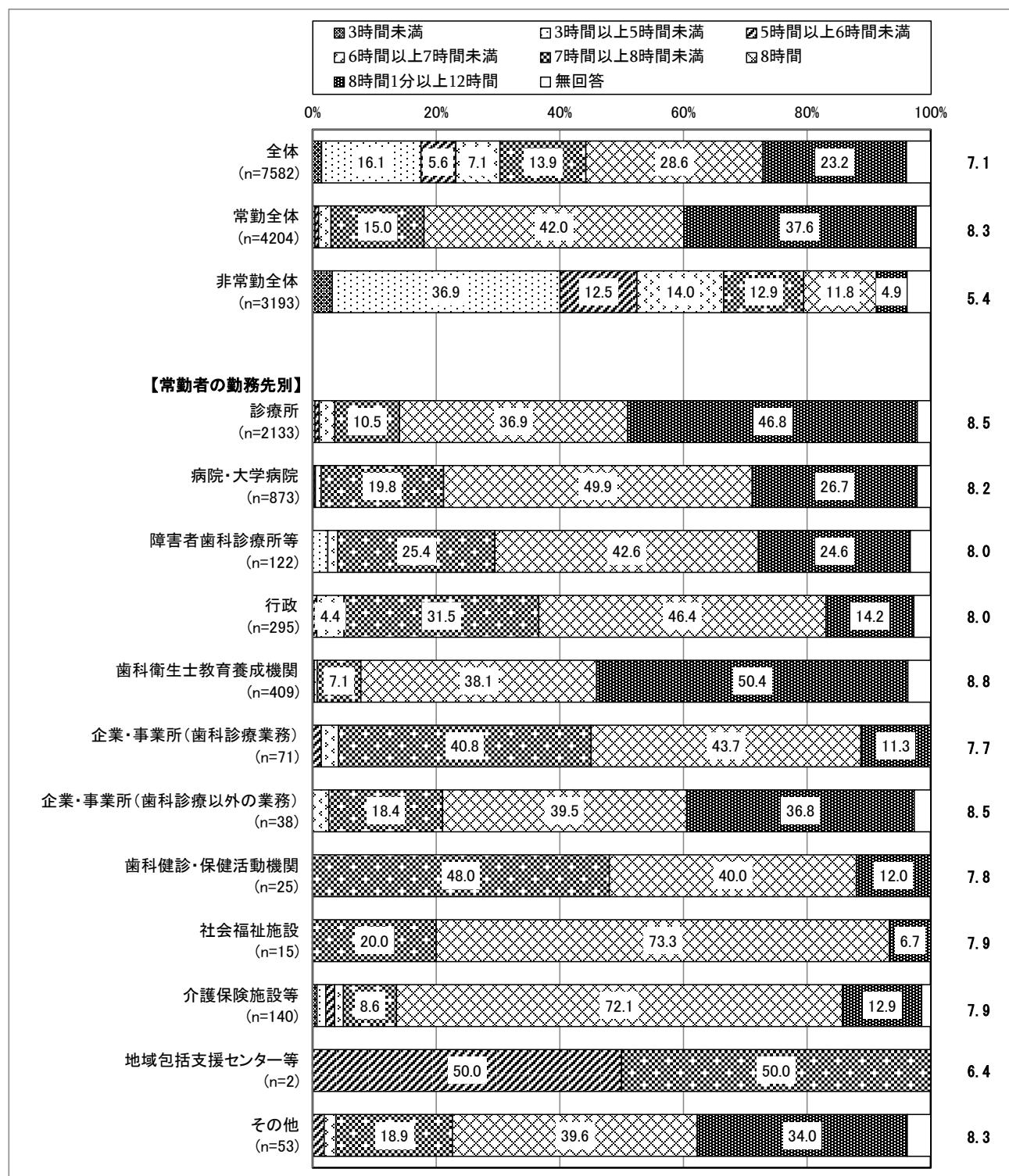


図3-7 勤務時間

## 5. 交代勤務の有無とその内訳

交代勤務の有無を全体でみると、「ある」が9.8%、「ない」が87.5%である。

就業状況別で「ある」をみると、「常勤」が8.9%、「非常勤」が11.0%であり、ほとんど差がない。

常勤者の勤務先別で「ある」をみると、「社会福祉施設」が13.3%、「診療所」が11.9%である（図3-8）。

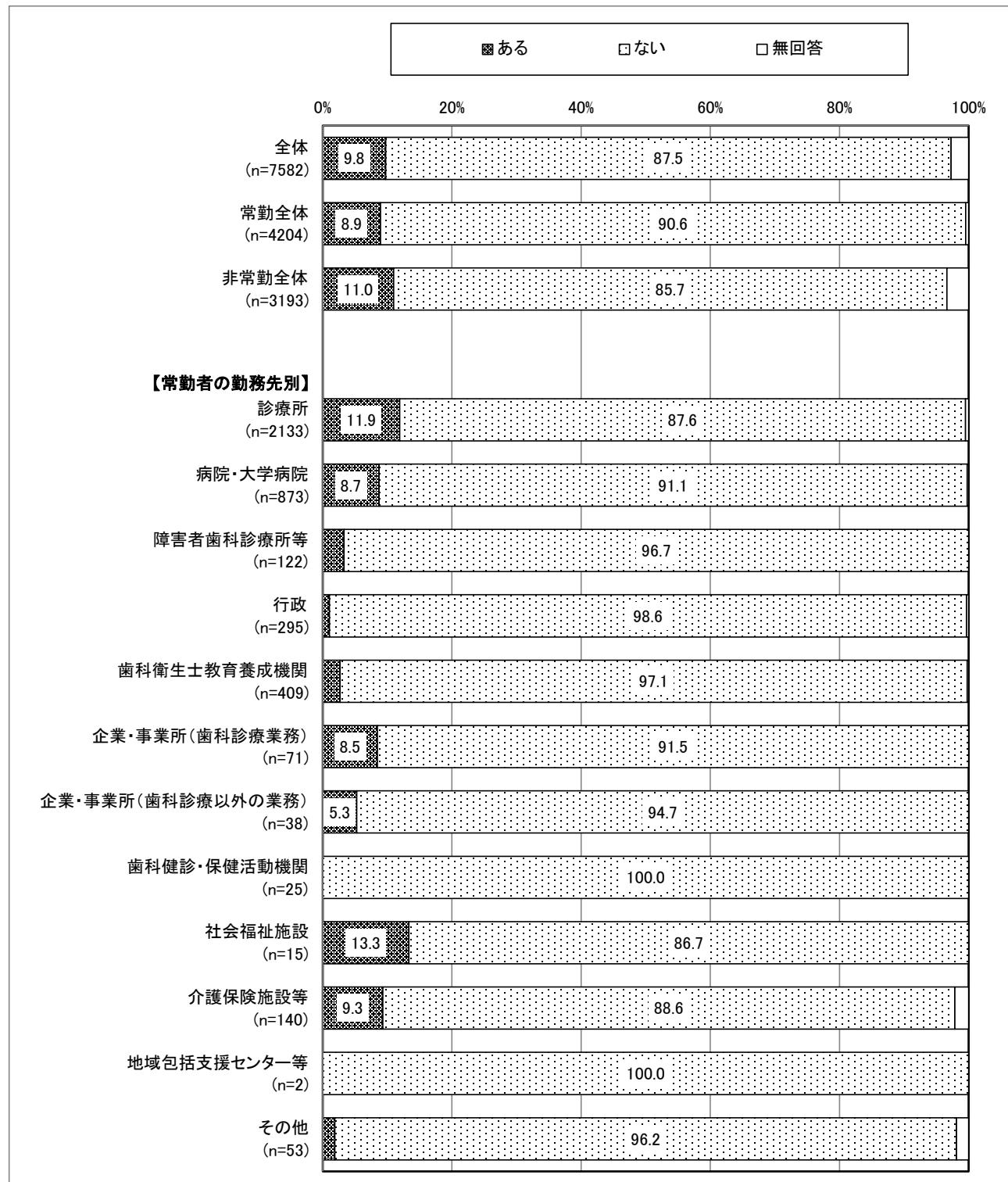


図3-8 交代勤務の有無

交代勤務のある者の内訳を全体でみると、「二交代制」が51.9%、「フレックスタイム」が14.1%、「三交代制」が8.4%である（図3-9）。

また、「その他」の記載内容を多い順でみると、「交替制」、「シフト制」、「早番・遅番」の順である。

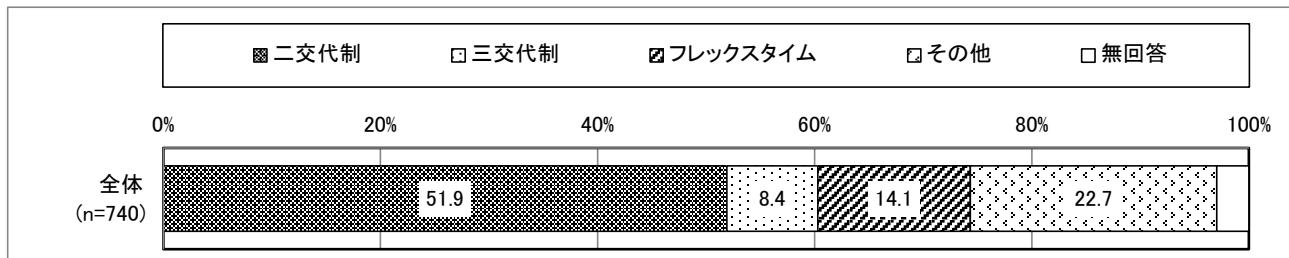


図3-9 交代勤務の内訳

## 6. 歯科衛生士の職名が入っているネームプレート着用の有無

歯科衛生士の職名が入っているネームプレート着用の有無を全体でみると、「着用している」が 62.2%、「着用していない」が 36.4%である。

勤務先別で「着用している」をみると、「病院・大学病院」が 92.2%、「歯科健診・保健活動機関」が 88.8%、「行政」が 71.8%と多い。一方、50%以下は診療所の 49.9%、企業・事業所（歯科診療業務）の 41.0%である（図 3-10）。

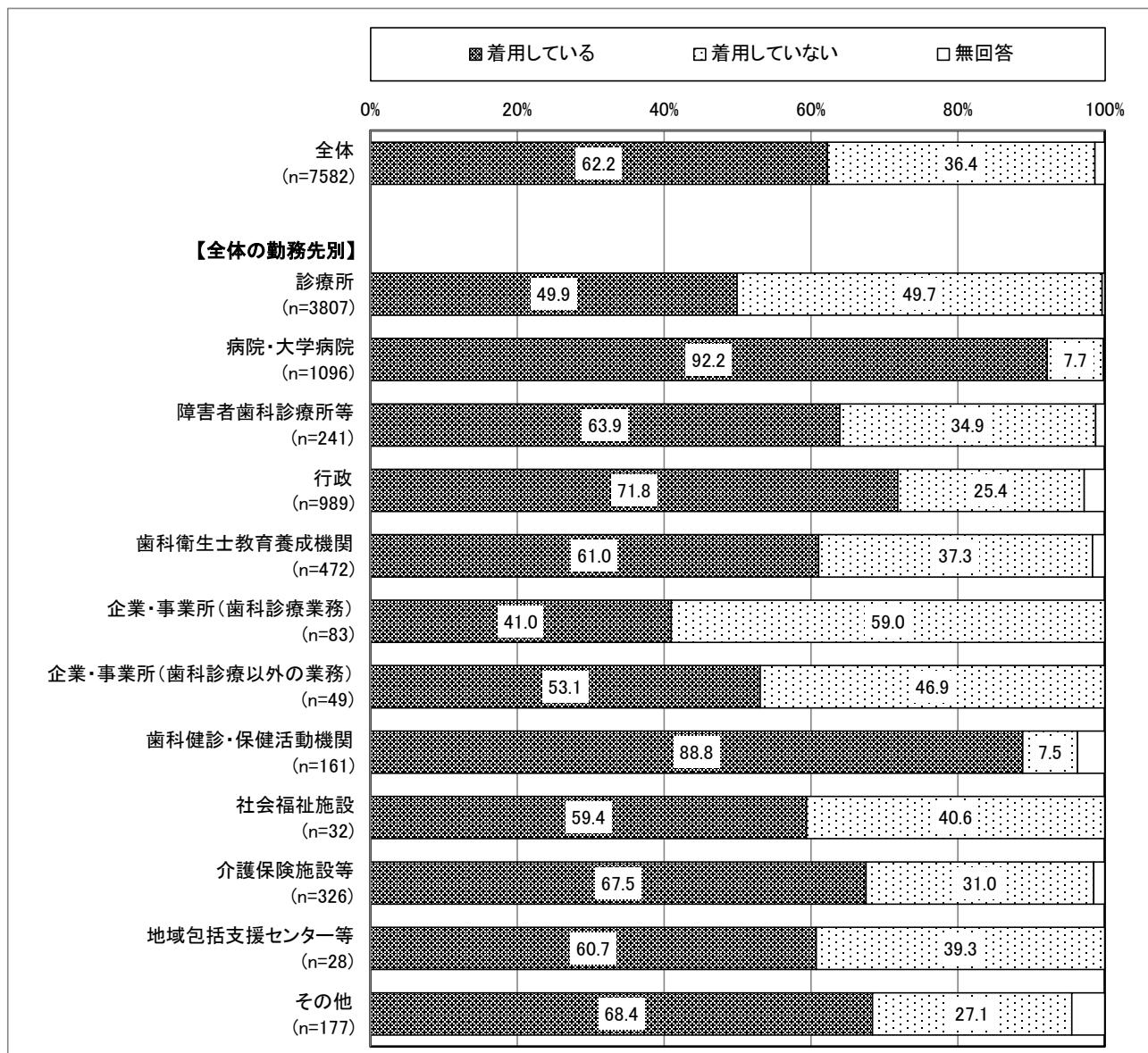


図 3－10 歯科衛生士の職名が入っているネームプレート着用の有無

また、ネームプレートを着用しない理由について全体でみると、「職場の全員がつけていない」が66.9%、「院長が反対」が2.4%、「その他」が27.4%である。「その他」の内容は多い順に、「危険、邪魔になる」、「名前のみで職名が入っていない」、「ネームプレートがない・支給されていない」、「つける習慣がない」、「少人数だからつけていない」である。

勤務先別で「職場の全員がつけていない」をみると、「診療所」が79.4%、「社会福祉施設」が61.5%、「介護保険施設等」が61.4%であり、「診療所」が最もも多い。また、「診療所」では「院長が反対」が3.4%である（図3-11）。

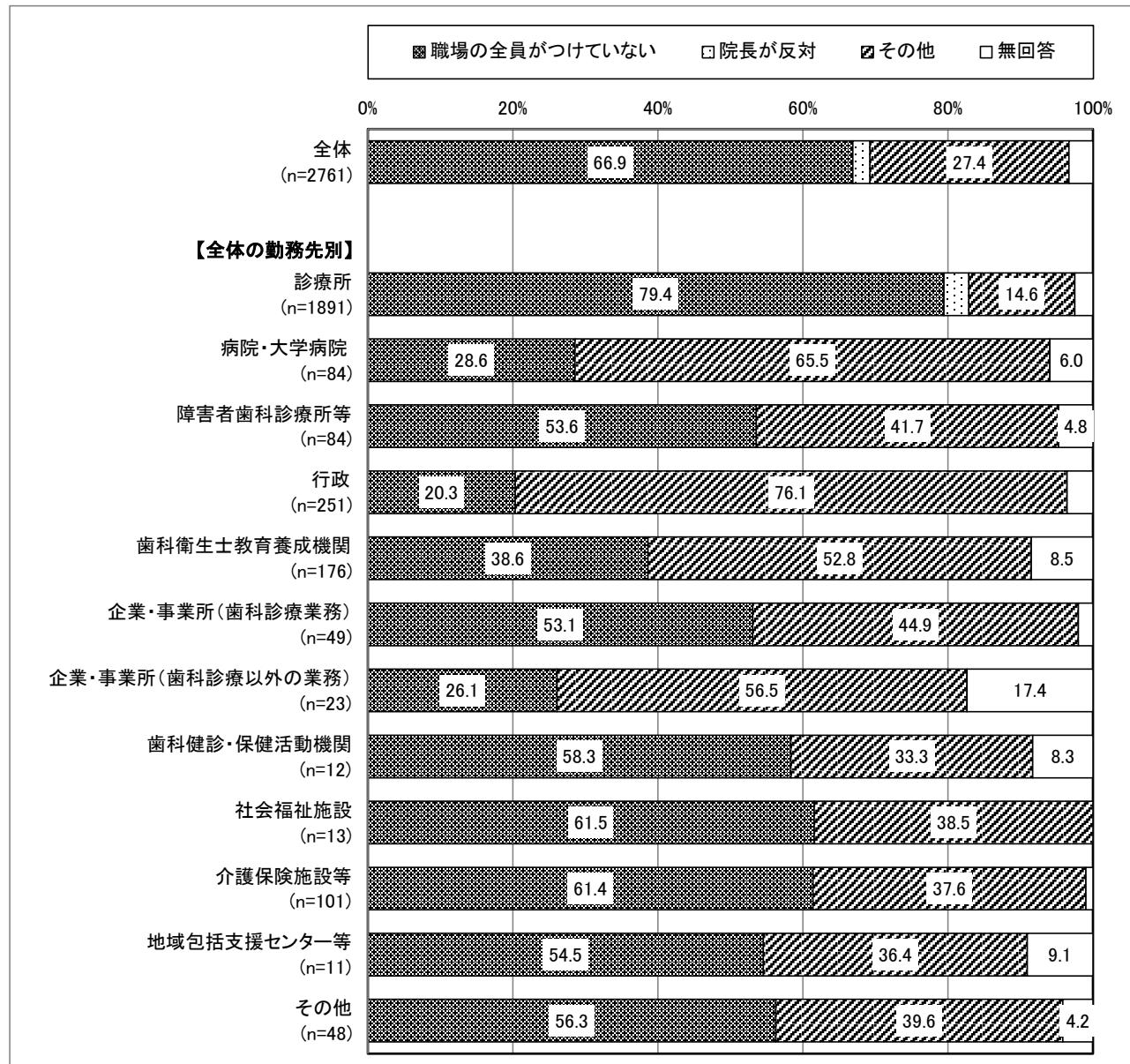


図3-11 ネームプレートをつけていない理由

また、今後、ネームプレートをつける必要があると思うかについて全体でみると、「着用する必要があると思う」が47.3%、「着用する必要はない」が48.2%であり、着用の必要性に関する意識は、拮抗している（図3-12）。

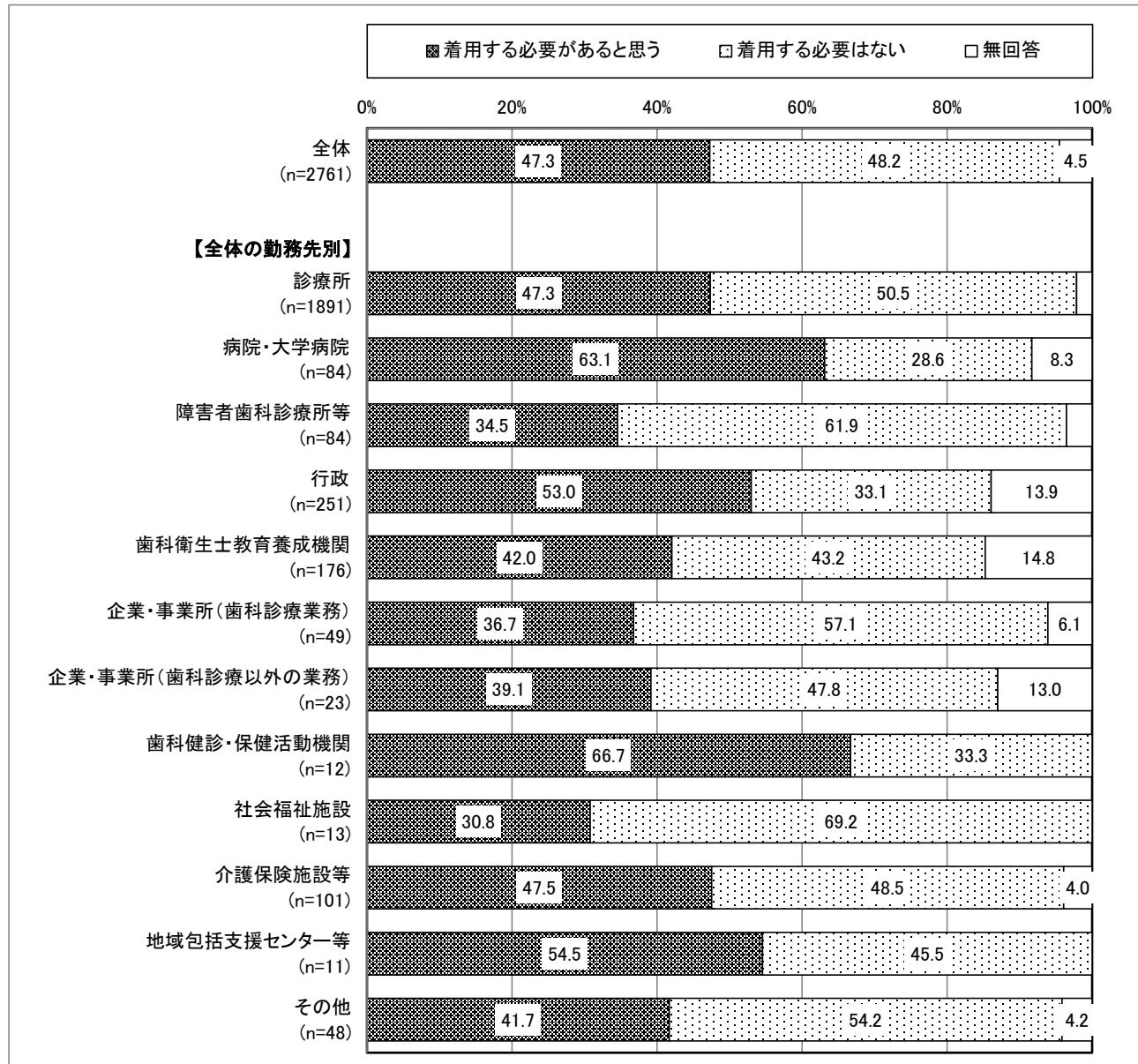


図3-12 今後ネームプレートをつける必要があるか

## 7. 給与の形態

給与の形態を全体でみると、「月給」が57.4%、「時間給」が31.8%、「日給」7.2%である。

就業状況別でみると、「常勤」では「月給制」が94.7%（前回94.2%）、「時間給」が2.9%、「日給」が1.3%。一方、「非常勤」では「時間給」が70.7%、「日給」が14.8%、「月給」が10.0%であり、「常勤」、「非常勤」とも、前回調査と比べてもほとんど変化はみられなかった。（図3-13）。

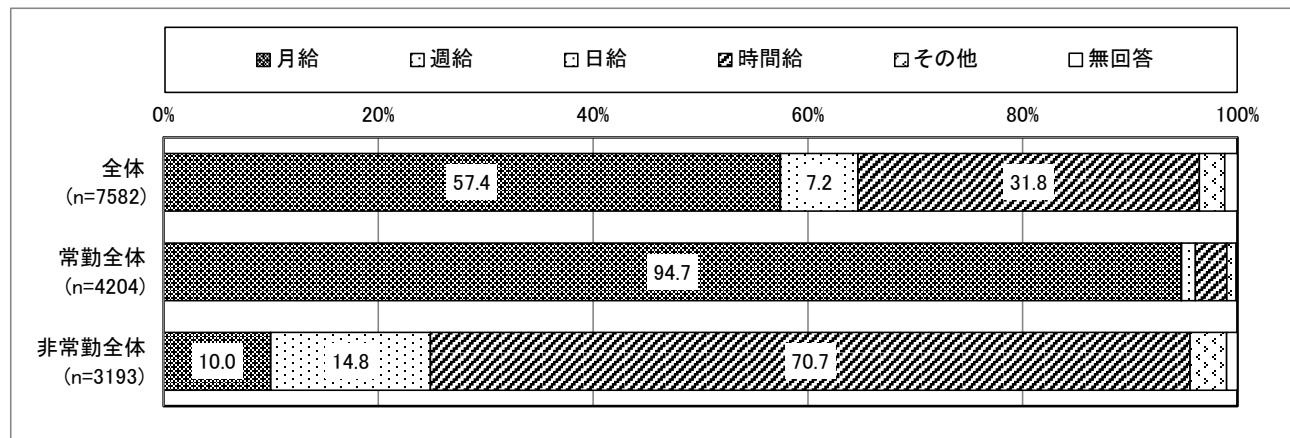


図3-13 給与の形態

## 8. 時給額（税込）

就業状況別で時給額（給与が時給の場合）をみると、「常勤」では「900円以上1,100円未満」が29.3%、「1,100円以上1,300円未満」が24.4%、「1,500円以上1,700円未満」が18.7%、「1,300円以上1,500円未満」が15.4%である。「非常勤」では「1,100円以上1,300円未満」が31.5%、「1,300円以上1,500円未満」が23.7%、「900円以上1,100円未満」が21.5%、「1,500円以上1,700円未満」が11.9%である（図3-14）。

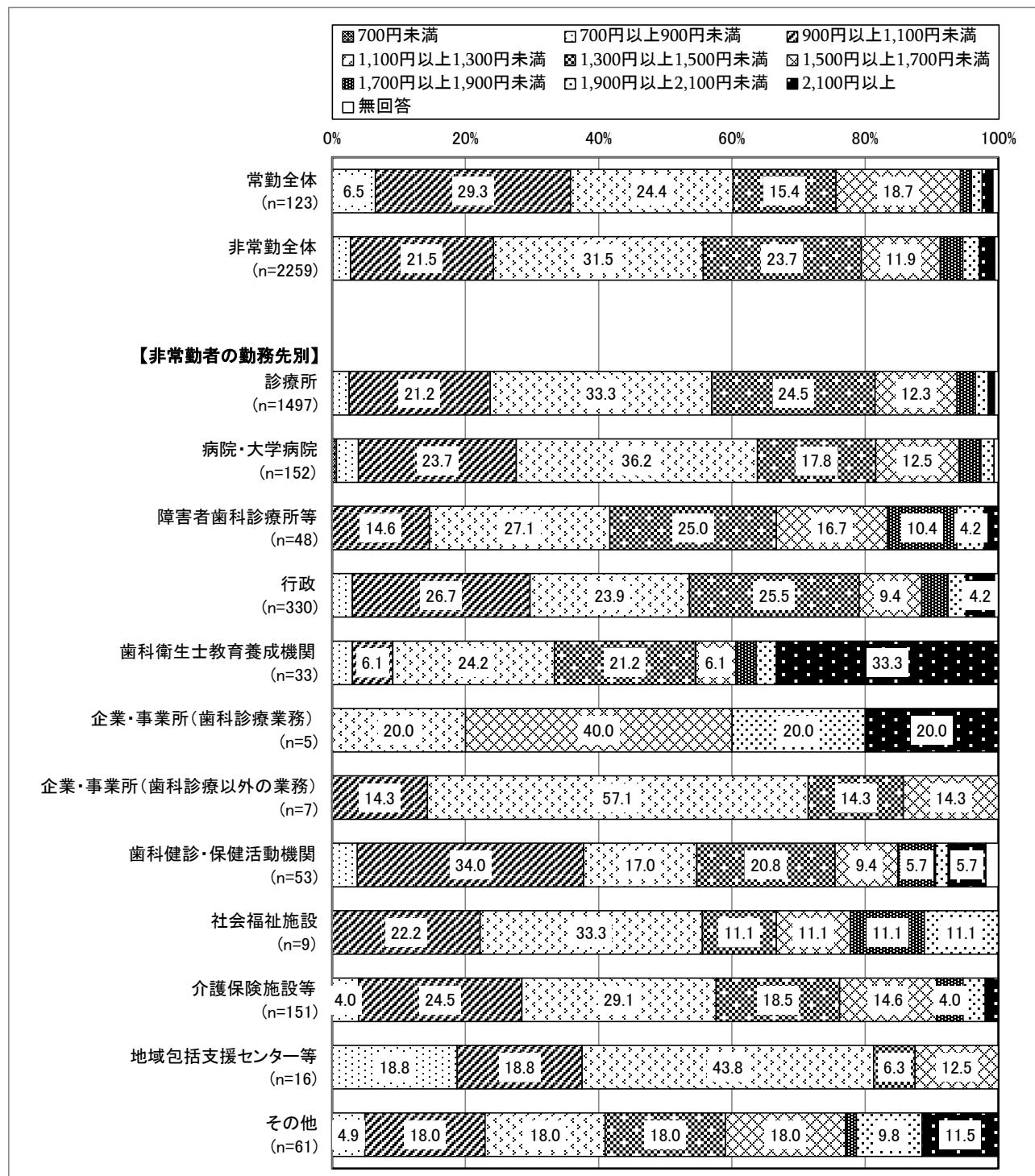


図3-14 時給額（給与が時給の場合・税込）

## 9. 全ての年収（税込）

就業状況別で主な勤務先での年収（税込）をみると、「常勤」では「200万円以上300万円未満」が34.2%、「300万円以上400万円未満」が28.3%、「400万円以上500万円未満」が12.9%、「130万円以上200万円未満」7.1%、「500万円以上600万円未満」、「600万円以上」がともに6.9%、「130万円未満」が1.2%である。一方、「非常勤」では「130万円未満」が61.5%、「130万円以上200万円未満」が16.8%、「200万円以上300万円未満」が14.6%であり、非常勤の年収が低い傾向にあるが、勤務時間が短いことも考えられる。（図3-15）。

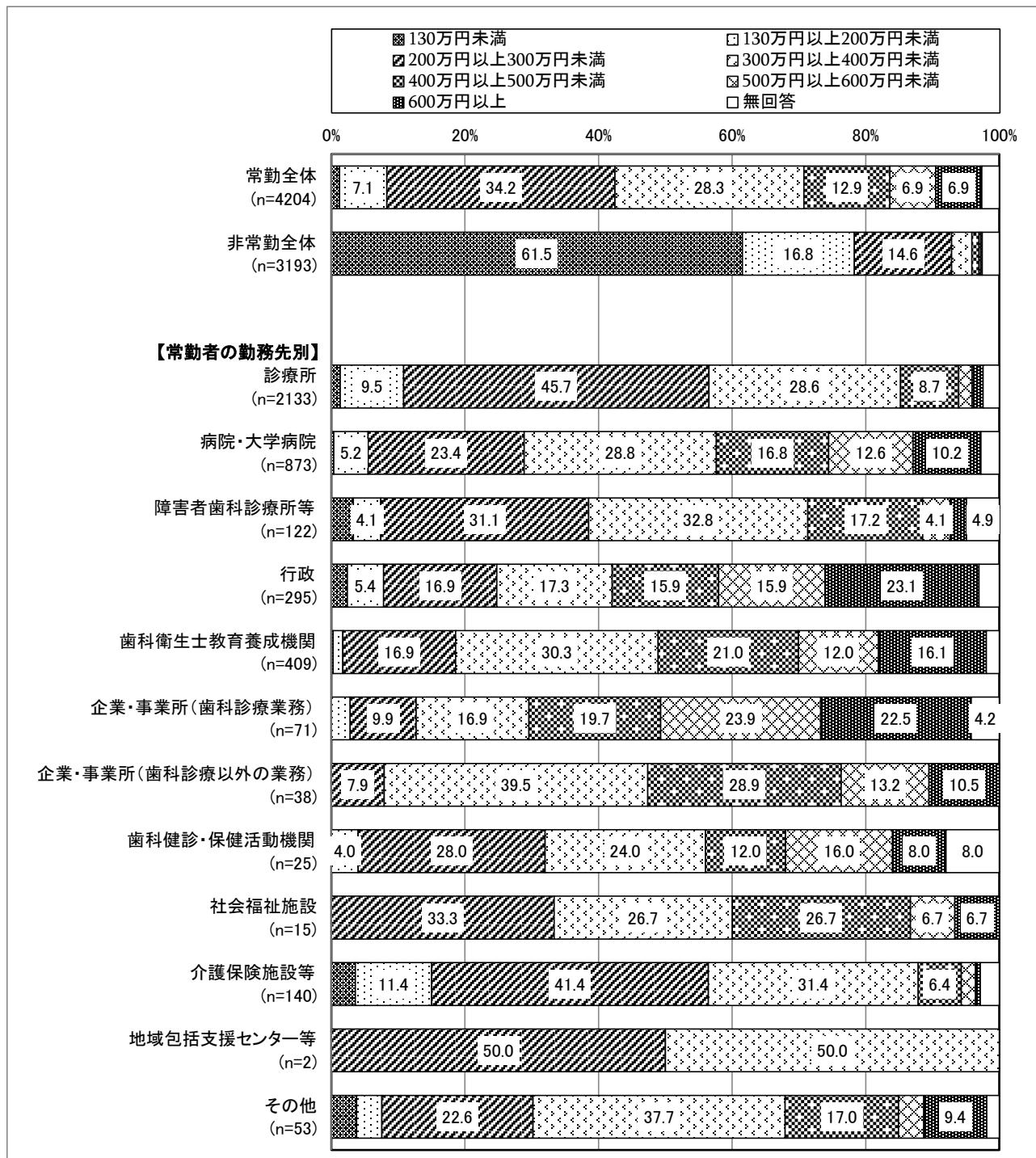


図3-15 全ての年収

## 10. 主な勤務先での年収（税込）

主な勤務先での年収を就業状況別でみると、「常勤」では「300万円以上400万円未満」が19.9%、「200万円以上300万円未満」が18.8%である。また、「非常勤」では「130万円未満」が54.7%、「130万円以上200万円未満」が9.8%である（図3-16）。

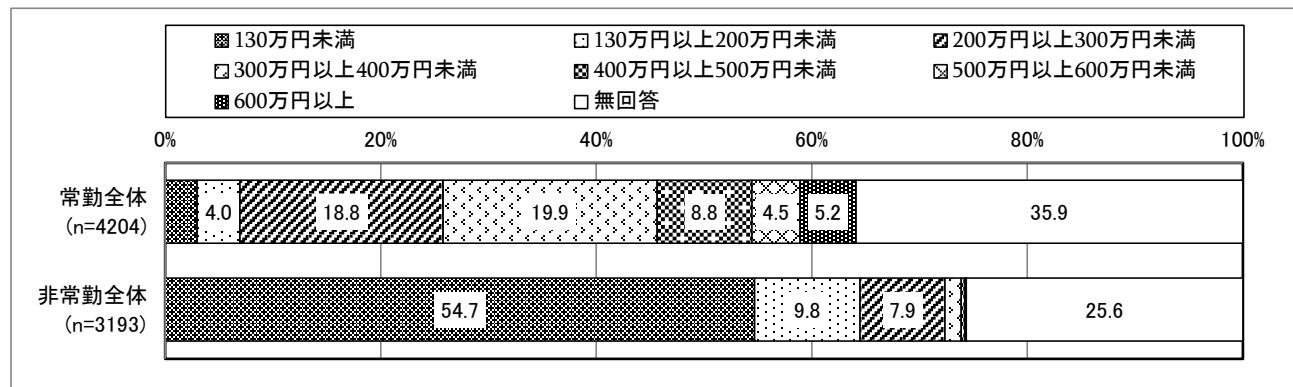


図3-16 主な勤務先での年収（税込）

## 1.1. 現在の給与に対する満足度

現在の給与に対する満足度を全体でみると、「満足」と「ある程度満足」の合計が68.4%、「不満」と「非常に不満」の合計が28.7%である。「常勤」のほうが「非常勤」より満足度はやや低い(図3-17)。

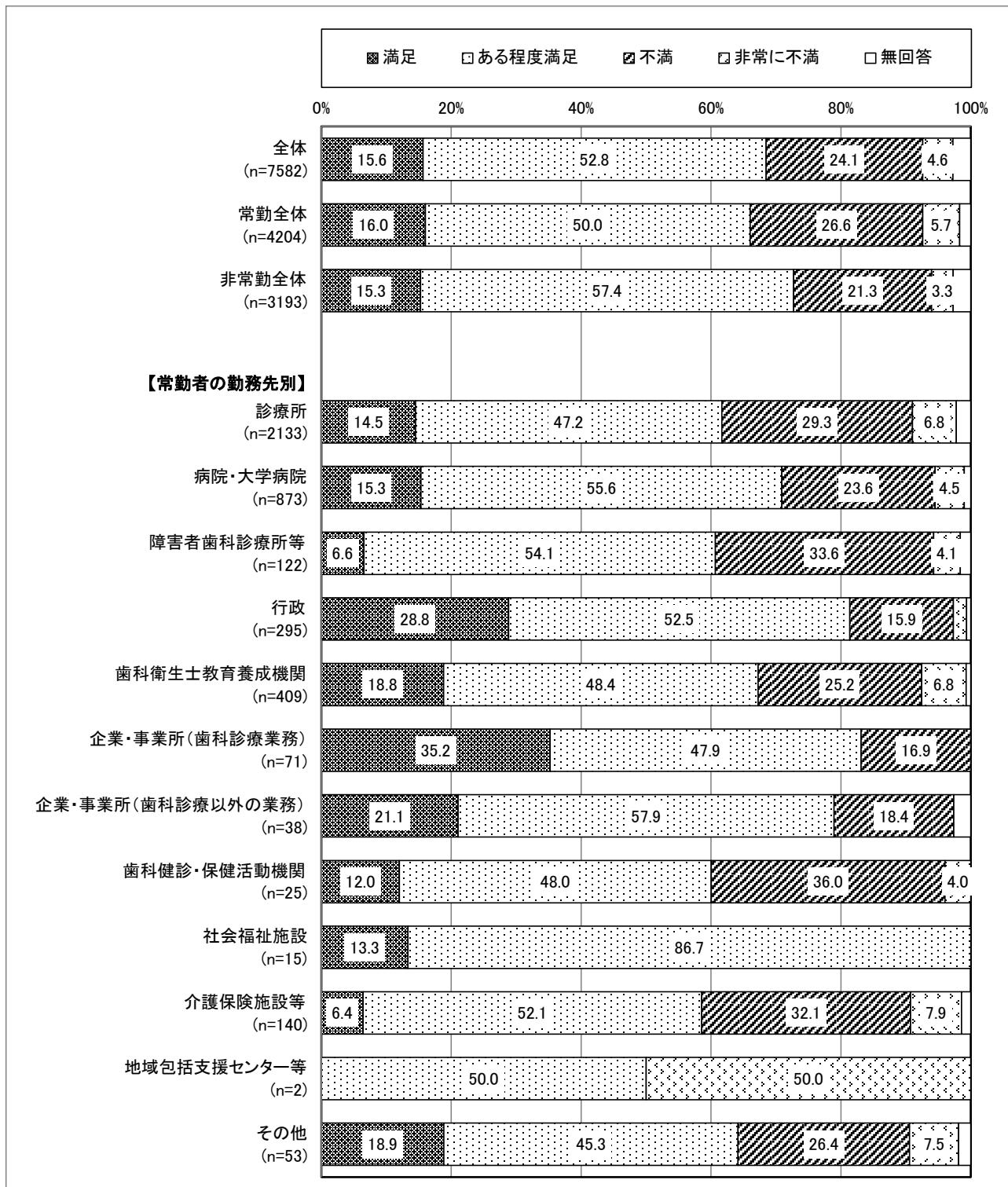


図3-17 現在の給与に対する満足度

## 12. 諸手当の有無とその内容

諸手当の有無を就業状況別で「ある」をみると、「常勤」が95.6%、「非常勤」が51.7%である。前回調査はそれぞれ94.9%と47.8%であり、わずかに増加した（図3-18）。

諸手当の内容をみると、「通勤手当」、「時間外手当」、「資格手当」、「皆勤手当」、「住宅手当」、「役付手当」の順で多かったが、「通勤手当」は就業状況別にかかわりなく、ほとんどの就業者に支給されている（図3-19、3-20）。また、諸手当のうち、「資格手当」、「皆勤手当」に関しては徐々に増加している。

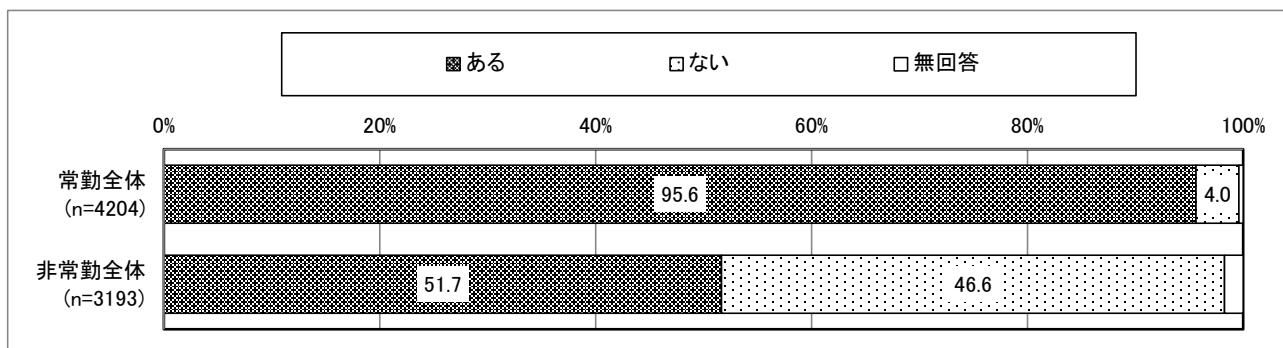


図3-18 諸手当の有無

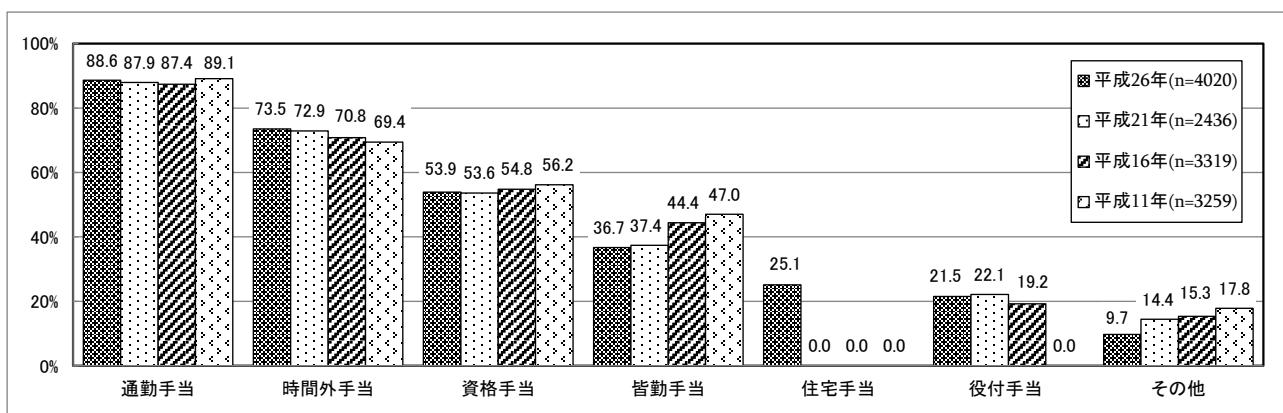


図3-19 諸手当の内容（常勤・複数回答）

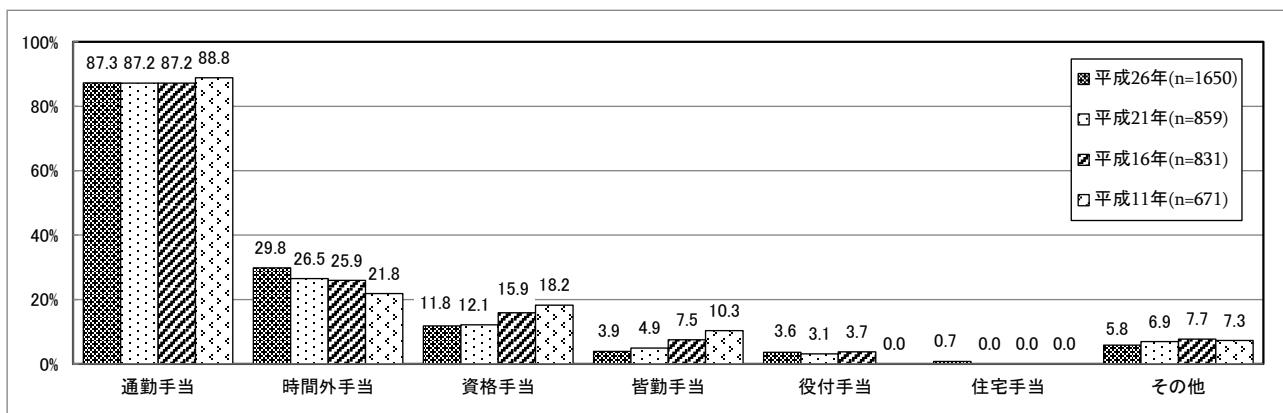


図3-20 諸手当の内容（非常勤・複数回答）

### 13. 退職金制度の有無

退職金制度の有無を全体でみると、「ある」が48.0%、「ない」が48.5%である。

就業状況別で「ある」をみると、「常勤」が78.2%で、前回調査の78.6%と比べて変化はない。

また、「非常勤」が9.4%で、前回調査の8.5%から微増している（図3-21）。

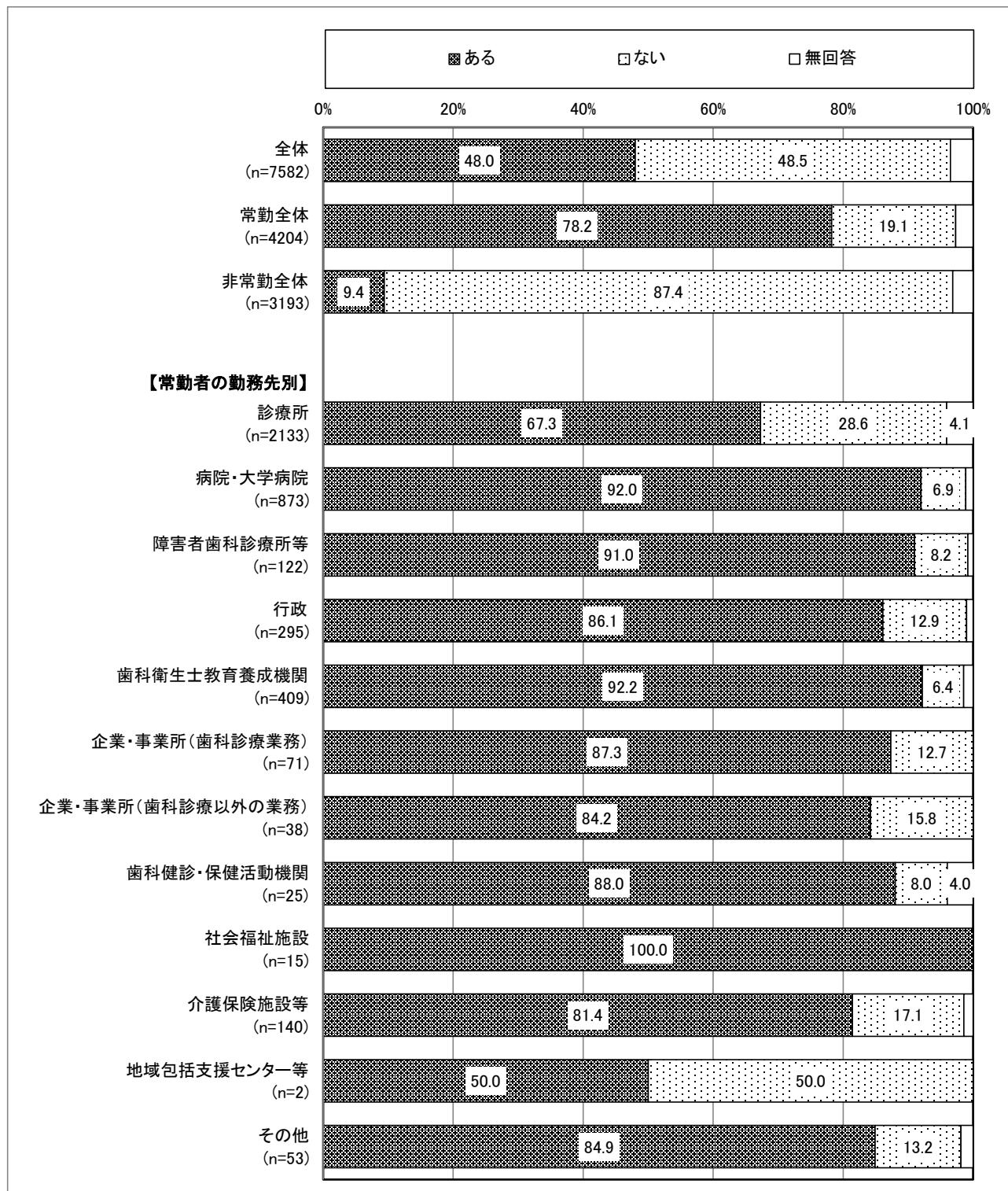


図3-21 退職金制度の有無

## 14. 公的な健康保険への加入の有無とその内容

公的な健康保険への加入の有無を全体でみると、「被保険者の本人となっている」が 68.8%、「被保険者の扶養家族になっている」が 26.8%であり、合計 95.6%の者が被保険者か被扶養者で加入している。

就業状況別でみると、「常勤」が 96.8%（前回 95.6%）で「被保険者の本人となっている」と回答しており、ごくわずかではあるが多くなっている。また、「非常勤」では「被保険者の扶養家族になっている」が 58.6%（前回 63.8%）で、5.2%減少し、「加入していない」が 6.7%である（図 3-22）。

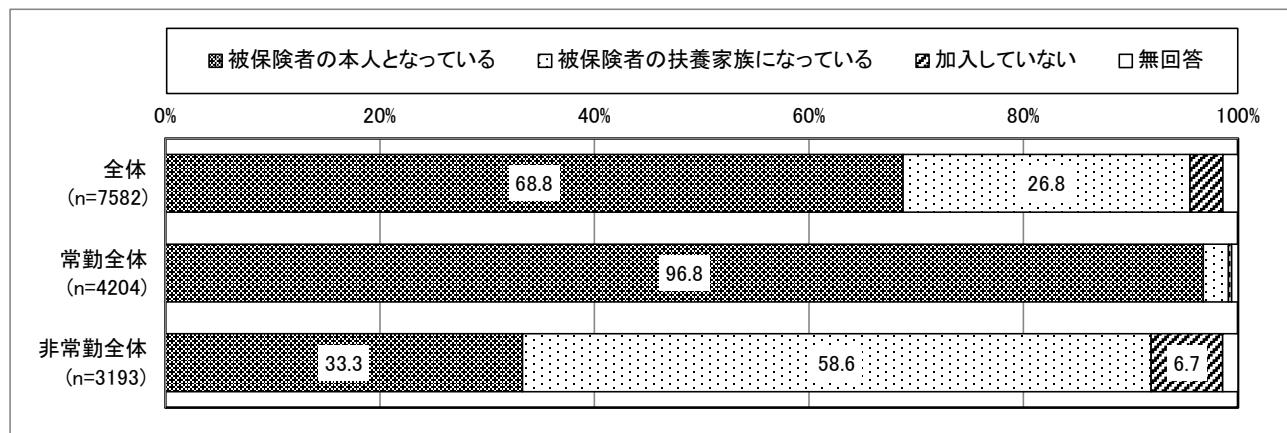


図 3-22 公的な健康保険への加入の有無

就業状況別で加入している健康保険の種類とその割合をみると、「常勤」では「歯科医師国保」、「共済組合健康保険」、「協会けんぽ」、「健保組合健康保険」、「国民健康保険（勤務先負担有）」、「国民健康保険（勤務先負担無）」の順で多い。一方、「非常勤」では「国民健康保険（勤務先負担無）」が最も多く、次いで「歯科医師国保」、「協会けんぽ」の順になっている（図 3-23、3-24）。

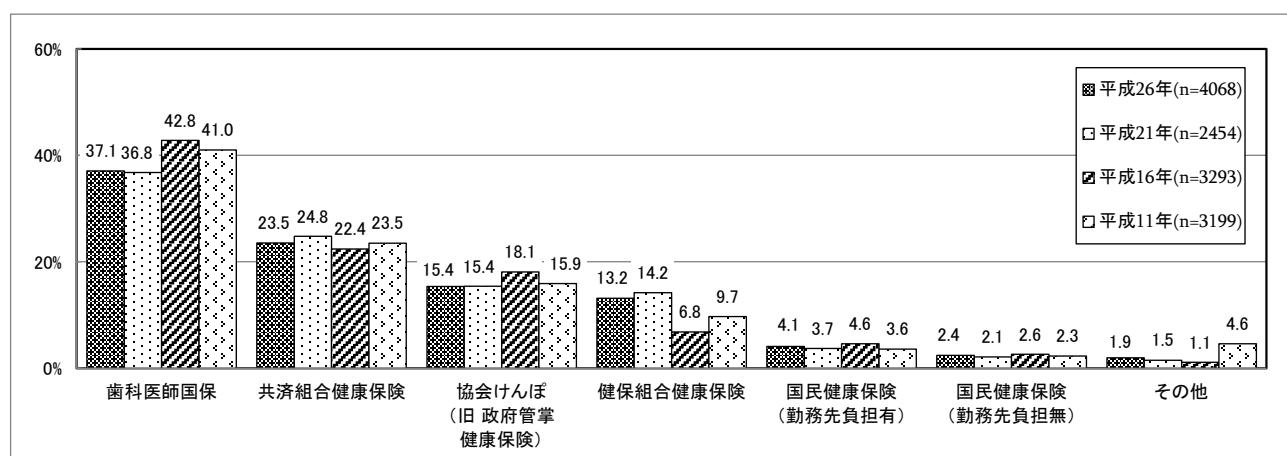


図 3-23 健康保険の種類（常勤）

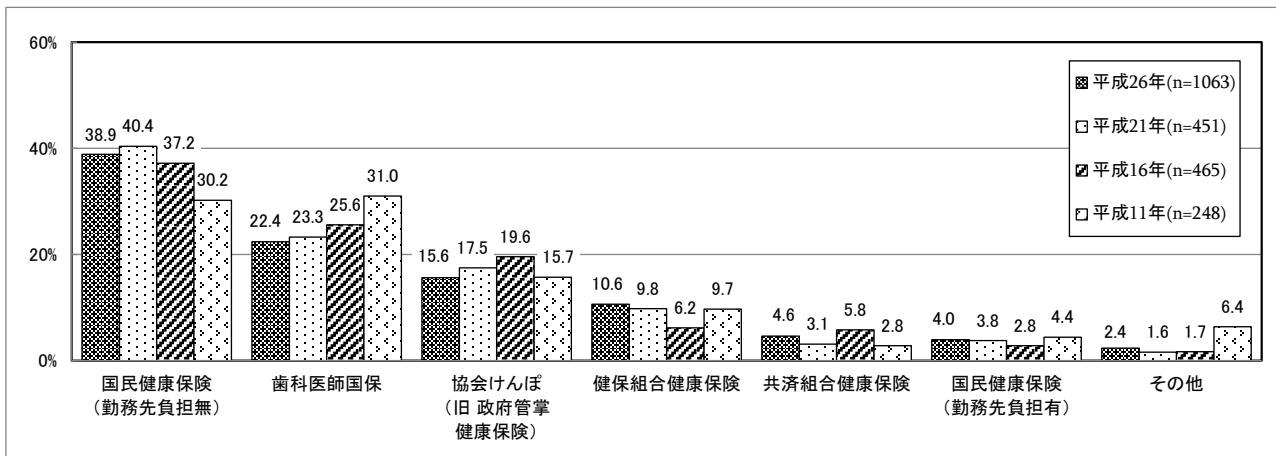


図3-24 健康保険の種類（非常勤）

### 15. 年金への加入の有無とその内容、種類

年金への加入の有無を全体でみると、「本人が年金制度に加入している」が 74.5%で、前回調査の 70.4%より増加し、「配偶者の年金制度に加入している」が 21.9%、「加入していない」が 2.1%である。

就業状況別で年金への加入の有無をみると、「常勤」では「本人が年金制度に加入している」が 97.9%で、前回調査の 96.3%よりわずかではあるが増加している。「非常勤」では「配偶者の年金制度に加入している」が 50.0%で、前回調査の 56.1%よりも減少している。また「非常勤」で「加入していない」が 3.7%であり、前回調査の 3.2%と比較するとやや増加している（図3-25）。

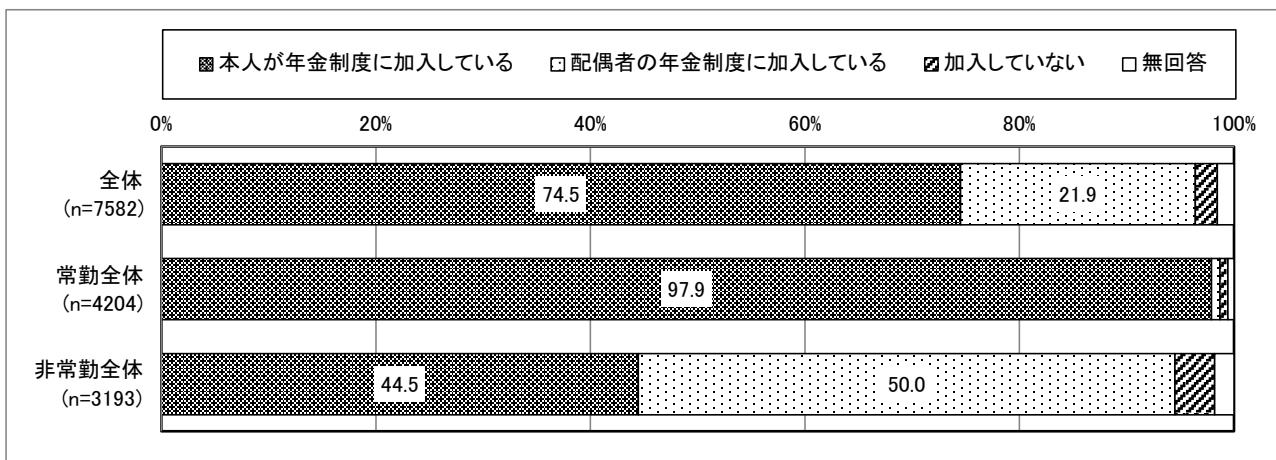


図3-25 年金への加入の有無

年金の種類とその割合を多い順に「常勤」でみると、前回調査同様、「厚生年金」、「国民年金（勤務先負担無）」、「共済年金」、「個人年金（民間含）」、「国民年金（勤務先負担有）」の順であり、最も多いのが「厚生年金」で54.5%（前回50.3%）である。一方、「非常勤」では前回調査同様、「国民年金（勤務先負担無）」が53.9%（前回62.5%）で最も多い（図3-26、3-27）。

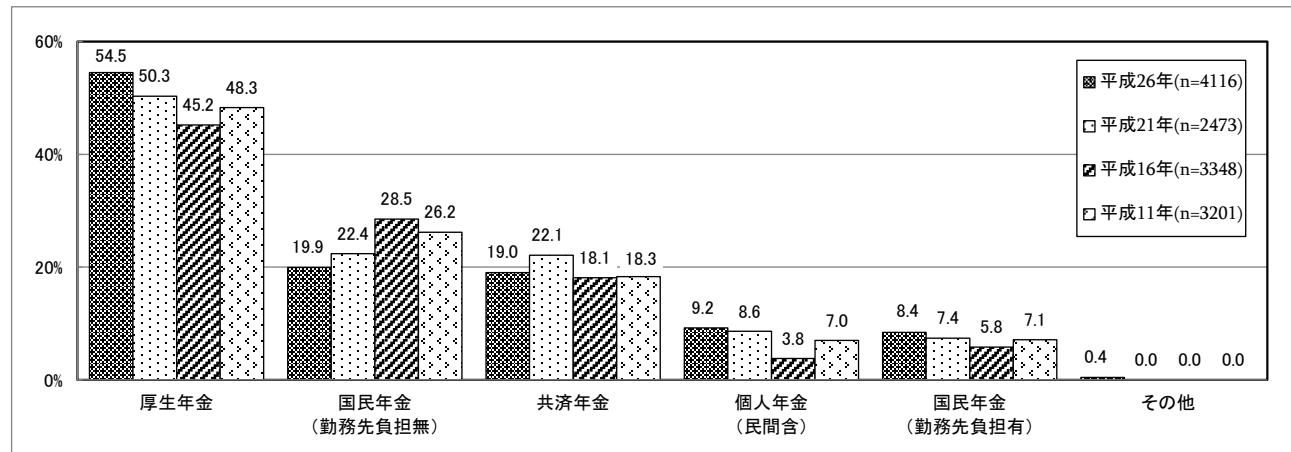


図3-26 年金の種類（常勤・複数回答）

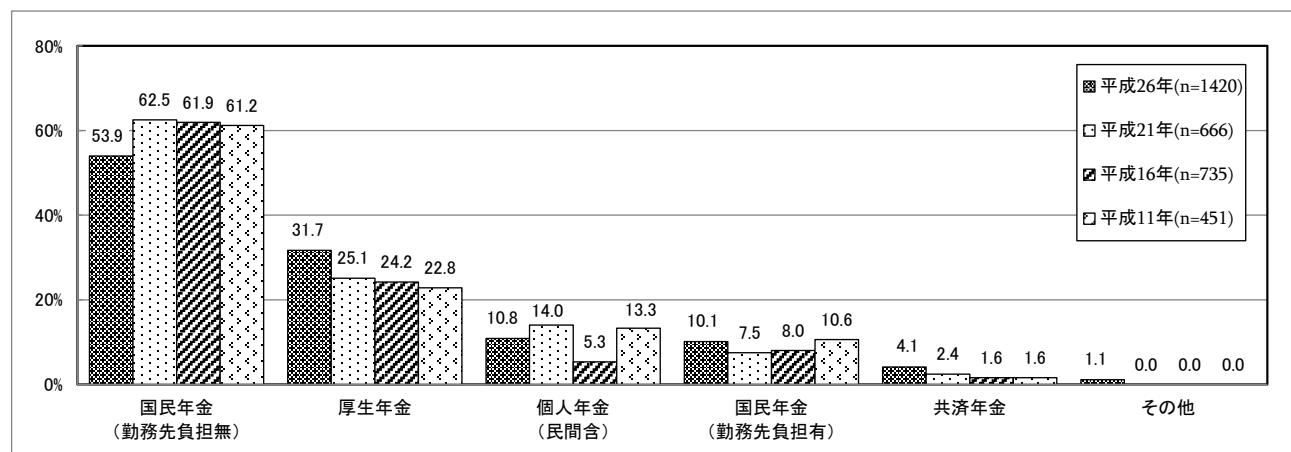


図3-27 年金の種類（非常勤・複数回答）

## 16. 雇用保険の加入の有無

雇用保険の加入の有無を全体でみると、「加入している」が 63.3%（前回 57.5%）、「加入していない」が 34.5%（前回 38.8%）である。

就業状況別で「加入している」をみると、「常勤」が 89.1%（前回 84.5%）で、前回調査に比べ 4.6% の増加であり、「非常勤」が 31.1%（前回 23.4%）で、7.7% 増加している（図 3-28）。

のことから、「常勤」「非常勤」に関わらず、社会保障への対応状況に変化がみられる。

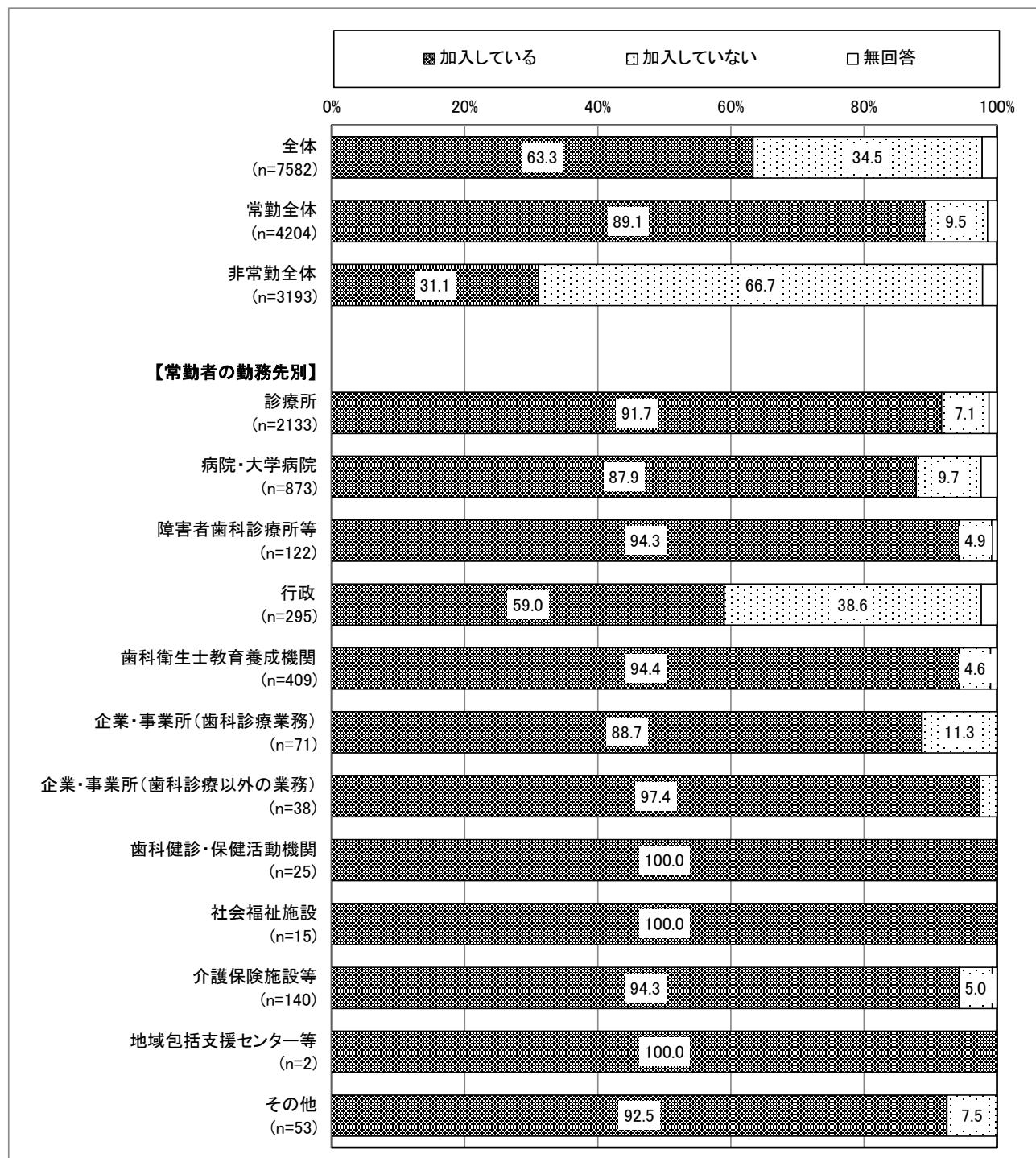


図 3－28 雇用保険の加入の有無

## 17. 労災保険の加入の有無

労災保険の加入の有無を全体でみると、「加入している」が 46.6%（前回 39.9%）、「加入していない」が 49.1%（前回 54.3%）である。

就業状況別で「加入している」をみると、「常勤」が 67.2%（前回 60.6%）、前回調査と比較すると、6.6%の増加であり、「非常勤」が 20.5%（前回 13.9%）であり、6.6%の増加である（図 3-29）。

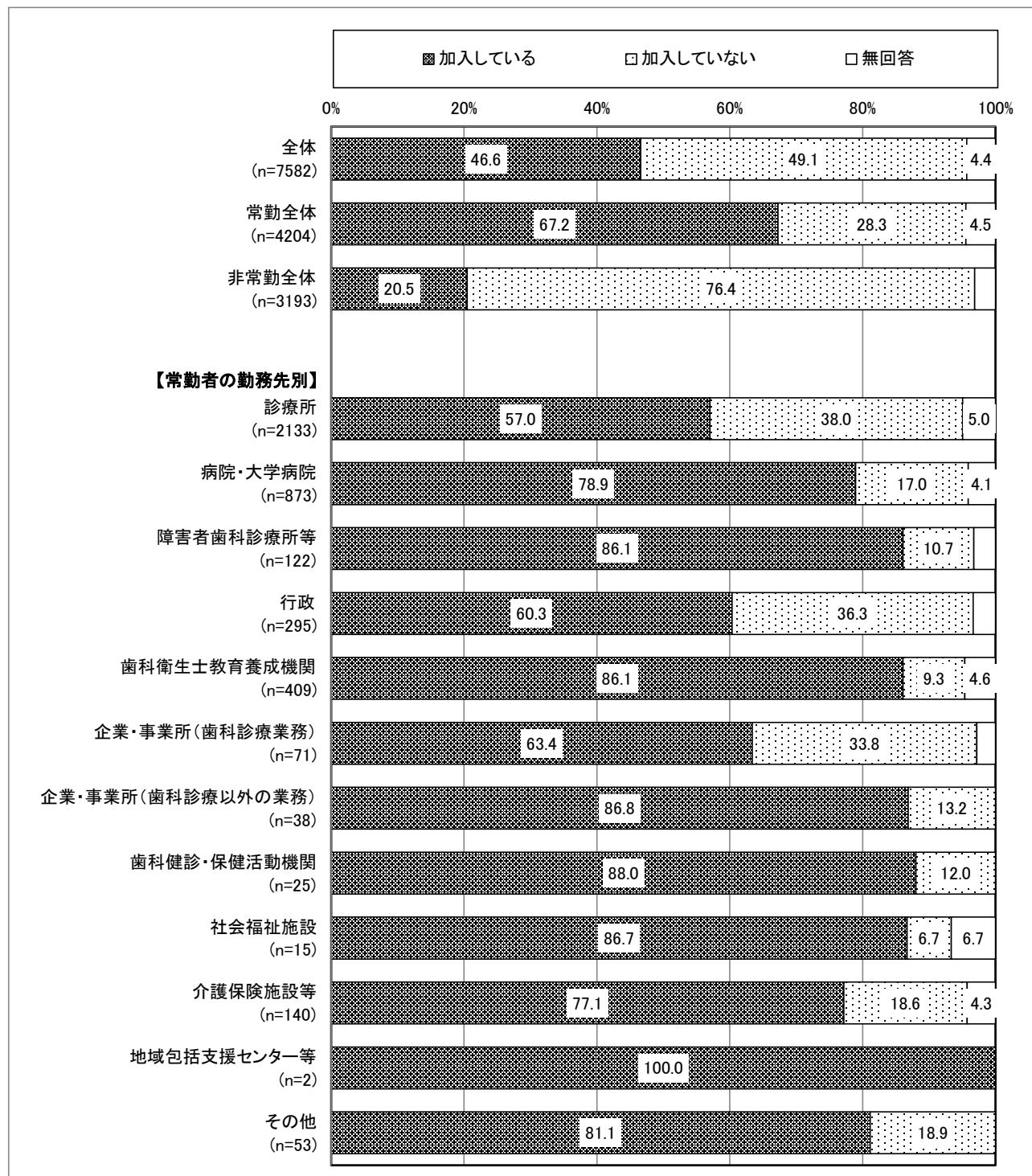


図 3-29 労災保険の加入の有無

## 18. 歯科衛生士賠償責任保険の加入の有無

歯科衛生士賠償責任保険の加入の有無を全体でみると、「加入している」が 15.5%（前回 13.0%）、「加入していない」が 81.3%（前回 82.3%）である。

就業状況別でみると、「常勤」、「非常勤」ともにほとんど変わりない傾向である。

常勤者の勤務先別で「加入している」をみると、サンプル数が少ないところを除き、「病院・大学病院」が 27.1%、「障害者歯科診療所等」が 23.0%、「歯科衛生士教育養成機関」が 14.2%、「介護保険施設等」が 13.6%、「診療所」が 11.9%、「行政」が 4.7%である（図 3-30）。

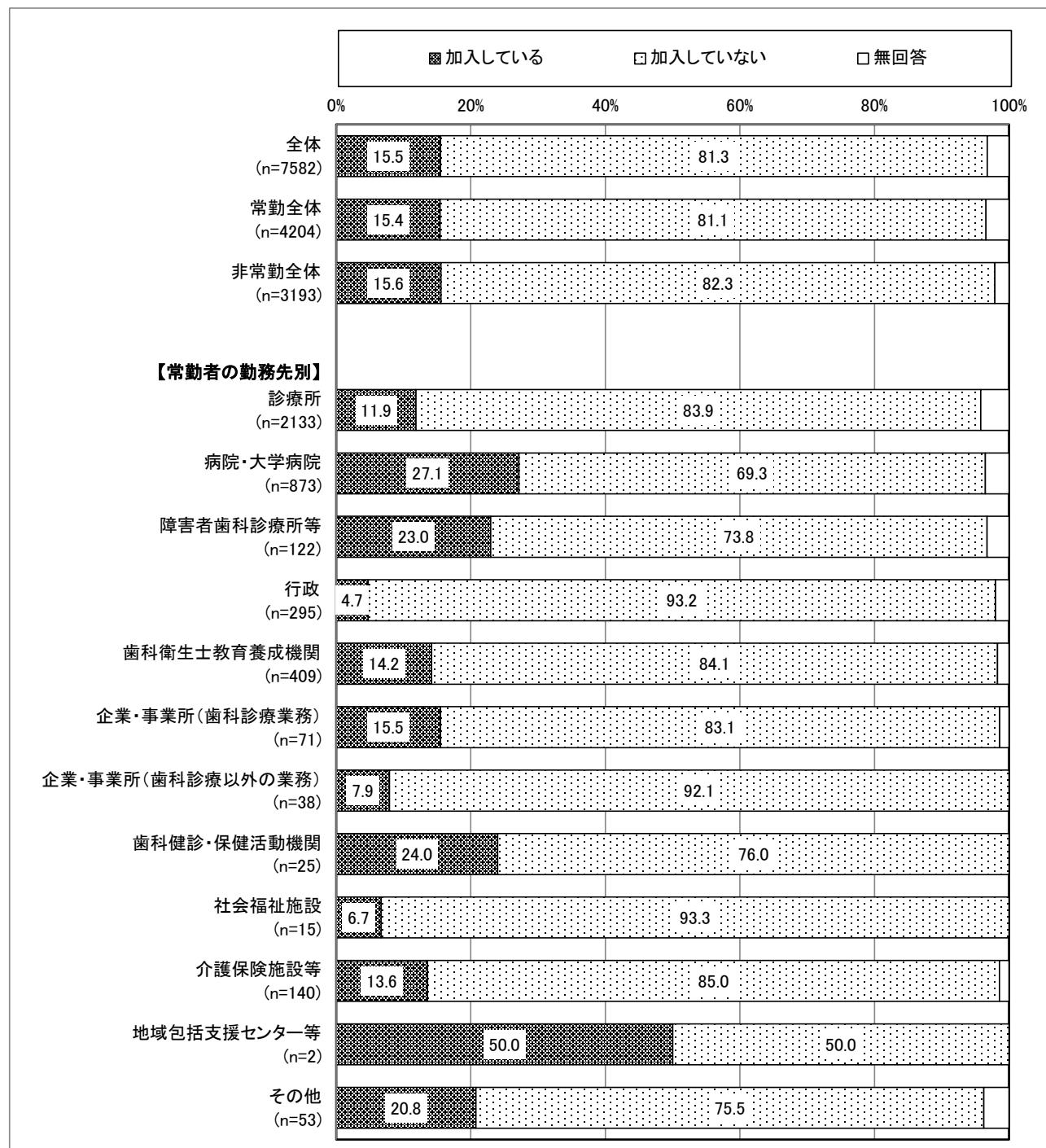


図 3-30 歯科衛生士賠償責任保険の加入の有無

## 19. 定期健康診断の受診の有無

定期健康診断の受診の有無を全体でみると、職場からの「全額負担で受けている」と「一部負担で受けている」の合計が 63.6%（前回 58.5%）、「受けていない」が 35.0%（前回 38.9%）である。そのうち「全額負担で受けている」が 52.2%（前回 48.2%）、「一部負担で受けている」が 11.4%（前回 10.3%）である。

就業状況別でみると、「常勤」では「全額負担で受けている」が 71.5%（前回 66.7%）、「一部負担で受けている」が 15.0%（前回 14.3%）、「受けていない」が 12.9%（前回 17.3%）である。一方、「非常勤」では「全額負担で受けている」が 28.1%（前回 25.1%）、「一部負担で受けている」が 6.7%（前回 5.5%）、「受けていない」が 63.6%（前回 66.8%）である。

常勤者の勤務先別でみると、「診療所」では、他の勤務先と比べて定期健康診断を受けていない者が多く、「受けっていない」が 23.6%である（図 3-31）。

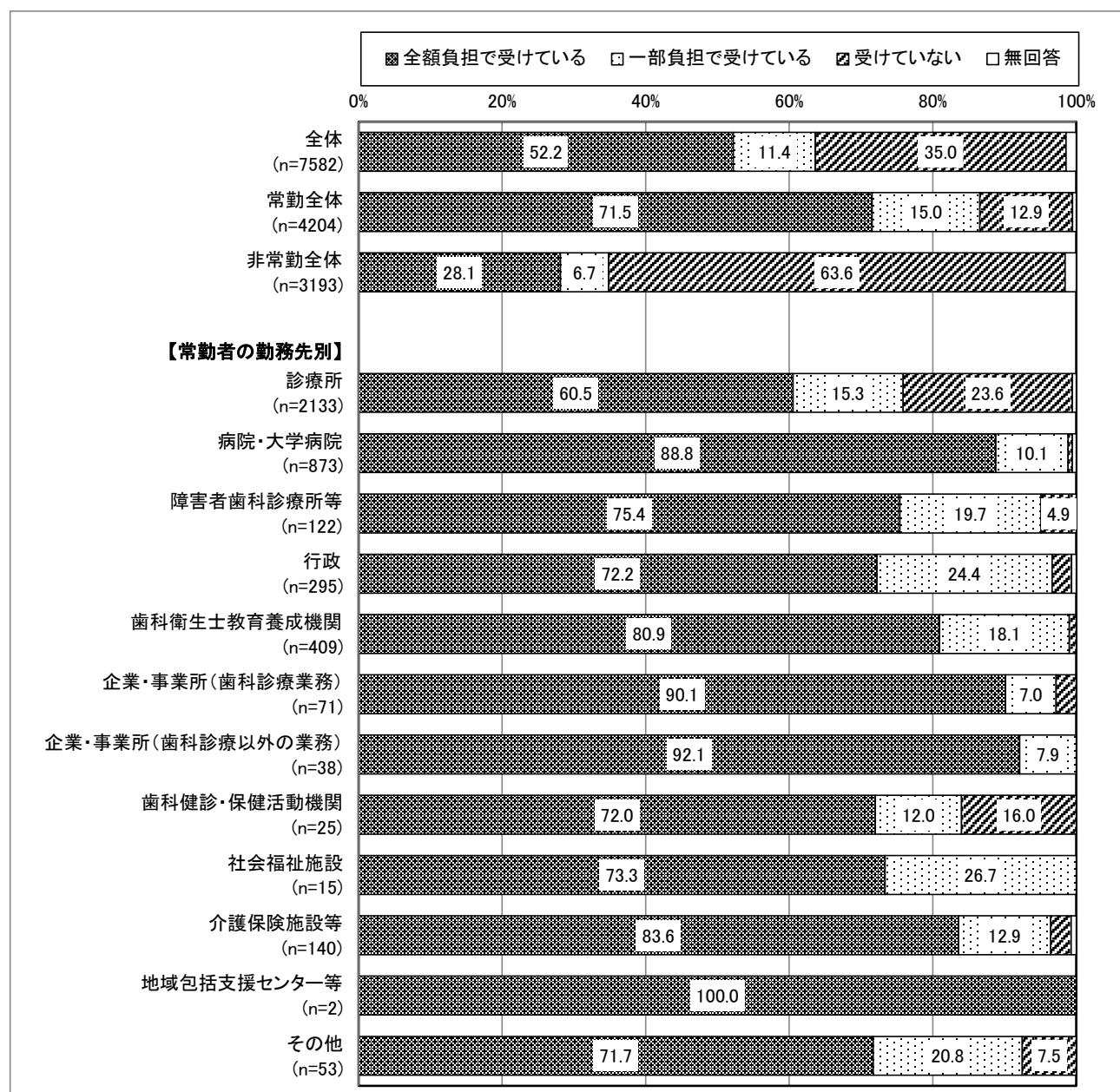


図 3－31 定期健康診断の受診の有無

## 20. 職場以外での定期健康診断受診の有無

職場で定期健康診断を受けていない者が、職場以外で定期健康診断受診状況を全体でみると、「受けていない」が26.5%（前回31.6%）、「自費で受けている」が47.0%（前回46.1%）である。

就業状況別でみると、「常勤」では「受けていない」が49.8%（前回52.8%）である。

常勤者の勤務先別で「受けていない」をみると、「診療所」が50.5%（前回53.7%）である（図3-32）。

※診療所以外の勤務先については、サンプル数が少ないので割愛した。

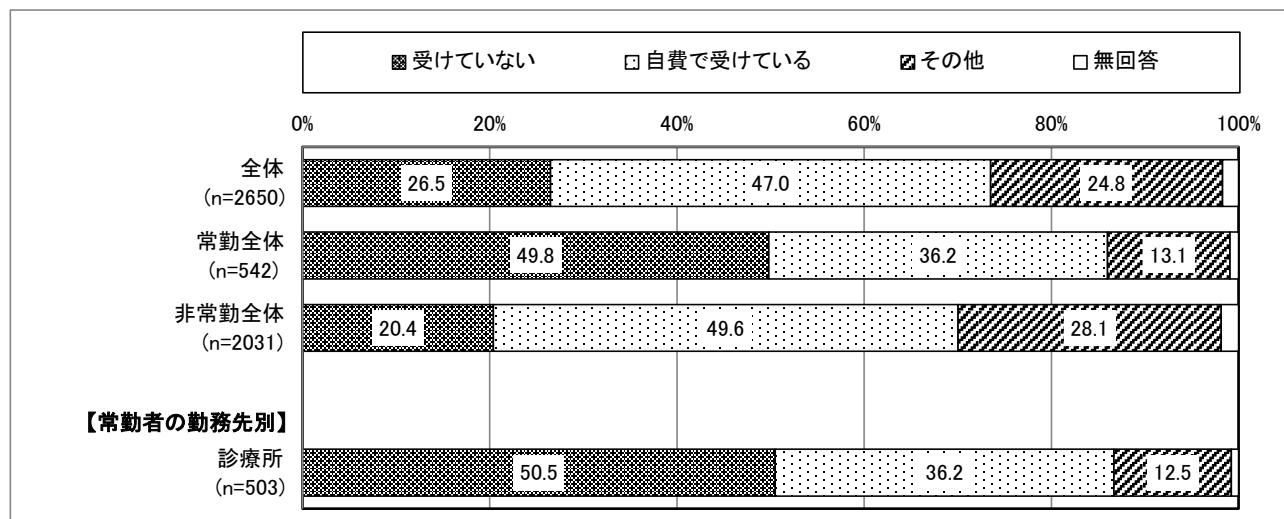


図3-32 職場以外での定期健康診断受診の有無

## 21. 職場における各種の抗体検査受診状況

職場における各種の抗体検査受診は、「B型肝炎」が47.2%（前回45.0%）、「C型肝炎」が29.2%（前回24.6%）、「結核」が20.8%（前回なし）、「HIV」が9.4%（前回6.0%）である。一方、「抗体検査を受けていない」は41.7%（前回48.2%）である（図3-33）。

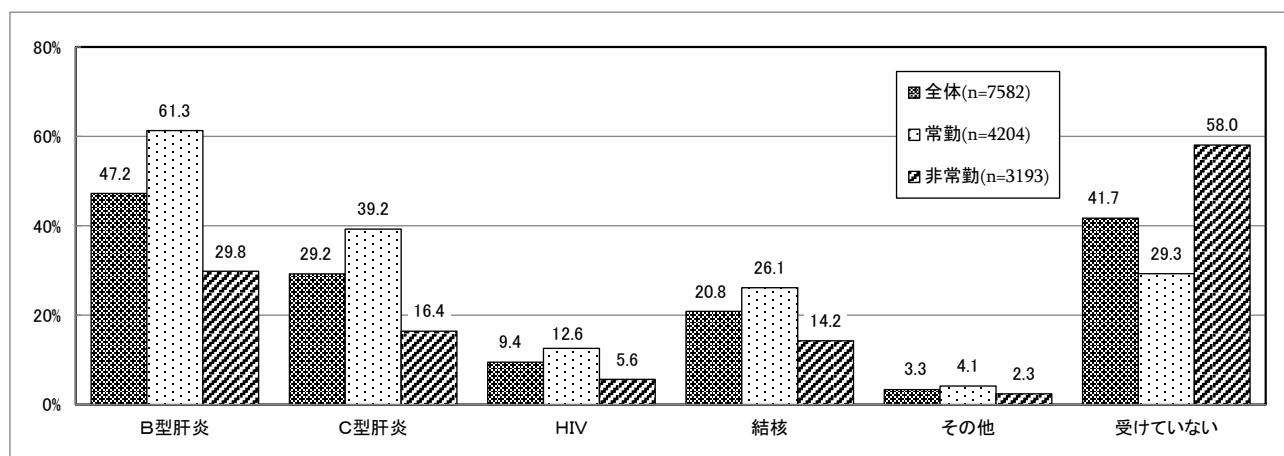


図3-33 職場における各種の抗体検査受診状況（複数回答）

## IV. 職場環境・職務

### 1. 仕事のやりがい

仕事のやりがいを全体でみると、「ある程度感じている」が 67.6%（前回 67.7%）、「非常に感じている」が 21.1%（前回 19.9%）である。「非常に感じている」と「ある程度感じている」を合計した 88.7%（前回 87.6%）の者がやりがいを感じている。一方、「あまり感じていない」は 9.0%（前回 10.0%）、「全く感じていない」が 0.8%（前回 0.9%）である。「あまり感じていない」と「全く感じていない」を合計した 9.8%（前回 10.9%）の者がやりがいを感じていない。

就業状況別でみると、「常勤」では「非常に感じている」と「ある程度感じている」の合計が 88.3%（前回 86.6%）、「非常勤」では「非常に感じている」と「ある程度感じている」の合計が 90.0%（前回 89.3%）である。今回も前回調査同様に、「常勤」よりも「非常勤」のほうがやや高い割合を示している。しかし、「非常に感じている」と回答した者は、「常勤」のほうがわずかではあるが「非常勤」よりも多い。

常勤の勤務先別でみると、いずれも「やりがいを感じている」が 8 割以上である（図 4-1）。

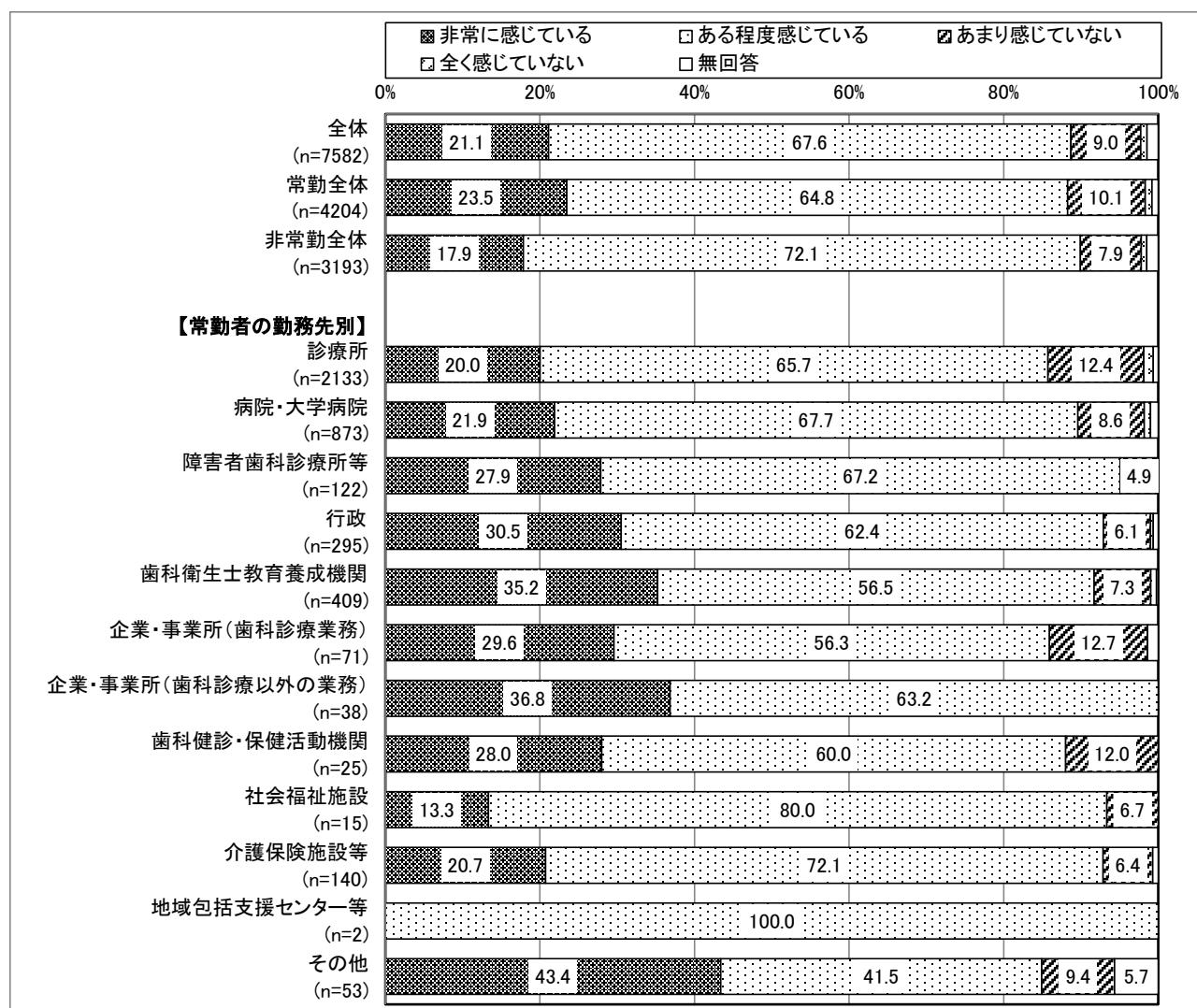


図 4-1 仕事のやりがい

## 2. 歯科衛生士の仕事の魅力

歯科衛生士の仕事の魅力を全体でみると、「国家資格であり一生続けられる」が 66.9%、「専門性の高い仕事である」が 62.6%、「人や社会に貢献できる」が 51.2%、「人に直接関われる・手助けできる」が 47.9%、「人の命や健康を守る仕事である」が 41.1%、「転職・就職に困らない」が 32.6%、「女性として働きやすい」が 24.5%、「収入が安定している」が 15.6%である（図 4-2）。

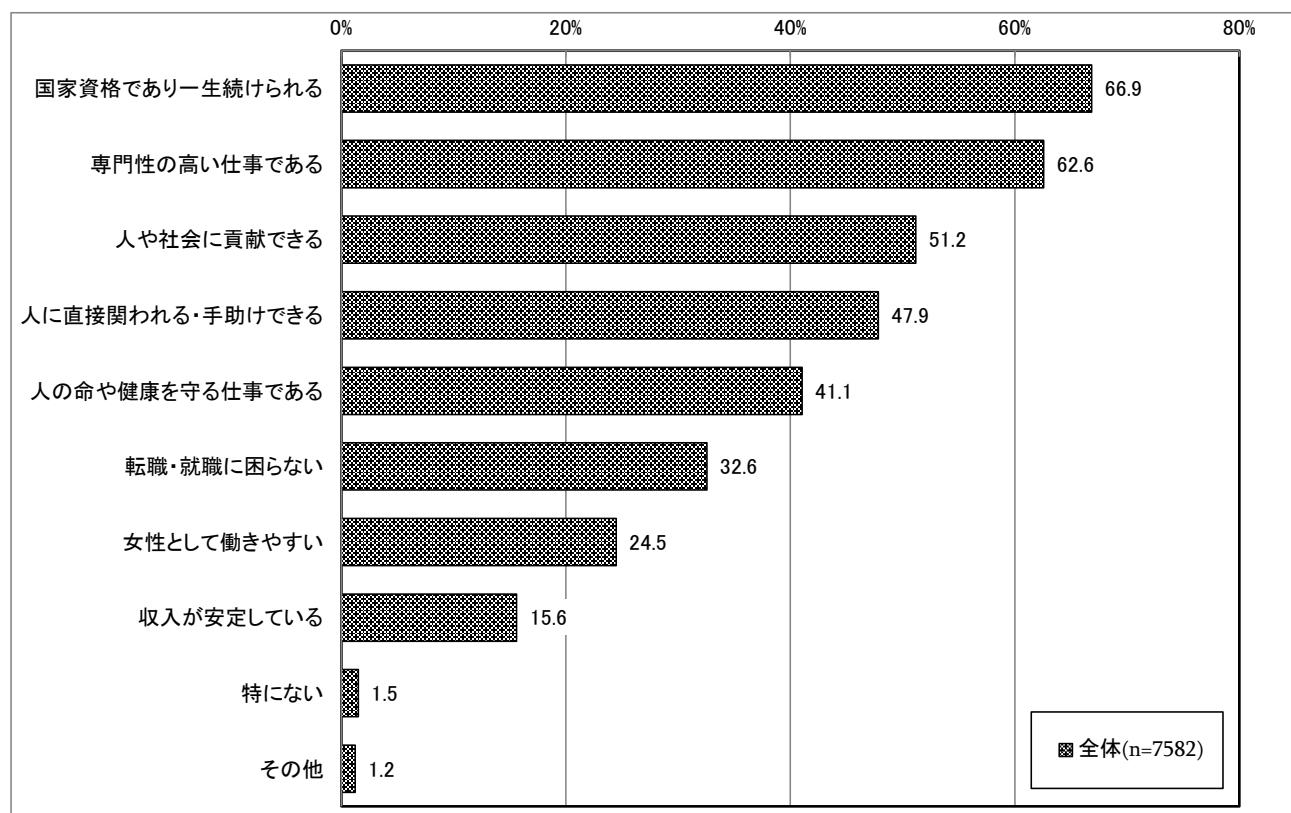


図 4-2 歯科衛生士の仕事の魅力 (複数回答)

### 3. 現在の職場に改善してほしいこと

#### ①改善してほしいこと

現在の職場に改善してほしいことを全体でみると、「待遇改善」が48.7%、「専門性・資格等の評価」が26.4%、「教育研修等・レベルアップの機会の充実」が23.1%、「休暇の取得」が22.4%、「福利厚生の充実」が19.7%、「業務量の軽減」が19.6%、「職場での人間関係の改善」が18.4%、「労働時間の短縮」が14.2%、「医療安全体制の充実」が13.8%、「雇用の安定性の確保」が11.8%、「子育て支援の充実」が11.5%、「多様な勤務形態・勤務時間の導入」が9.0%、「特にない」が12.7%である（図4-3）。

結果としては、「給与アップ」が半数近くの割合を占めている。

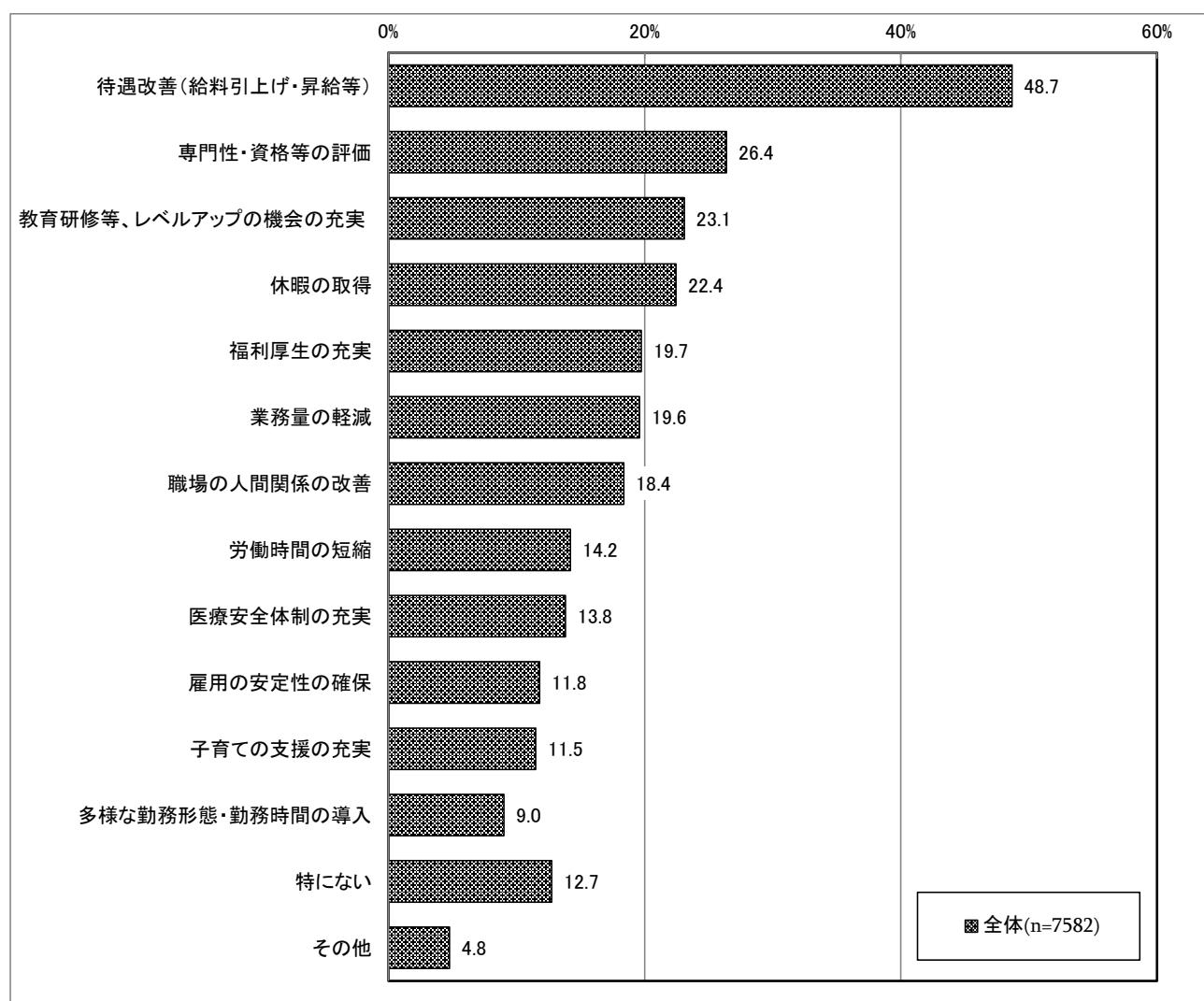


図4-3 改善してほしいこと（複数回答）

## ②最も改善してほしいこと

現在の職場に最も改善してほしいことを全体でみると、「待遇改善」が27.7%、「専門性・資格等の評価」が8.2%、「職場での人間関係の改善」が6.9%、「業務量の軽減」が6.7%、「教育研修等・レベルアップの機会の充実」が6.3%、「休暇の取得」が5.3%、「雇用の安定性の確保」が3.9%、「労働時間の短縮」が3.8%、「福利厚生の充実」が3.7%、「子育て支援の充実」が2.4%、「医療安全体制の充実」が2.3%、「多様な勤務形態・勤務時間の導入」が1.5%、「特ない」が18.1%である（図4-4）。

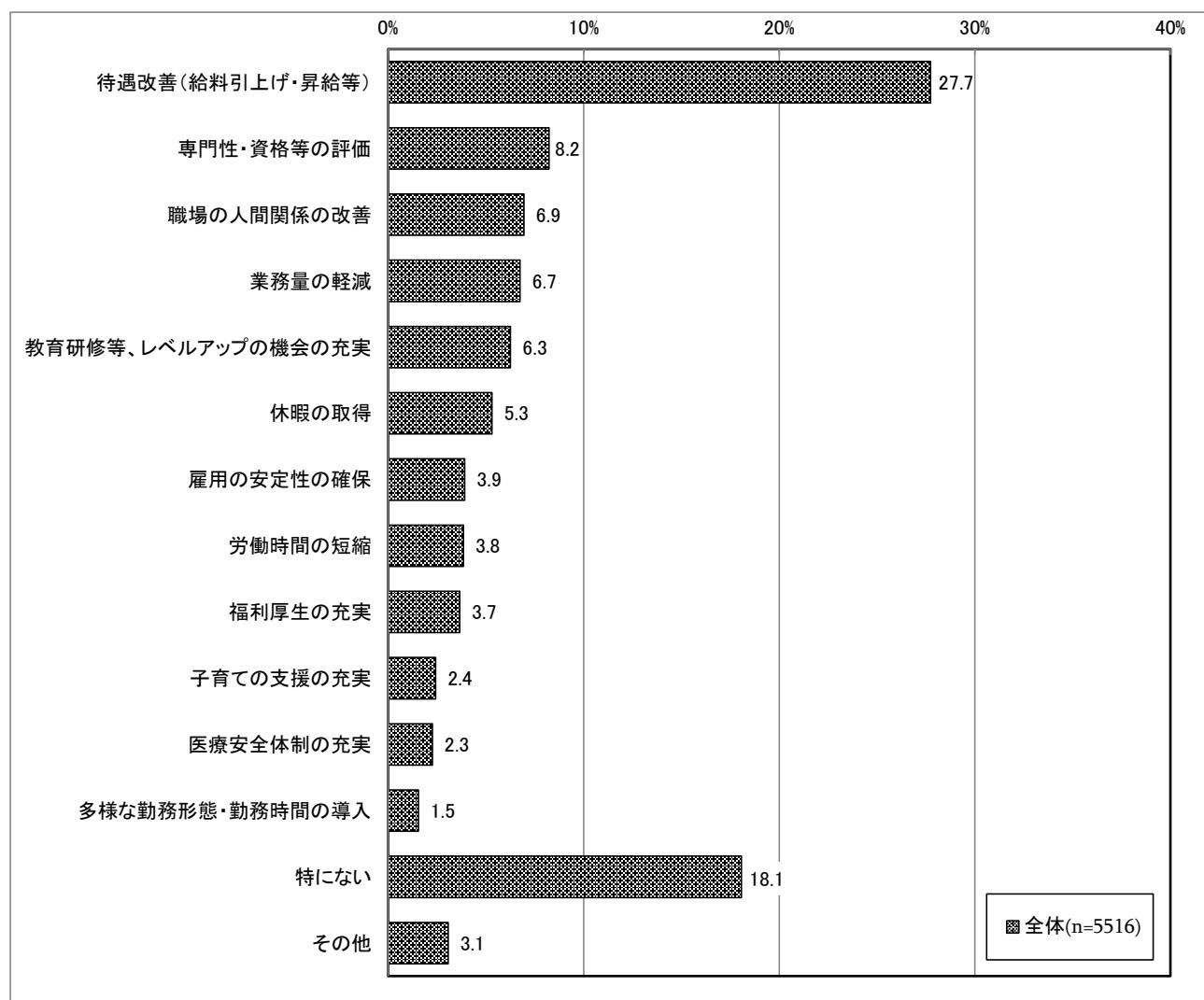


図4－4 最も改善してほしいこと

#### 4. 勤務先の変更経験

勤務先の変更経験を全体でみると、「勤務先を変わったことはない」が24.3%（前回25.4%）で、前回調査と比較すると、1.1%減少している。一方、「1回ある」と「2回ある」と「3回ある」と「4回以上ある」の合計は74.4%（前回72.2%）で、前回調査と比較すると、2.1%増加している。変わったことがある者の中で、最も多かったのは「1回ある」が24.3%（前回26.0%）で、前回調査とほとんど変わっていない。次いで、「2回ある」が18.9%（前回18.4%）、「4回以上ある」が15.7%（前回13.8%）、「3回ある」が15.5%（前回14.0%）の順でいずれも前回調査より若干の増加傾向がうかがえる。

就業状況別でみると、「常勤」では「変わったことがない」が36.4%（前回37.6%）、「1回ある」が23.2%（前回25.0%）、「2回ある」が15.5%（前回14.7%）、「4回以上ある」が12.8%（前回10.2%）、「3回ある」が11.7%（前回10.8%）である。「非常勤」では「変わったことがない」が8.8%（前回9.6%）、「1回ある」が25.9%（前回27.6%）、「2回ある」が23.7%（前回23.3%）、「3回ある」が20.7%（前回18.6%）、「4回以上ある」が19.2%（前回18.4%）であり、いずれも前回調査とほとんど傾向としては変わらない（図4-5）。

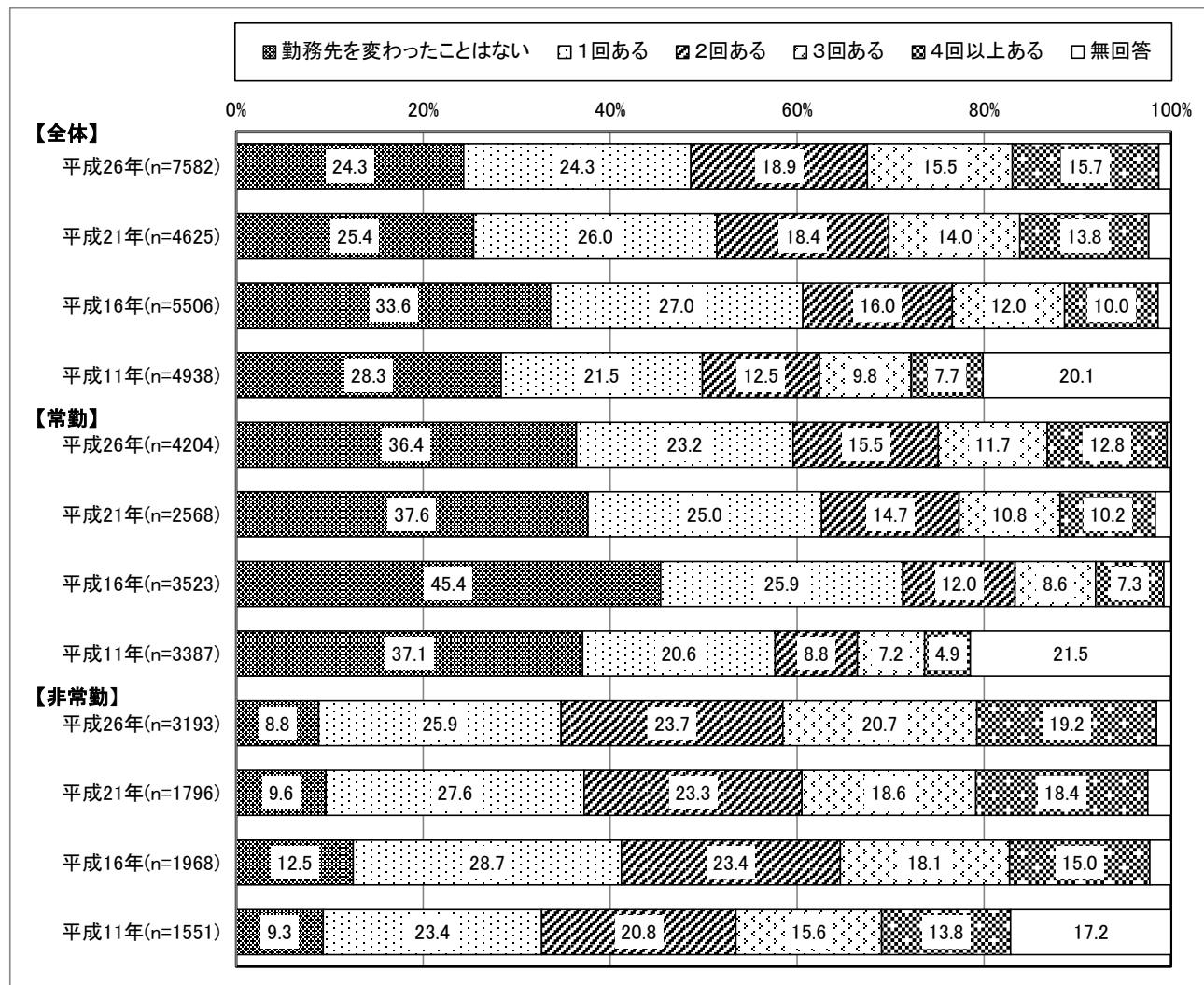


図4-5 勤務先の変更経験

常勤者の勤務先別で「勤務先を変わったことはない」をみると、「歯科健診・保健活動機関」が 56.0%（前回なし）、「企業・事業所（歯科診療業務）」が 49.3%（前回なし）、「企業・事業所（歯科診療以外の業務）」が 44.7%（前回なし）、「病院・大学病院」が 44.0%（前回 41.1%）、「障害者歯科診療所等」が 42.6%、（前回なし）、「行政」が 41.7%（前回 43.3%）、「診療所」が 37.5%（前回 38.6%）、「歯科衛生士教育養成機関」が 20.0%（前回 31.1%）であり、その割合はいずれも減少傾向を示している（図 4-6）。

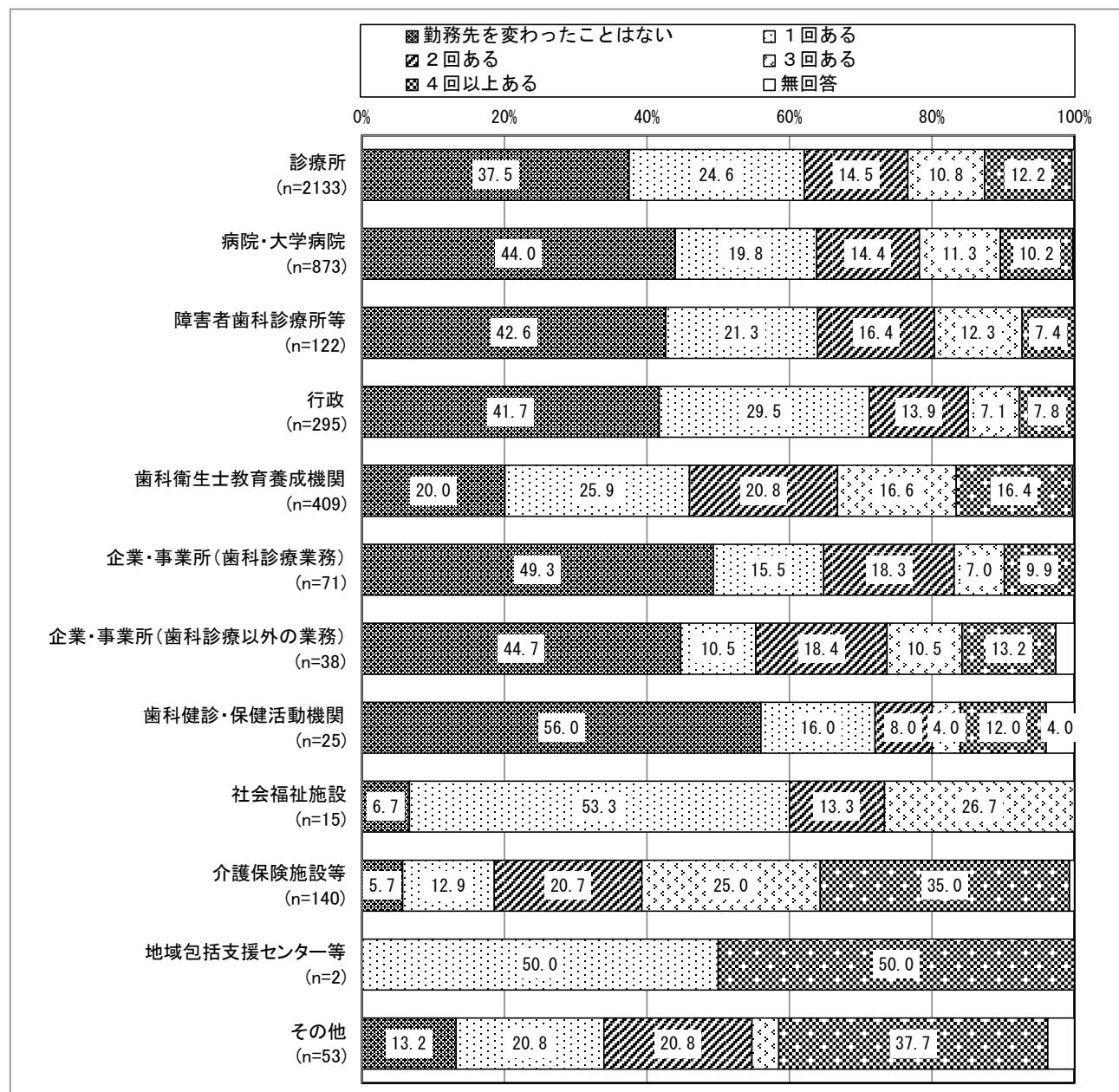


図 4－6 勤務先の変更経験（常勤）

## 5. 勤務先変更の理由

勤務先変更の理由を全体でみると、「出産・育児」が13.7%（前回13.4%）、「結婚」が12.0%（前回13.4%）、「職場の人間関係」が10.5%（前回11.0%）、「仕事内容のレベルアップのため」が9.0%（前回8.3%）、「家庭の事情」が6.6%（前回6.3%）、「仕事内容への不満」が6.4%（前回8.6%）、「給与・待遇の面」が5.4%（前回8.3%）である。

就業状況別でみると、「常勤」では「仕事内容のレベルアップのため」が13.8%（前回11.9%）、「職場の人間関係」が13.1%（前回13.6%）、「結婚」が8.2%（前回7.8%）、「仕事内容への不満」が7.4%（前回9.8%）、「給与・待遇の面」が7.4%（前回12.6%）である。一方、「非常勤」では「出産・育児」が20.2%（前回20.2%）、「結婚」が15.3%（前回15.3%）、「職場の人間関係」が8.2%（前回8.2%）であり、「結婚」と「出産・育児」による勤務先変更の理由が多い（図4-7）。

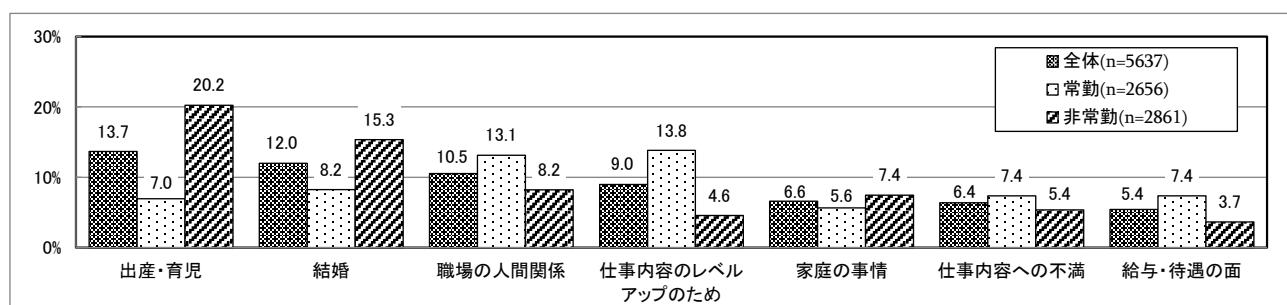


図4-7 勤務先変更の理由（上位7項目）

常勤者の勤務先別でみると、「診療所」、「歯科健診・保健活動機関」、「社会福祉施設」、「介護保険施設等」は「職場の人間関係」、「病院・大学病院」、「障害者歯科診療所等」、「行政」、「歯科衛生士教育養成機関」、「企業・事業所（歯科診療以外の業務）」は「仕事内容のレベルアップのため」、「企業・事業所（歯科診療業務）」は「仕事内容への不満」という理由をあげる者が1番多い（表4-1）。

表4-1 勤務先変更の理由の割合（常勤者の勤務先別）

	サンプル数	仕事内容への不満	給与・待遇の面	職場の人間関係	家庭の事情	結婚	出産・育児	介護・看病	自分の健康	仕事内容のレベルアップのため	歯科以外への興味	家族の転勤	その他	無回答
常勤	2656	7.4	7.4	13.1	5.6	8.2	7.0	0.9	1.6	13.8	1.4	1.6	10.4	21.5
診療所	1325	8.2	6.2	17.5	6.0	10.6	7.2	0.9	1.8	7.1	1.5	1.7	10.3	20.8
病院・大学病院	487	8.6	10.7	10.7	4.9	4.3	6.4	1.6	1.0	18.7	1.4	1.4	9.7	20.5
障害者歯科診療所等	70	2.9	4.3	7.1	7.1	8.6	10.0	—	—	21.4	1.4	4.3	10.0	22.9
行政	172	3.5	11.0	7.6	4.7	9.3	6.4	—	1.2	19.2	0.6	1.2	16.9	18.6
歯科衛生士教育養成機関	326	6.7	6.1	4.0	4.6	4.6	8.3	—	1.5	31.3	0.9	1.2	10.1	20.6
企業・事業所（歯科診療業務）	36	13.9	11.1	8.3	—	11.1	—	2.8	5.6	11.1	—	2.8	16.7	16.7
企業・事業所（歯科診療以外の業務）	20	15.0	5.0	10.0	5.0	—	—	—	5.0	20.0	5.0	—	—	35.0
歯科健診・保健活動機関	10	—	10.0	40.0	10.0	10.0	—	—	—	10.0	—	—	20.0	—
社会福祉施設	14	—	—	28.6	—	14.3	—	—	—	7.1	—	—	21.4	28.6
介護保険施設等	131	2.3	8.4	10.7	8.4	8.4	6.1	1.5	2.3	8.4	3.1	0.8	8.4	31.3
地域包括支援センター等	2	—	—	50.0	—	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	44	9.1	4.5	11.4	9.1	2.3	9.1	—	2.3	22.7	2.3	—	4.5	22.7

## 6. 日本歯科衛生士会認定のほかに認定を受けている学会等の有無

日本歯科衛生士会認定のほかに認定を受けている学会等の有無を全体でみると、「ある」が 14.0%、「ない」が 83.7%である。

就業状況別で「ある」をみると、「常勤」が 17.9%、「非常勤」が 8.9%である。

常勤者の勤務先別で「ある」をみると、サンプル数の少ないところを除き、「障害者歯科診療所等」が 49.2%で最も多く、次いで「病院・大学病院」が 29.6%、「歯科衛生士教育養成機関」が 22.2%となっている（図 4-8）。

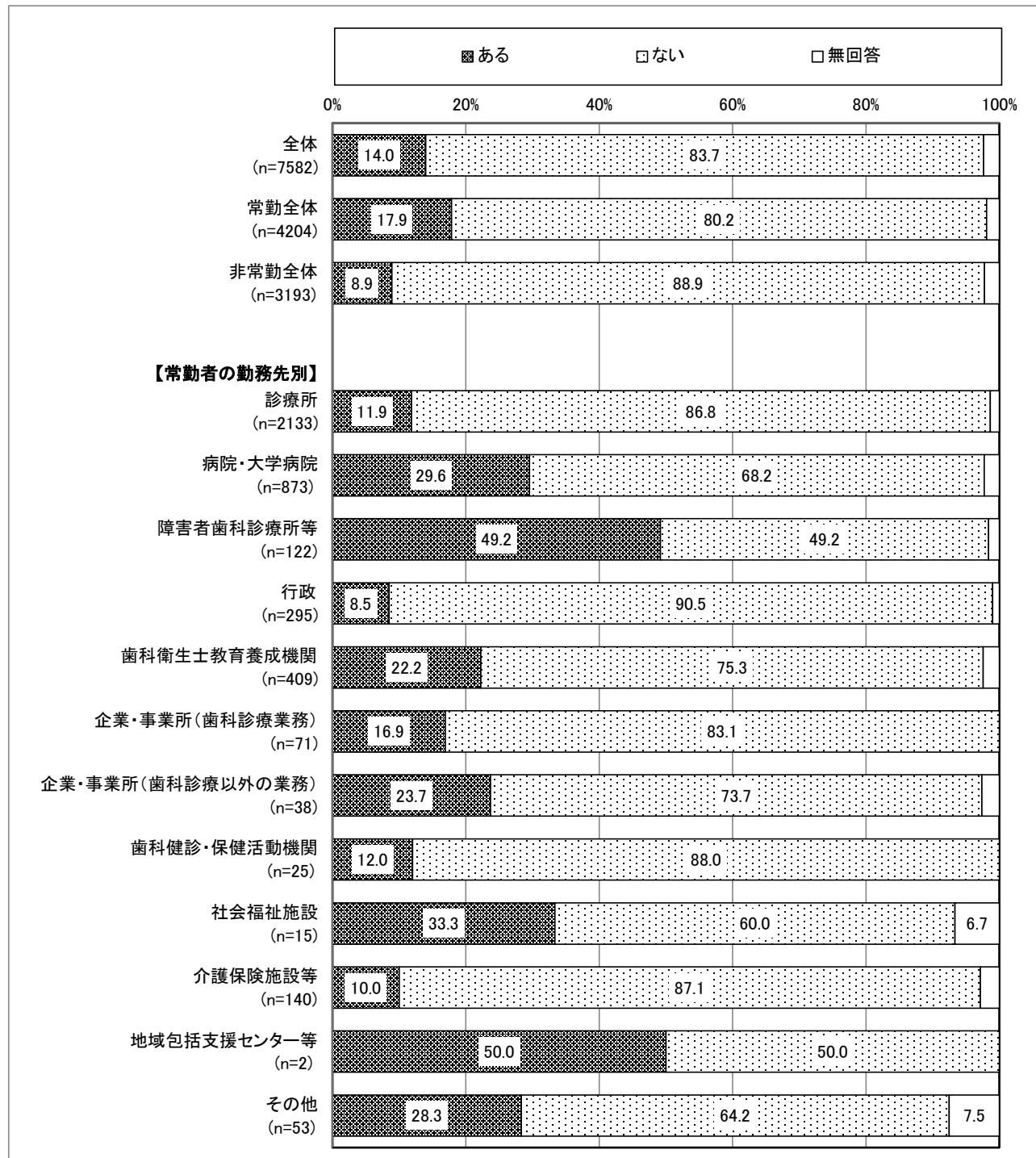


図 4－8 日本歯科衛生士会認定のほかに認定受けている学会等の有無

また、学会等の認定の種類を全体でみると、「日本障害者歯科学会」が19.7%、「日本歯周病学会」が15.4%、「日本歯科審美学会」が14.2%、「日本摂食嚥下リハビリテーション学会」が9.3%、「日本口腔インプラント学会」が8.6%、「日本咀嚼学会」が7.4%である（図4-9）。

就業状況別でみると、「常勤」では「日本障害者歯科学会」が18.5%、「日本歯周病学会」が17.2%、「日本歯科審美学会」が15.0%、「非常勤」では「日本障害者歯科学会」が23.6%、「日本歯科審美学会」が12.3%、「日本歯周病学会」が9.9%、「日本咀嚼学会」が8.8%であり、「常勤」と「非常勤」では割合に若干の差異がみられる。

「その他」の内訳を多い順でみると、「日本口腔ケア学会」（n=71）、「全国歯科衛生士教育協議会」（n=15）、「日本アンチエイジング歯科学会」（n=10）、「日本歯科衛生教育学会」（n=9）である。

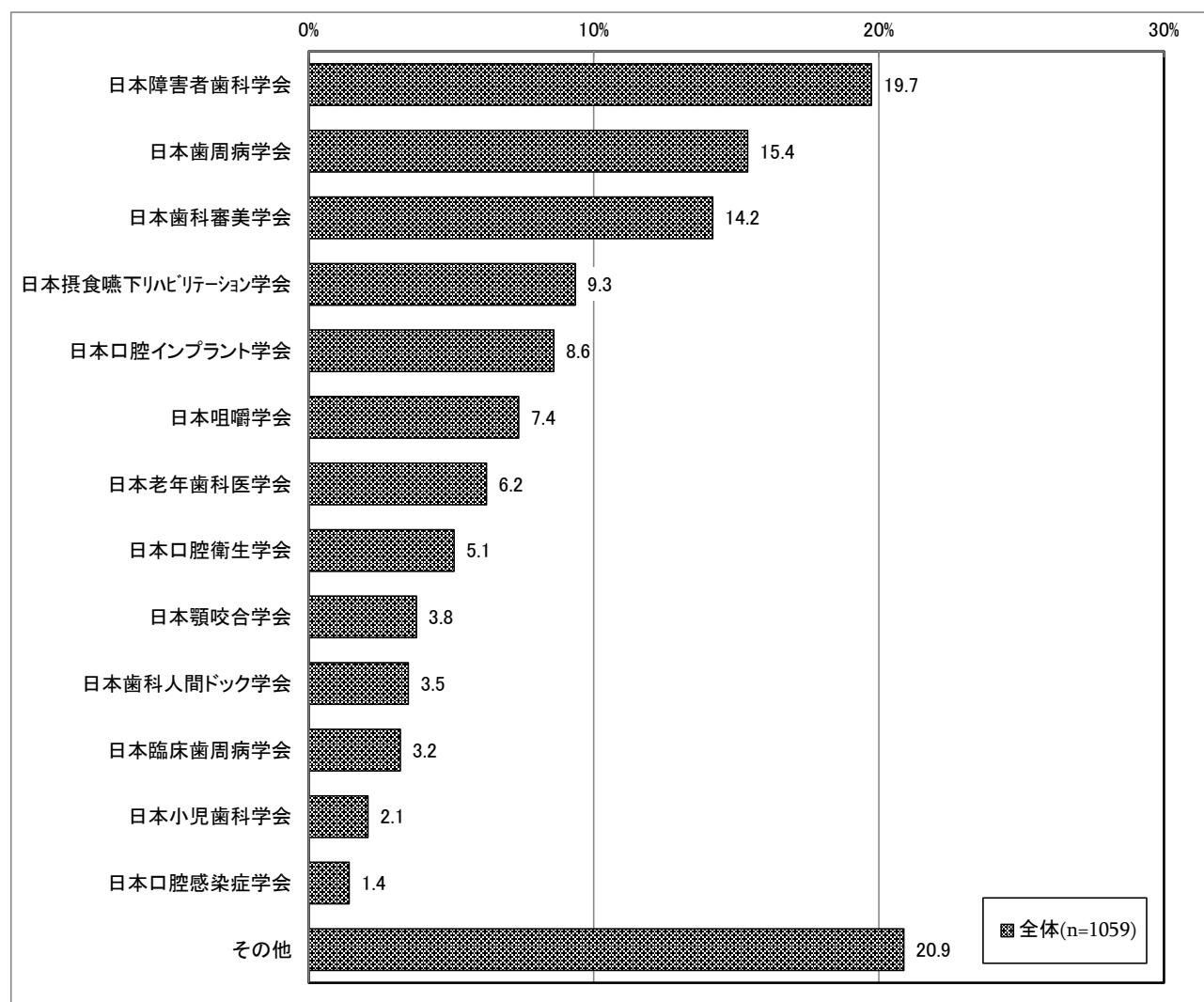


図4－9 学会等の認定の種類（複数回答）

## 7. 心肺蘇生法およびAEDの受講の有無（過去5年間）

心肺蘇生法およびAEDの受講の有無（過去5年間）を全体でみると、「ある」が70.9%、「ない」が28.2%である。

勤務先別で「ある」をみると、「障害者歯科診療所等」が86.3%、「病院・大学病院」が83.7%、「社会福祉施設」が81.3%、「介護保険施設等」が80.4%である（図4-10）。

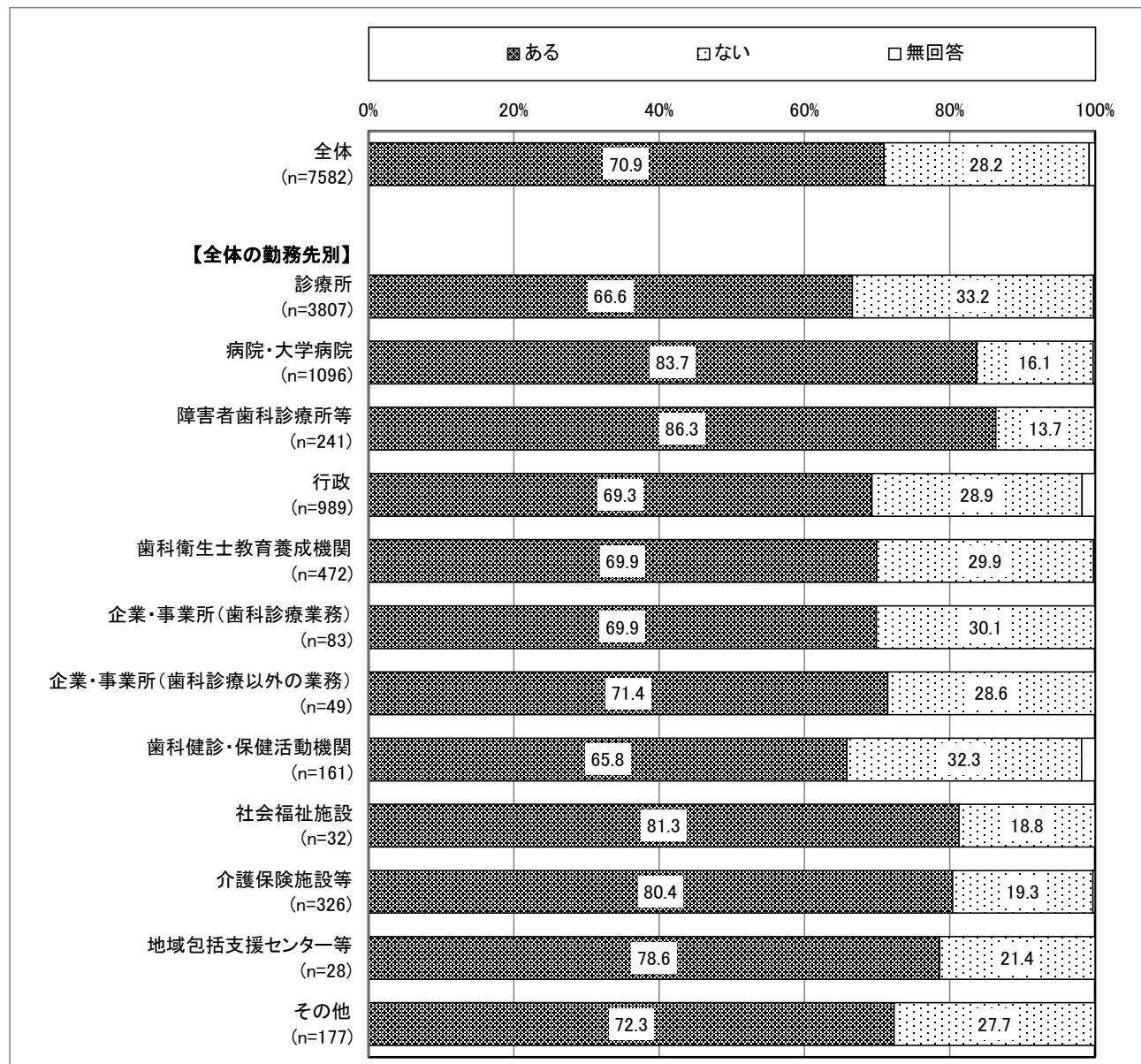


図4-10 心肺蘇生法及びAEDの受講の有無（過去5年間）

## V. 研究活動

### 1. 調査・研究の有無（過去3年間）

調査・研究の有無（過去3年間）を全体でみると、「している」が19.3%（前回18.5%）、「していない」が79.5%（前回79.6%）である。

就業状況別でみると、「常勤」は、調査・研究を「している」割合が「非常勤」の約2倍である。

勤務先別で「している」をみると、「障害者歯科診療所等」が36.9%、「歯科衛生士教育養成機関」が36.4%、「病院・大学病院」が35.8%である（図5-1）。

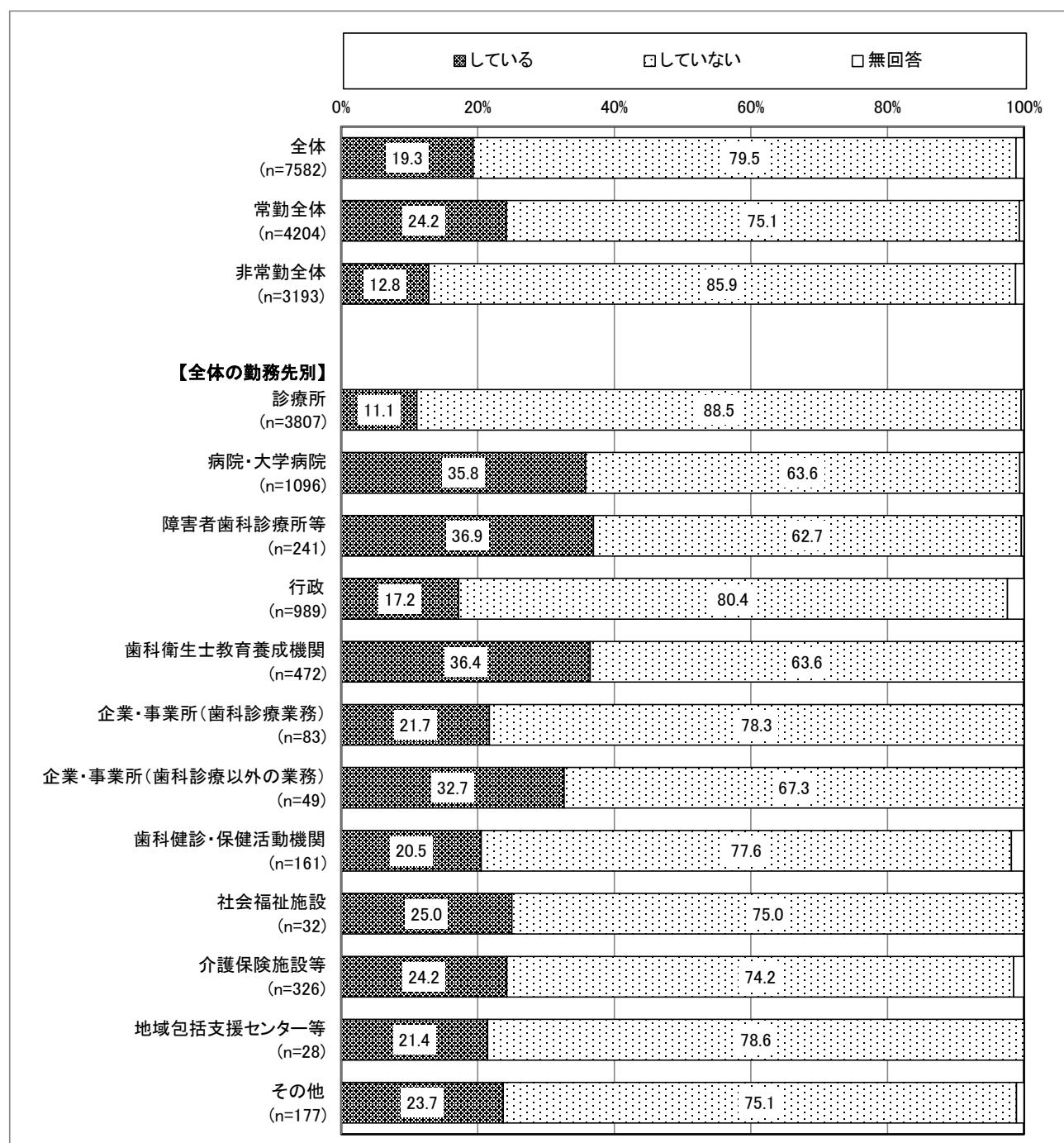


図5-1 調査・研究の有無（過去3年間）

## 2. 調査・研究をしなかった理由

調査・研究をしなかった理由を全体でみると、「時間がない」が44.3%（前回42.2%）、「方法がわからない」が35.8%（前回32.2%）、「指導者・相談者がいない」が28.2%（前回28.2%）、「興味がない」が19.0%（前回20.5%）、「必要性を感じない」が19.0%（前回21.7%）である。

就業状況別でみると、この傾向は「常勤」も「非常勤」も同様であるが、特に「必要性を感じない」者の割合は「常勤」が16.4%、「非常勤」が21.9%である（図5-2）。

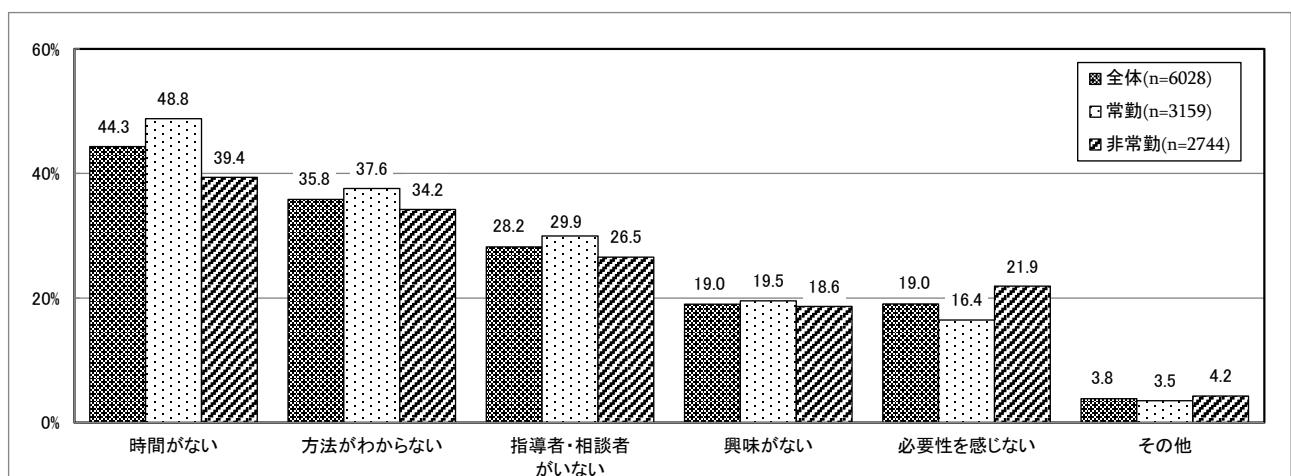


図5-2 調査・研究をしなかった理由（複数回答）

### 3. 調査・研究の実施意向

調査・研究をしなかつた者が今後、調査・研究を実施する意向を全体でみると、「してみようと思う」が31.3%（前回33.2%）、「してみようとは思わない」が66.0%（前回60.2%）である。

就業状況別でみると、「常勤」のほうが「非常勤」よりも「してみようと思う」の割合が多い。

勤務先別で「してみようと思う」をみると、「歯科衛生士教育養成機関」が46.3%（前回54.6%）、「社会福祉施設」が45.8%（前回42.9%）、「企業・事業所（歯科診療以外の業務）」が42.4%（前回なし）、「障害者歯科診療所等」が40.4%（前回なし）、「病院・大学病院」が40.2%（前回46.9%）である（図5-3）。

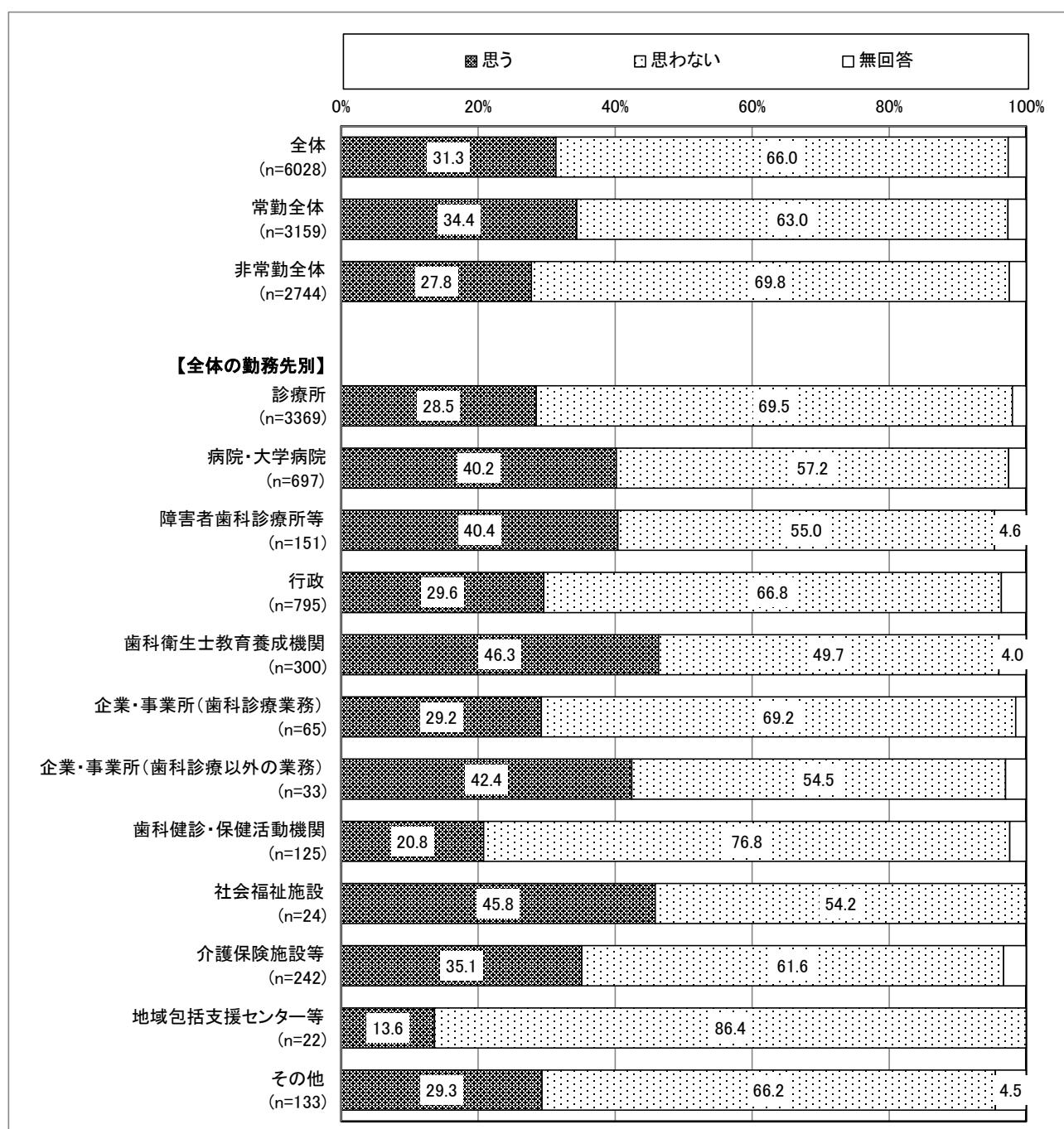


図5-3 調査・研究の実施意向

#### 4. 調査・研究活動を推進するための条件

調査・研究活動を推進するための条件を全体でみると、「研究の支援」が 80.3%（前回 77.2%）、「職場の理解」が 54.4%（前回 51.8%）、「研究費の助成」が 42.3%（前回 39.3%）、「研究の手引書」が 32.0%（前回 36.0%）、「発表の場」が 15.0%（前回 16.4%）である（図 5-4）。

のことから、前回と比べても大きな変化はみられなかった。

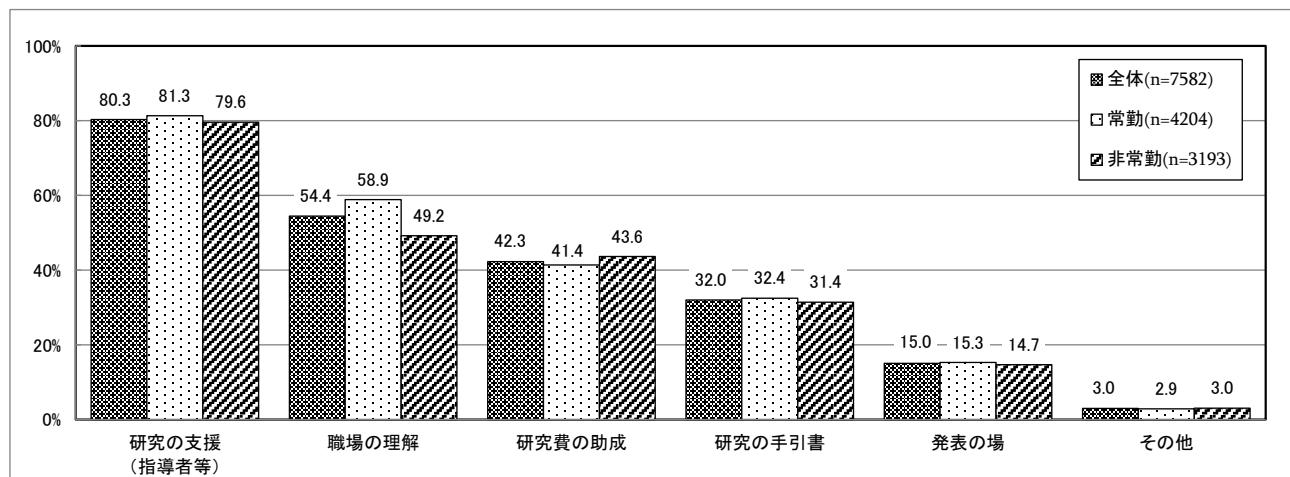


図 5-4 調査・研究活動を推進するための条件（複数回答）

## 5. 日本歯科衛生学会以外の所属学会の有無

日本歯科衛生学会以外の所属学会の有無を全体でみると、「所属している」が 25.4%（前回 19.4%）、「所属していない」が 72.0%であり、前回調査より増加している。

就業状況別で「所属している」をみると、「常勤」が 32.8%（前回 24.2%）、「非常勤」が 16.1%（前回 13.7%）であり、前回調査と比較すると「常勤」、「非常勤」とも所属している割合が増加している。

勤務先別で「所属している」をみると、「障害者歯科診療所等」が 64.3%（前回なし）、「歯科衛生士教育養成機関」が 57.8%（前回 41.0%）、「病院・大学病院」が 47.6%（前回 36.7%）である。一方、「歯科健診・保健活動機関」は 8.7%（前回なし）で最も少ない（図 5-5）。

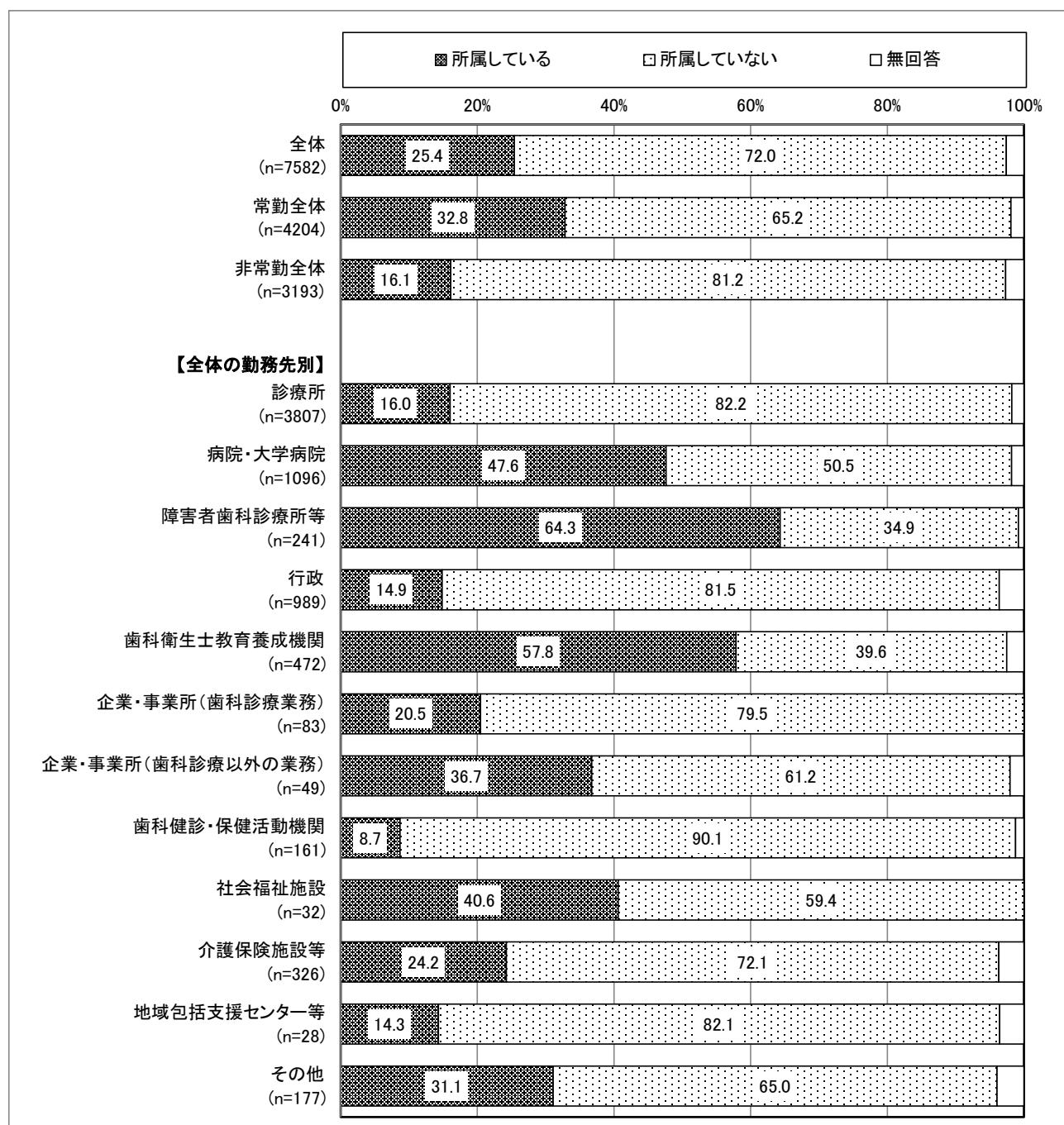


図 5-5 日本歯科衛生学会以外の所属学会の有無

## 6. 所属学会の状況

所属学会の状況を全体でみると、「日本障害者歯科学会」が23.8%（前回25.8%）、「日本摂食・嚥下リハビリテーション学会」が20.7%（前回23.4%）、「日本歯周病学会」が16.5%（前回18.6%）、「日本口腔衛生学会」が12.1%（前回18.2%）、「日本老年歯科医学会」が11.2%（前回10.5%）、「日本歯科審美学会」が8.1%（前回なし）、「日本口腔インプラント学会」が6.6%（前回なし）、「日本歯科医学教育学会」が4.9%（前回5.5%）、「日本咀嚼学会」が4.2%（前回なし）、「日本小児歯科学会」が3.8%（前回3.8%）、「日本臨床歯周病学会」が3.7%（前回3.2%）、「日本公衆衛生学会」が3.6%（前回4.7%）、「日本歯科医療管理学会」が2.2%（前回4.3%）である（図5-6）。

「その他」の内訳を多い順でみると、「日本口腔ケア学会」（n=174）、「日本歯科衛生教育学会」（n=96）、「日本顎咬合学会」（n=30）、「日本口腔筋機能療法学会」（n=14）である。

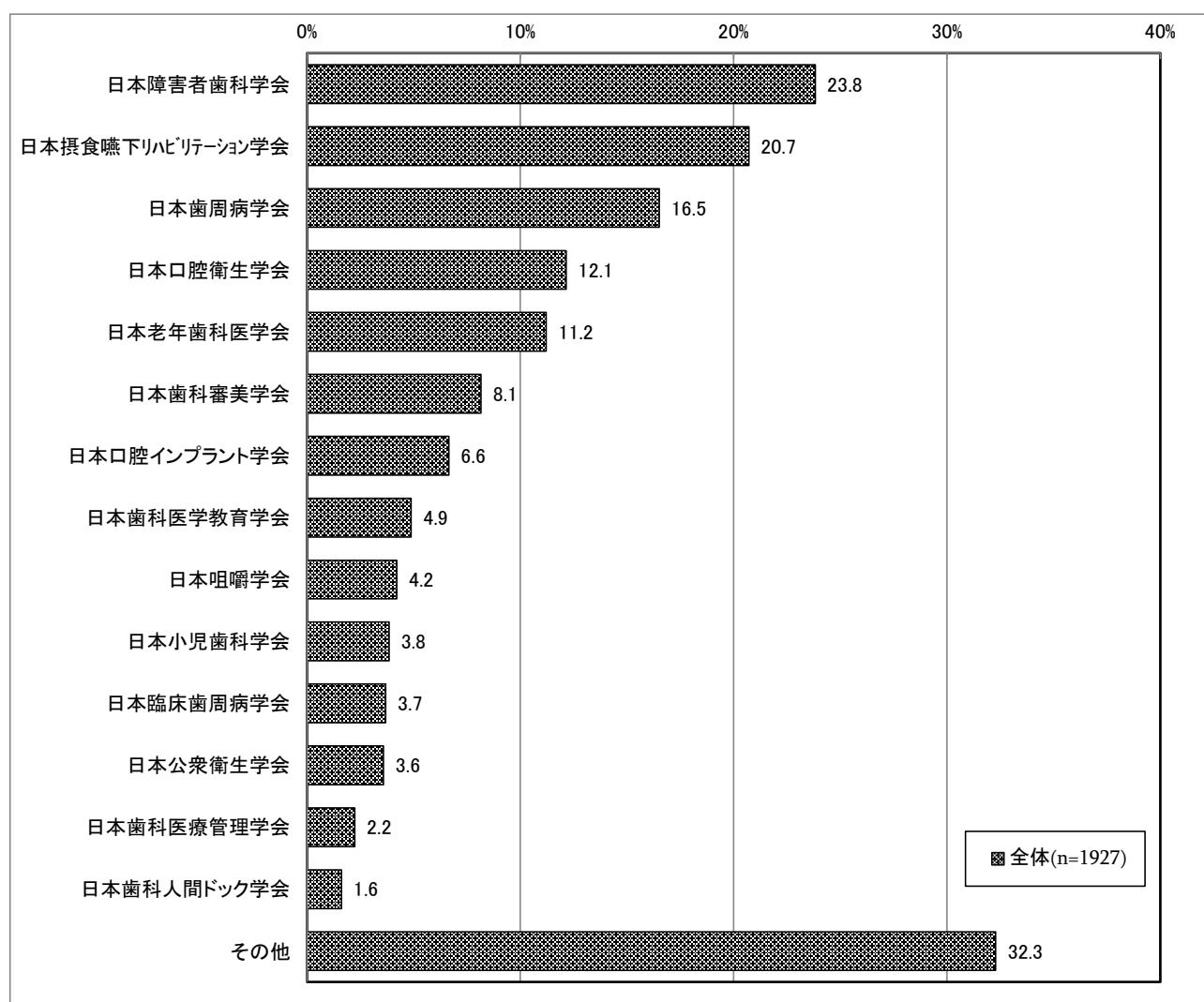


図5-6 所属学会の状況（複数回答）

## VI. 現在の勤務先と就業の意向

### 1. 勤務先

就業者全体の勤務先分布は、「診療所」が 50.2%（前回 50.2%）で、前回調査と同様である。次いで、「病院・大学病院」が 14.5%（前回 12.8%）、「行政（保健所・市町村等）」が 13.0%（前回 17.6%）、「歯科衛生士教育養成機関」が 6.2%（前回 5.6%）、「介護保険施設」が 4.3%（前回 3.6%）、「障害者歯科診療所等」が 3.2%（前回なし）、「歯科健診・保健活動機関」が 2.1%（前回なし）、「企業・事業所（歯科診療業務）」が 1.1%（前回なし）、「企業・事業所（歯科診療業務以外の業務）」で 0.6%（前回なし）、「社会福祉施設」、「地域包括支援センター等」がともに 0.4%である。

勤務先を年齢別でみると、全ての年代で「診療所」が最も多い（図 6-1）。

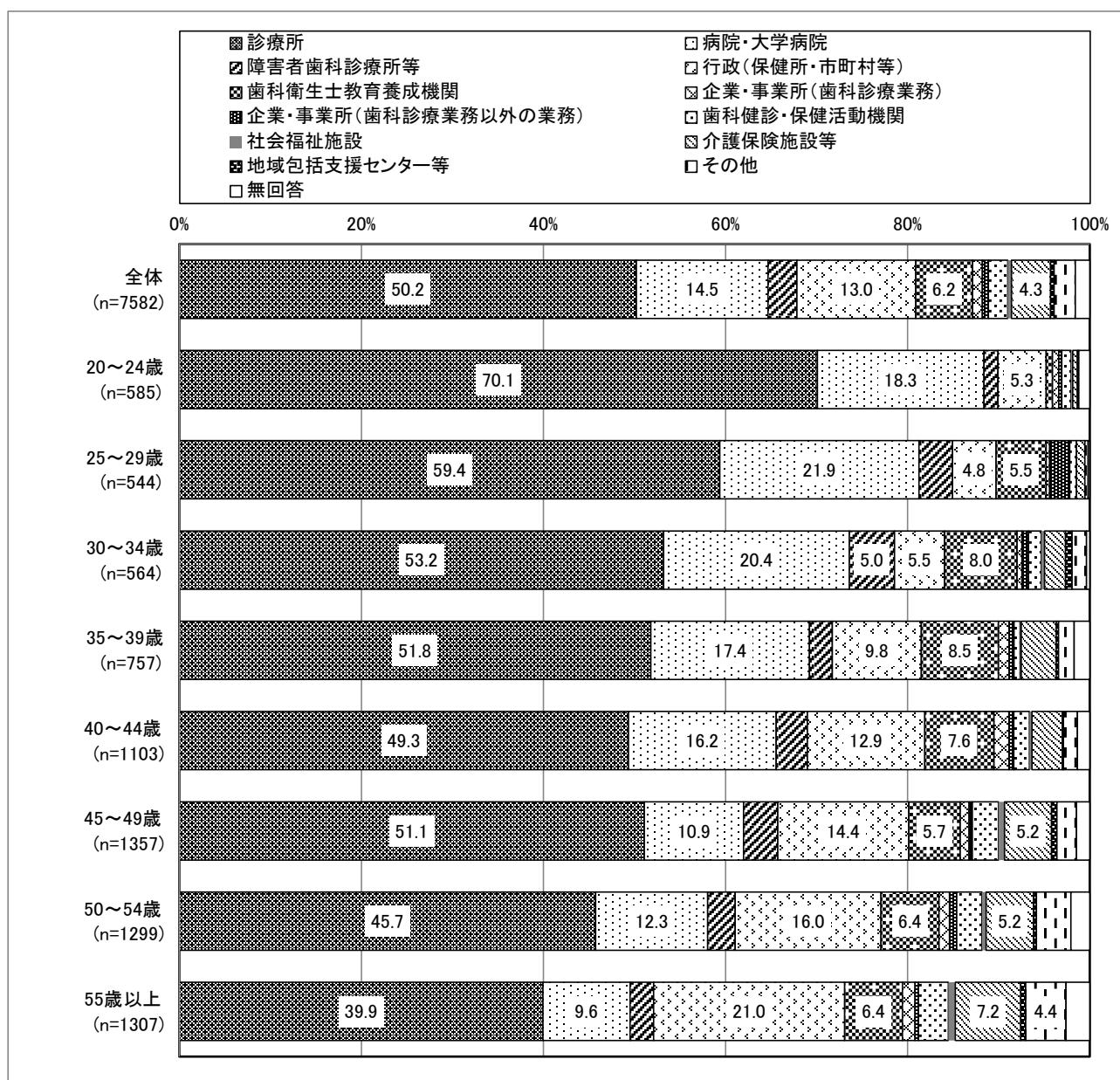


図 6-1 勤務先（年齢別）

## 2. 今後も歯科衛生士として働き続ける意向

今後も歯科衛生士として働き続ける意向を全体でみると、「思う」が92.8%、「思わない」が6.1%である（図6-2）。「常勤・非常勤」「勤務先」に関わらず、9割以上が継続意向を持っている。

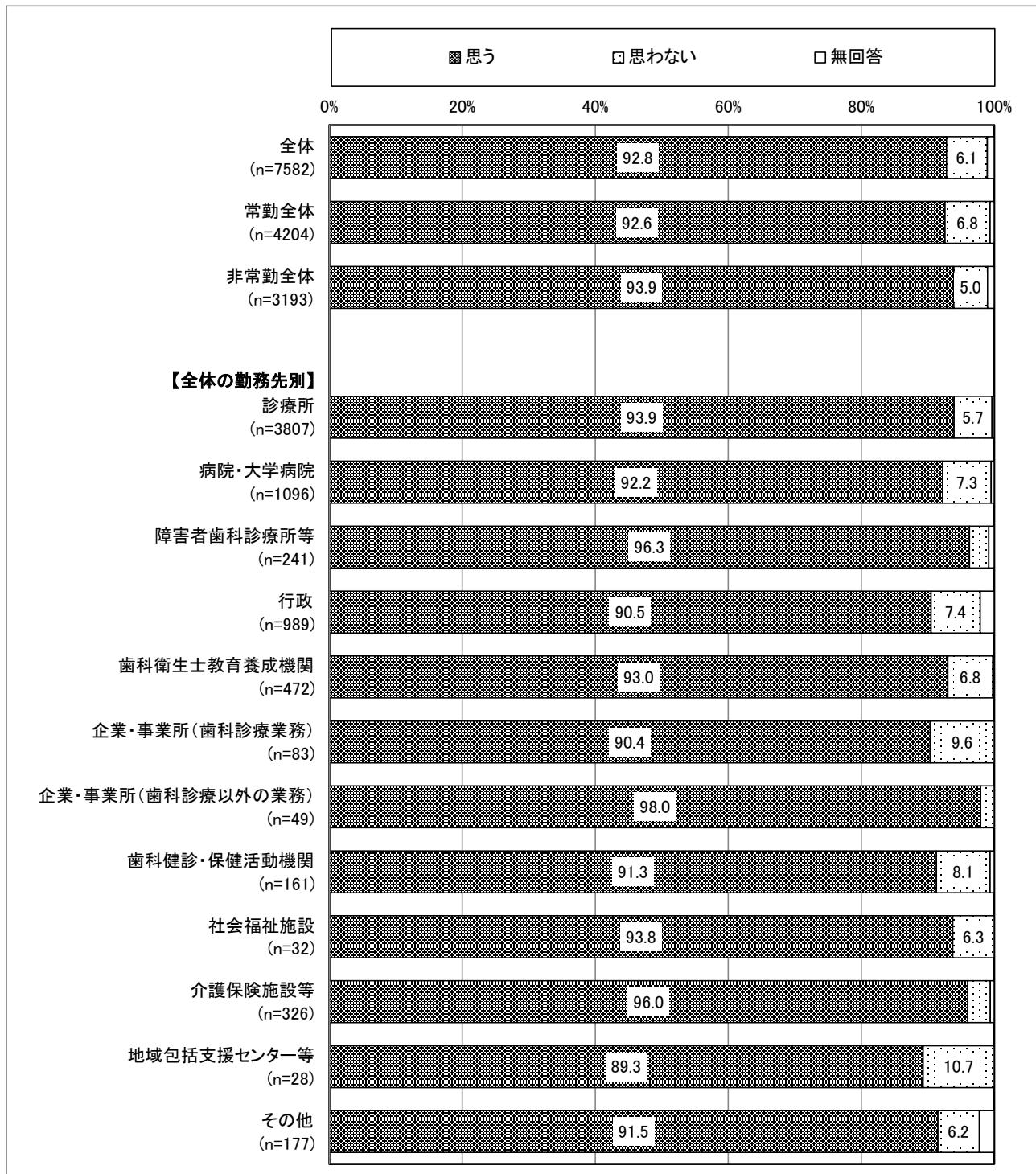


図6-2 今後も衛生士として働き続ける意向

### 3. 関心がある分野・職域

関心がある分野・職域を全体でみると、「在宅歯科医療」が38.6%、「診療所」が37.4%、「地域保健」が37.3%、「病院」が29.8%、「高齢者介護施設」が29.4%、「障害者歯科」が15.3%、「企業等の健康管理室、職域歯科保健」が15.1%、「歯科衛生士教育機関」が14.8%である（図6-3）。

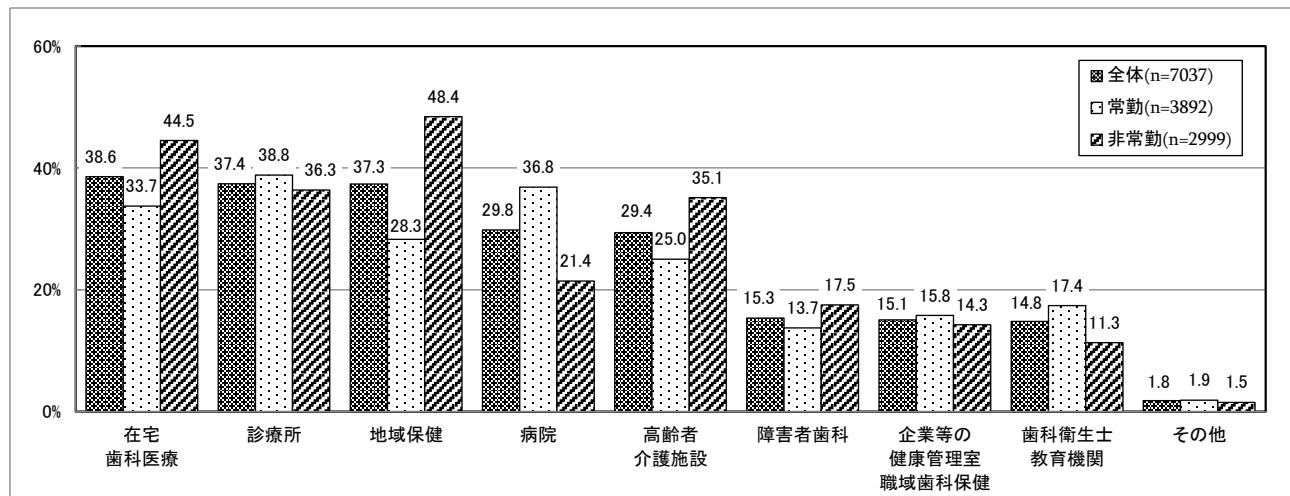


図6-3 関心がある分野・職域（複数回答）

## VII. 歯科医療施設（歯科診療所・病院・大学病院等）

【歯科医療施設の回答者数は全体で 5,227 人である】

### 1. 勤務先の経営形態

勤務先の経営形態を全体でみると、「個人診療所」が 52.2%、「医療法人」が 22.5%、「公的医療機関」が 7.9%、「公益法人」が 6.3%、「学校法人」が 4.4%、「社会保険関係医療機関」が 2.0%、「企業・健保組合等の診療所等」が 1.7%である。

就業状況別で「個人診療所」をみると、「常勤」が 45.5%、「非常勤」が 62.9%であり、「非常勤」の勤務者が多い（図 7-1）。

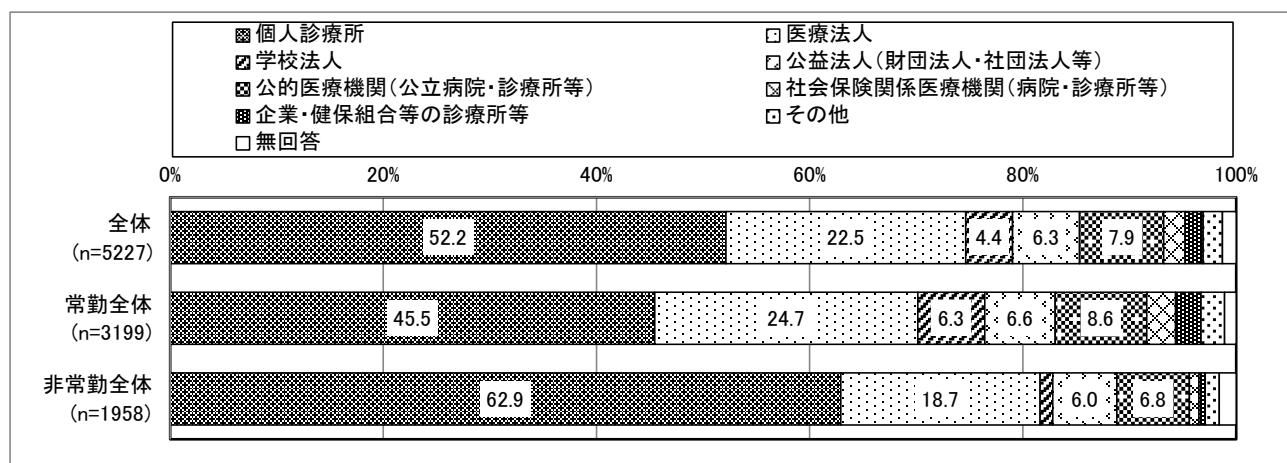


図 7-1 勤務先の経営形態

### 2. 標榜科名

標榜科名を全体でみると、「歯科」が 83.1%、「小児歯科」が 31.6%、「歯科口腔外科」が 30.6%、「矯正歯科」が 22.9%である。

勤務先別でみると、「診療所」では「歯科」が 95.3%、「企業・事業所」では「歯科」が 86.7%、「病院・大学病院」では「歯科口腔外科」が 63.5%、「障害者歯科診療所等」が 56.4%でそれぞれ最も多い（図 7-2）。

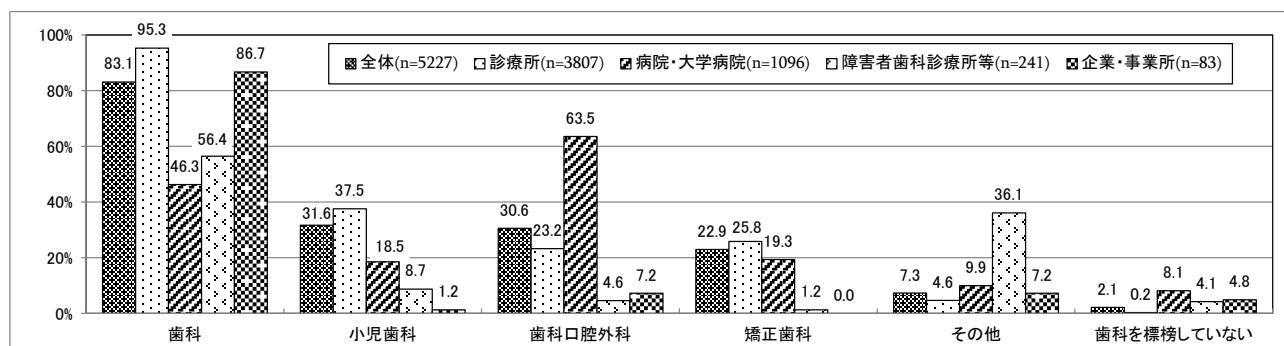


図 7-2 標榜科名（複数回答）

### 3. 勤務先の職種別人員構成

勤務先の職種別人員構成を全体でみると、「該当者なし」では「理学療法士」が96.2%、「言語聴覚士」が95.1%である。「歯科衛生士」では「2~5人」が64.2%、「歯科医師」では「1人」が45.8%である(図7-3)。

勤務先別でみると、「診療所」の平均人数は「歯科医師」が1.9人、「歯科衛生士」が3.6人である。「病院」では「歯科医師」、「歯科衛生士」がともに「2~5人」で最も多く、平均人数は「歯科医師」が16.8人、「歯科衛生士」が6.7人である(図7-4、7-5)。

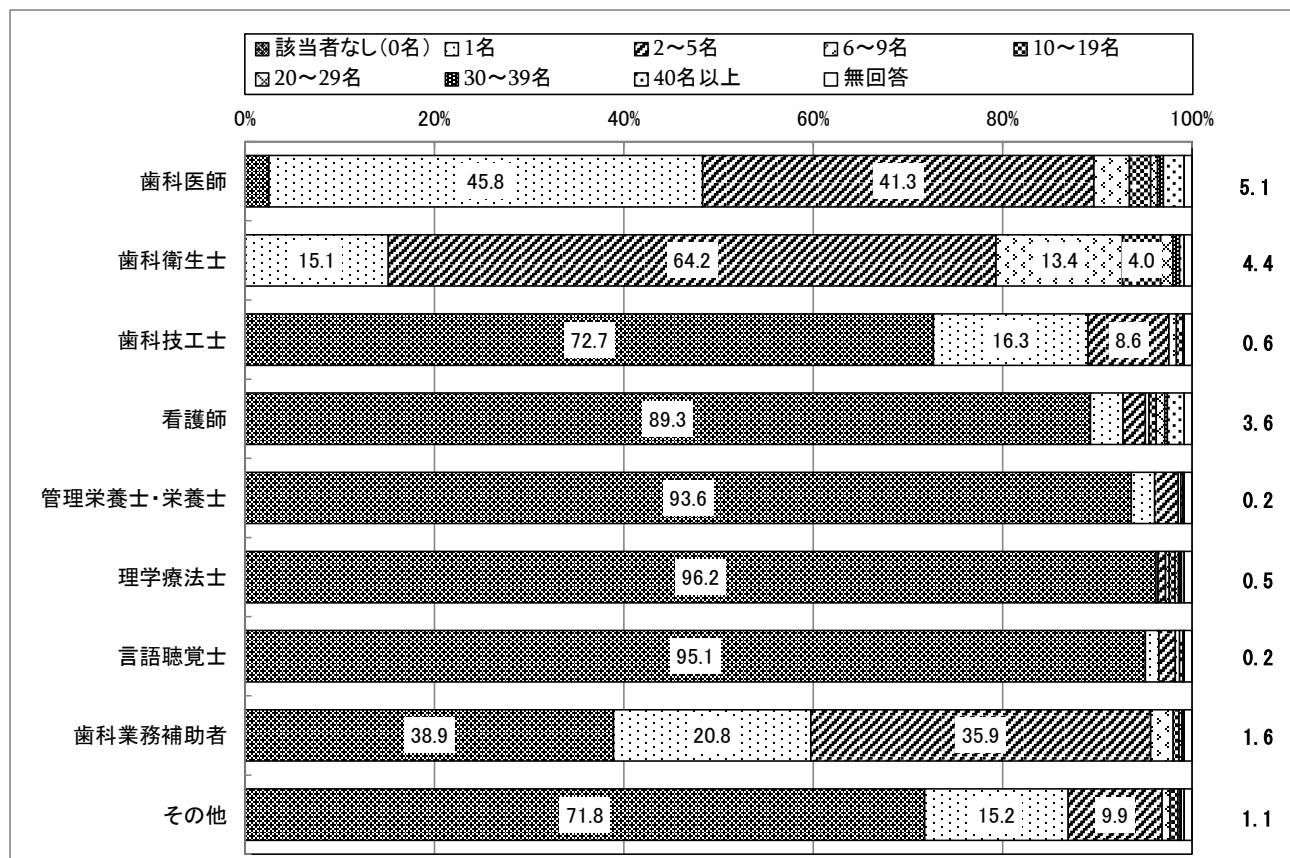


図7-3 勤務先の職種別人員構成（全体）

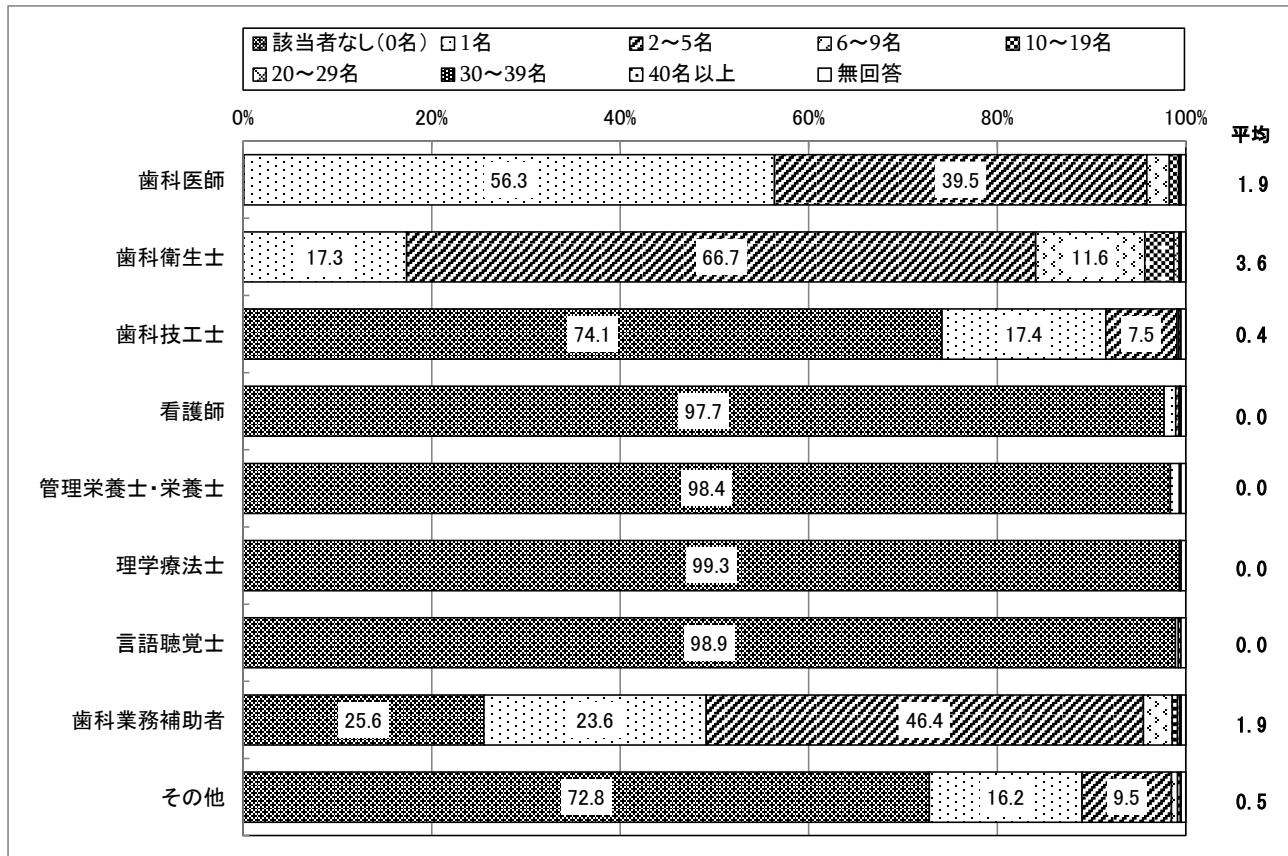


図 7-4 勤務先の職種別人員構成（診療所）

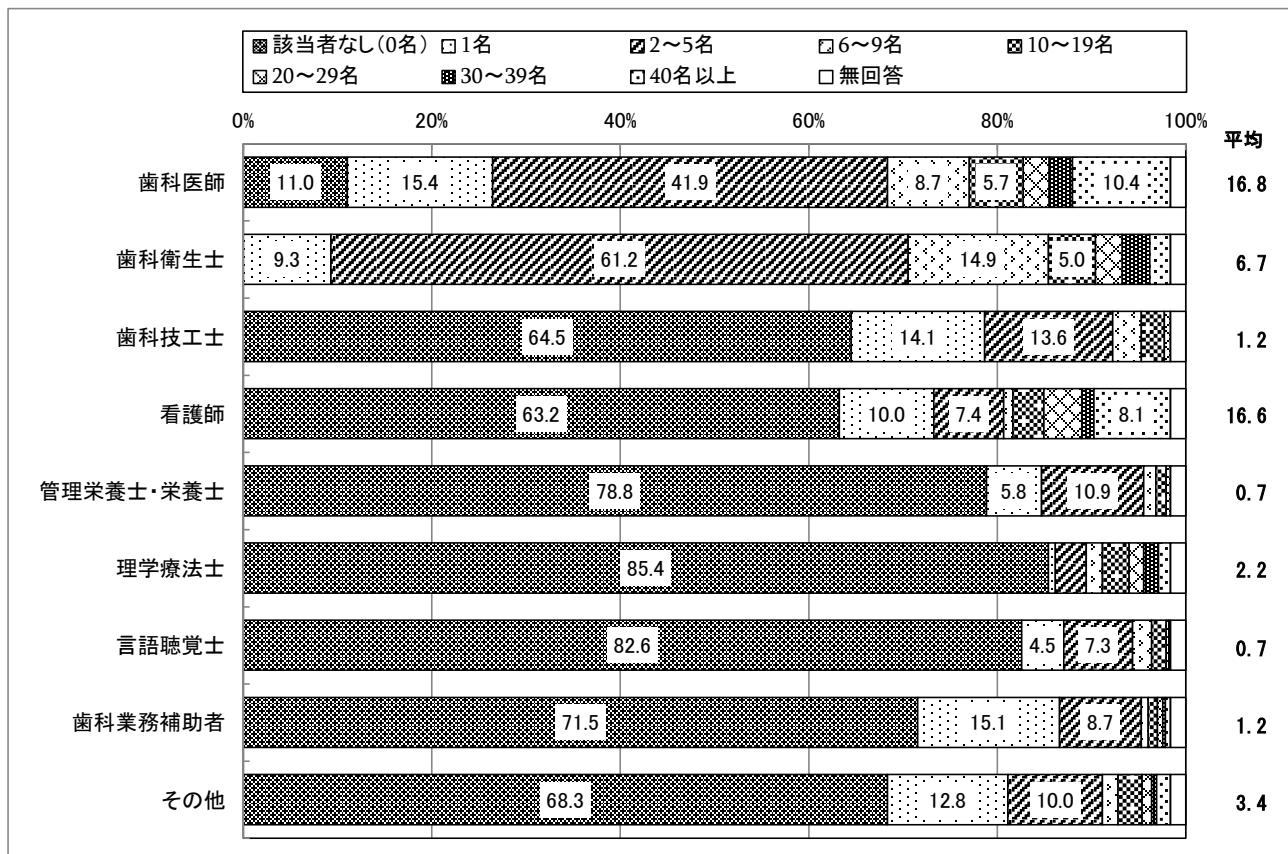


図 7-5 勤務先の職種別人員構成（病院）

## 4. 診療所の設備

### a. ユニット数

勤務している診療所(室、科)のユニット数を全体でみると、「3～4台」が52.4%、「6～9台」が14.5%、「5台」が12.4%、「1～2台」9.5%、「15台以上」が4.9%、「10～14台」が3.2%で、平均6.5台である。

勤務先別でみると、「診療所」では「3～4台」が60.4%、「病院・大学病院」では「3～4台」が27.9%、「障害者歯科診療所等」では「3～4台」が44.8%、「企業・事業所(歯科診療業務)」では「1～2台」、「3～4台」がともに33.7%でそれぞれ最も多い(図7-6)。

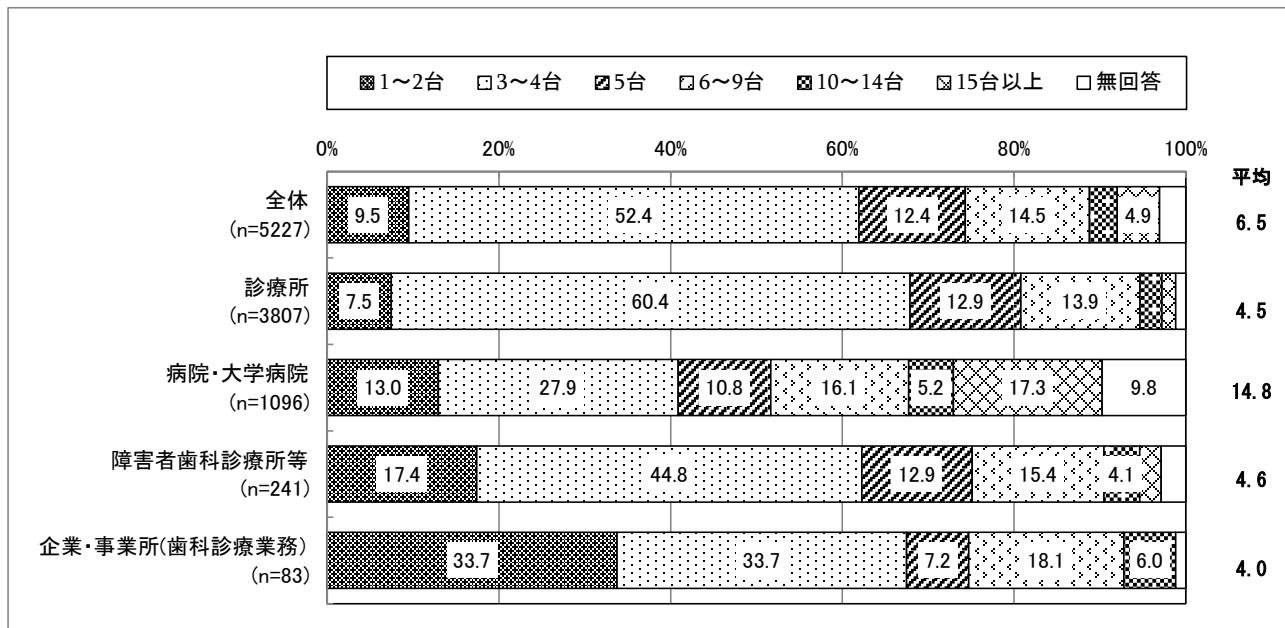


図7-6 ユニット数

## b-1. 歯科衛生士専用のユニットの有無

歯科衛生士専用のユニットの有無を全体でみると、「ある」が29.9%、「ない」が68.6%で、「ない」ところに勤務している者が多い。

勤務先別で「ある」をみると、「企業・事業所（歯科診療業務）」が51.8%、「診療所」が31.5%、「病院・大学病院」が24.6%、「障害者歯科診療所等」が22.4%である（図7-7）。

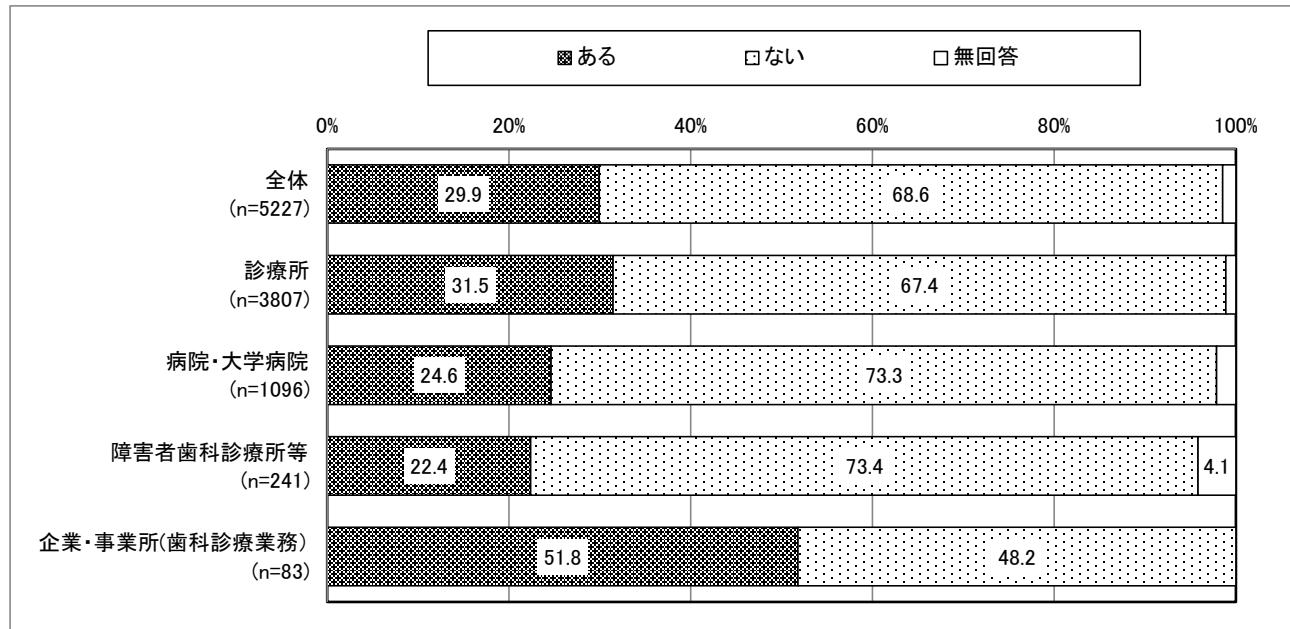


図7-7 歯科衛生士専用のユニットの有無

## b-2. 歯科衛生士専用のユニットの台数

歯科衛生士専用ユニットのある者の台数を全体でみると、「1台」が46.8%、「2台」が27.2%、「3台」が12.3%、「5台以上」が7.6%、「4台」が5.4%で、平均2.1台である。

勤務先別でみると、平均台数は「障害者歯科診療所等」が2.7台、「病院・大学病院」2.2台、「診療所」が2.1台、「企業・事業所(歯科診療業務)」が1.6台である(図7-8)。

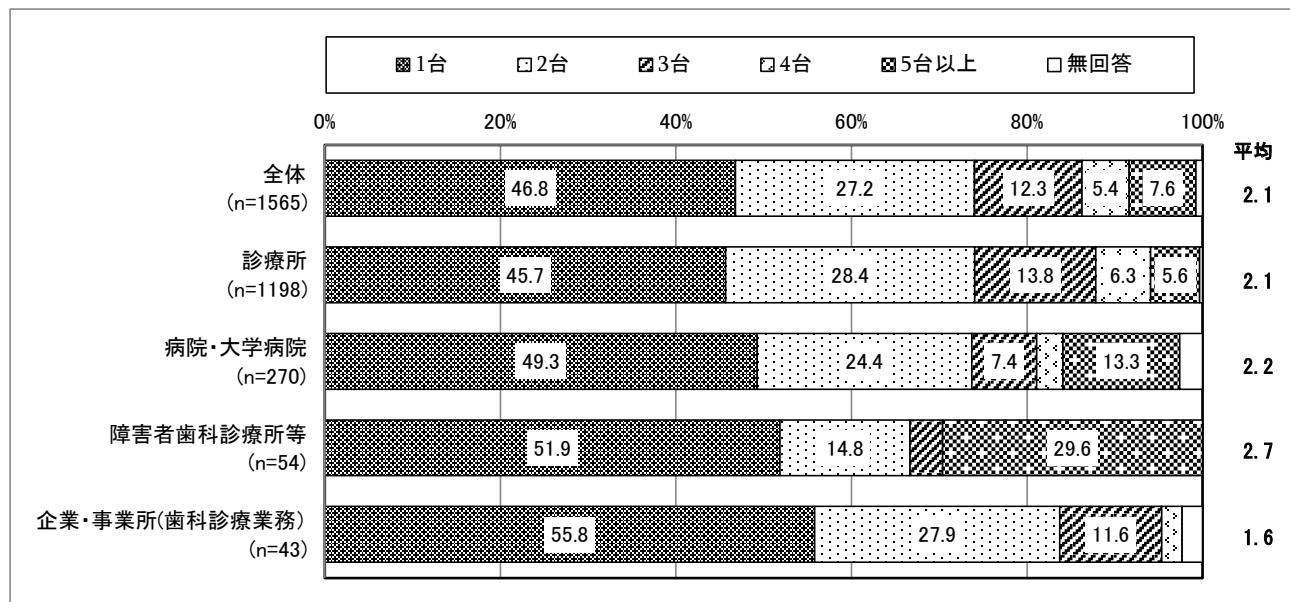


図7-8 歯科衛生士専用のユニットの台数

## c-1. 歯科専用病床の有無

歯科専用病床の有無を全体でみると、「ある」が9.8%、「ない」が85.6%である。

勤務先別で「ある」をみると、「病院・大学病院」が38.6%で、以下は少ない(図7-9)。

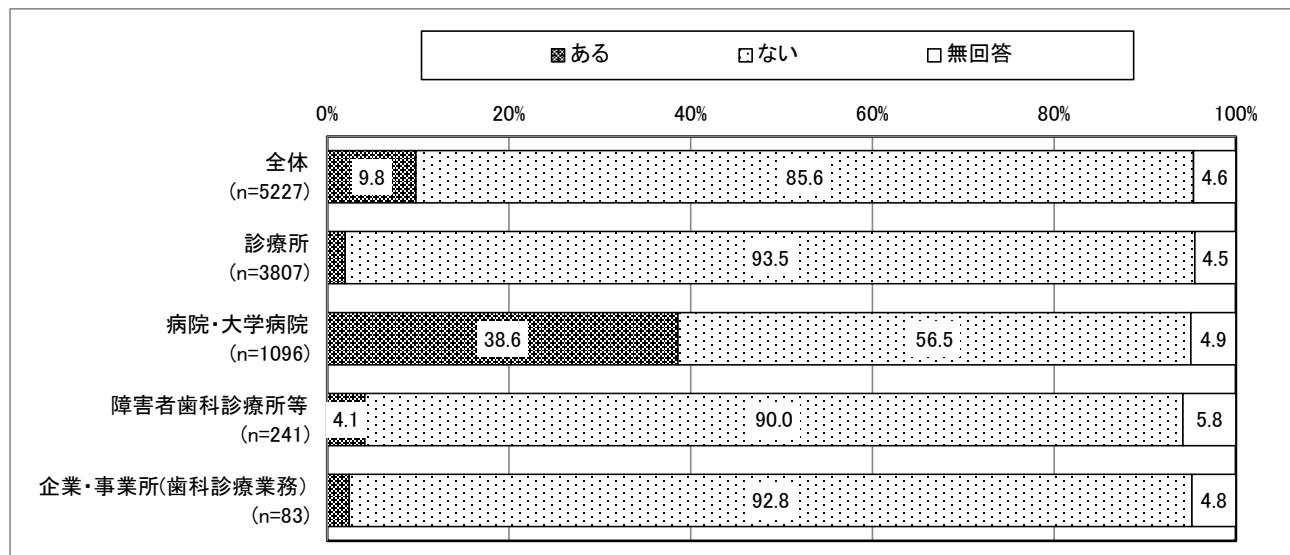


図7-9 歯科専用病床の有無

## 5. 在宅療養支援歯科診療所の指定施設

在宅療養支援歯科診療所の指定施設であるかを全体でみると、「指定施設である」が 23.1%、「指定施設でない」が 72.2%である。

勤務先別で「指定施設である」をみると、「診療所」が 26.2%、「障害者歯科診療所等」が 22.8%、「病院・大学病院」が 13.9%、「企業・事業所（歯科診療業務）」が 6.0%である（図 7-10）。

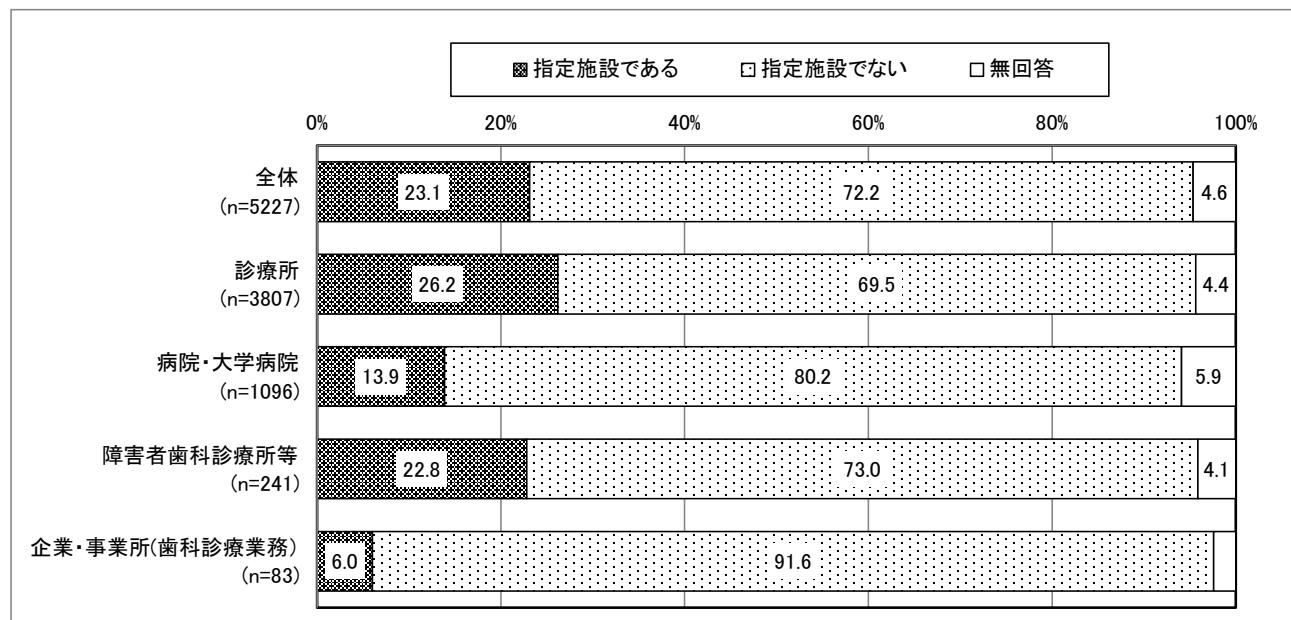


図 7－10 在宅療養支援歯科診療所の指定施設

## 6. 業務の実施状況

### 1) 聞き取り・医療面接・相談指導・インフォームドコンセント

聞き取り・医療面接・相談指導・インフォームドコンセントにおける業務を「実施している」でみると、「患者・家族への相談・対応」が88.9%、「口腔内の予備診査」が88.8%、「治療内容の説明・相談」が86.7%、「術前の注意事項の説明」が81.1%、「医薬品の授与と服薬指導」が72.4%である(図7-11)。全体としてほぼ7~8割以上が実施されている。

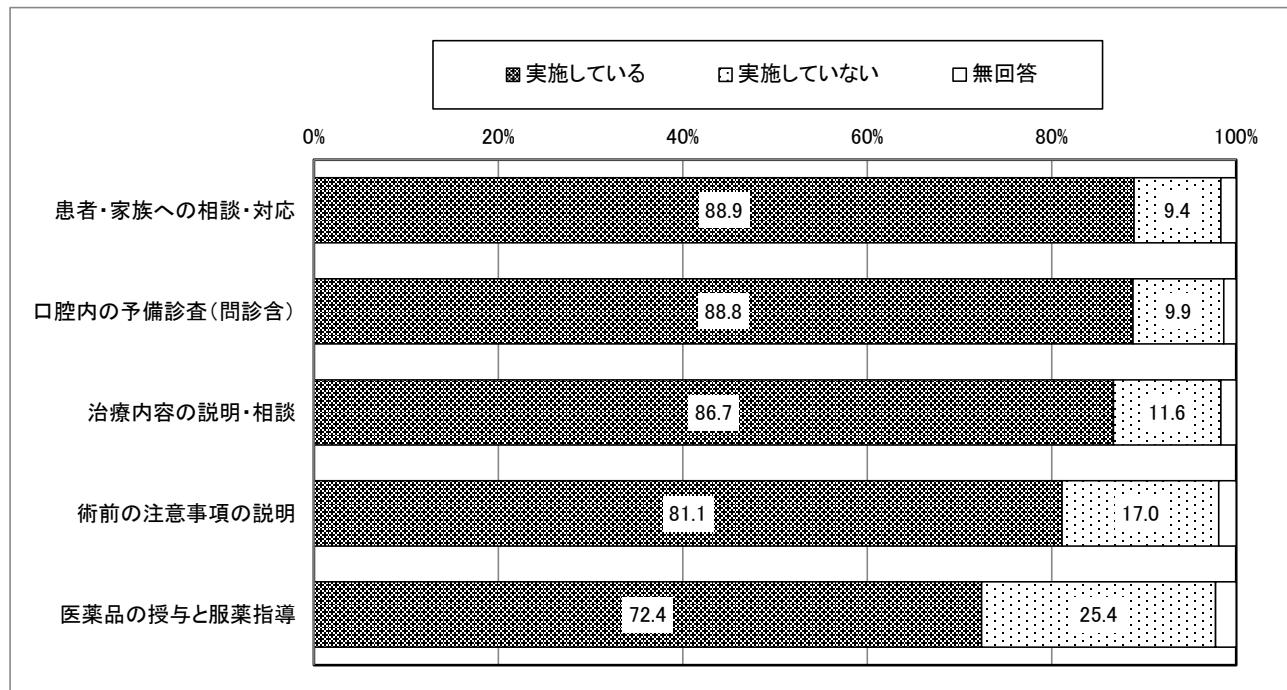


図7-11 聴き取り・医療面接・相談指導・インフォームドコンセント(全体)

## 2) 検査・モニタリング

検査・モニタリングにおける業務を「実施している」でみると、「バイタルチェック」が45.5%、「歯列の検査」が25.6%、「チェックバイト」が25.3%、「心電計及びモニターの装着」が23.2%、「咬合検査、咬合接触検査」が22.7%、「唾液検査」が16.2%、「カリエスリスク検査」が14.0%、「嚥下機能検査」が12.4%、「ペリオリスク判定」が11.1%、「口臭度チェック・判定」が9.9%、「咀嚼機能検査」が7.8%である（図7-12）。全体として実施率が5割を下回っている。

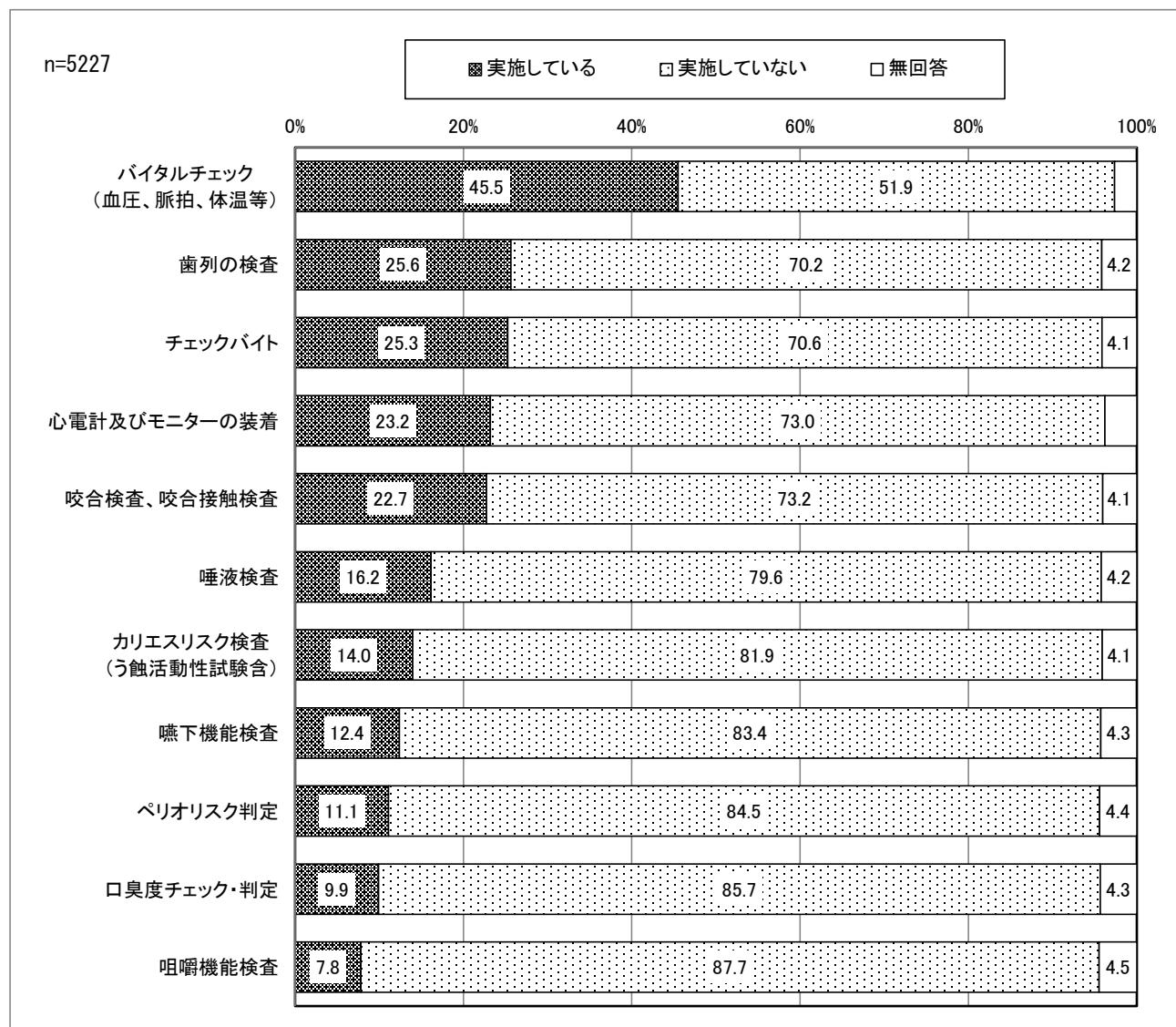


図7-12 検査・モニタリング（全体）

### 3) 歯周治療

歯周治療における業務を「実施している」でみると、「スケーリング・ルートプレーニング」が 94.4%、「歯周組織検査」が 91.5%、「SPT・メインテナンス」が 82.0%、「歯周外科手術の補助」が 64.3%である（図 7-13）。

この結果から、歯周治療に関する業務は 8~9 割が実施しているが、歯周外科手術の補助に関しては、実施していない歯科診療所もあるため、他の項目より低い結果となっている。

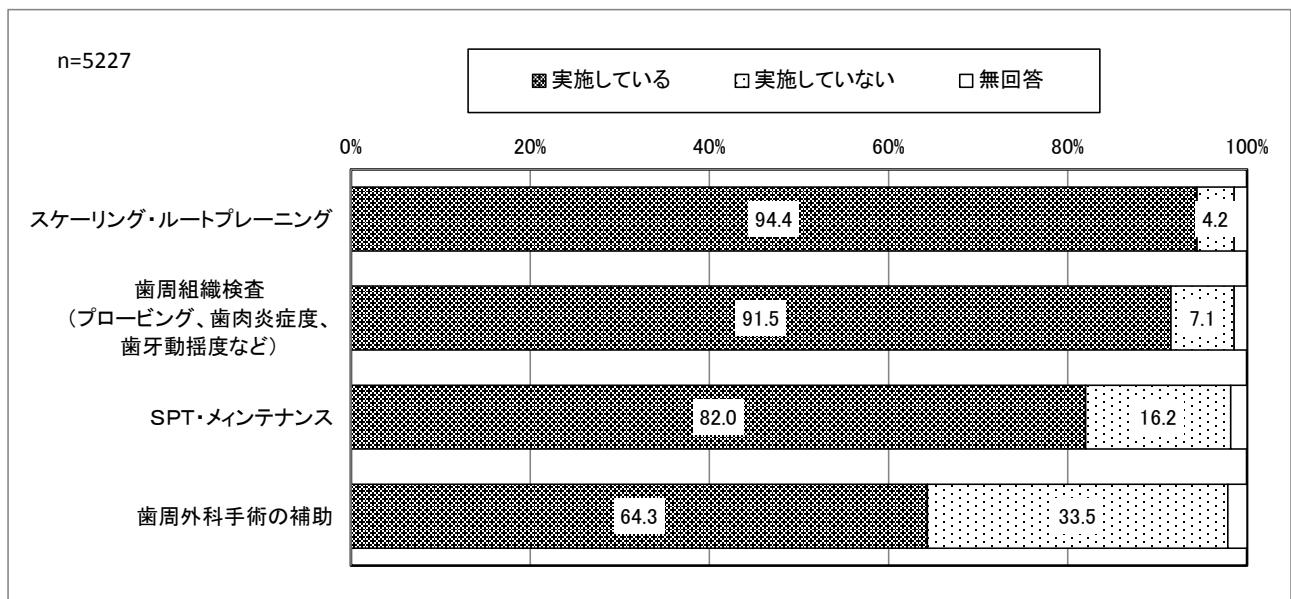


図 7-13 歯周治療（全体）

#### 4) 印象採得・咬合採得

印象採得・咬合採得における業務を「実施している」でみると、「スタディモデルの印象採得」が 82.2%、「インレー窩洞の印象採得」が 67.2%、「インレー窩洞の咬合採得」が 66.6%、「クラウン・ブリッジの咬合採得」が 65.9%、「クラウン・ブリッジの印象採得」が 65.6%、「スプリント用印象採得」が 62.0%、「スプリント用咬合採得」が 47.5%、「支台歯形成の前準備」が 44.0%である（図 7-14）。

全体の傾向としては 6 割前後が実施されていると考えられる。

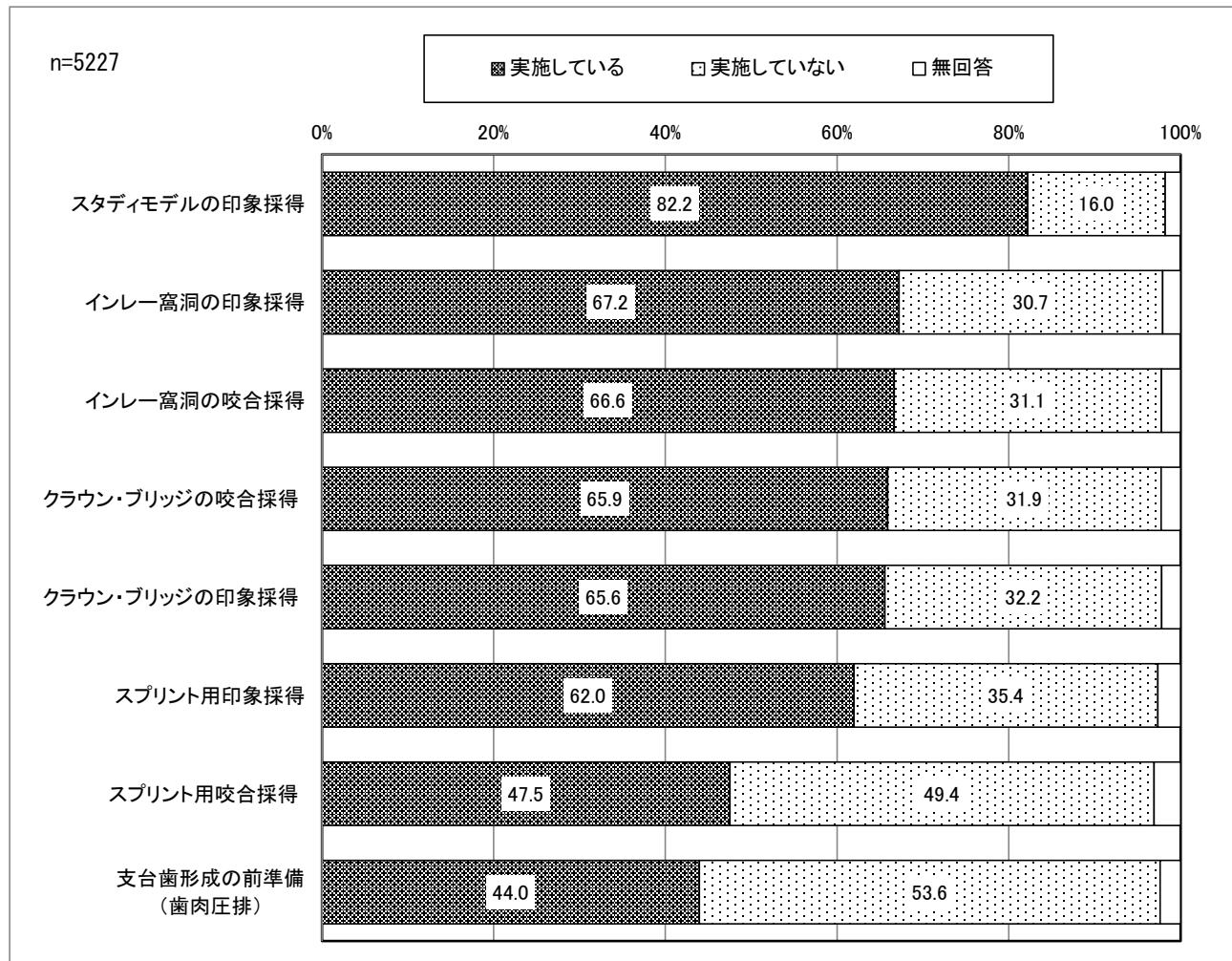


図 7-14 印象採得・咬合採得（全体）

## 5) 矯正歯科【標榜科名で矯正歯科と回答した者】

矯正歯科における業務を「実施している」でみると、「印象採得」が 65.4%、「装置の撤去」が 36.3%、「装置の研磨・調整」が 28.2%、「ブラケットのボンディング」が 27.1%、「筋機能訓練」が 27.0%、「セファロトレース」が 21.7%、「バンディング」が 13.7%である（図 7-15）。

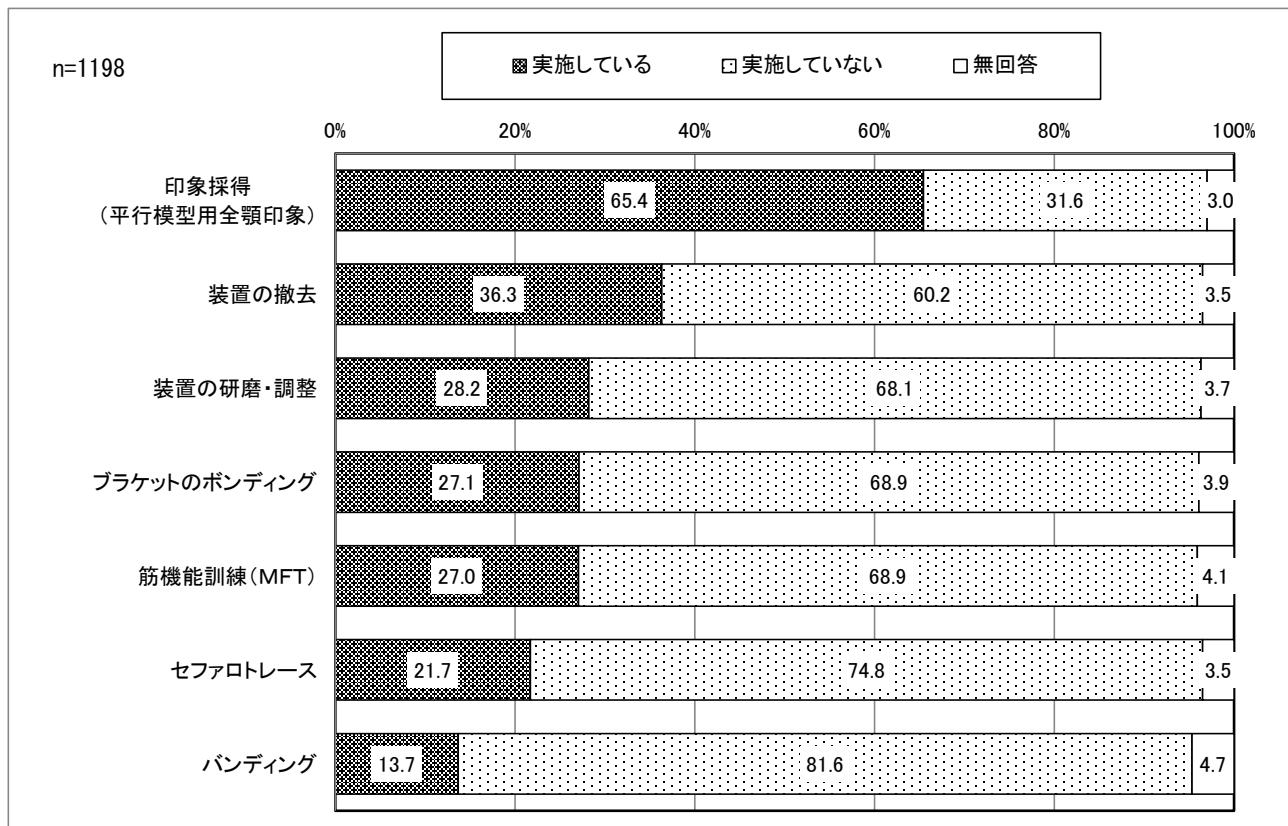


図 7-15 矯正歯科【標榜科名で矯正歯科と回答した者】

## 6) 口腔インプラント

口腔インプラントにおける業務を「実施している」でみると、「インプラント体周囲のスケーリング」が35.8%、「インプラント手術の補助」が35.2%、「インプラント周囲のプロービング」が31.7%、「手術前・後の注意事項の説明」が31.6%、「インプラント体の動搖度検査」が30.0%である（図7-16）。

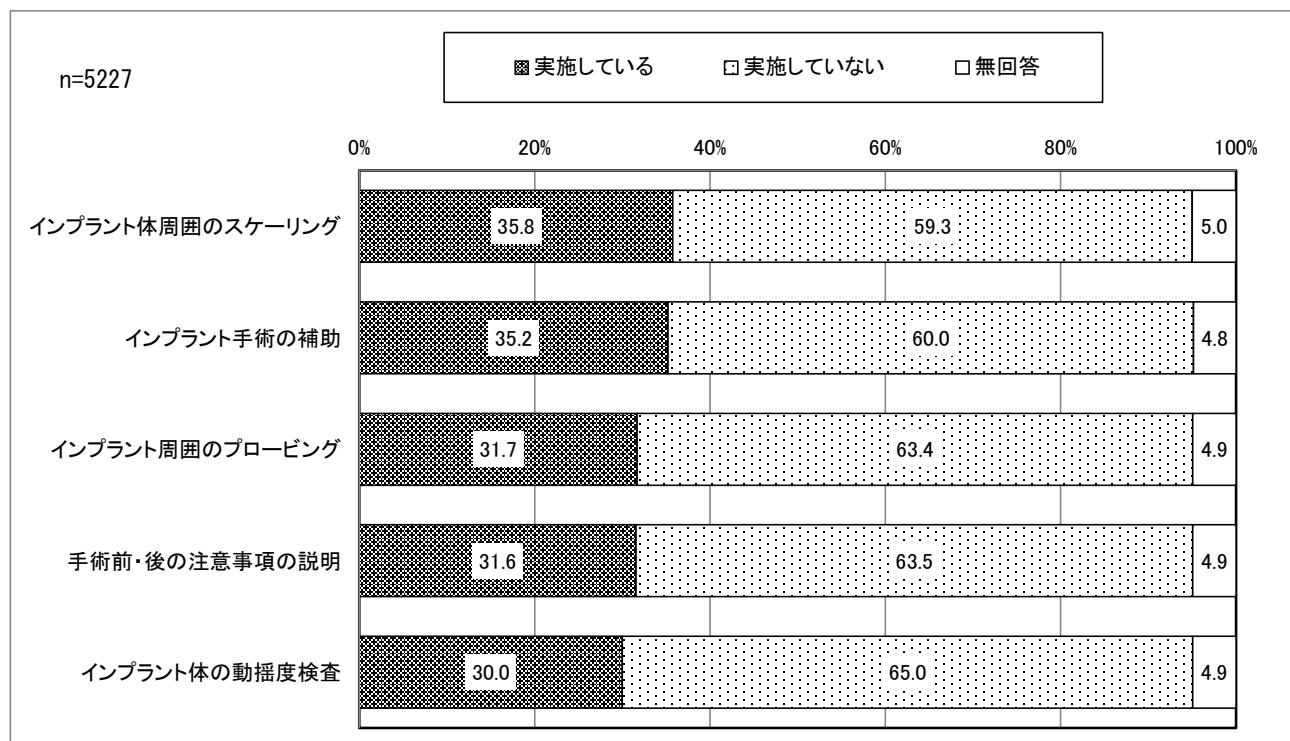


図7-16 口腔インプラント（全体）

## 7) 静脈路等

静脈路等における業務を「実施している」でみると、「輸液剤の交換・輸液速度の調節」が4.5%、「薬剤の投与」が3.1%、「点滴」が2.4%、「採血」が2.1%、「静脈確保」が1.6%である（図7-17）。

この業務に関してはほとんど実施されていない。

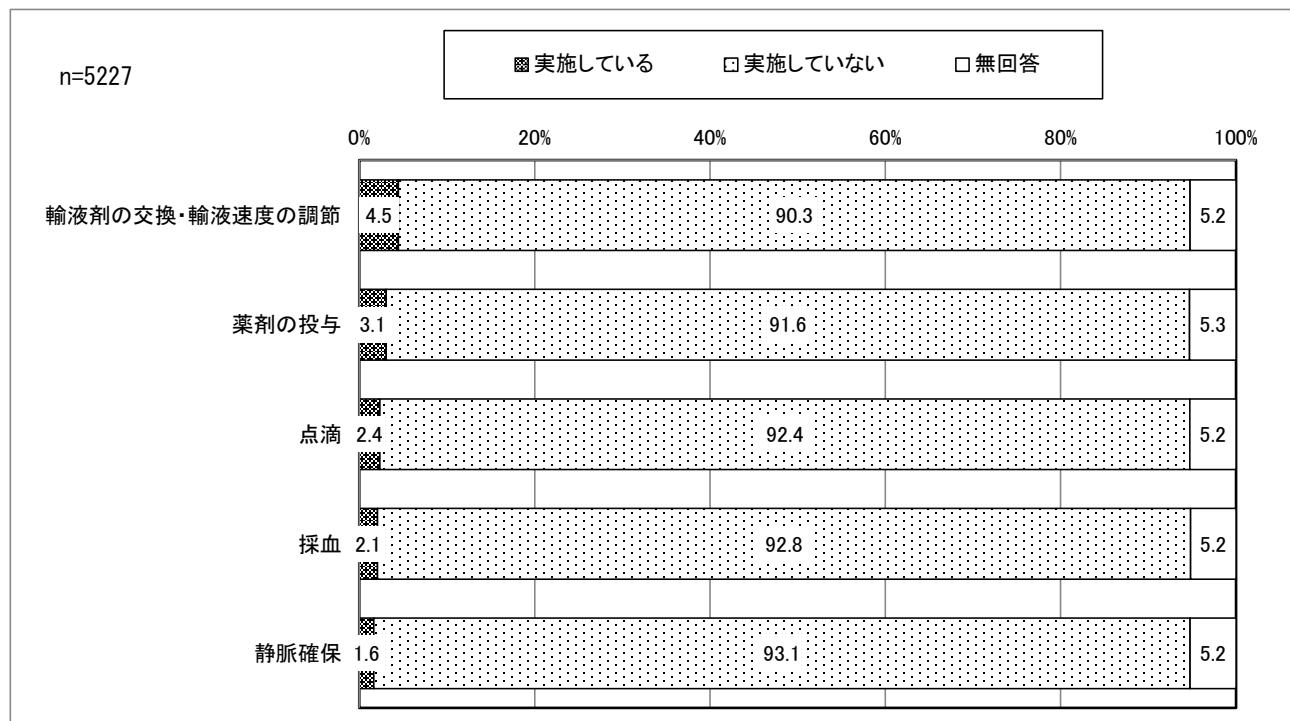


図7-17 静脈路等（全体）

## 8) 障害者歯科【就業場所で障害者歯科診療所等と回答した者】

障害者歯科における業務を「実施している」でみると、「一般歯科治療時のモニタリング機器装置・モニタリング・記録」が 68.5%、「ラバーダム防湿」が 57.3%、「摂食機能療法・間接訓練」が 39.0%、「咽頭部の吸痰」が 29.5%、「摂食機能療法・直接訓練」が 28.2%、「筋機能療法」が 17.4%、「摂食訓練時の気切部気管吸引」が 9.5%である（図 7-18）。

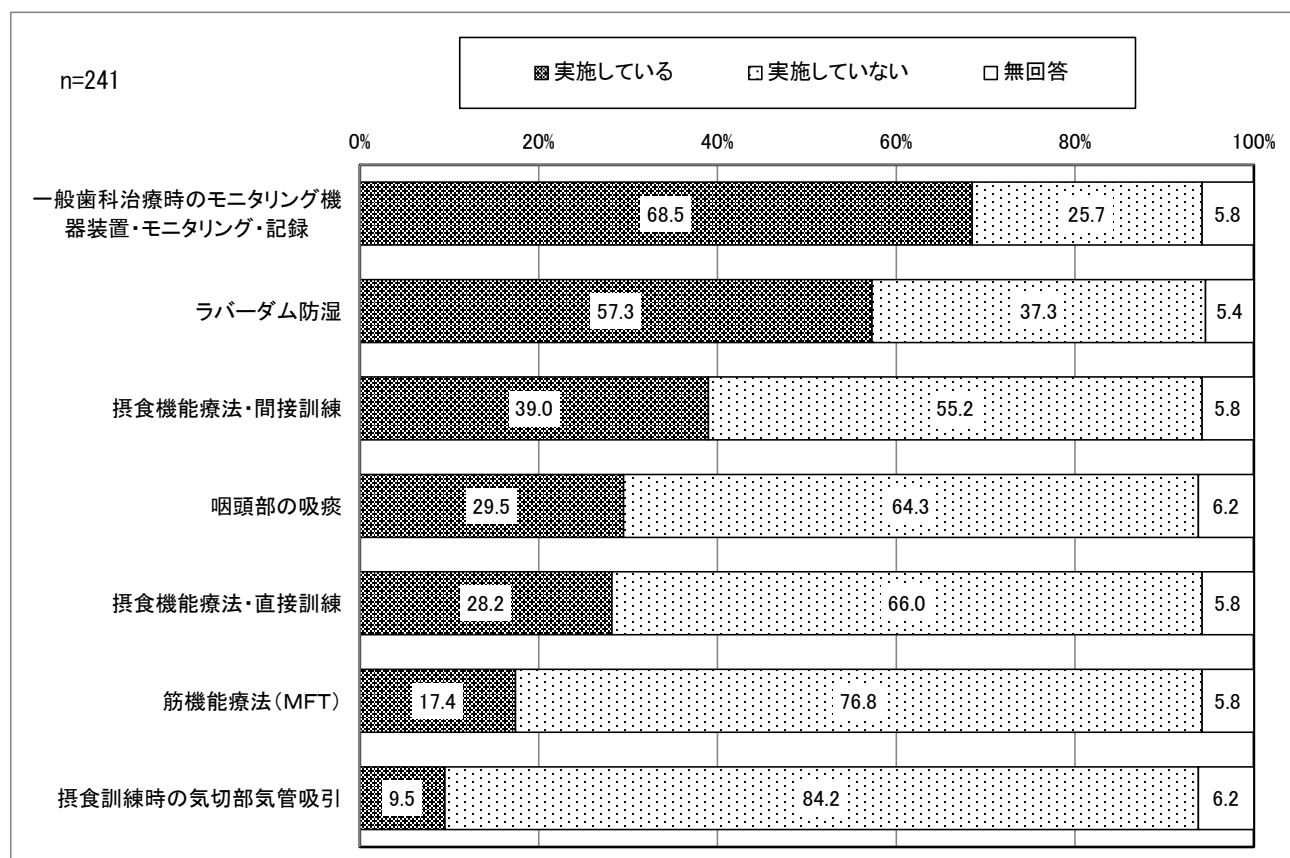


図 7-18 障害者歯科【就業場所で障害者歯科診療所等と回答した者】

## 9) 在宅・施設等への訪問業務（介護保険関連を含む）【就業場所で診療所と回答した者】

在宅施設等への訪問業務における業務を「実施している」でみると、「在宅患者への歯科訪問診療の補助」が39.3%、「在宅患者への訪問歯科衛生指導」が33.3%、「ケアマネージャー・他職種との連絡・調整」が19.8%、「摂食・嚥下機能障害の間接訓練」が17.9%、「口腔ケアプランの作成」が14.9%、「カンファレンス等への参加」が11.4%、「摂食・嚥下機能障害の直接訓練」が11.1%である（図7-19）。

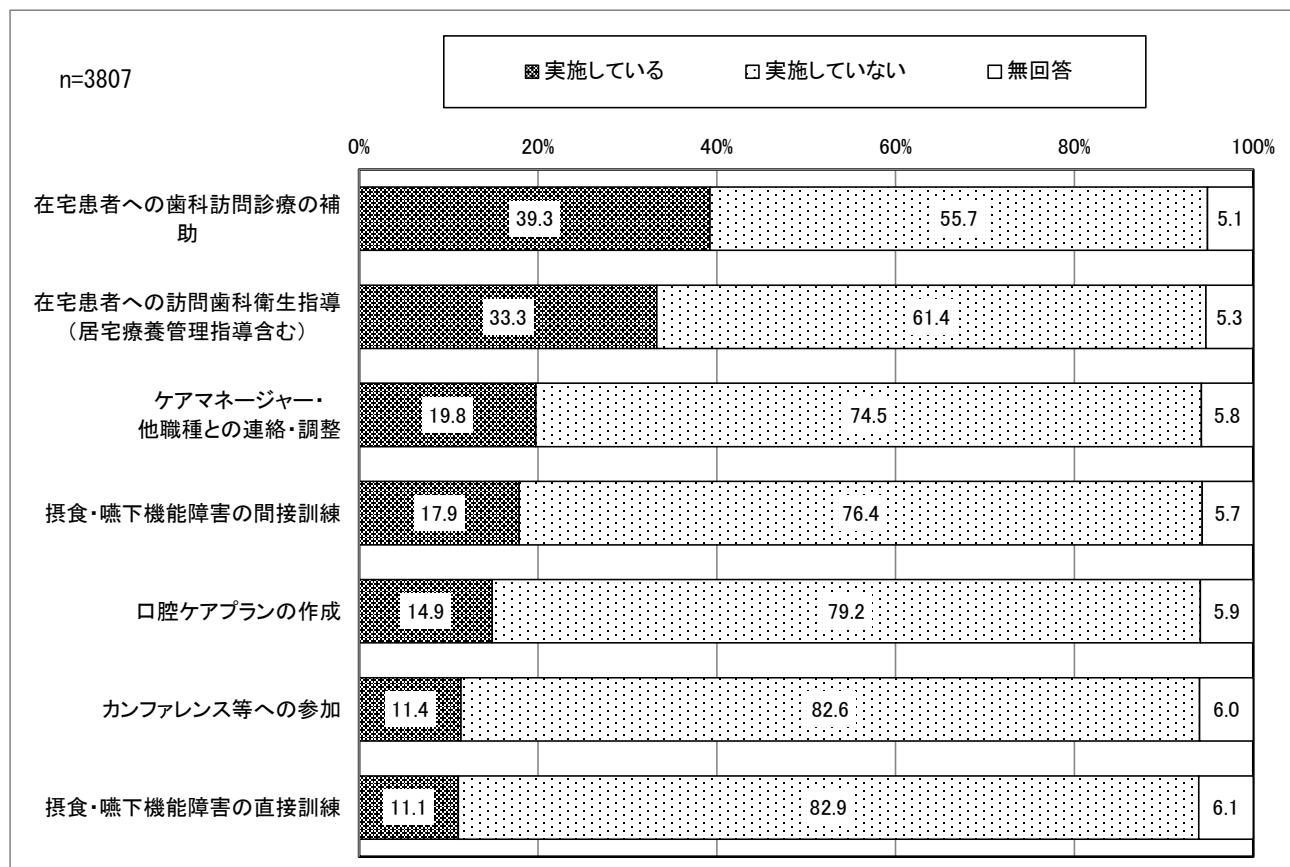


図7-19 在宅・施設等への訪問業務（介護保険関連を含む）【就業場所で診療所と回答した者】

## 10) ①. 周術期口腔機能管理の実施の有無

外来患者や入院患者に対して周術期口腔機能管理の実施の有無を全体でみると、「実施している」が30.1%、「実施していない」が64.6%である。

勤務先別で「実施している」をみると、「病院・大学病院」が67.4%で、以下は少ない（図7-20）。

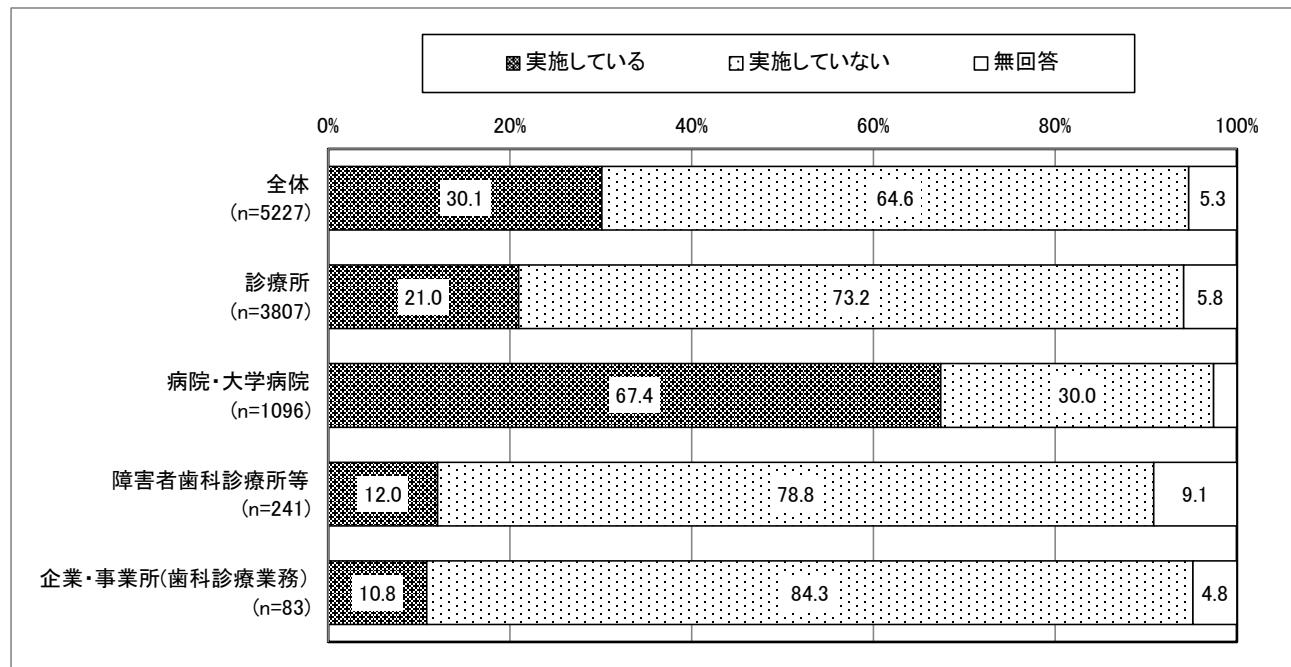


図7-20 周術期口腔機能管理の実施の有無

## 10) ①-1. 周術期の口腔機能管理における専門的口腔衛生処置の実施内容

周術期の口腔機能管理における専門的口腔衛生処置の実施内容を全体でみると、「歯石除去および機械的歯面清掃」が93.8%、「術者による歯磨き」が92.4%、「義歯の清掃」が82.7%、「口腔清掃等の実地指導」が79.5%、「舌や粘膜の清掃」が73.6%、「口腔内保湿」が60.6%、「洗口」が51.3%、「フッ化物歯面」が41.7%、「歯肉・粘膜等への薬物塗布」が40.9%、「口腔内アセスメント」が35.7%、「摂食・嚥下訓練」が19.6%である(図7-21)。

この結果から「歯石除去および機械的歯面清掃」「術者による歯磨き」「義歯の清掃」の実施率が非常に高い。

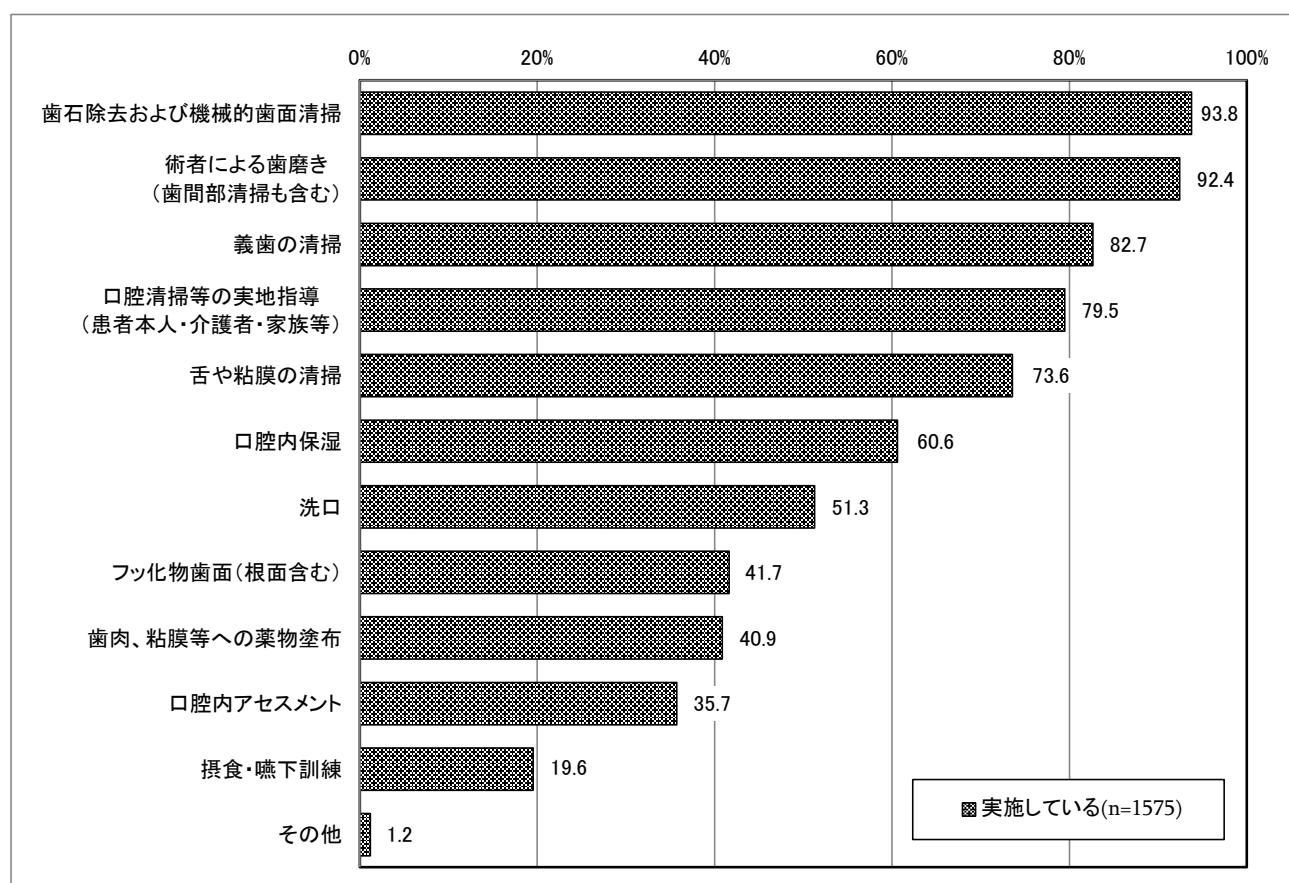


図7-21 周術期の口腔機能管理における専門的口腔衛生処置の実施内容(複数回答)

## 10) ①-2. 診療報酬の周術期専門的口腔衛生処置の算定の有無

診療報酬の周術期専門的口腔衛生処置の算定の有無を全体でみると、「算定している」が 61.3%、「算定していない」が 32.6%である。

勤務先別で「算定している」をみると、「病院・大学病院」が 84.6%、「障害者歯科診療所等」が 69.0%、「診療所」が 39.8%、「企業・事業所（歯科診療業務）」が 33.3%である（図 7-22）。

この結果からみると「病院・大学病院」での算定が最も多い。

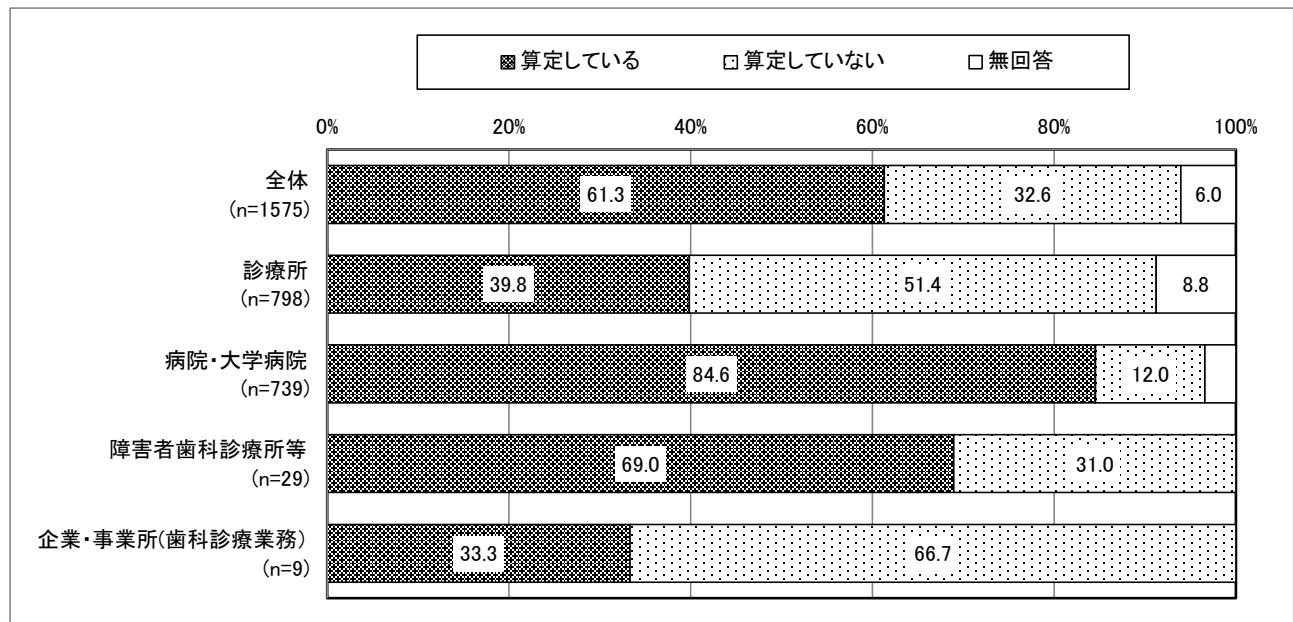


図 7-22 診療報酬の周術期専門的口腔衛生処置の算定の有無

## 11) 医科歯科連携のチーム医療（体制）の参加（所属）状況（全体）

医科歯科連携のチーム医療（体制）の参加（所属）状況を全体でみると、「参加していない」が59.0%であるが、参加しているチーム医療では「口腔ケア」が17.4%、「摂食・嚥下」が10.2%、「栄養サポート」が7.9%、「感染（制御）対策」が5.3%、「医療安全対策」が5.3%、「緩和ケア」、「がん治療」とともに3.6%、「呼吸サポート」が2.3%、「褥瘡対策」が0.7%である（図7-23）。

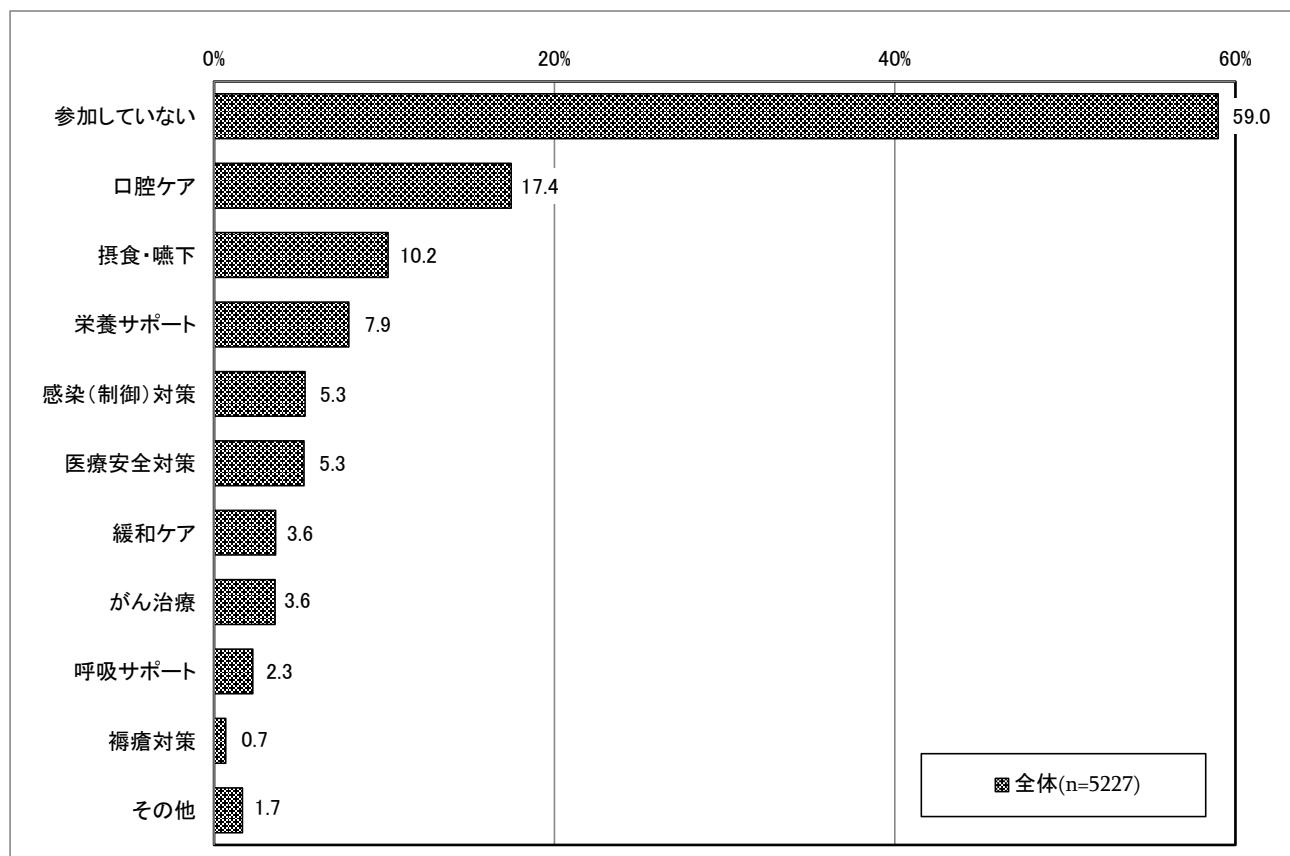


図7-23 医科歯科連携のチーム医療（体制）の参加（所属）状況（全体・複数回答）

## 11) - 1. 医科歯科連携のチーム医療（体制）の参加（所属）の参加状況

（診療所・病院・大学病院別）

診療所における医科歯科連携のチーム医療（体制）の参加（所属）状況をみると、「参加していない」が 69.7%であるが、参加しているチーム医療では「口腔ケア」が 9.4%、「摂食・嚥下」が 4.3%、「医療安全対策」、「がん治療」がともに 1.3%、「感染（制御）対策」が 1.2%、「栄養サポート」が 1.1%、「緩和ケア」が 0.8%、「呼吸サポート」が 0.2%、「褥瘡対策」が 0.1%である。

病院・大学病院における医科歯科連携のチーム医療（体制）の参加（所属）状況をみると、「参加していない」が 22.1%であるが、参加しているチーム医療では「口腔ケア」が 45.7%、「栄養サポート」が 33.5%、「摂食・嚥下」が 30.1%、「感染（制御）対策」が 19.6%、「医療安全対策」が 19.2%、「緩和ケア」が 13.9%、「がん治療」が 12.0%、「呼吸サポート」が 10.0%、「褥瘡対策」が 2.6%である（図 7-24）。

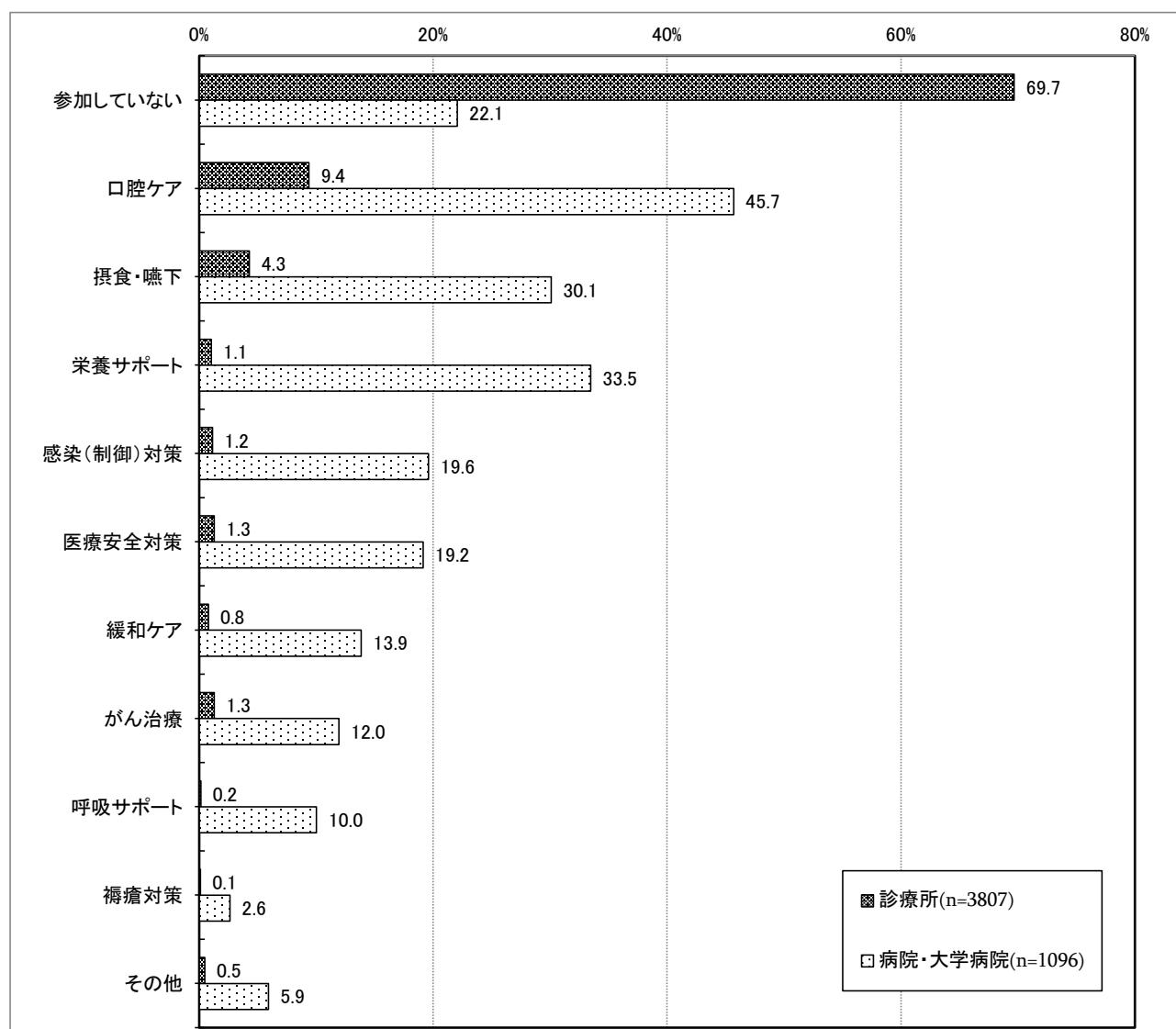


図 7-24 医科歯科連携のチーム医療（体制）の参加（所属）状況

（診療所・病院・大学病院別・複数回答）

## 7. 歯科予防処置の実施状況

歯科予防処置の実施状況を「実施している」の合計でみると、「予防的歯石除去」が 82.2%、「フッ化物歯面塗布」が 76.6%、「シーラント」が 50.7%である（図 7-25）。

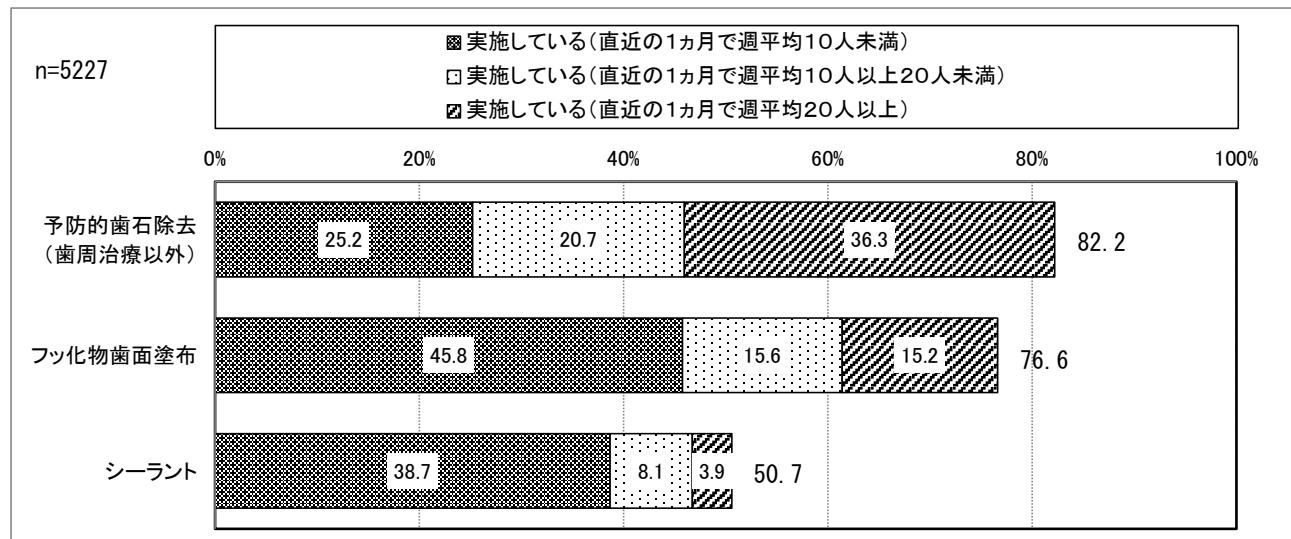


図 7－25 歯科予防処置の実施状況（全体）

## 8. 患者指導の実施状況

患者に対する歯科保健指導（患者指導）の実施状況を「実施している」の合計でみると、「歯科衛生実地指導（歯周疾患患者）」が89.5%、「義歯の清掃・取り扱い等の指導」が88.5%、「リコールによる患者指導」が81.0%、「歯科衛生実地指導（小児患者）」が75.3%、「フッ化物洗口法の指導」が38.4%、「禁煙指導」が33.5%、「入院患者に対する口腔ケア・指導管理」が32.7%、「電話による相談・指導」が28.8%である（図7-26）。

のことから、「歯科衛生実地指導（歯周疾患患者）」「義歯の清掃・取り扱い等の指導」「リコールによる患者指導」、「歯科衛生実地指導（小児患者）」が8割以上または8割近くであり、ほとんどが実施しているといえる。

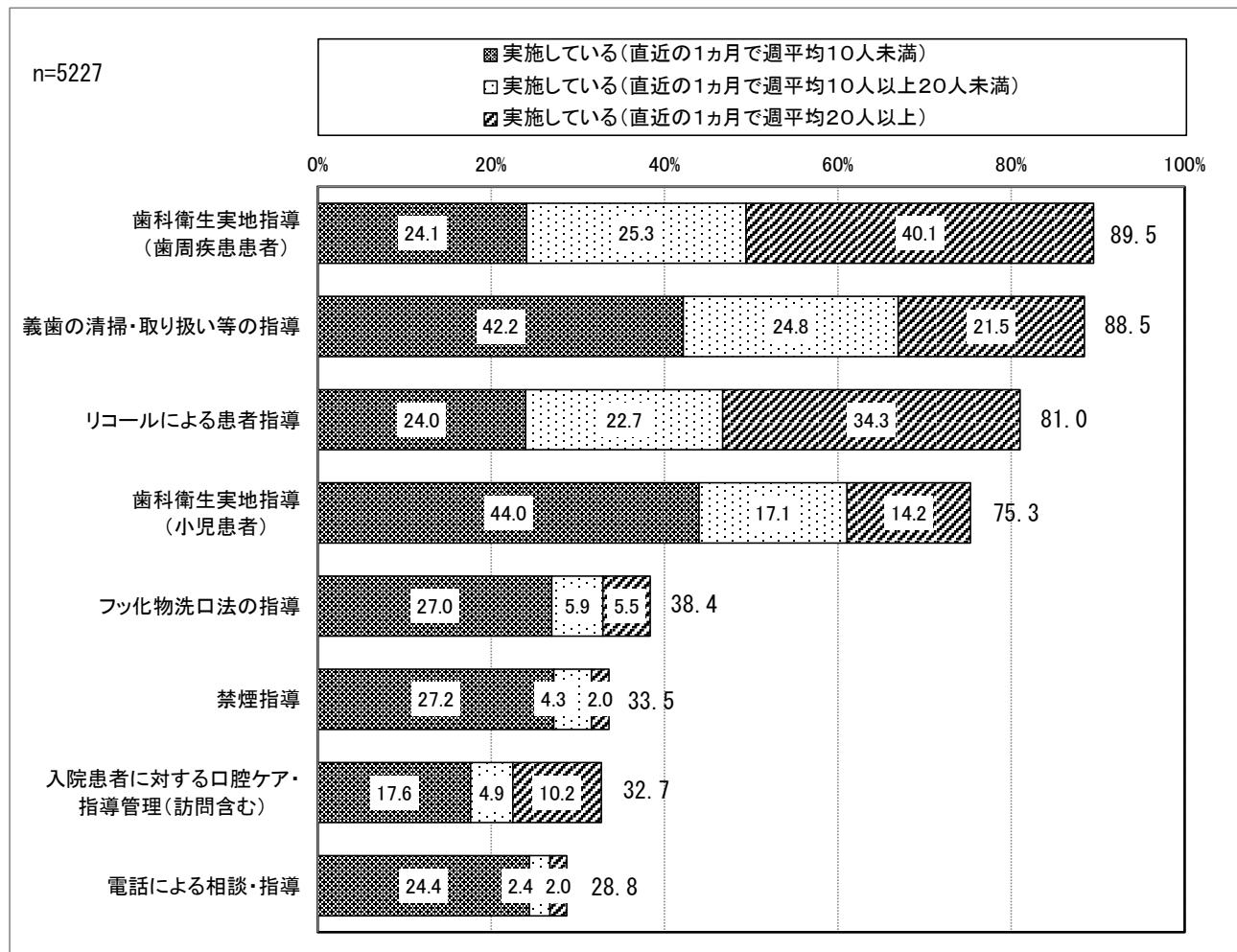


図7-26 患者指導の実施状況（全体）

## 9. 診療室の事務・管理の実施状況

診療室の事務・管理における業務を「実施している」でみると、「器材・器具の滅菌・消毒」が 87.4%、「薬剤・器材の発注・管理」が 78.8%、「スタッフの指導管理」が 55.7%、「受付事務」が 54.2%、「コンピュータ入力事務」が 50.0%、「実習生の指導管理」が 29.8%、「レセプト事務」が 25.5%である（図 7-27）。

この結果から「器材・器具の滅菌・消毒」「薬剤・器材の発注・管理」が 8 割程度となっており、ほとんどが実施しているといえる。

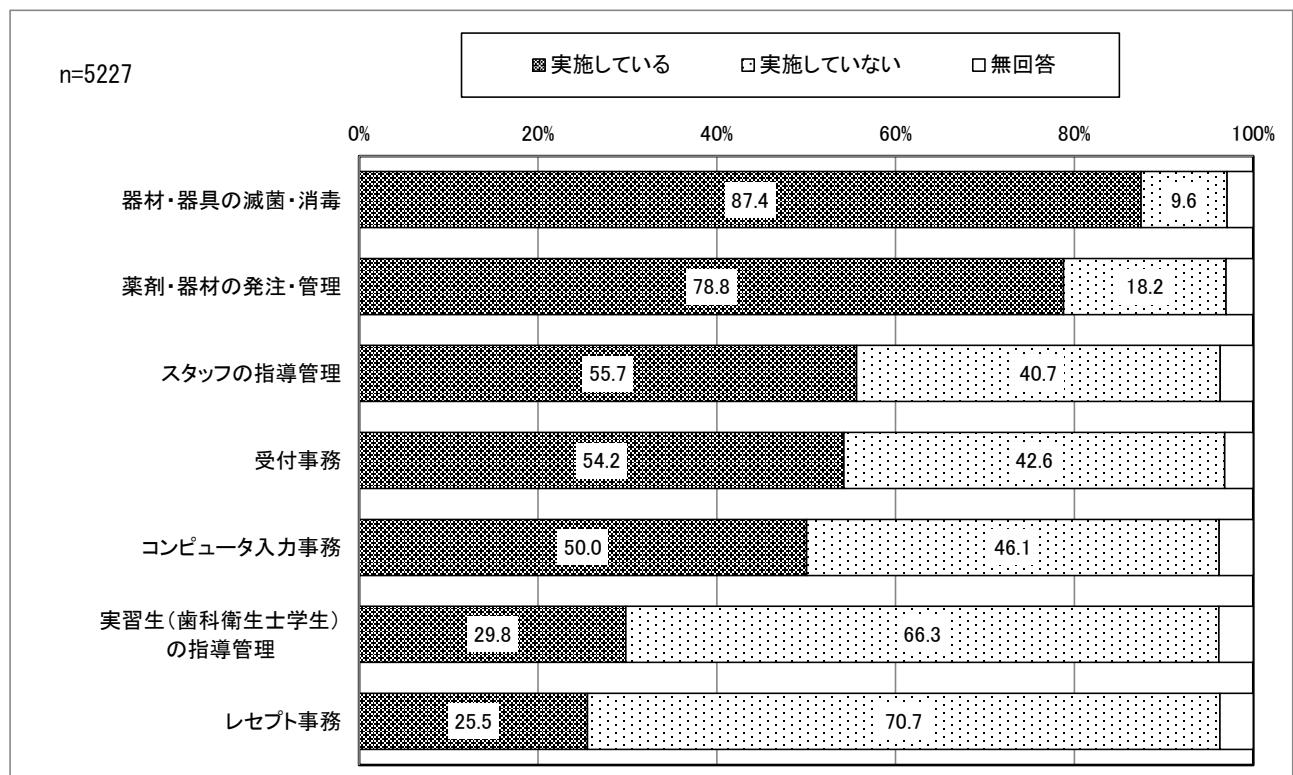


図 7-27 診療室の事務・管理の実施状況（全体）

## 10. 上位トップ10の業務実施割合

### (1) 診療所勤務者・年齢別

診療所勤務者で業務の実施割合が高いトップ10の業務内容を表7-1に示す。「スケーリング・ルートプレーニング」が96.8%、「歯周組織検査」が93.7%、「口腔内の予備診査」が93.2%、「治療内容の説明・相談」が90.3%であり、実施割合が9割を超えている。

表7-1

		診療所勤務者								
		全体 (n=3807)	20~ 24歳 (n=410)	25~ 29歳 (n=323)	30~ 34歳 (n=300)	35~ 39歳 (n=392)	40~ 44歳 (n=544)	45~ 49歳 (n=693)	50~ 54歳 (n=594)	55歳 以上 (n=522)
1位	スケーリング・ルートプレーニング【(3)歯周治療】	96.8%	98.3%	97.8%	99.0%	97.2%	96.5%	97.1%	96.8%	93.3%
2位	歯周組織検査【(3)歯周治療】	93.7%	95.4%	97.2%	95.7%	94.1%	93.2%	93.7%	93.6%	89.5%
3位	口腔内の予備診査（問診含）【(1)聞きとり・医療面接】	93.2%	93.7%	95.4%	94.0%	94.1%	93.0%	94.5%	91.6%	90.8%
4位	治療内容の説明・相談【(1)聞きとり・医療面接】	90.3%	91.7%	94.1%	91.0%	92.1%	90.8%	89.6%	89.6%	86.4%
5位	患者・家族への相談・対応【(1)聞きとり・医療面接】	89.7%	91.7%	93.2%	91.0%	92.3%	88.6%	89.8%	87.9%	87.0%
6位	スタディモデルの印象探得【(4)印象探得】	87.5%	90.2%	90.7%	91.3%	89.3%	88.8%	88.6%	85.2%	79.9%
7位	SPT・メインテナンス【(3)歯周治療】	86.4%	89.3%	89.8%	90.3%	88.0%	88.1%	86.0%	83.2%	80.7%
8位	術前の注意事項の説明【(1)聞きとり・医療面接】	84.2%	85.9%	86.7%	89.7%	87.5%	84.2%	81.1%	82.3%	82.8%
9位	医薬品の授与と服薬指導【(1)聞きとり・医療面接】	79.5%	78.8%	83.3%	84.0%	86.5%	77.4%	78.6%	76.6%	76.6%
10位	インレー窩洞の印象探得【(4)印象探得・咬合探得】	75.7%	81.5%	81.1%	80.7%	78.1%	78.5%	72.9%	74.2%	65.1%

### (2) 病院勤務者・年齢別

病院勤務者で業務の実施割合が高いトップ10の業務内容を表7-2に示す。「スケーリング・ルートプレーニング」が86.8%、「患者・家族への相談・対応」が85.8%、「歯周組織検査」が84.9%、「口腔内の予備診査」が74.7%、「治療内容の説明・相談」が74.2%である。

表7-2

		病院勤務者								
		全体 (n=1096)	20~ 24歳 (n=107)	25~ 29歳 (n=119)	30~ 34歳 (n=115)	35~ 39歳 (n=132)	40~ 44歳 (n=179)	45~ 49歳 (n=148)	50~ 54歳 (n=160)	55歳 以上 (n=125)
1位	スケーリング・ルートプレーニング【(3)歯周治療】	86.8%	90.7%	91.6%	91.3%	84.1%	87.2%	88.5%	82.5%	80.8%
2位	患者・家族への相談・対応【(1)聞きとり・医療面接】	85.8%	86.0%	87.4%	89.6%	90.9%	88.3%	83.1%	83.1%	78.4%
3位	歯周組織検査【(3)歯周治療】	84.9%	89.7%	87.4%	90.4%	85.6%	86.0%	85.1%	81.3%	75.2%
4位	口腔内の予備診査（問診含）【(1)聞きとり・医療面接】	74.7%	68.2%	72.3%	73.0%	75.8%	80.4%	75.0%	75.0%	73.6%
5位	治療内容の説明・相談【(1)聞きとり・医療面接】	74.2%	66.4%	66.4%	74.8%	79.5%	82.7%	76.4%	73.8%	67.2%
6位	バイタルチェック【(2)検査・モニタリング】	72.2%	79.4%	73.1%	81.7%	72.7%	72.1%	66.2%	71.9%	62.4%
7位	スタディモデルの印象探得【(4)印象探得・咬合探得】	71.0%	68.2%	64.7%	74.8%	71.2%	78.2%	75.0%	66.3%	68.0%
8位	術前の注意事項の説明【(1)聞きとり・医療面接】	69.3%	66.4%	62.2%	67.8%	76.5%	74.9%	66.9%	69.4%	67.2%
9位	SPT・メインテナンス【(3)歯周治療】	69.0%	72.9%	71.4%	81.7%	72.0%	65.4%	66.9%	61.9%	64.0%
10位	歯周外科手術の補助【(3)歯周治療】	59.9%	54.2%	53.8%	66.1%	62.9%	61.5%	64.2%	58.8%	56.0%

## 1.1. 医薬品安全管理者

医薬品安全管理者であるかを全体でみると、「医薬品安全管理者である」が 8.1%、「医薬品安全管理者でない」が 90.6%である。

勤務先別で「医薬品安全管理者である」をみると、「病院・大学病院」が 9.9%、「障害者歯科診療所等」が 8.7%、「診療所」が 7.6%、「企業・事業所」が 7.2%である（図 7-28）。

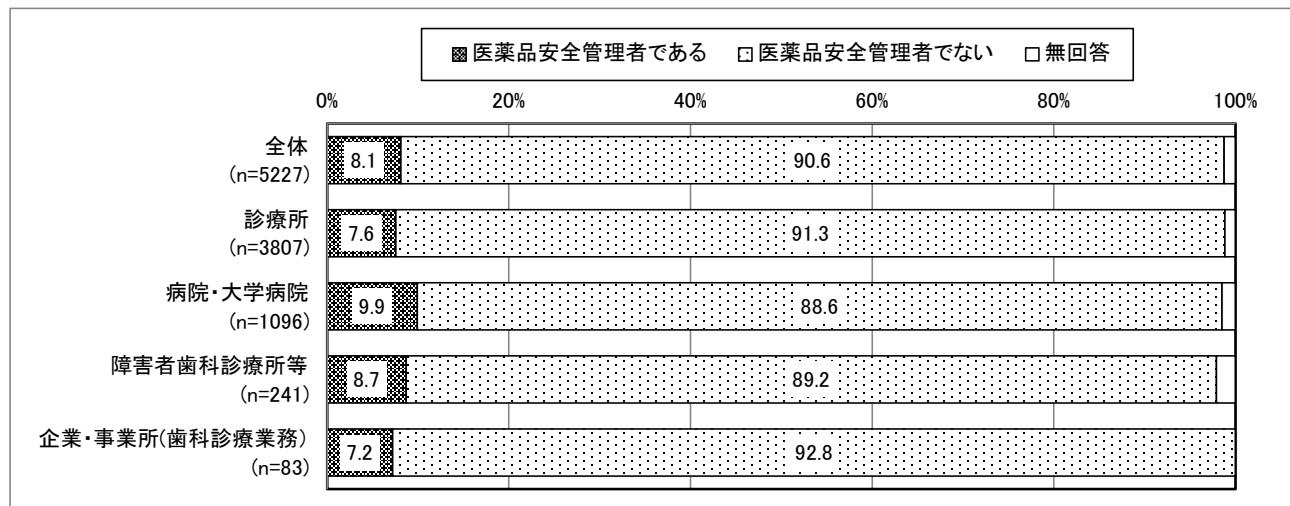


図 7-28 医薬品安全管理者である者

## 1.2. 医療機器安全管理者

医療機器安全管理者であるかを全体でみると、「医療機器安全管理者である」が 7.2%、「医療機器安全管理者でない」が 91.2%である。

勤務先別で「医療機器安全管理者である」をみると、「病院・大学病院」が 9.7%、「企業・事業所」が 8.4%、「障害者歯科診療所等」が 7.9%、「診療所」が 6.4%である（図 7-29）。

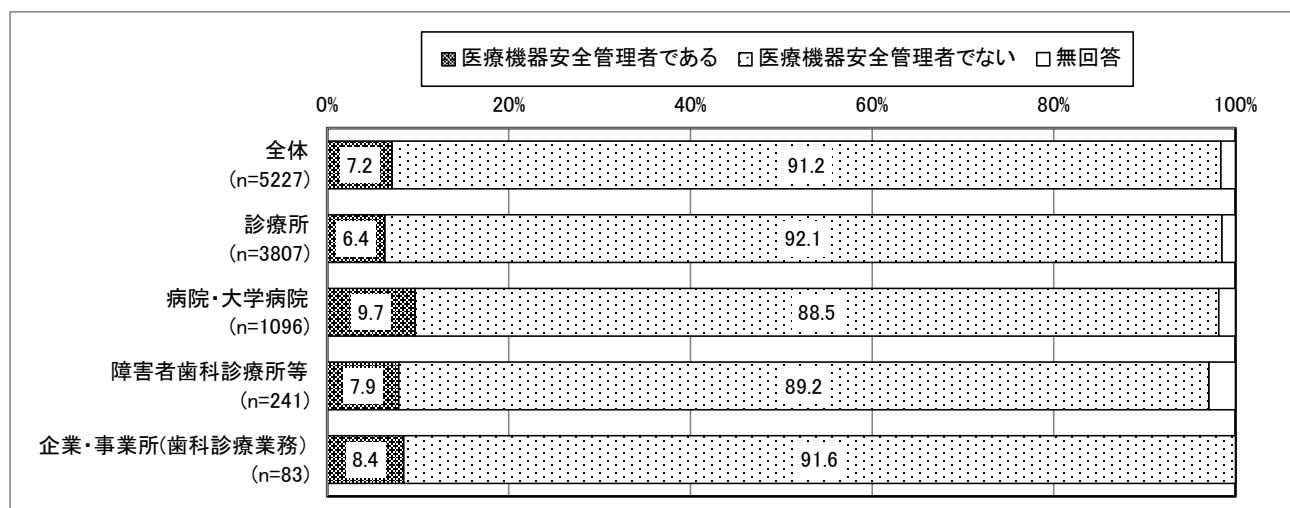


図 7-29 医療機器安全管理者である者

### 1.3. 医療安全管理に係る担当者研修

医療安全管理に係る担当者研修の受講状況を全体でみると、「受けている」が18.1%、「受けていない」が80.2%である。

勤務先別で「受けている」をみると、「病院・大学病院」が41.2%、「企業・事業所」が20.5%、「障害者歯科診療所等」が19.1%、「診療所」が11.3%である（図7-30）。

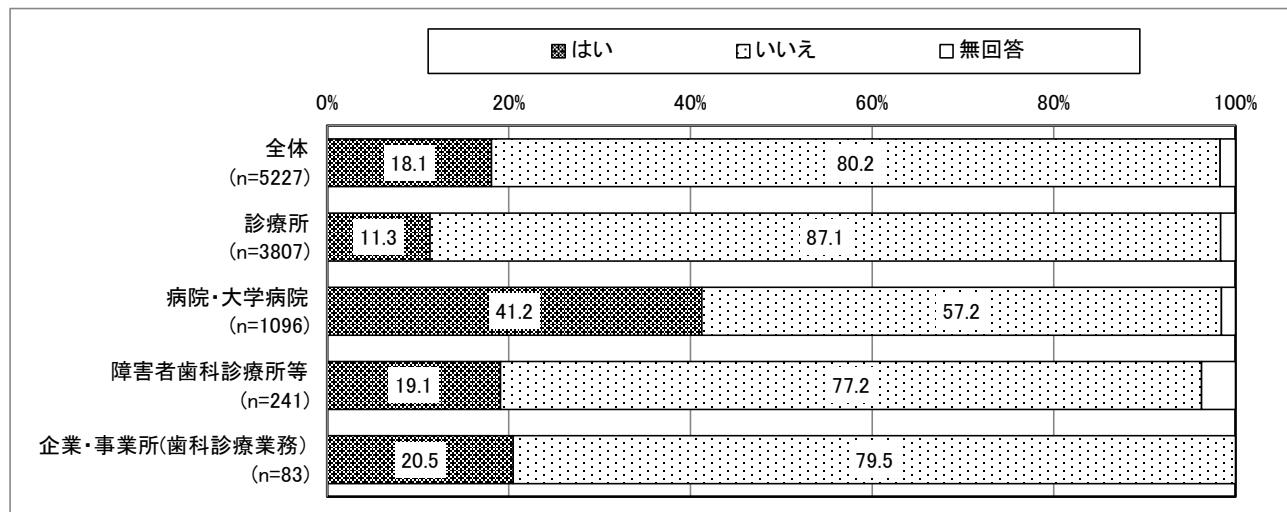


図7-30 医療安全管理に係る担当者研修

### 1.4. 担当者研修の受講頻度

担当者研修を受けている者のうち、その受講頻度を全体でみると、「年に1回程度受けている」が47.0%、「年2回以上受けている」が43.4%である。

勤務先別で「年2回以上受けている」をみると、「病院・大学病院」が65.7%、「企業・事業所」が29.4%、「診療所」が23.2%、「障害者歯科診療所等」が19.6%である（図7-31）。

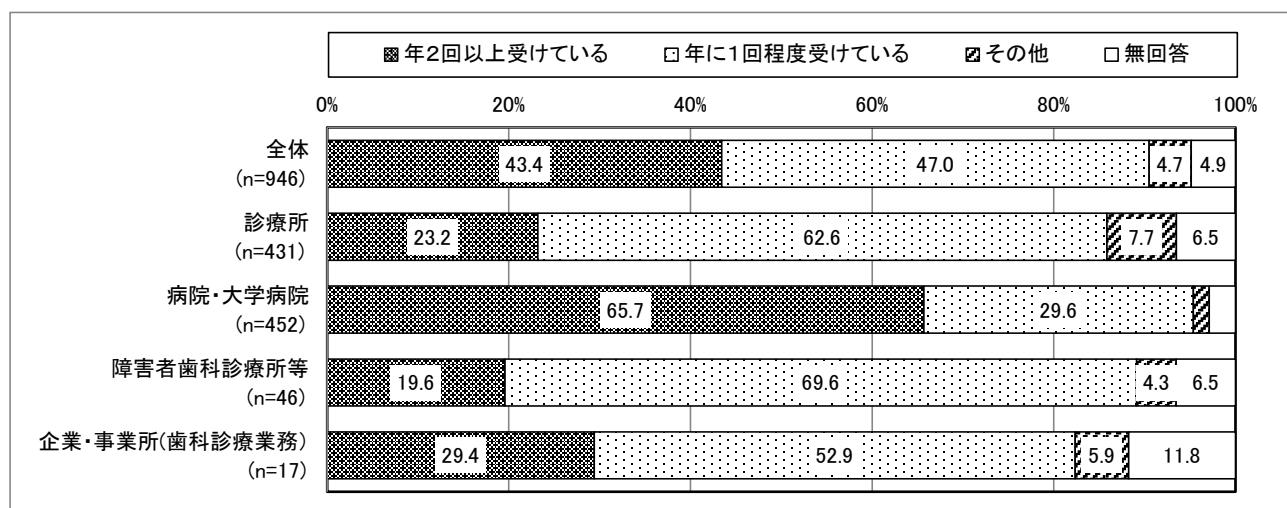


図7-31 担当者研修の受講頻度

## 15. 感染対策に関する院内マニュアルの有無

感染対策に関する院内マニュアルの有無を全体でみると、「ある」が 88.3%、「ない」が 6.2%、わからぬが 5.1%である。

勤務先別で「ある」をみると、「病院・大学病院」が 98.9%、「障害者歯科診療所等」が 89.1%、「企業・事業所」が 88.2%、「診療所」が 77.0%である（図 7-32）。

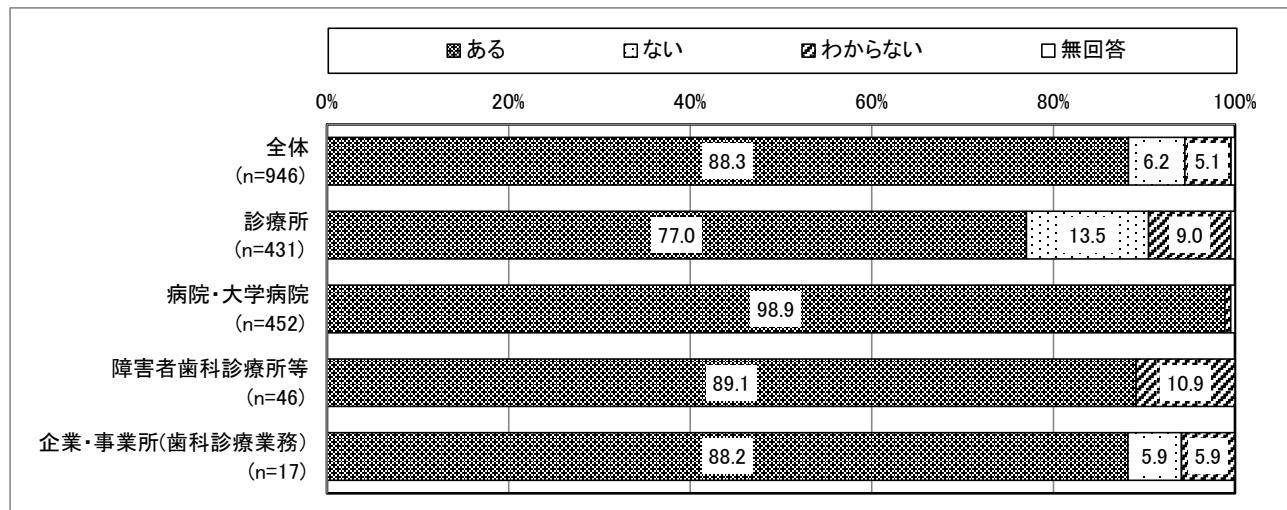


図 7-32 感染対策に関する院内マニュアルの有無

## 16. グローブの交換状況

グローブの交換状況を全体でみると、「患者一人ずつ交換」が 64.1%、「破損・汚れに応じて交換」が 26.0%、「午前・午後に交換」が 4.3%である。

勤務先別でみると、全ての勤務先で「患者一人ずつ交換」が最も多い（図 7-33）。

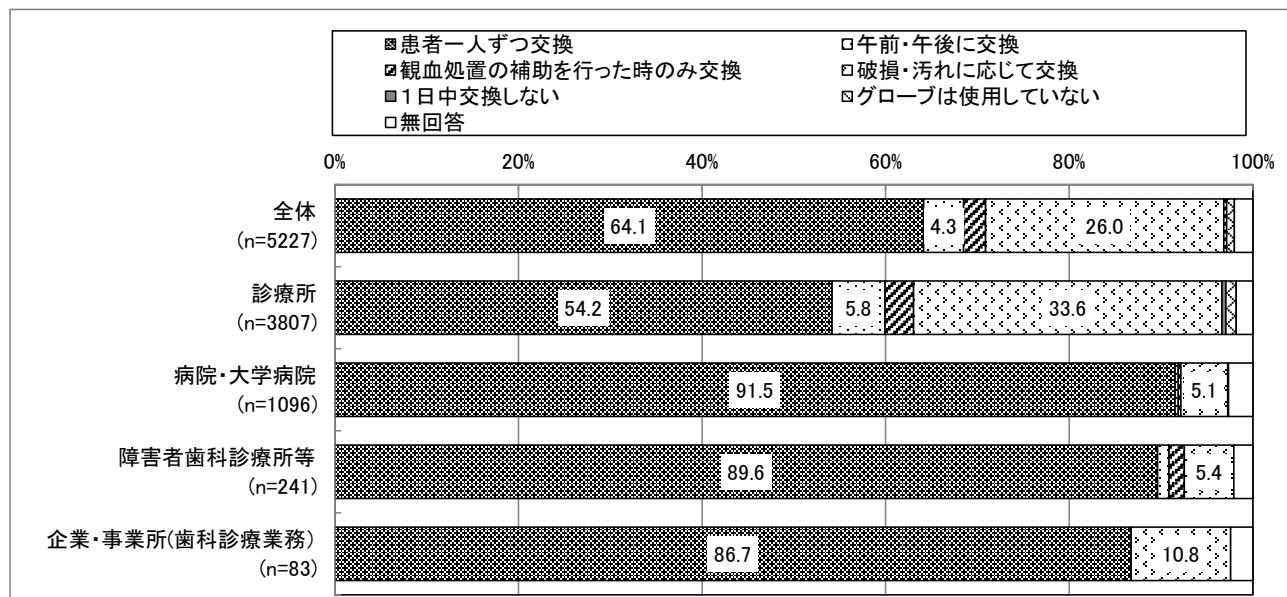


図 7-33 グローブの交換状況

## 17. マスクの使用状況

マスクの使用状況を全体でみると、「全ての患者に使用」が 95.4%、「一部の患者に使用」が 3.3%、「使用しない」が 0.4%である。

勤務先別でみると、全ての勤務先で「全ての患者に使用」が9割を超えていている（図 7-34）。

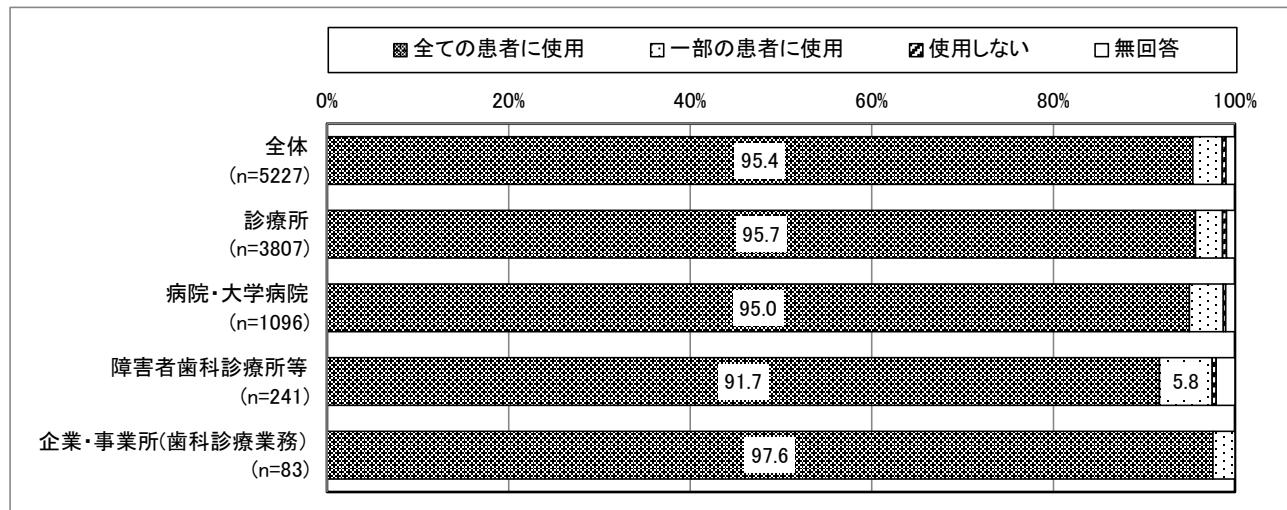


図 7－34 マスクの使用状況

## 18. 目の保護具・眼鏡の使用状況

目の保護具・眼鏡の使用状況を全体でみると、「全ての患者に使用」が 39.4%、「一部の患者に使用」が 37.1%、「使用しない」が 22.2%である。

勤務先別で「使用しない」をみると、「診療所」が 26.4%、「障害者歯科診療所等」が 22.8%、「企業・事業所」が 12.0%、「病院・大学病院」が 8.3%である（図 7-35）。

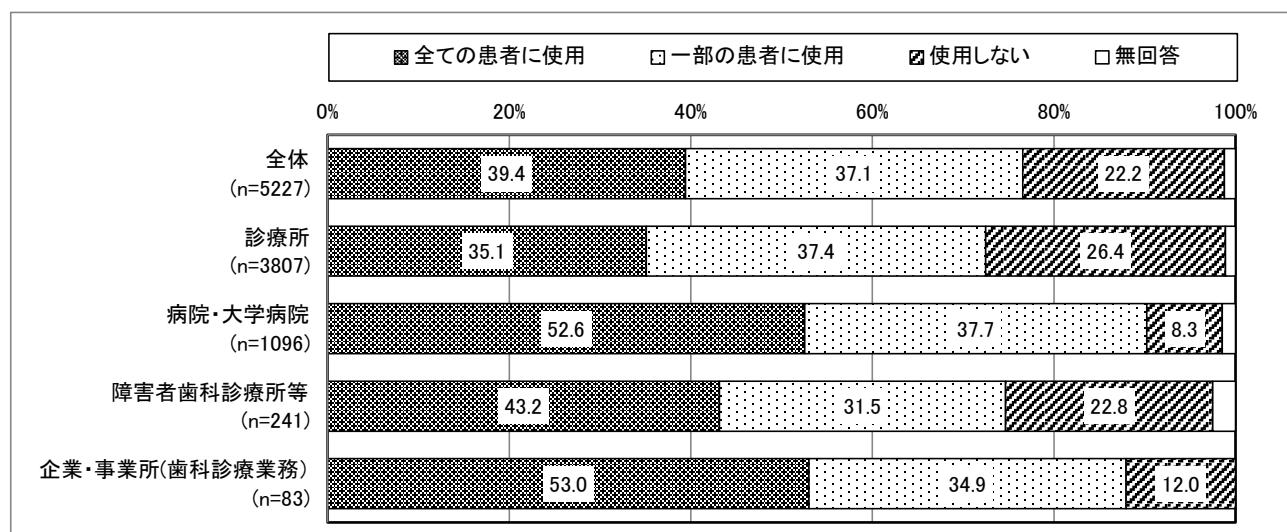


図 7－35 目の保護具・眼鏡の使用状況

## 19. 予防衣やディスポガウンの使用状況

手術の補助や観血処置における予防衣やディスポガウンの使用状況を全体でみると、「使用しない」が 53.1%、使用状況では「インプラント手術の補助」が 26.4%、「口腔外科手術の補助」が 17.1%、「歯周外科手術の補助」が 10.6%である（図 7-36）。

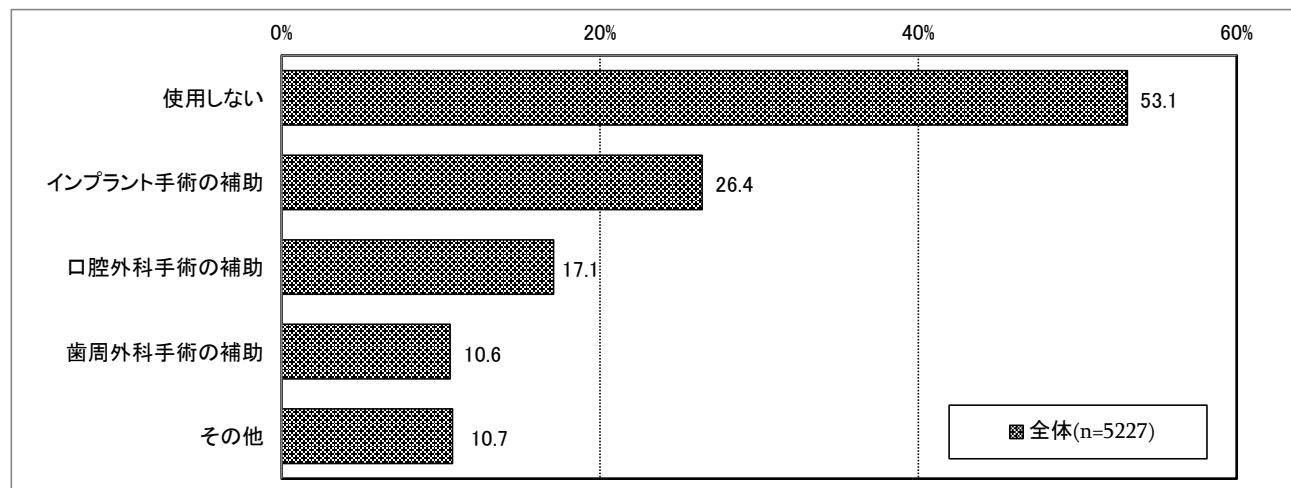


図 7-36 予防衣やディスポガウンの使用状況（複数回答）

## 20. 注射針の使用後の処理方法

注射針の使用後に、歯科衛生士が処理をする場合の方法を全体でみると、「キャップを手で持ってキャップしてから処理をする」が 55.7%、「キャップは手で持たないでキャップして処理をする」が 24.9%、「キャップをしないで特定の容器に廃棄する」が 12.1%である。

勤務先別にみると、「診療所」では「キャップを手で持ってキャップしてから処理をする」が 68.1%、「キャップは手で持たないでキャップして処理をする」が 20.8%、「キャップをしないで特定の容器に廃棄する」が 6.0%、「病院・大学病院」では、「キャップは手で持たないでキャップして処理をする」が 34.6%、「キャップをしないで特定の容器に廃棄する」が 33.9%、「キャップを手で持ってキャップしてから処理をする」が 17.2%、「障害者歯科診療所等」では、「キャップを手で持ってキャップしてから処理をする」が 41.9%、「キャップは手で持たないでキャップして処理をする」が 43.6%、「キャップをしないで特定の容器に廃棄する」が 7.1%、「企業・事業所」では、「キャップを手で持ってキャップしてから処理をする」が 36.1%、「キャップは手で持たないでキャップして処理をする」が 27.7%、「キャップをしないで特定の容器に廃棄する」が 19.3%となっており、「キャップをしないで特定の容器に廃棄する」傾向が高いのは「病院・大学病院」であり、「キャップを手で持ってキャップしてから処理をする」割合が高いのが「診療所」という結果である（図 7-37）。

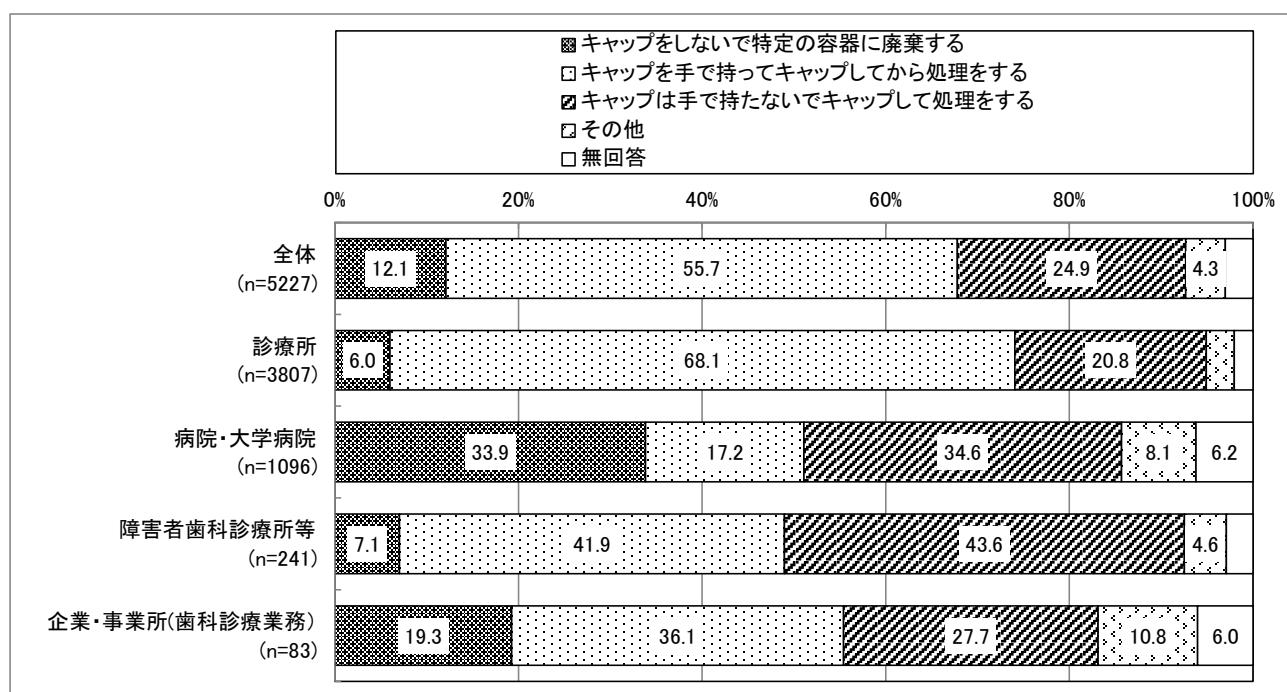


図 7-37 注射針の使用後の処理方法

## 2.1. ハンドピースの滅菌・消毒方法

ハンドピースの滅菌・消毒方法を全体でみると、「オートクレーブ滅菌」が 63.3%、「薬液消毒」が 12.5%、「ガス滅菌」が 5.4%、「乾熱滅菌」が 3.4%である。

勤務先別で「オートクレーブ滅菌」をみると、「障害者歯科診療所等」が 83.0%、「病院・大学病院」が 76.9%、「企業・事業所」が 75.9%、「診療所」が 57.8%である。また、「診療所」では「薬液消毒」が 16.4%である（図 7-38）。

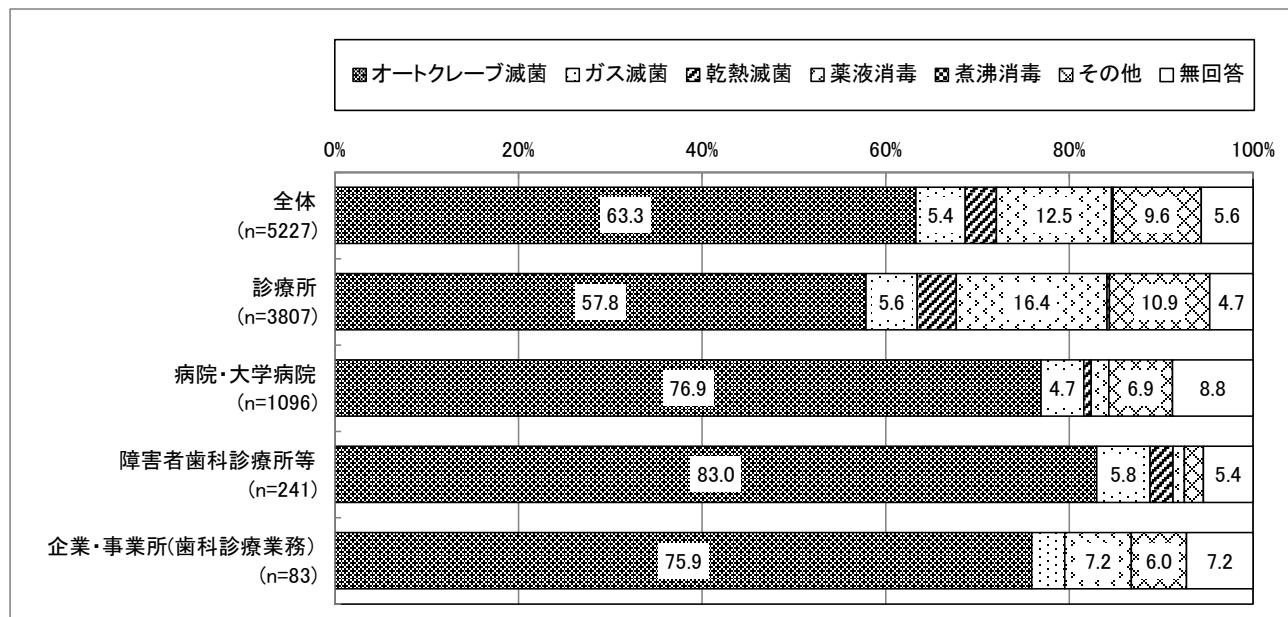


図 7-38 ハンドピースの滅菌・消毒方法

## 22. バーやポイントなどの滅菌・消毒方法

バーやポイントなどの滅菌・消毒方法を全体でみると、「オートクレーブ滅菌」が49.5%、「薬液消毒」が31.8%、「ガス滅菌」が6.7%、「乾熱滅菌」が1.3%であり、「オートクレーブ滅菌」と「薬液消毒」が主な方法である。

勤務先別で「オートクレーブ滅菌」をみると、「障害者歯科診療所等」が70.5%、「病院・大学病院」が63.7%、「企業・事業所」が55.4%、「診療所」が44.0%である（図7-39）。

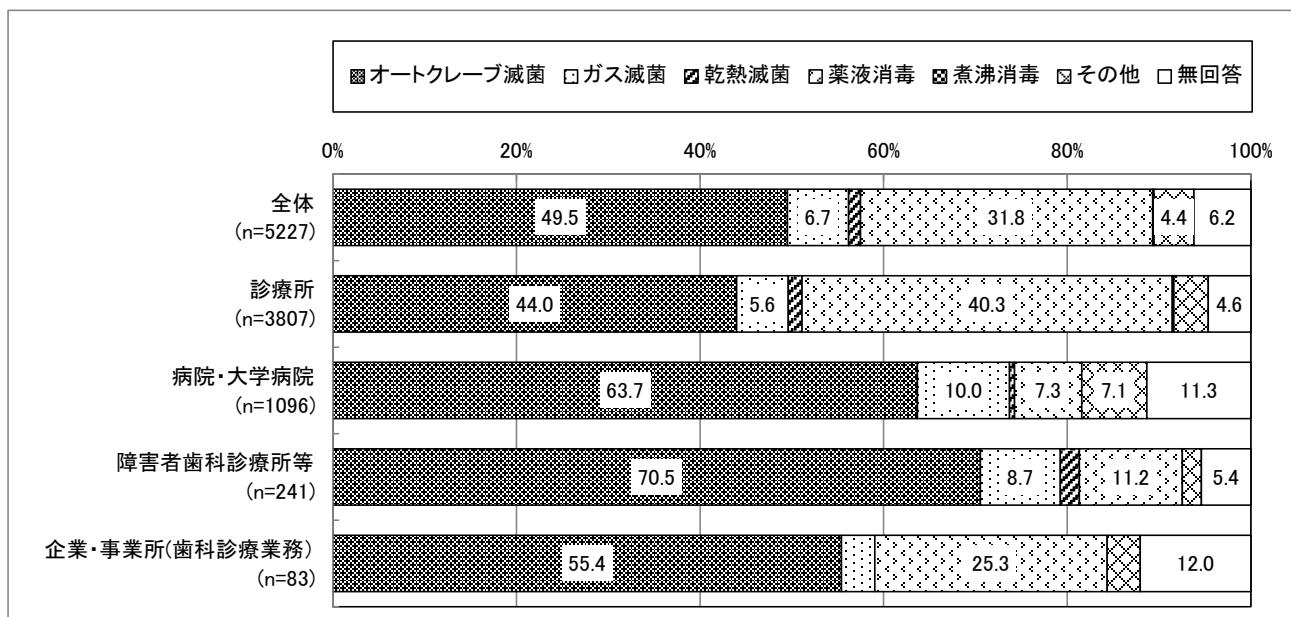


図7-39 バーやポイントなどの滅菌・消毒方法

## 2.3. ミラーや探針等の滅菌・消毒方法

ミラーや探針等の滅菌・消毒方法を全体でみると、「オートクレーブ滅菌」が89.9%、「薬液消毒」が2.2%、「ガス滅菌」が1.2%、「乾熱滅菌」が0.9%、「煮沸消毒」が0.3%となっており、「オートクレーブ滅菌」が主流である。

勤務先別でみても、大きな差異はみられない（図7-40）。

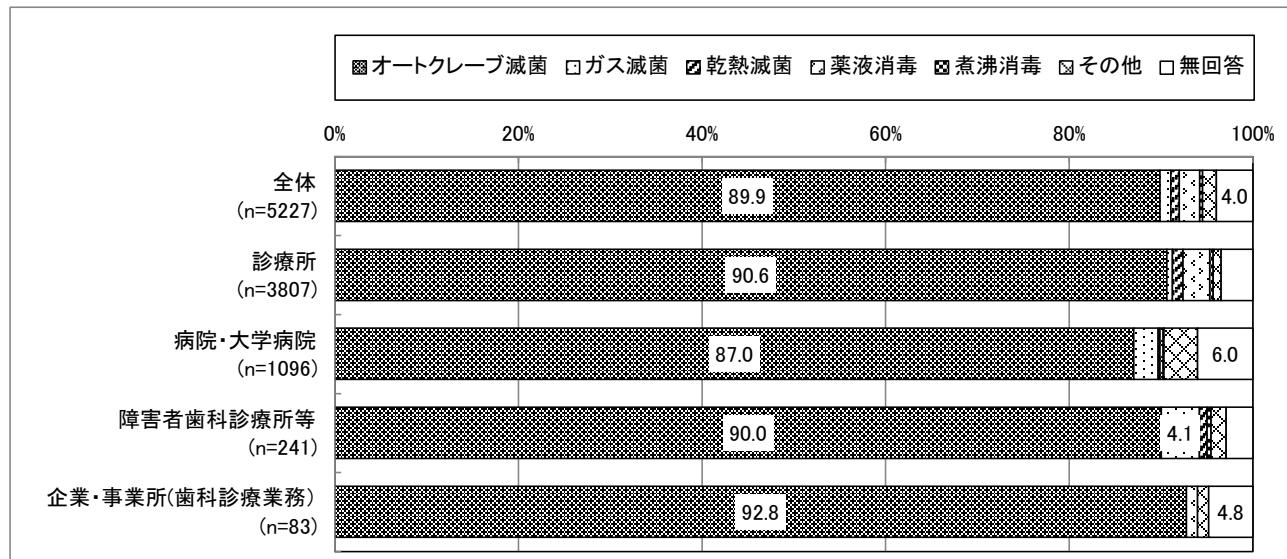


図7-40 ミラーや探針等の滅菌・消毒方法

## 2.4. 滅菌・消毒の対応

滅菌・消毒の対応を全体でみると、「十分対応している」と「対応している」の合計は73.4%である。

勤務先別で「十分対応している」と「対応している」の合計をみると、「障害者歯科診療所等」が90.4%、「病院・大学病院」が89.8%、「企業・事業所」が87.9%、「診療所」が67.3%である（図7-41）。

このことから、「障害者歯科診療所等」「病院・大学病院」「企業・事業所」の9割に対して、「診療所」では7割弱の対応である。

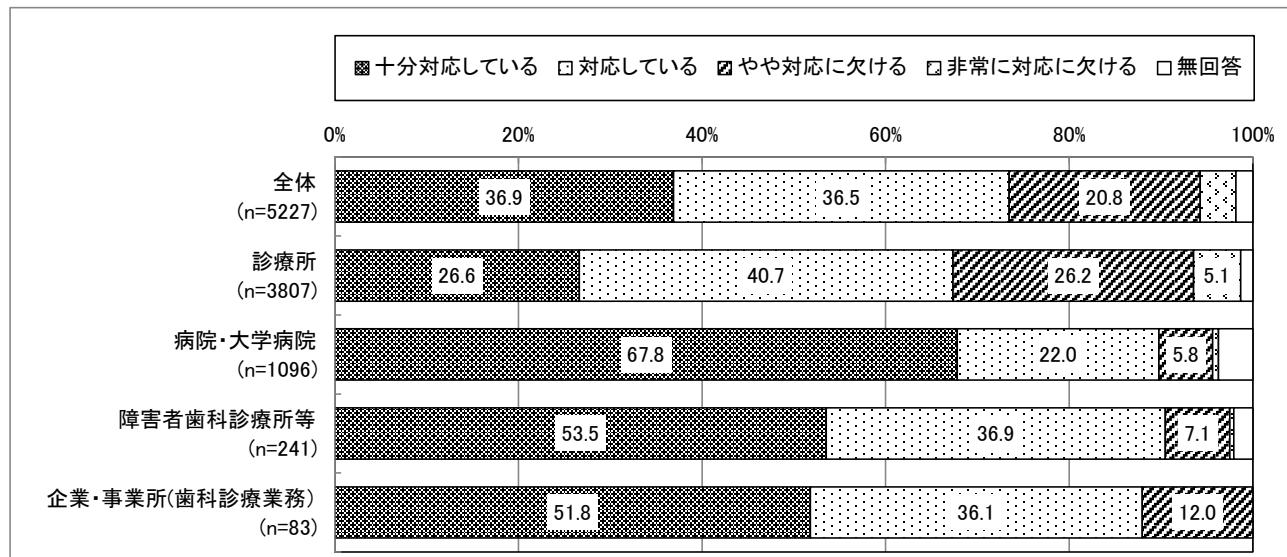


図7-41 滅菌・消毒への対応

## 25. 滅菌・消毒の対応に欠ける理由

滅菌・消毒への対応が欠けると回答した者のうち、その理由を全体でみると、「上司やスタッフの滅菌・消毒に対する意識の相違」が60.7%、「滅菌器等の器材がないから」が19.6%、「時間がないから」が7.8%である（図7-42）。

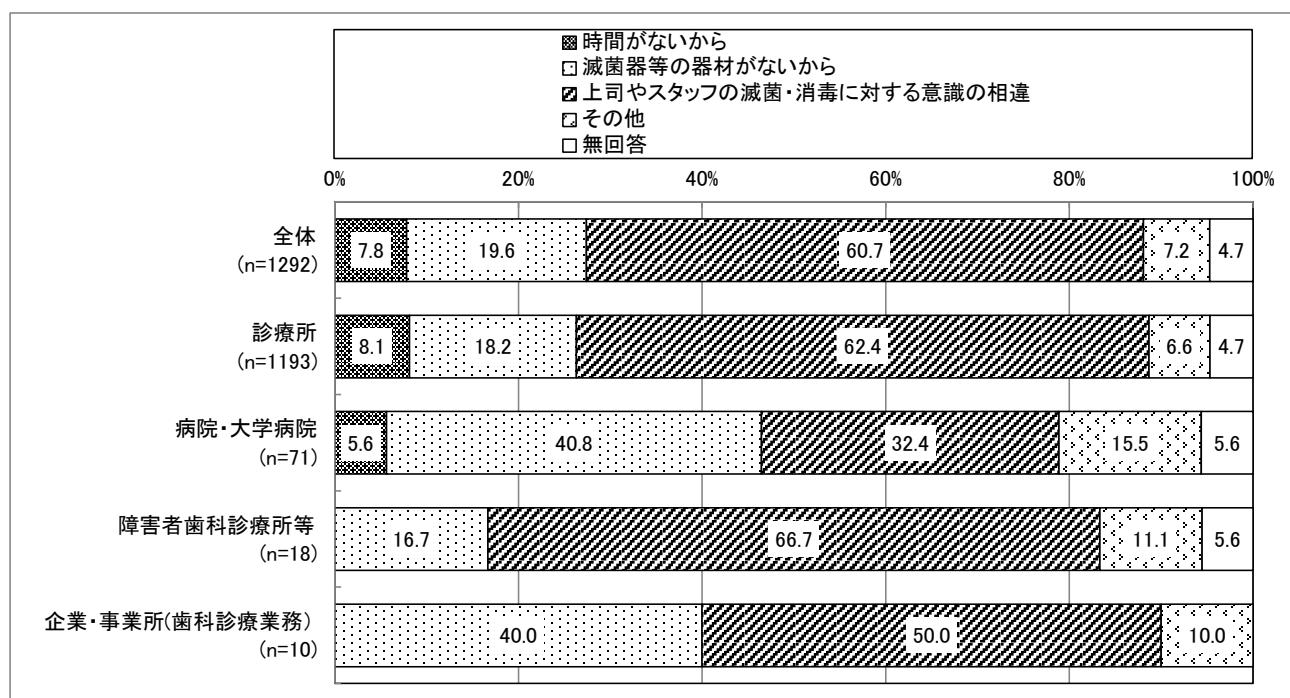


図7-42 滅菌・消毒の対応に欠ける理由

## 26. 勤務中のインシデント（ヒヤリ・ハット）の経験の有無

勤務中のインシデント（ヒヤリ・ハット）の経験の有無を全体でみると、「ある」が55.1%、「ない」が43.0%である。

勤務先別で「ある」をみると、「障害者歯科診療所等」が65.1%、「診療所」が56.6%、「病院・大学病院」が49.6%、「企業・事業所」が31.3%である（図7-43）。

のことから、「障害者歯科診療所等」が全体に比べインシデント（ヒヤリ・ハット）の経験がやや高くなっている。

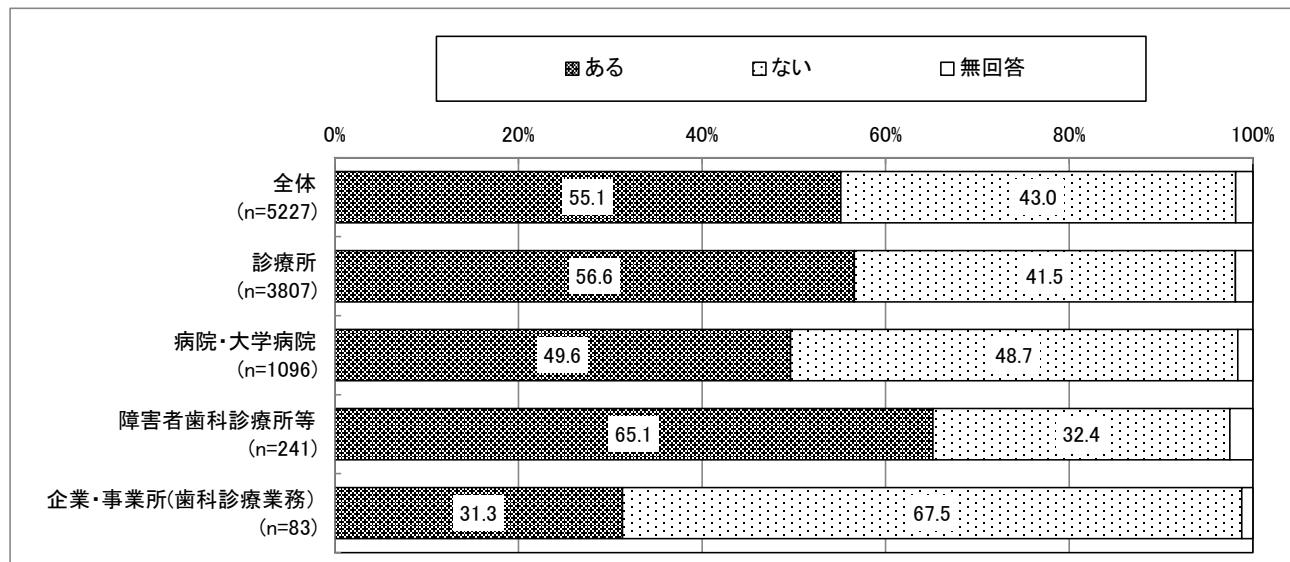


図7-43 勤務中のインシデント（ヒヤリ・ハット）の経験の有無

## 27. 勤務中のインシデント（ヒヤリ・ハット）の経験内容

勤務中のインシデント（ヒヤリ・ハット）の経験内容を全体でみると、「勤務中に使用済みの注射針や鋭利な器具類を間違って刺してしまった」が 54.0%、「患者の衣服・所持品などに薬剤・印象材などを付着させてしまった」が 24.4%、「予定とは異なる患者を治療台に誘導してしまった」が 11.2%である。勤務先別で「勤務中に使用済みの注射針や鋭利な器具類を間違って刺してしまった」をみると、「診療所」が 62.3%、「企業・事業所」が 50.0%「障害者歯科診療所等」が 29.3%、「病院・大学病院」が 28.5%である（図 7-44）。

この結果から、「勤務中に使用済みの注射針や鋭利な器具類を間違って刺してしまった」が最も高く、特に「診療所」が高い傾向である。

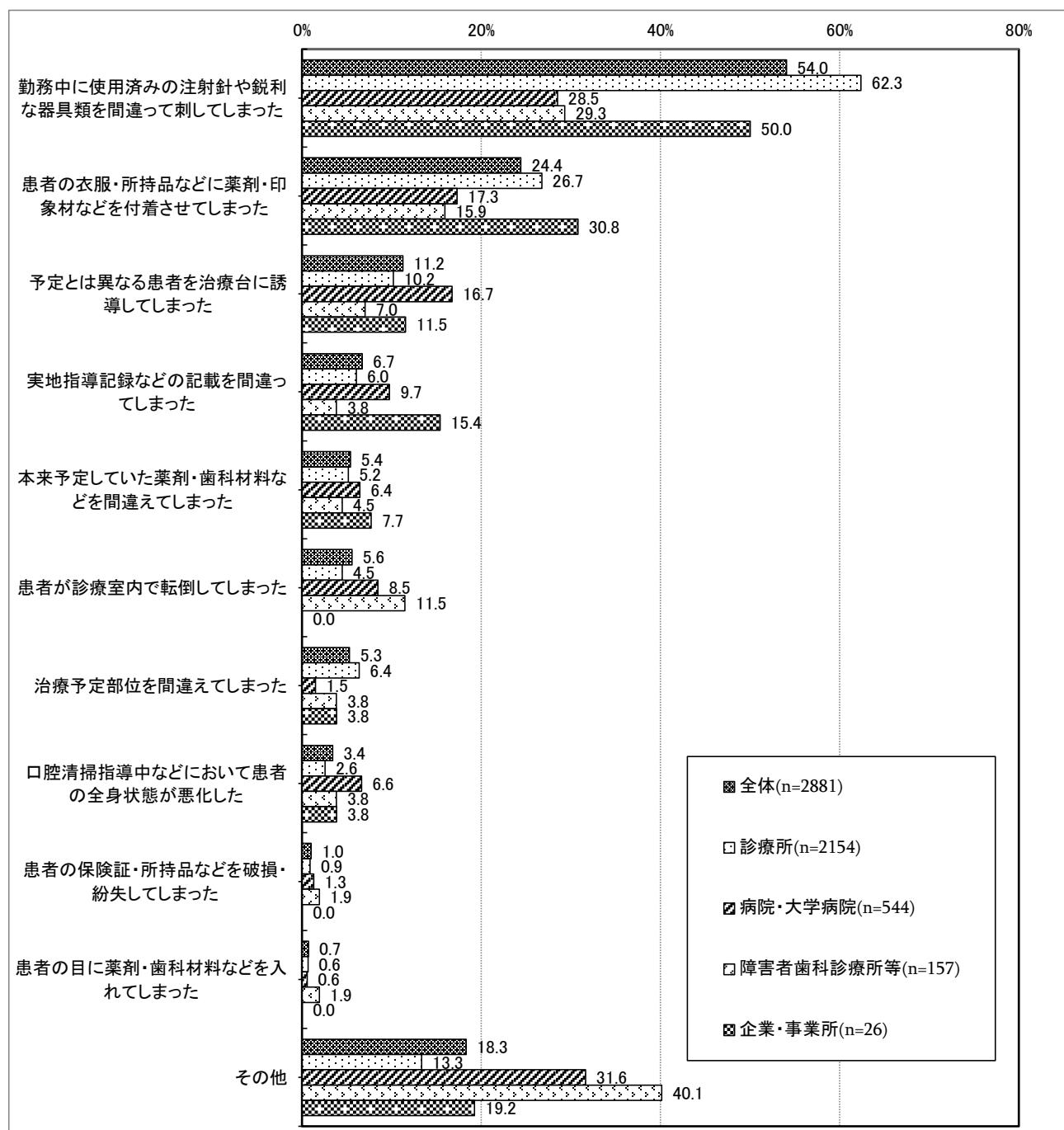


図 7-44 勤務中のインシデント（ヒヤリ・ハット）の経験内容（複数回答）

## 28. 勤務先でのインシデント（ヒヤリ・ハット）の収集の有無

勤務先でのインシデント（ヒヤリ・ハット）の収集の有無を全体でみると、「収集している」が 46.7%、「収集していない」が 33.5%、「わからない」が 18.4%である。

勤務先別で「収集している」をみると、「病院・大学病院」が 91.3%、「障害者歯科診療所等」が 73.4%、「企業・事業所」が 59.0%、「診療所」が 31.9%である（図 7-45）。

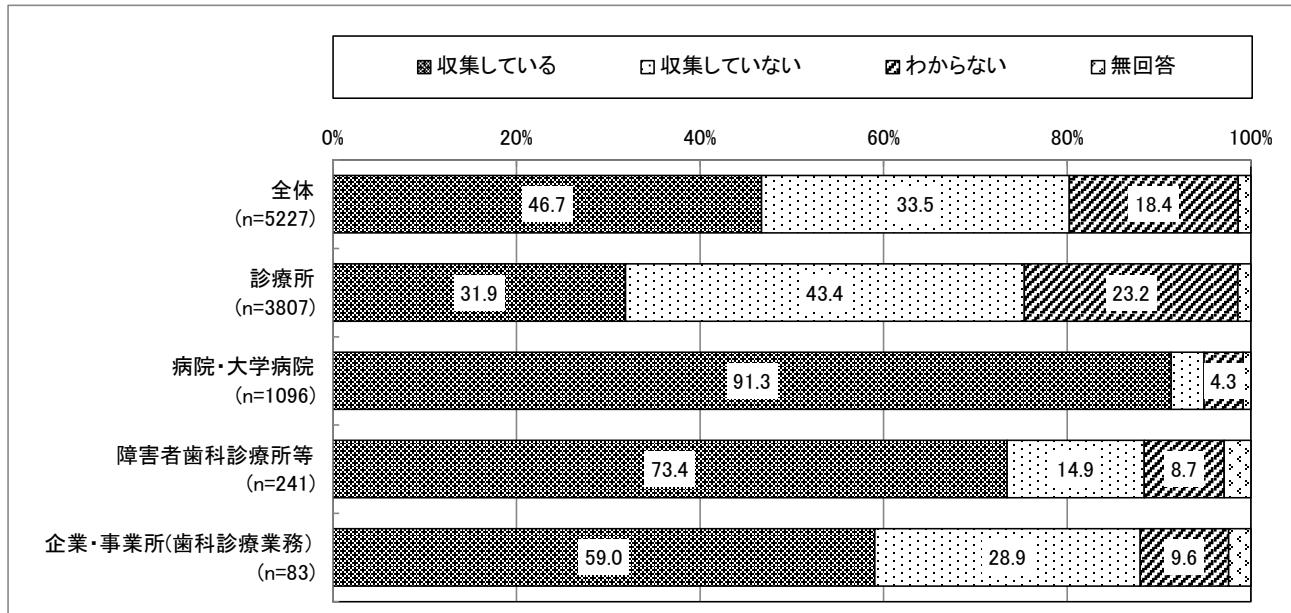


図 7-45 勤務先でのインシデント（ヒヤリ・ハット）の収集の有無

## 29. 勤務先でのインシデント（ヒヤリ・ハット）の報告の有無

勤務先での「インシデント（ヒヤリ・ハット）の収集を実施している者」のうち、インシデント（ヒヤリ・ハット）の報告の有無を全体でみると、「報告している」が 95.9%、「報告していない」が 1.4%、「わからない」が 2.0%である。

勤務先別で「報告している」をみると、「病院・大学病院」が 97.3%、「障害者歯科診療所等」が 96.6%、「企業・事業所」が 95.9%、「診療所」が 94.6%である（図 7-46）。

のことから、「インシデント（ヒヤリ・ハット）の収集を実施している者」は、勤務先に関係なく、インシデント（ヒヤリ・ハット）の発生を報告していることがわかる。

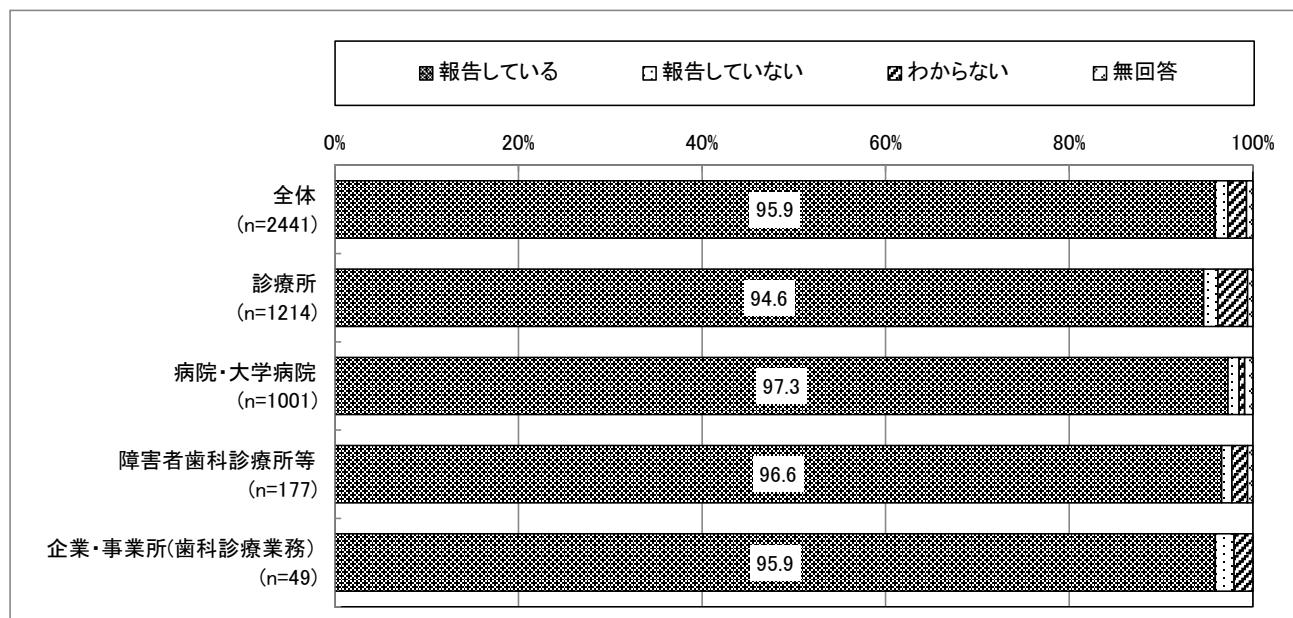


図 7-46 勤務先でのインシデント（ヒヤリ・ハット）の報告の有無

### 3.0. 報告を行わない理由

勤務先でのインシデント（ヒヤリ・ハット）の報告を実施していない者のうち、報告を行わない理由を全体でみると、「報告する用紙・システム等が煩雑」が41.2%、「報告することによる制裁が心配」、「報告する目的がわからない」がともに8.8%である（図7-47）。

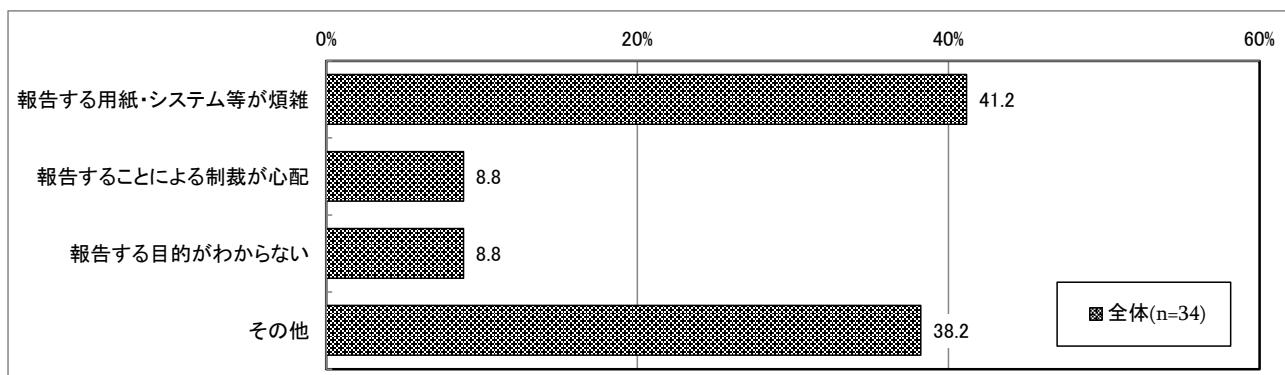


図7-47 報告を行わない理由（複数回答）

### 3.1. 医療安全管理等のチェックシート使用の有無

医療安全管理のチェックシート使用の有無を全体でみると、「使用している」が23.6%、「使用していない」が58.2%、「わからない」が16.4%である。

勤務先別で「使用している」をみると、「病院・大学病院」が44.3%、「障害者歯科診療所等」が41.1%、「企業・事業所」が31.3%、「診療所」が16.3%である（図7-48）。

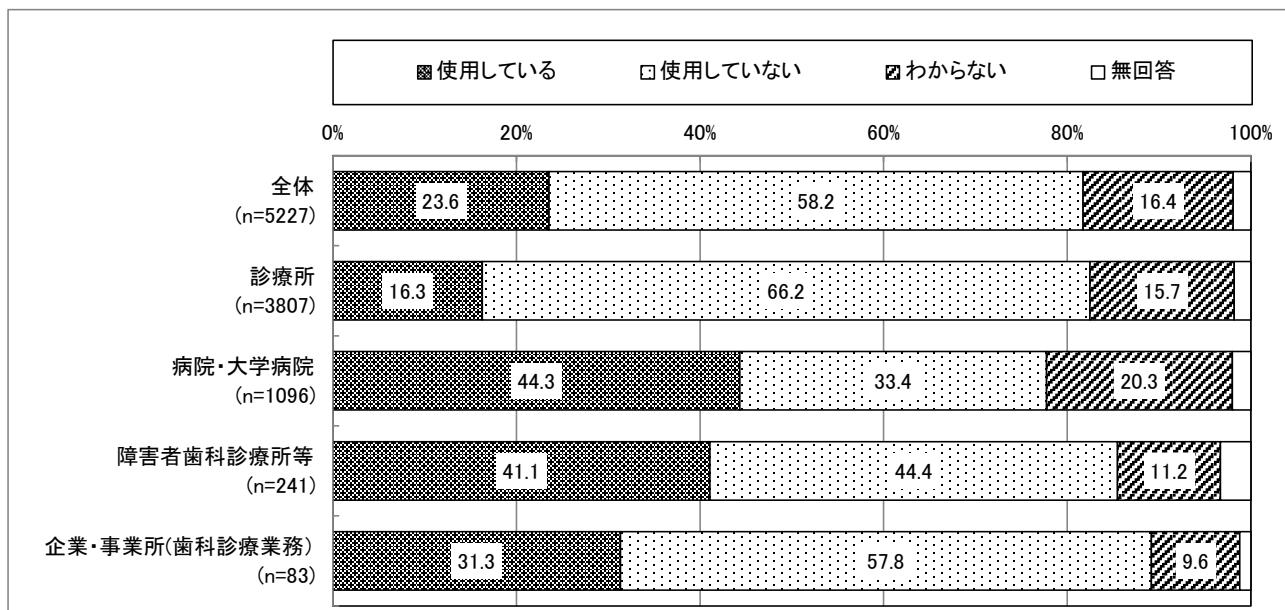


図7-48 医療安全管理等のチェックシート使用の有無

### 3.2. チェックシートを使用している者の使用頻度

チェックシートを使用している者の使用頻度を全体でみると、「殆ど毎日または週に数回程度」が44.4%、「時々」が28.4%、「まれに」が25.8%である。

勤務先別でみると、どの勤務先もほぼ同様の割合になっている（図7-49）。

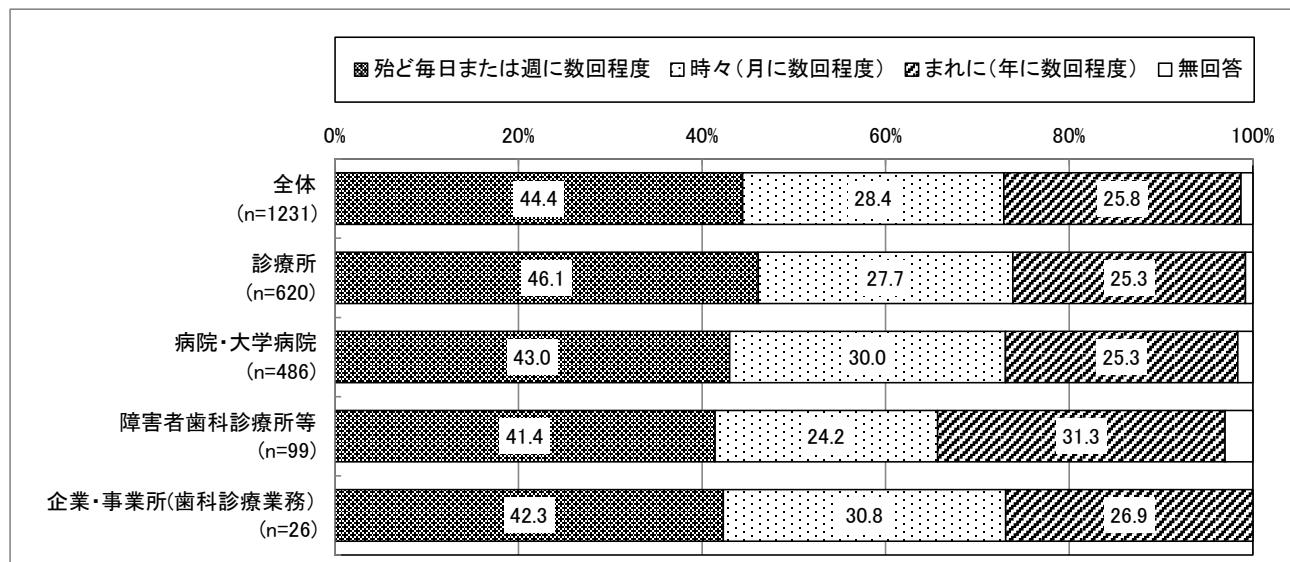


図7-49 チェックシートを使用している者の使用頻度

### 3.3. 今までにチェックシートを使用したことがあるか

チェックシートを使用していない者が、今までにチェックシートを使用したことがあるかを全体でみると、「全く使用したことがない」が84.9%、「以前に使用したことがある」が11.1%である。

勤務先別でみると、どの勤務先もほぼ同様の割合になっている（図7-50）。

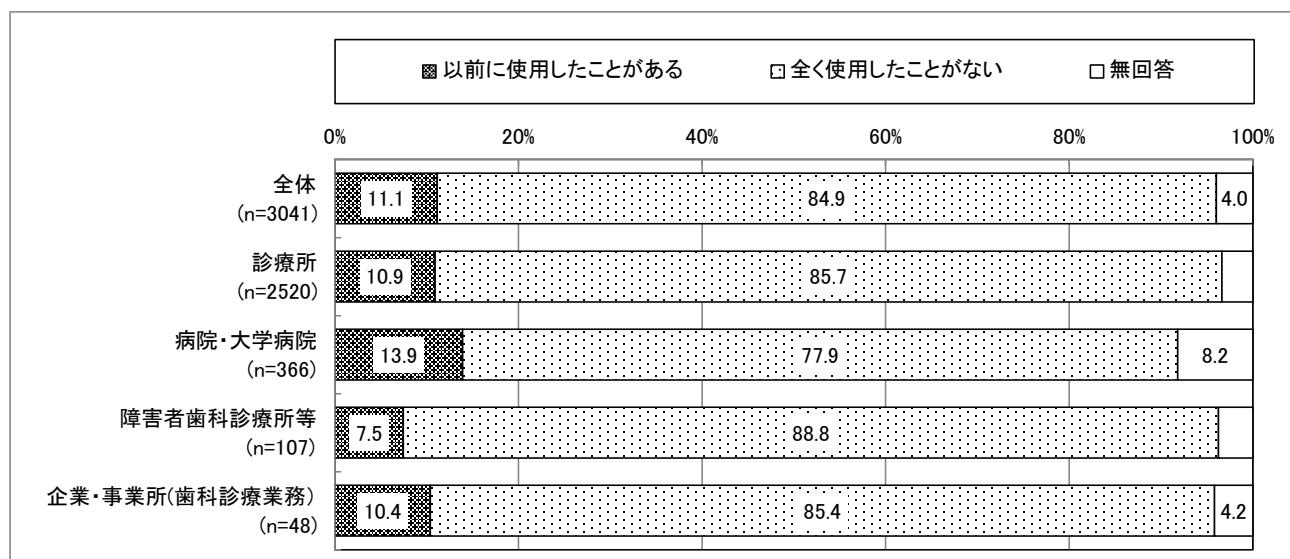


図7-50 今までにチェックシートを使用したことがあるか

## VIII. 行政（保健所・市町村等）

【行政の回答者数は全体で 989 人である】

### 1. 勤務先

行政勤務者の勤務先を全体でみると、「市町村保健センター等」が 70.5%、「政令・中核市保健所」が 10.6%、「都道府県庁・保健所」が 10.5%、「特別区」が 1.9%である（図 8-1）。

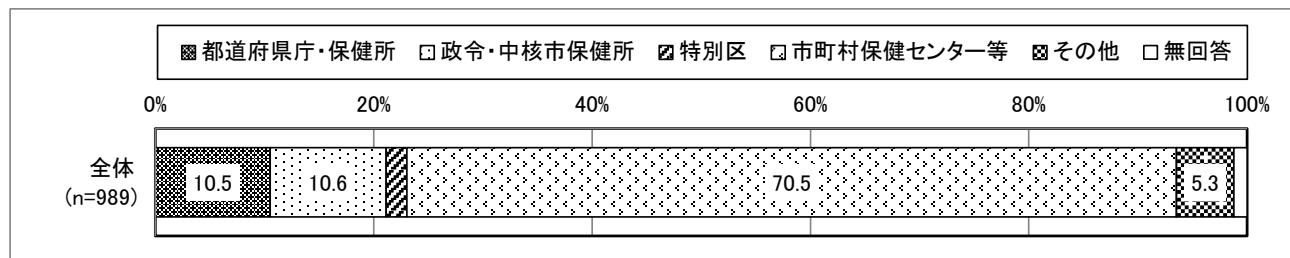


図 8-1 勤務先

就業状況別でみると、「常勤」では「市町村保健センター等」が 49.8%、「都道府県庁・保健所」が 22.7%、「政令・中核市保健所・特別区」が 21.7%である。一方、「非常勤」では「市町村保健センター等」が 79.5%、「政令・中核市保健所・特別区」が 9.0%、「都道府県庁・保健所」が 5.6%である（図 8-2）。

特徴的なことは、「常勤」に比べ「非常勤」の「市町村保健センター等」の就業率が高い。

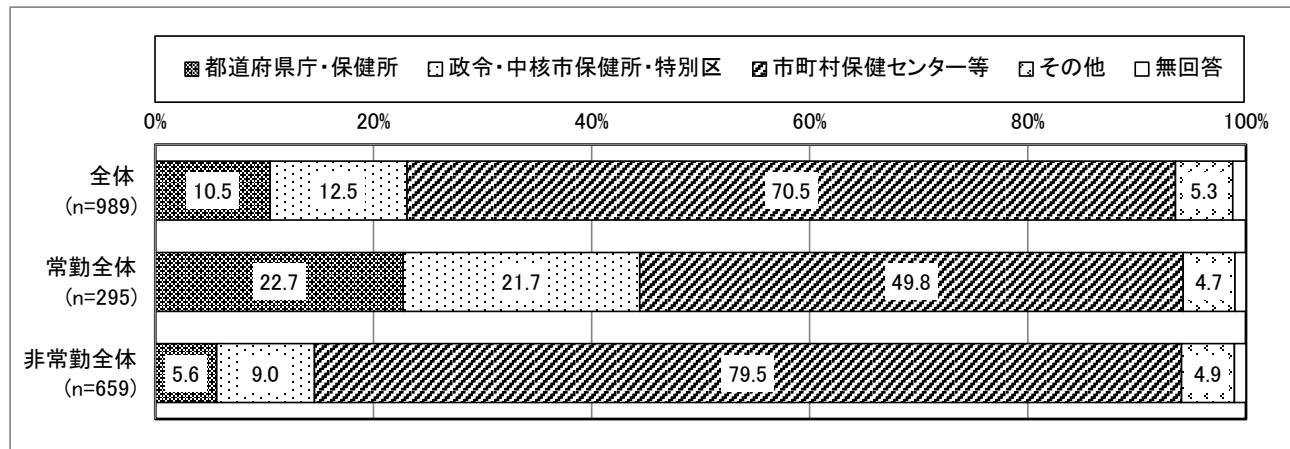


図 8-2 勤務先（就業状況別）

※図 8-2～図 8-38 は「平成 21 年 歯科衛生士の勤務実態調査報告書」の結果と合わせるため、「政令・中核市保健所」と「特別区」を「政令・中核市保健所・特別区」として分析を行った。

## 2. 所属している係（班）の主な事業内容

所属している係（班）の主な事業内容を全体でみると、「母子保健」が82.4%、「成人保健」が46.5%、「介護予防事業」が35.6%である（図8-3）。

この結果から、「母子保健」活動に従事する事が非常に多い結果となっている。

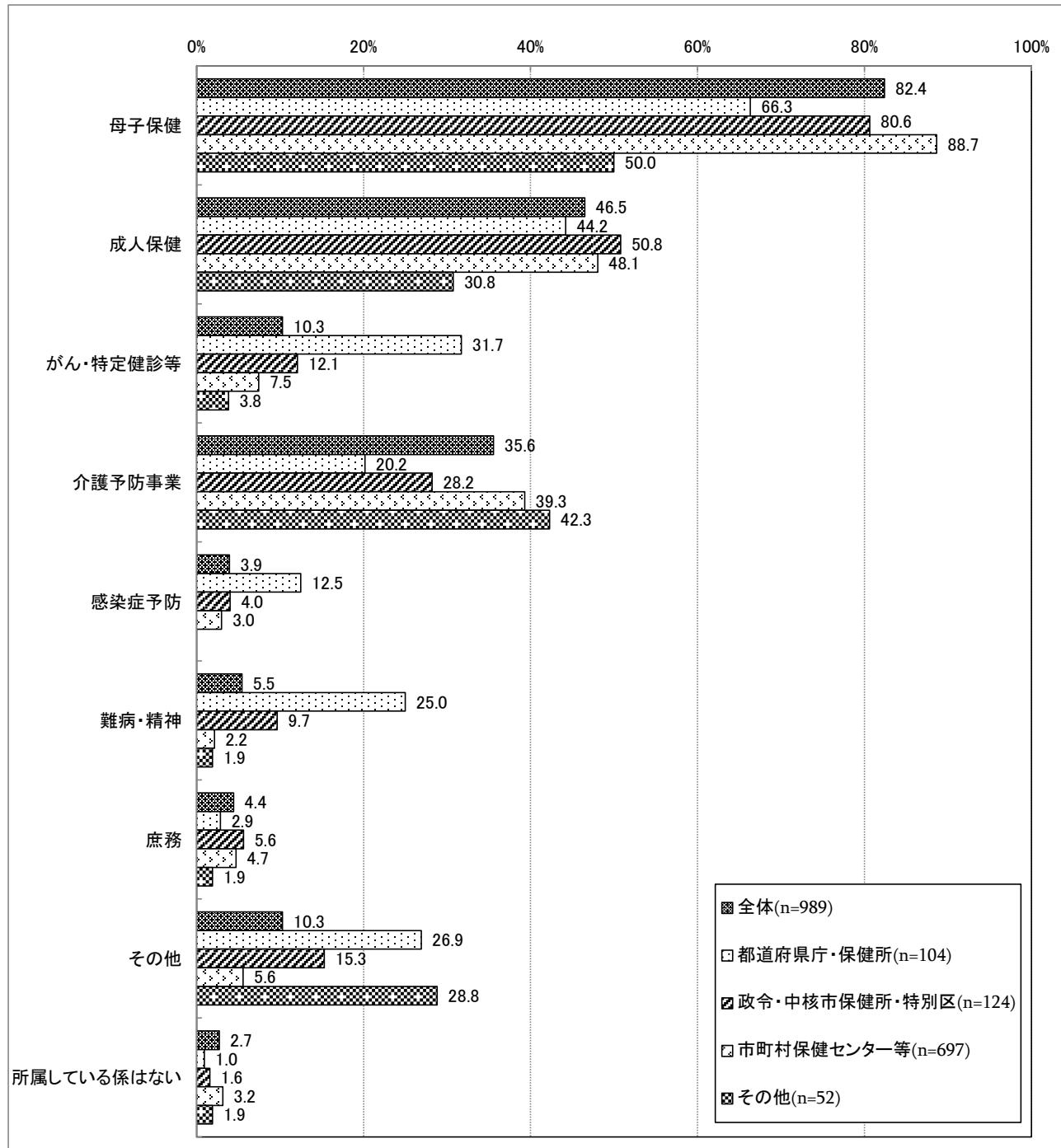


図8-3 所属している係（班）の主な事業内容（複数回答）

### 3. 所属している係（班）の上司の職種

所属している係（班）の上司の職種を全体でみると、「保健師」が47.6%、「歯科衛生士（本人含む）」が24.6%、「事務職」が11.7%である。

勤務先別でみると、所属している係（班）の職種はいずれの勤務先でも、「保健師」が最も多く、「政令・中核市保健所・特別区」では「歯科衛生士（本人含む）」が29.8%と多い（図8-4）。

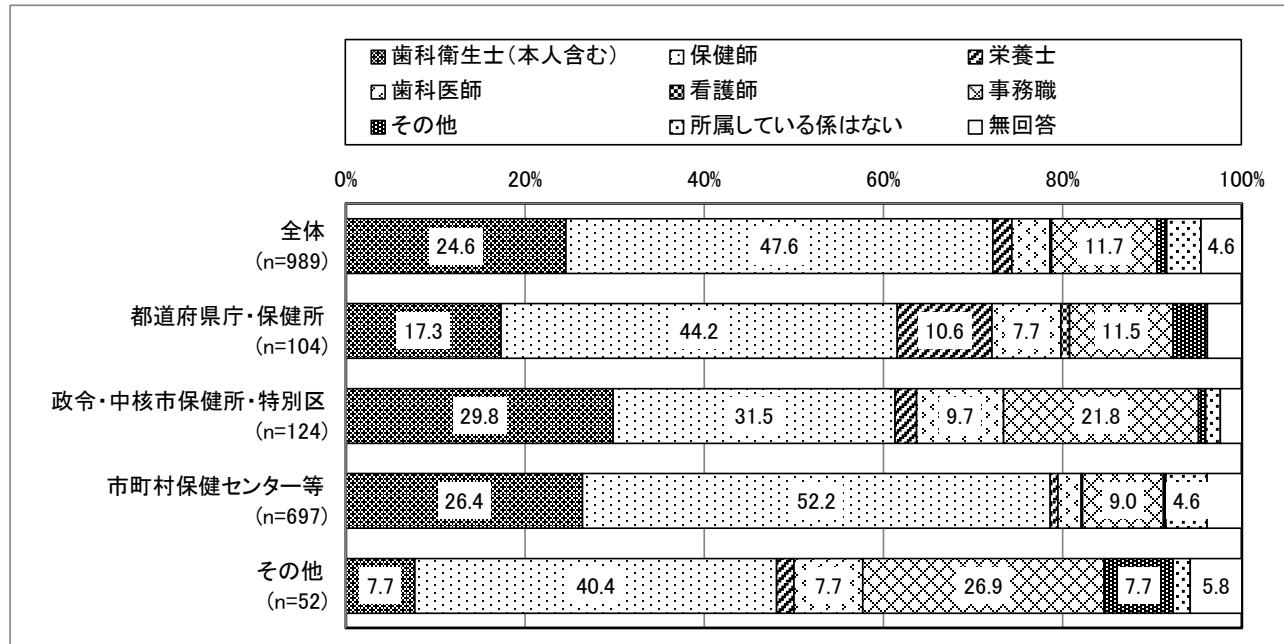


図8-4 所属している係（班）の上司の職種

#### 4. 職場での立場（常勤）

職場での立場を常勤でみると、「役職のない歯科衛生士」が44.1%、「主任等」が26.1%、「係長（兼務兼任）」が11.9%、「係長（専任）」が6.4%である。

勤務先別で「役職のない歯科衛生士」をみると、「政令・中核市保健所・特別区」が53.1%、「市町村保健センター等」が47.6%、「都道府県庁・保健所」が29.9%である（図8-5）。

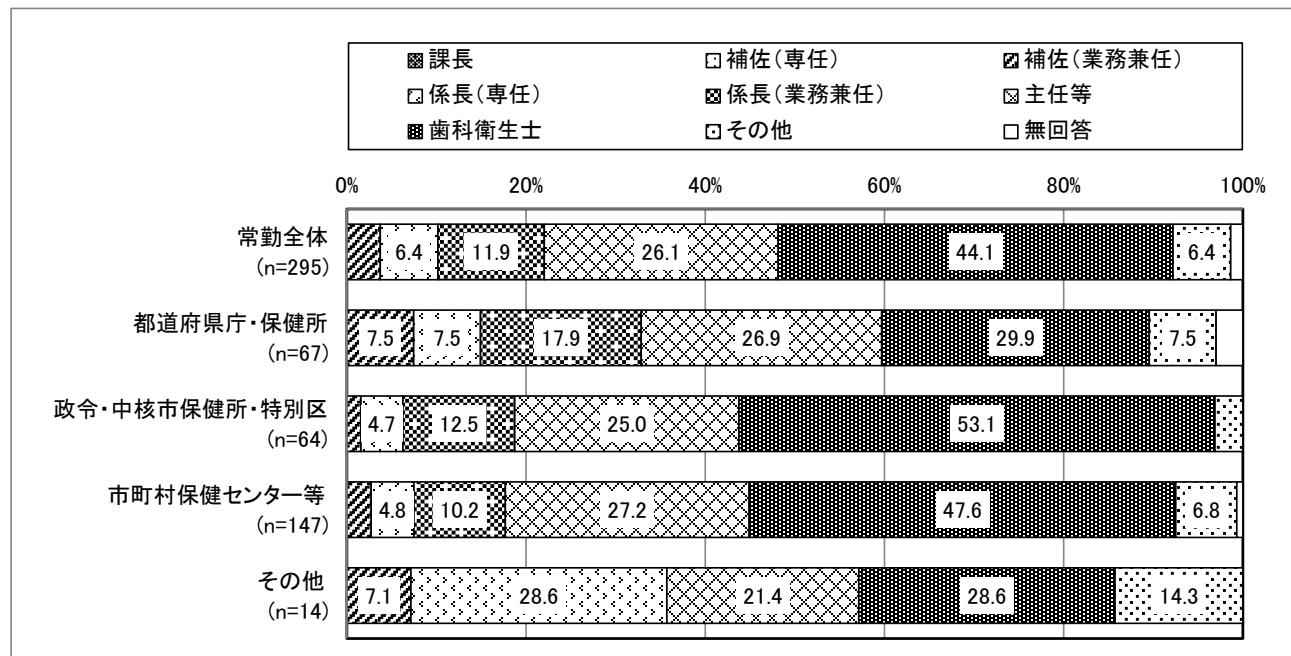


図8-5 職場での立場（常勤）

## 5. 対人サービスの実施の有無

対人サービスの実施の有無を全体でみると、「行っている」が93.2%、「行っていない」が5.6%である。

勤務先別で「行っている」をみると、「市町村保健センター等」が96.7%、「政令・中核市保健所・特別区」が95.2%、「都道府県庁・保健所」が76.9%である（図8-6）。

就業状況別で「行っている」をみると、「常勤」が91.9%、「非常勤」が93.9%である（図8-7）。

のことから、対人サービスの実施状況はかなり高いといえる。

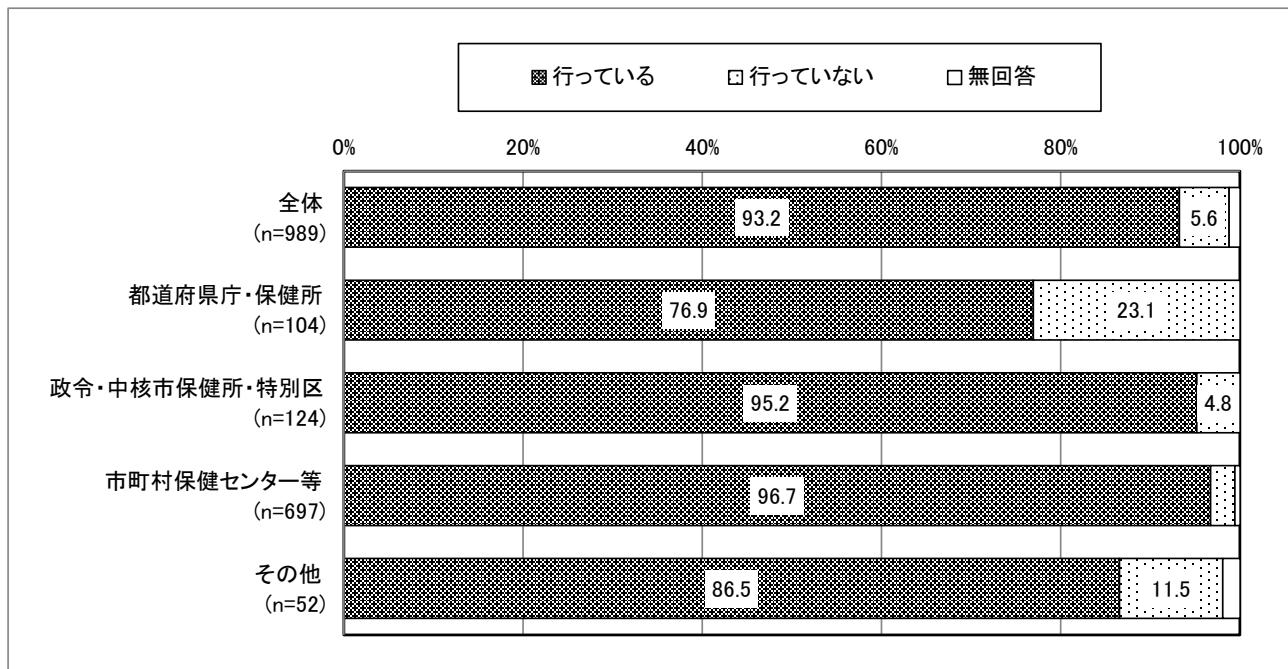


図8-6 対人サービスの実施の有無

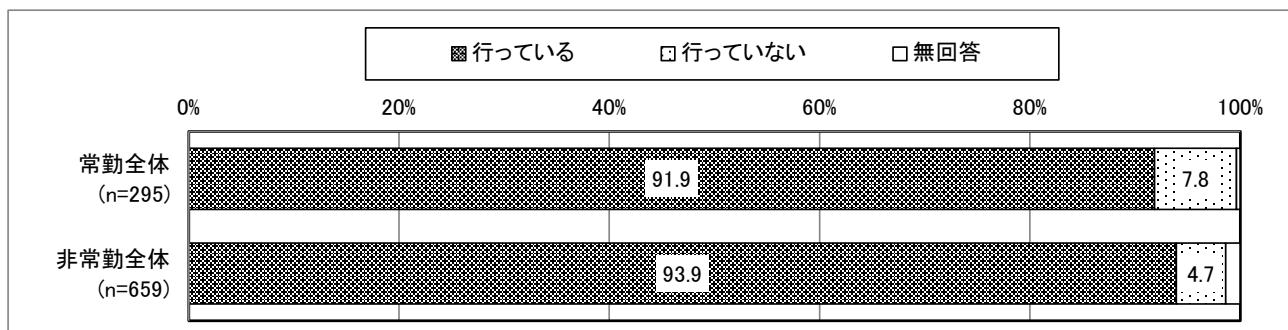


図8-7 対人サービスの実施の有無（就業状況別）

## 6. 歯科健康相談の実施の有無

対人サービスを「行っている」者のうち、歯科健康相談の実施の有無を全体でみると、「実施している」が 95.1%、「実施していない」が 4.9%である。

勤務別先で「実施している」をみると、「市町村保健センター等」が 96.0%、「政令・中核市保健所・特別区」が 94.1%、「都道府県庁・保健所」が 93.8%である。無回答はゼロであった（図 8-8）。

のことから、歯科衛生士としての業務を果たしていることがわかる。

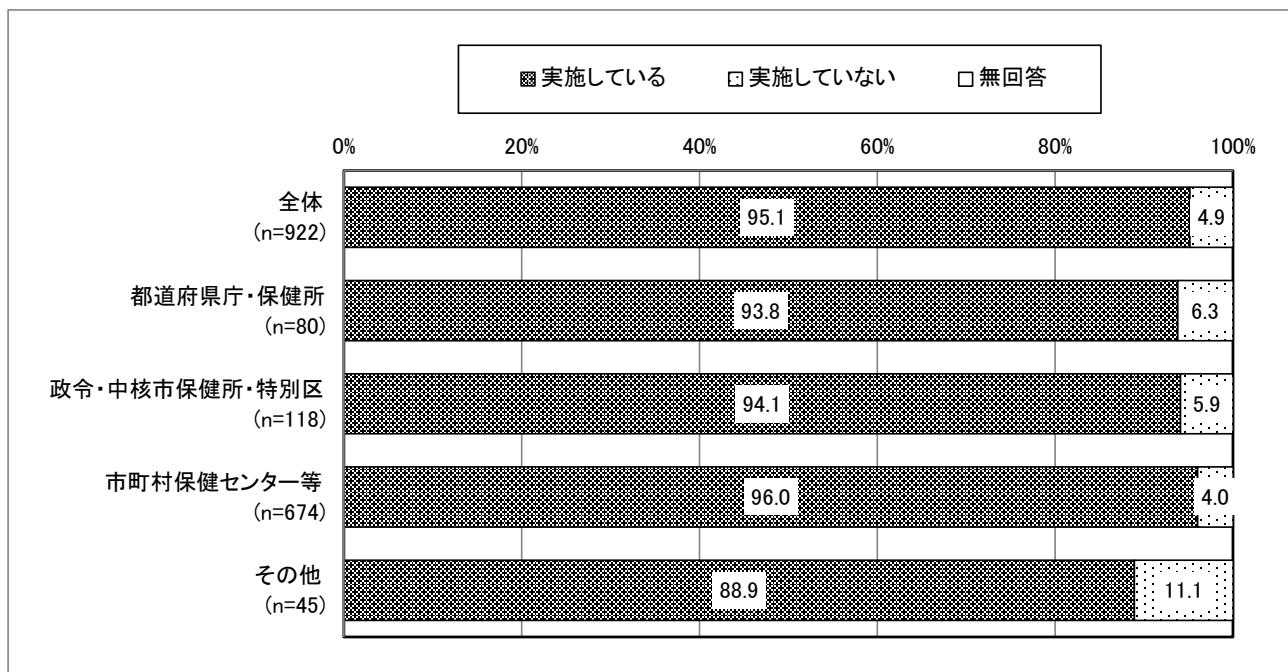


図 8-8 歯科相談の実施の有無

## 7. 歯科健康相談の対象者

歯科健康相談の対象者を全体でみると、「乳幼児」が88.7%、「成人一般」が56.2%、「一般高齢者」が55.1%、「妊産婦」が54.0%である。

勤務先別で「政令・中核市保健所・特別区」をみると、「乳幼児」が93.7%、「妊産婦」、「一般高齢者」がともに69.4%、「成人一般」が65.8%である（図8-9）。

やはり、行政関係では、「乳幼児健診」に力点が置かれている。

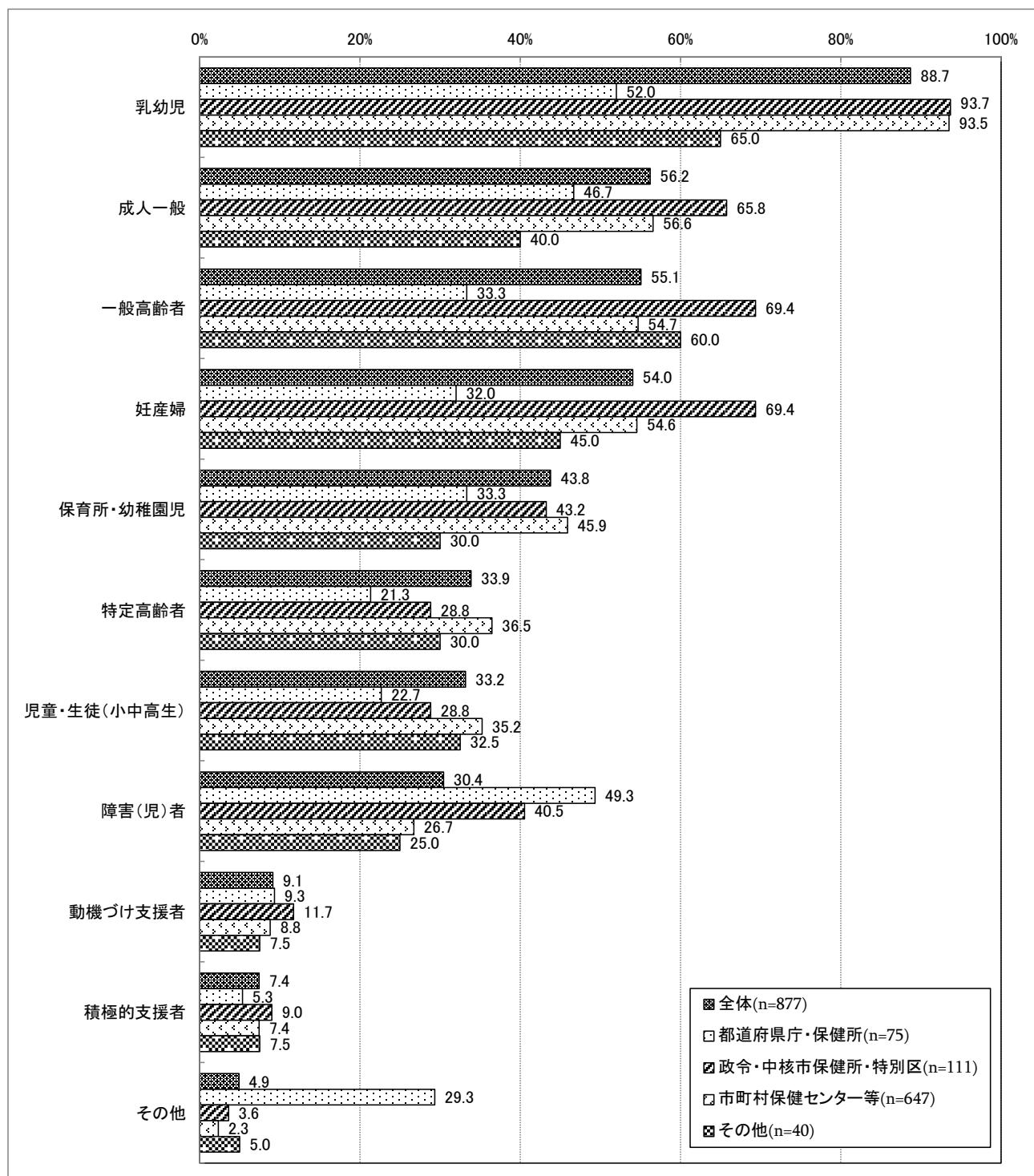


図8-9 歯科健康相談の対象者（複数回答）

## 8. 歯科健康教育の実施の有無

歯科健康教育の実施の有無を全体でみると、「実施している」が 92.7%、「実施していない」が 7.0%である。

勤務先別で「実施している」をみると、「政令・中核市保健所・特別区」が 95.8%、「都道府県庁・保健所」が 95.0%、「市町村保健センター等」が 92.1%であり、ほとんどの行政で実施している（図 8-10）。

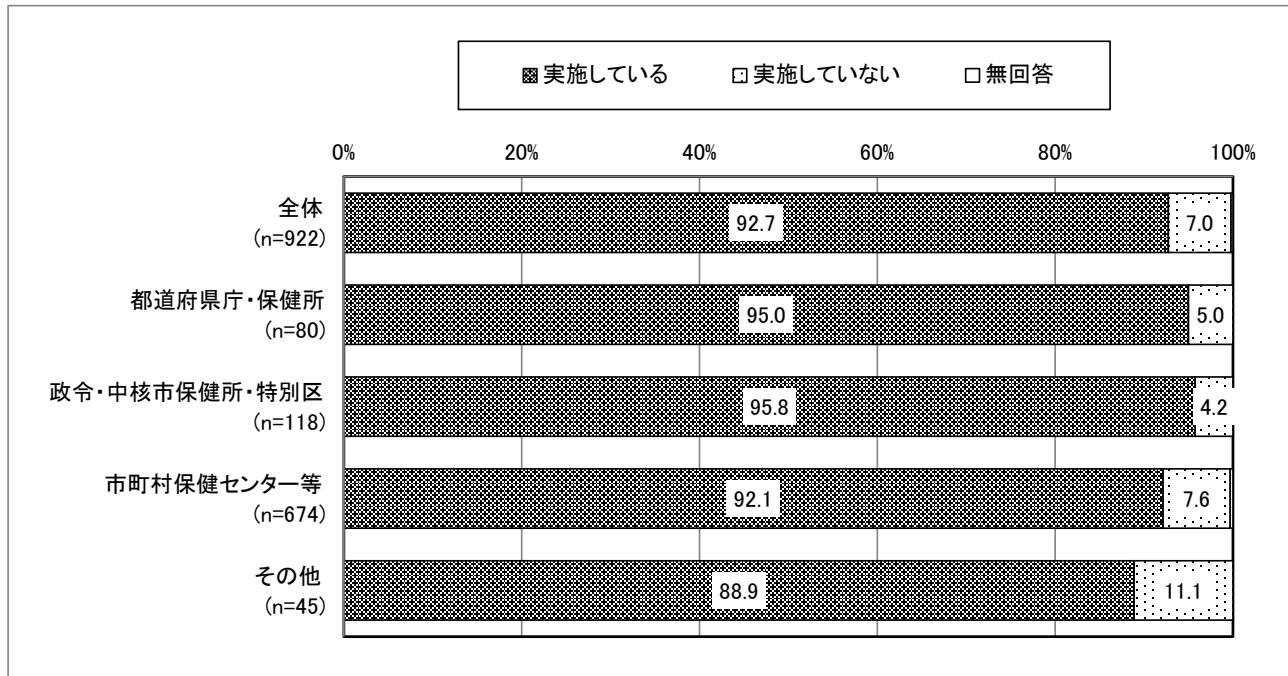


図 8-10 歯科健康教育の実施の有無

## 9. 歯科健康教育の対象者

歯科健康教育の対象者を全体でみると、「乳幼児」が78.0%、「保育園・幼稚園児」、「一般高齢者」がともに57.2%、「成人一般」が51.1%、「妊産婦」が49.8%である。

勤務先別で「政令・中核市保健所・特別区」をみると、「乳幼児」が85.0%、「妊産婦」が65.5%、「一般高齢者」が64.6%、「成人一般」が61.9%であり、他の勤務先と比べていずれも多い（図8-11）。

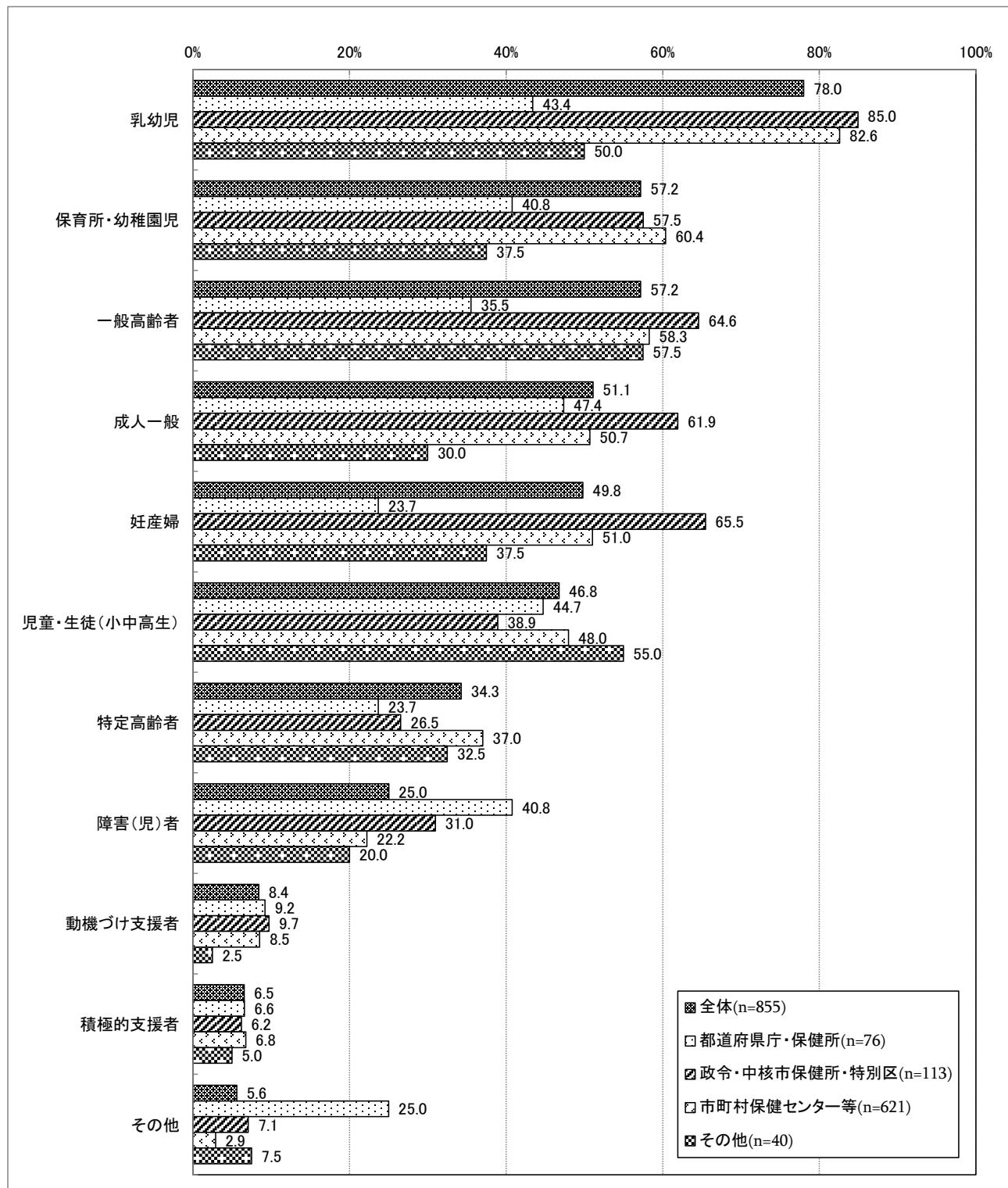


図8-11 歯科健康教育の対象者（複数回答）

## 10. 健康診査の参加の有無

健康診査の参加の有無を全体でみると、「参加している」が 87.3%、「参加していない」が 12.3%である。

勤務先別で「参加している」をみると、「市町村保健センター等」が 92.7%、「政令・中核市保健所・特別区」が 92.4%、「都道府県庁・保健所」が 42.5%である（図 8-12）。

のことから、「市町村保健センター等」「政令・中核市保健所・特別区」の参加は 9 割以上なのに対して、「都道府県庁・保健所」が 4 割となっている。

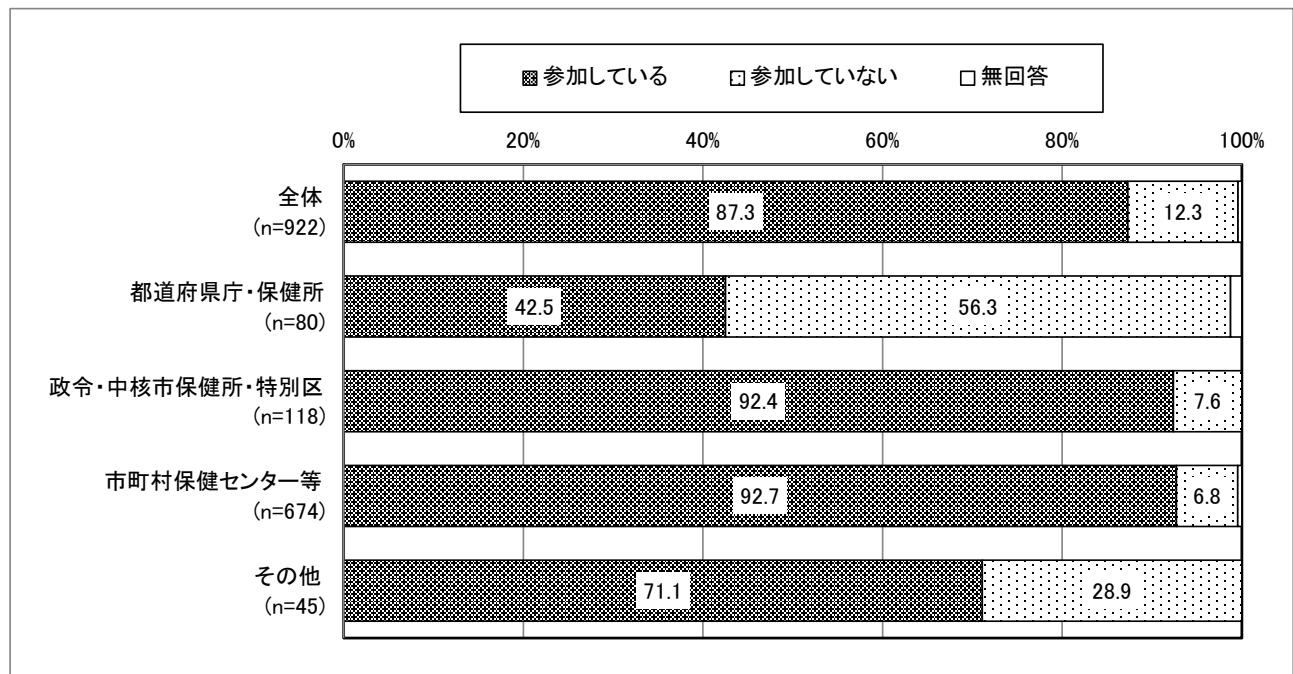


図 8-12 健康診査の参加の有無

## 1.1. 参加している健康診査

参加している健康診査を全体でみると、「1歳6ヶ月児健診」が91.3%、「3歳児健診」が87.5%、「乳幼児健診」が68.6%、以下は少ない。

勤務先別でみると、「政令・中核市保健所・特別区」では「1歳6ヶ月児健診」が96.3%、「3歳児健診」が92.7%である（図8-13）。

この傾向から「1歳6ヶ月児健診」「3歳児健診」の受診が非常に高いが、「乳幼児健診」においては、7割を下回っていることがわかる。

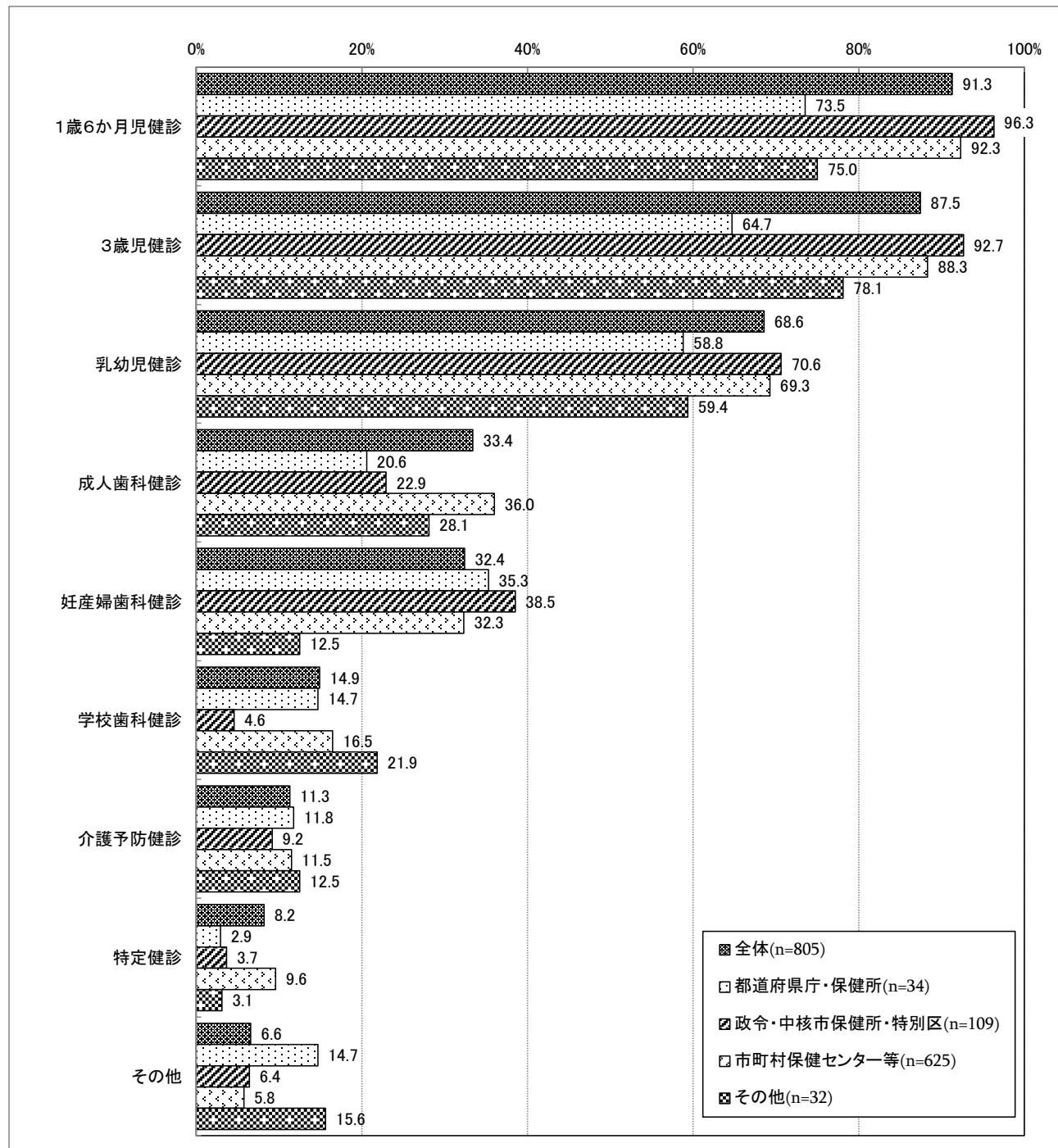


図8-13 参加している健康診査（複数回答）

## 12. 歯科予防処置の実施の有無

歯科予防処置の実施の有無を全体でみると、「実施している」が 68.7%、「実施していない」が 30.4%である。

勤務先別で「実施している」をみると、「市町村保健センター等」が 73.3%、「政令・中核市保健所・特別区」が 66.9%、「都道府県庁・保健所」が 42.5%である（図 8-14）。

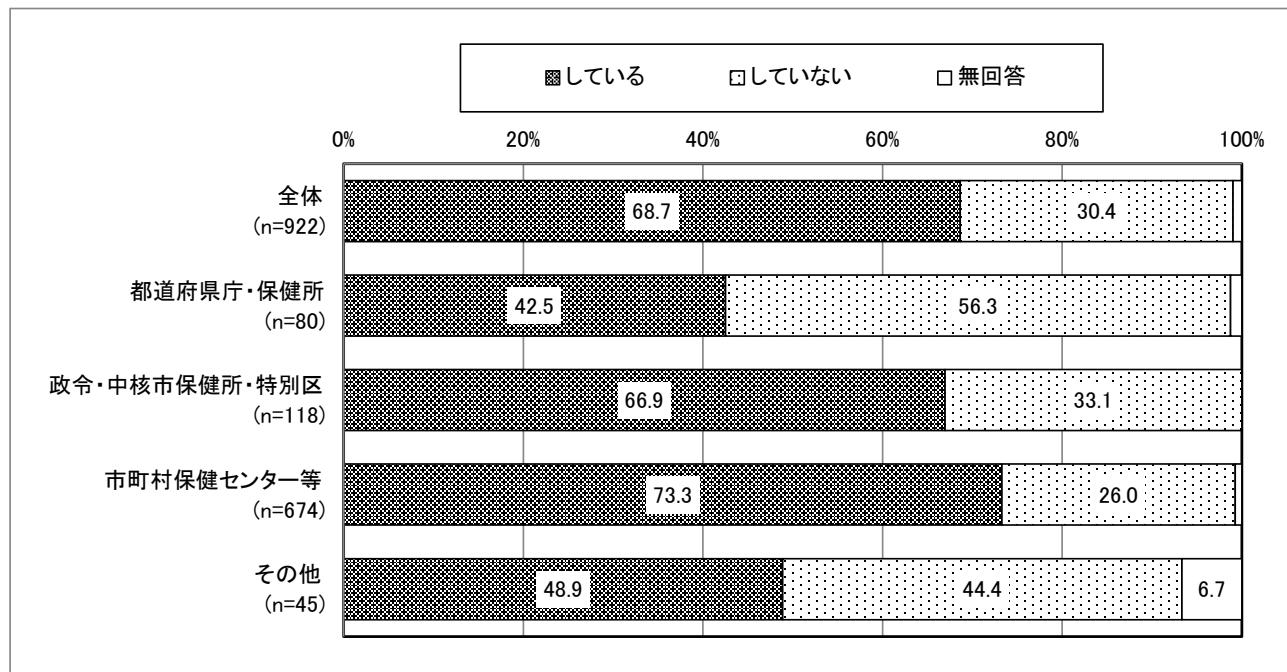


図 8-14 歯科予防処置の実施の有無

## 13. 実施している予防処置

実施している予防処置を全体でみると、「フッ化物歯面塗布」が 96.7%、「フッ化物洗口」が 25.3%、「予防的歯石除去」が 3.8%である（図 8-15）。

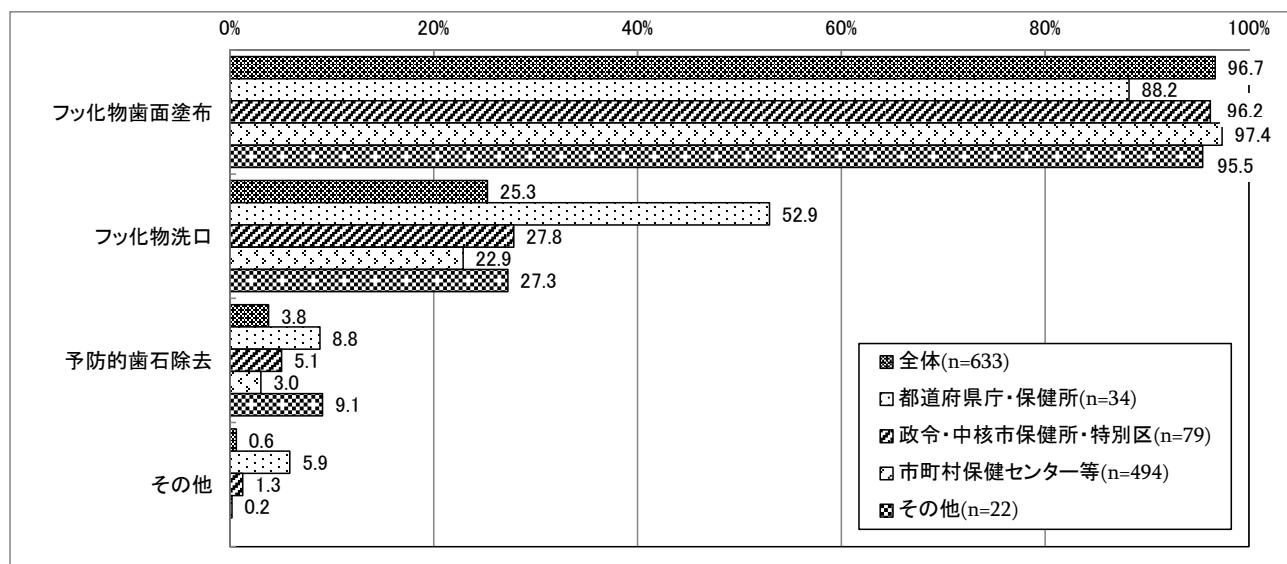


図 8-15 実施している予防処置（複数回答）

#### 14. 訪問指導の実施の有無

訪問指導の実施の有無を全体でみると、「実施している」が33.5%、「実施していない」が65.1%である。

勤務先別で「実施している」をみると、「都道府県庁・保健所」が60.0%、「政令・中核市保健所・特別区」が39.0%、「市町村保健センター等」が29.2%である（図8-16）。

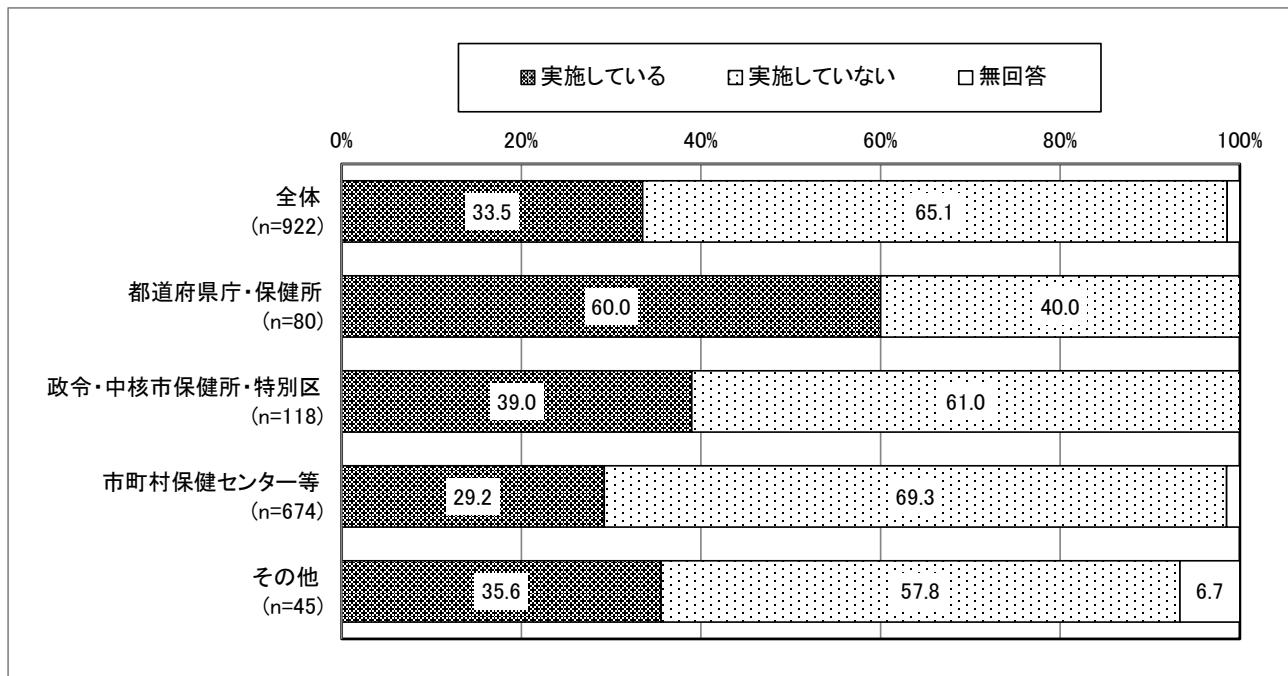


図8-16 訪問指導の実施の有無

## 15. 訪問指導の対象者

訪問指導の対象者を全体でみると、「要介護者」が53.7%、「乳幼児」が44.3%、「心身障害者（児）」が41.7%、「難病患者」が33.0%である。

勤務先別でみると、「都道府県庁・保健所」では「難病患者」が79.2%、「心身障害者（児）」が60.4%であり、他の勤務先と比べて多い（図8-17）。

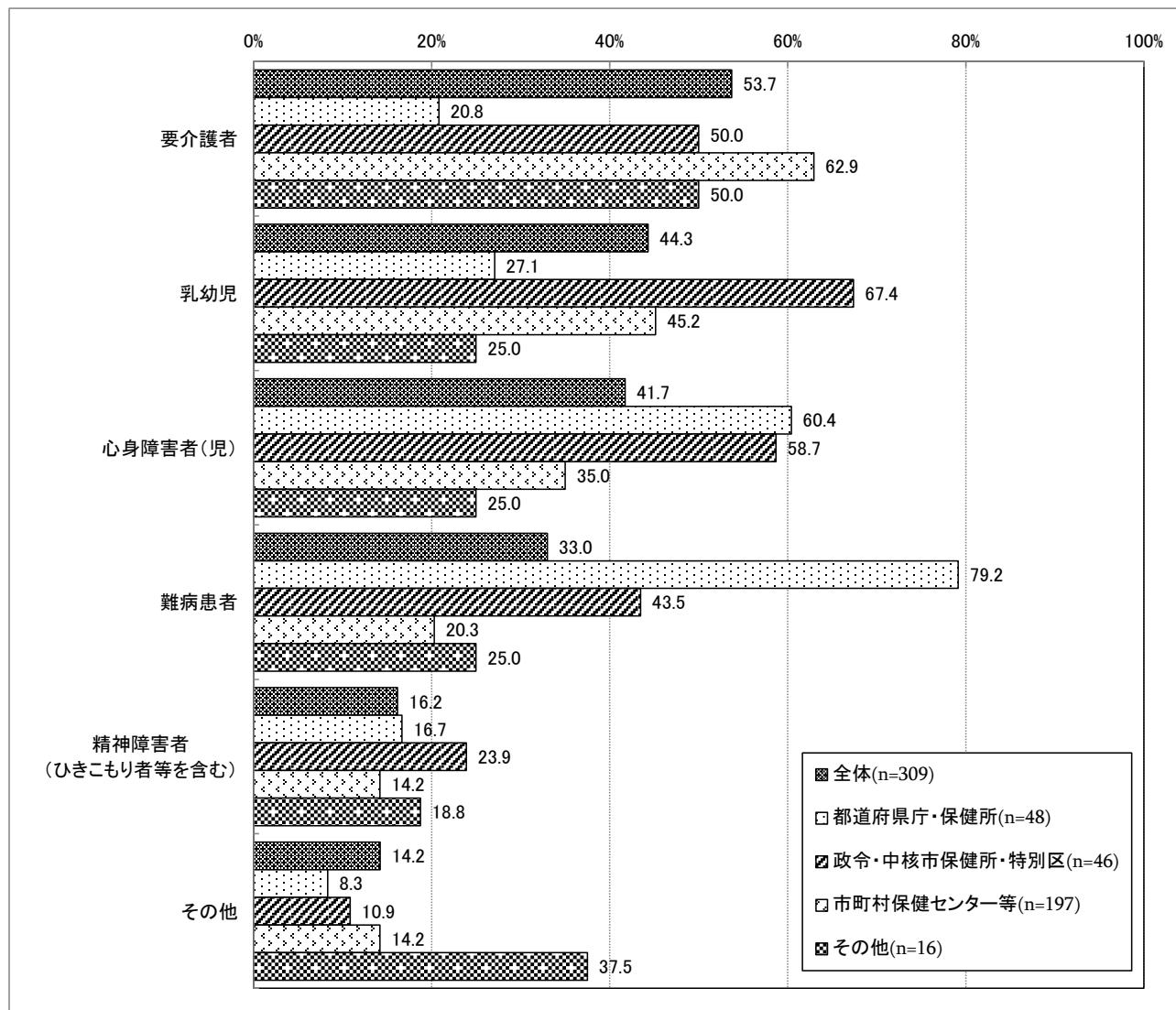


図8-17 訪問指導の対象者（複数回答）

## 16. 研修・教育の企画への協力の有無

研修・教育の企画への協力の有無を全体でみると、「協力している」が47.8%、「協力していない」が49.3%であり、拮抗している。

勤務先別で「協力している」をみると、「都道府県庁・保健所」が82.7%、「政令・中核市保健所」が57.3%、「市町村保健センター等」が41.3%である（図8-18）。

この結果から行政の指導的立場から「都道府県庁・保健所」が8割を超えていている。

就業状況別で「協力している」をみると、「常勤」が70.5%、「非常勤」が37.8%である（図8-19）。

また、「常勤」「非常勤」を比較すると、常勤では「協力している」が7割に対して、非常勤は4割にも満たない結果である。

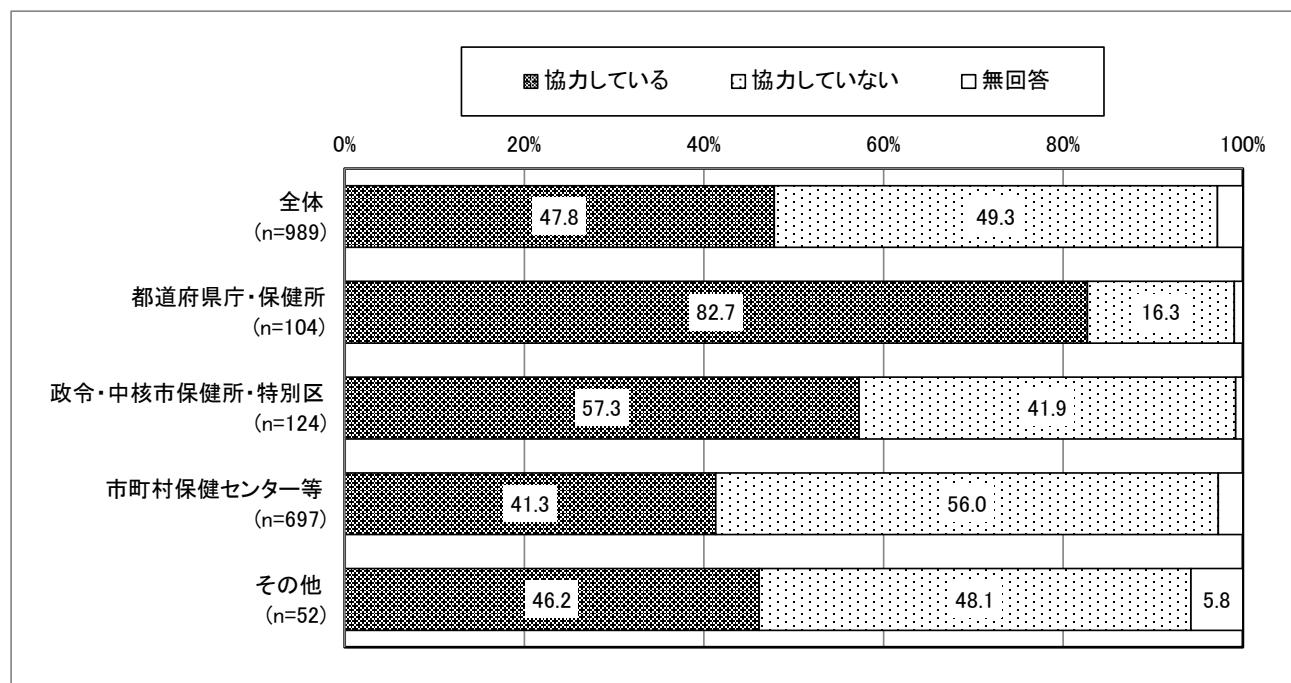


図8-18 研修・教育の企画への協力の有無

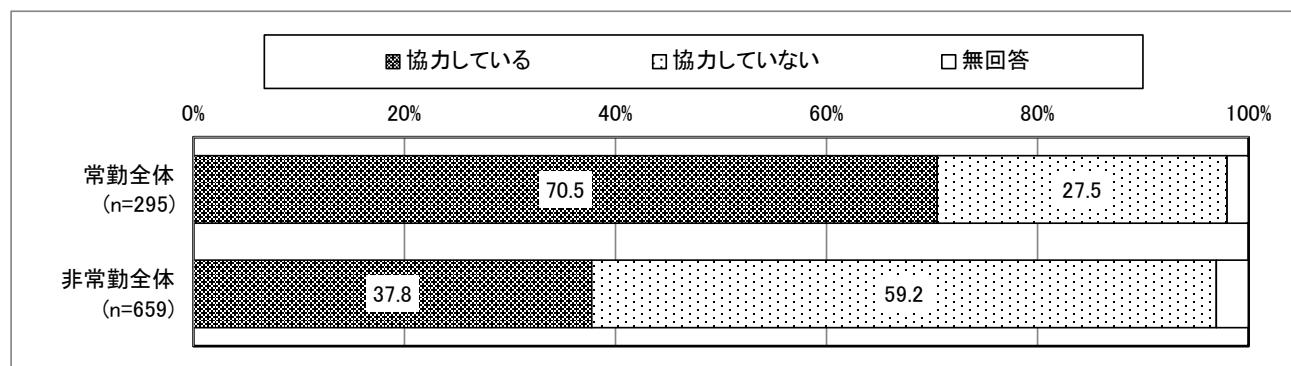


図8-19 研修・教育の企画への協力の有無（就業状況別）

## 17. 実施している研修・教育の企画

実施している研修・教育の企画を全体でみると、「口腔機能向上に関する研修」が41.4%、「媒体・資料作成」が40.0%、「市町村単位の研修」が34.9%、「保健所単位の研修」が31.7%、「学生実習」が31.5%である。

勤務先別でみると、「都道府県庁・保健所」では「保健所単位の研修」が74.4%で、他の勤務先と比べて多い(図8-20)。

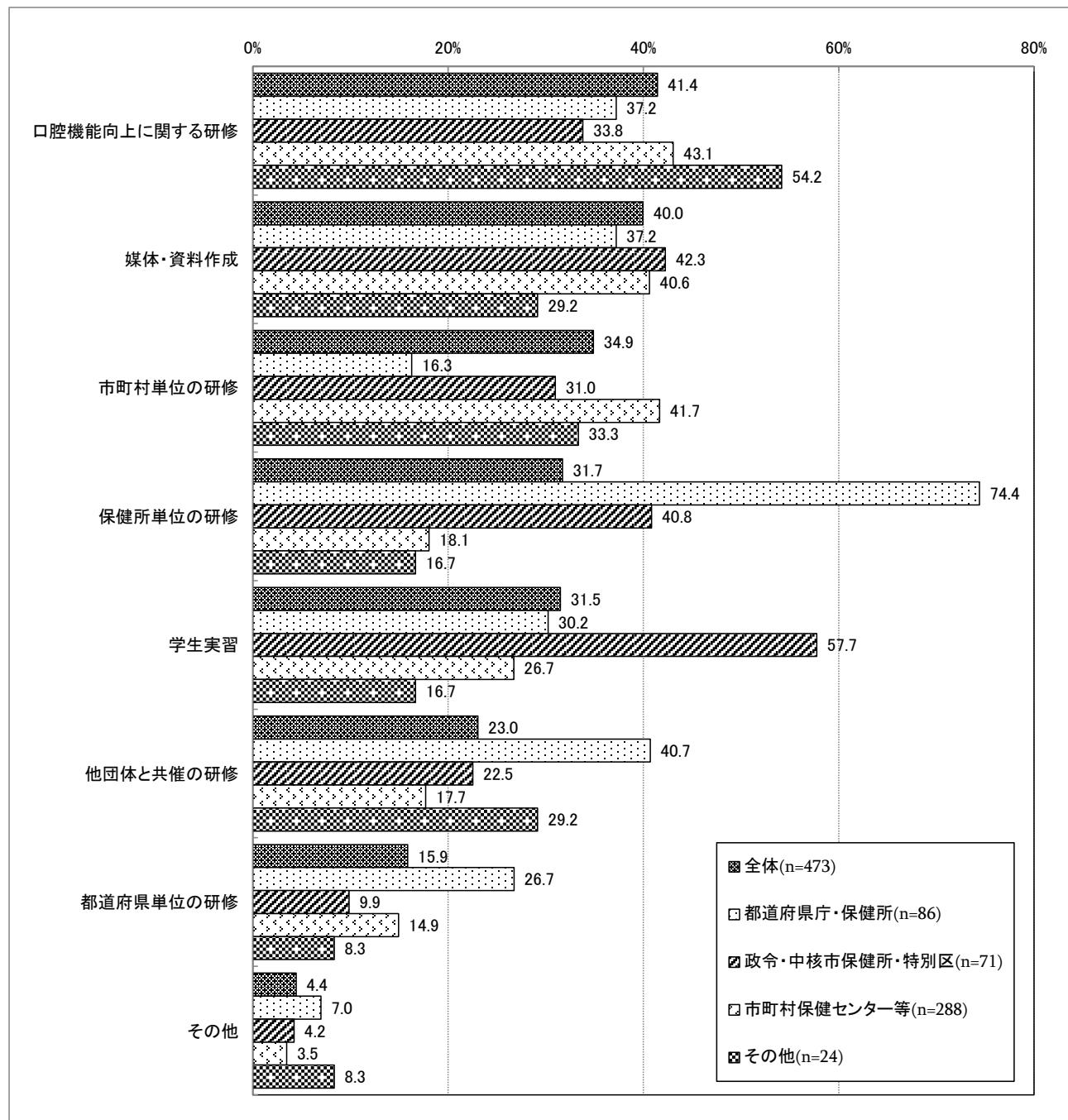


図8-20 実施している研修・教育の企画(複数回答)

## 18. 企画や調整に参加している事業

企画や調整に参加している事業を全体でみると、参加者の多い順に、「介護予防事業に関すること」への参加が 40.1%、「健康増進法に関すること」が 38.0%、「8020 運動推進特別事業に関すること」が 37.9%、「地域歯科保健医療計画に関すること」が 37.0%、「地域連携に関すること」が 30.2%、「広報紙の発行に関すること」が 23.6%、「住民参加型の事業に関すること」が 22.2%、「歯科衛生士の人材育成等」16.7%、「臨地実習に関すること」15.0%、「次世代育成支援事業に関すること」、「災害支援対策等」がともに 13.5%である（図 8-21）。

就業状況別でみると、「常勤」では、「参加している」の多い順に、「健康増進法に関すること」が 69.8%、「広報紙の発行に関すること」が 58.3%、「地域連携に関すること」が 55.6%、「地域歯科保健医療計画に関すること」が 55.3%である。「非常勤」では、「参加している」の多い順に、「介護予防事業に関すること」が 35.4%、「8020 運動推進特別事業に関すること」が 31.0%、「地域歯科保健医療計画に関すること」が 28.4%、「健康増進法に関すること」が 23.8%である（図 8-22、8-23）。

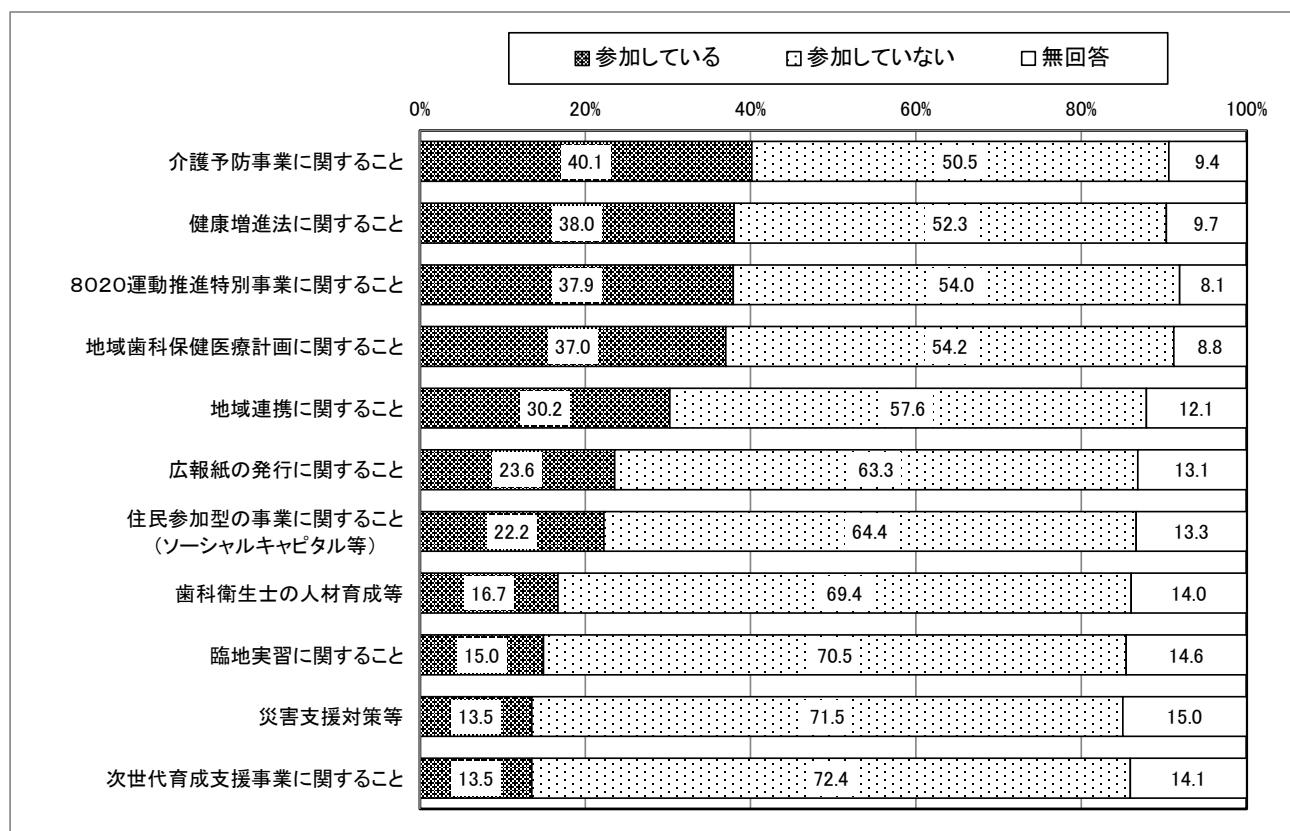


図 8－21 企画や調整に参加している事業（全体）

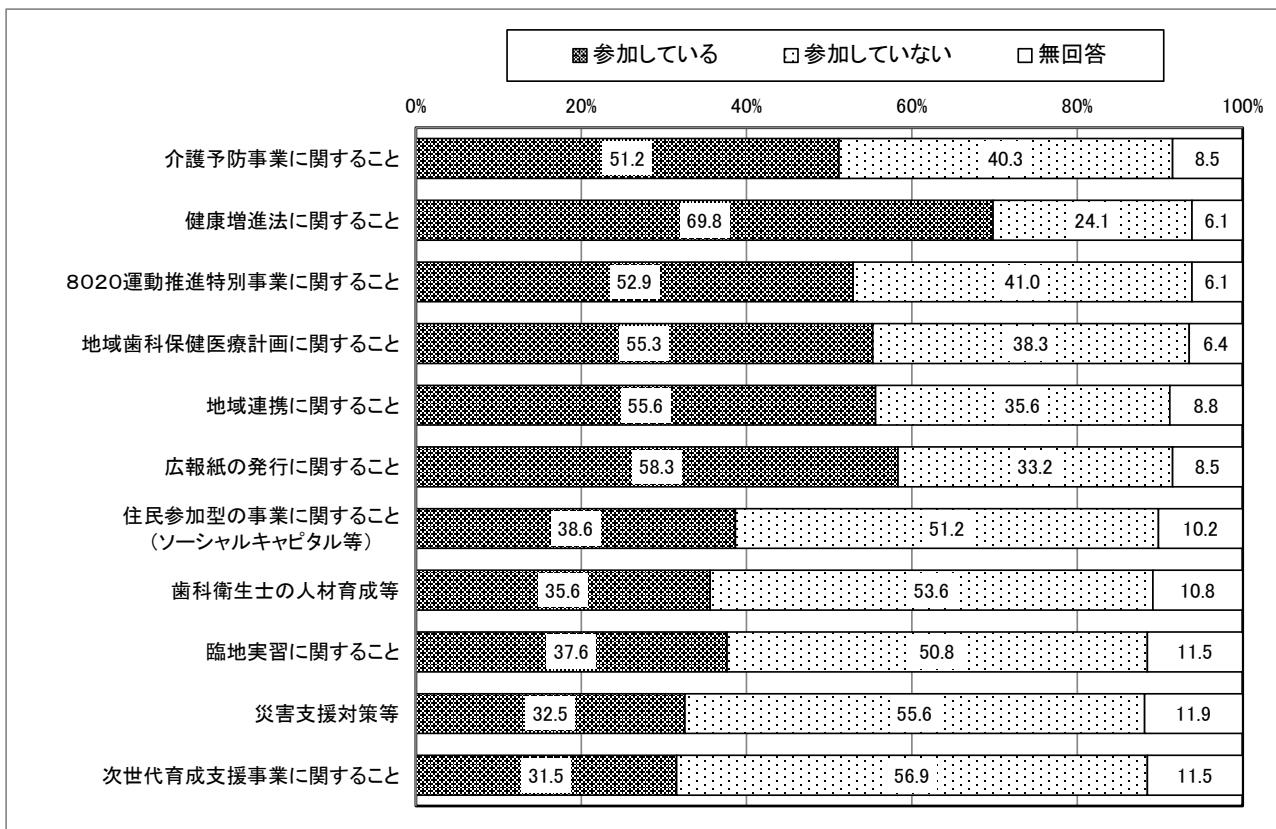


図 8－22 企画や調整に参加している事業（常勤）

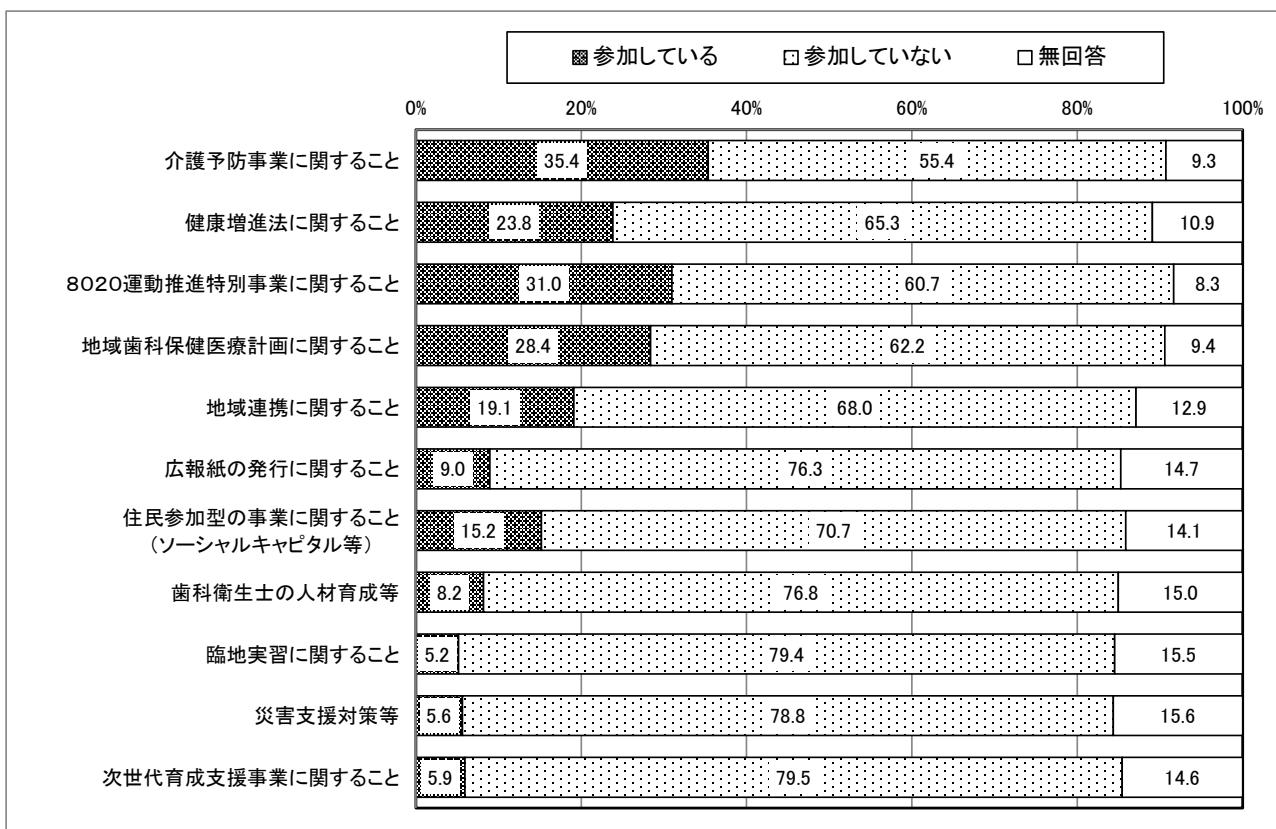


図 8－23 企画や調整に参加している事業（非常勤）

介護予防事業に関する件を全体でみると、「参加している」が40.1%であり、勤務先別で「参加している」をみると、「都道府県庁・保健所」が45.2%、「政令・中核市保健所・特別区」が42.7%、「市町村保健センター等」が39.2%である（図8-24）。

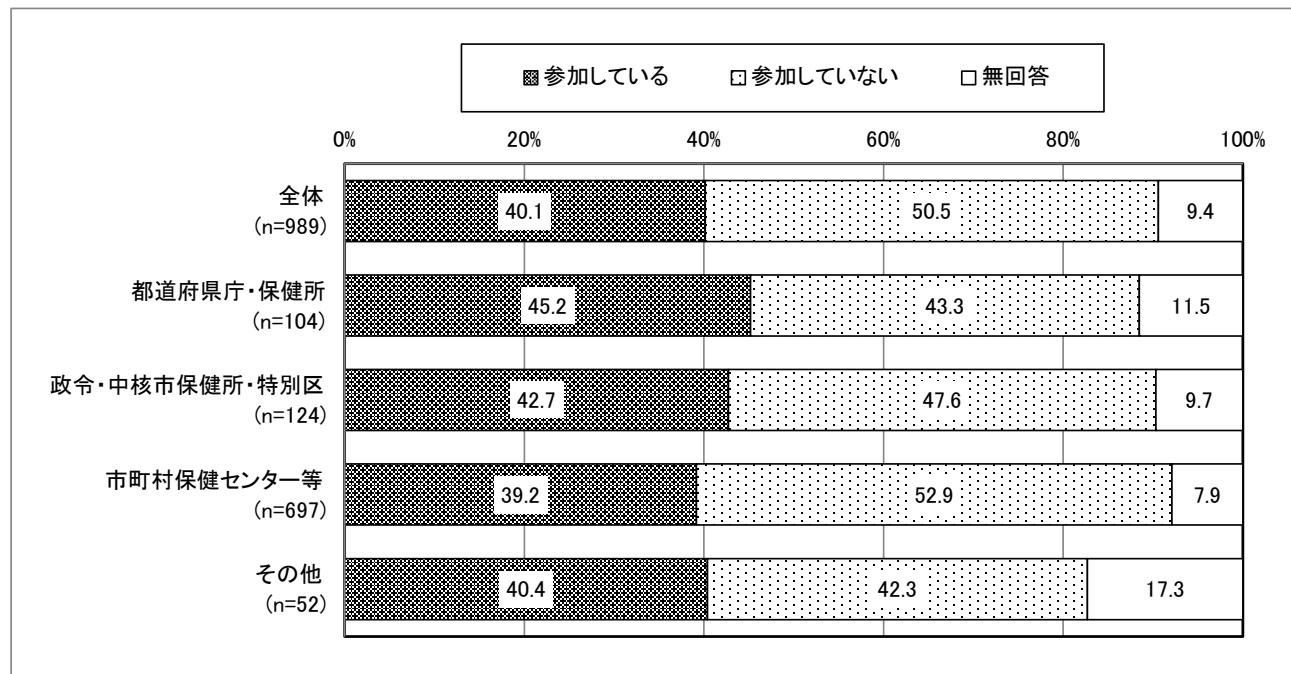


図8-24 介護予防事業に関する件（企画や調整に参加している事業）

健康増進法に関する件を全体でみると、「参加している」が38.0%であり、勤務先別で「参加している」をみると、「都道府県庁・保健所」が58.7%、「政令・中核市保健所・特別区」が49.2%、「市町村保健センター等」が34.3%である（図8-25）。

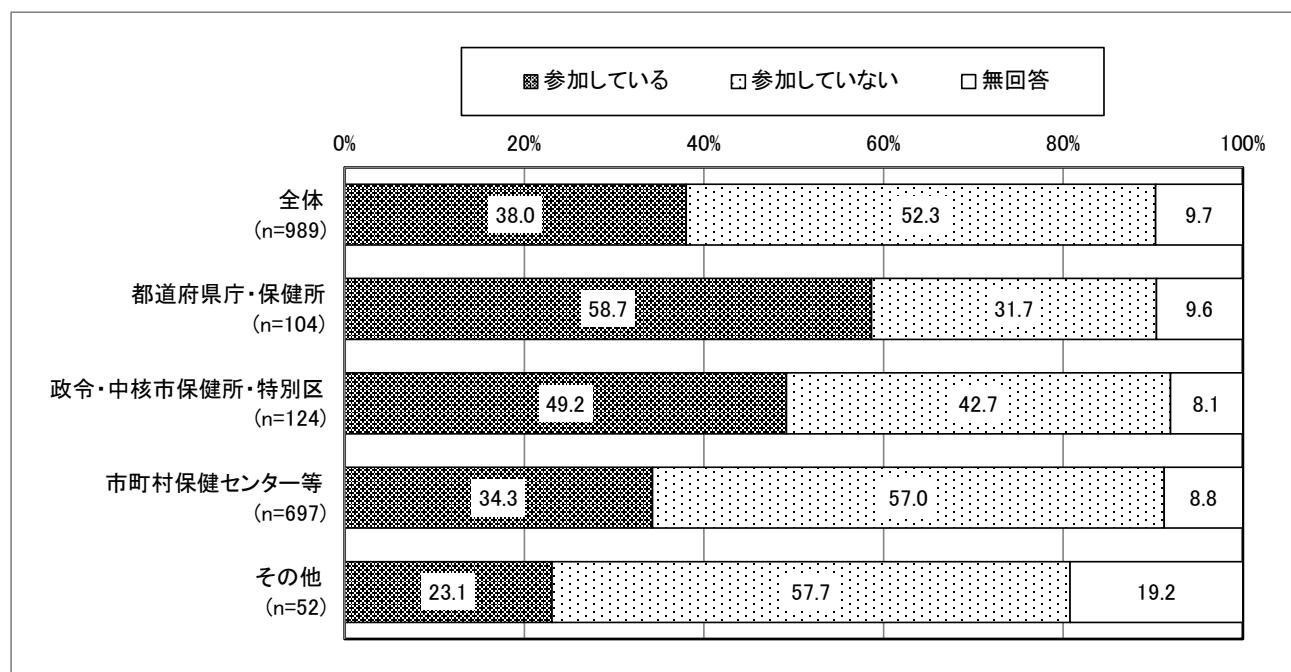


図8-25 健康増進法に関する件（企画や調整に参加している事業）

8020 運動推進特別事業に関する件を全体でみると、「参加している」が 37.9%であり、勤務先別で「参加している」をみると、「都道府県庁・保健所」が 66.3%、「政令・中核市保健所・特別区」が 40.3%、「市町村保健センター等」が 33.9%である（図 8-26）。

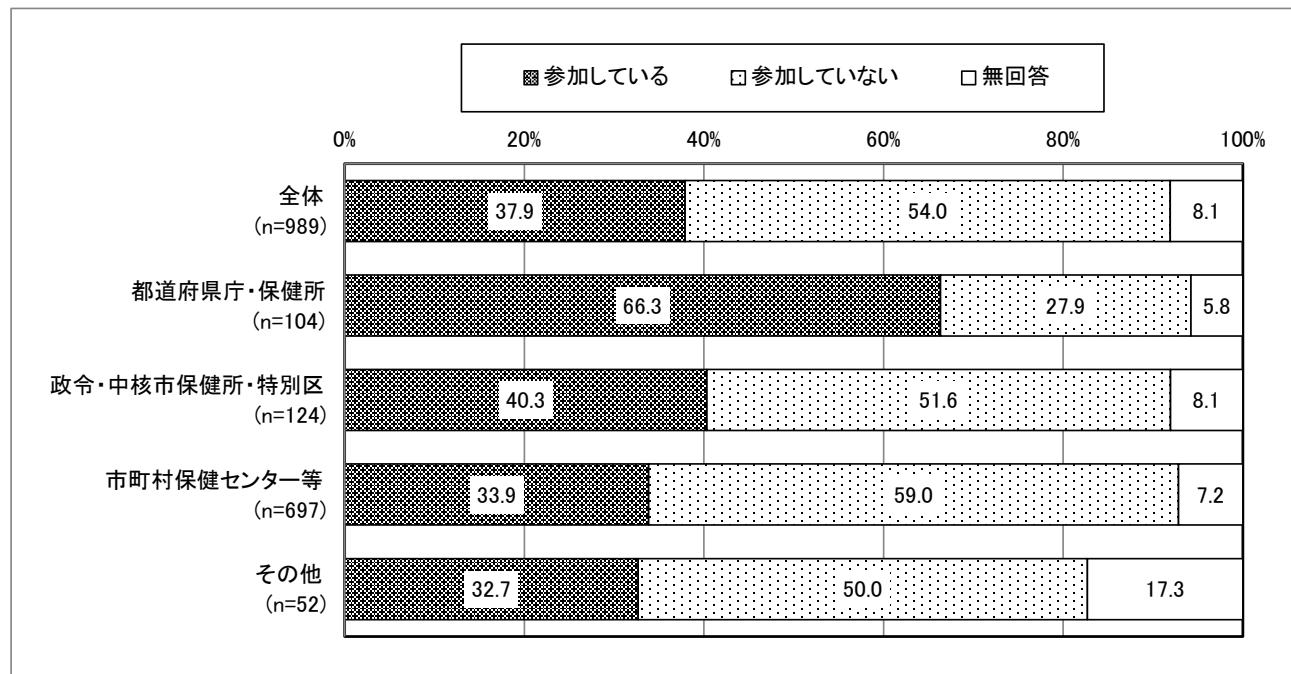


図 8-26 8020 運動推進特別事業に関する件（企画や調整に参加している事業）

地域歯科保健医療計画に関する件を全体でみると、「参加している」が 37.0%であり、勤務先別で「参加している」をみると、「都道府県庁・保健所」が 61.5%、「政令・中核市保健所・特別区」が 41.1%、「市町村保健センター等」が 33.1%である（図 8-27）。

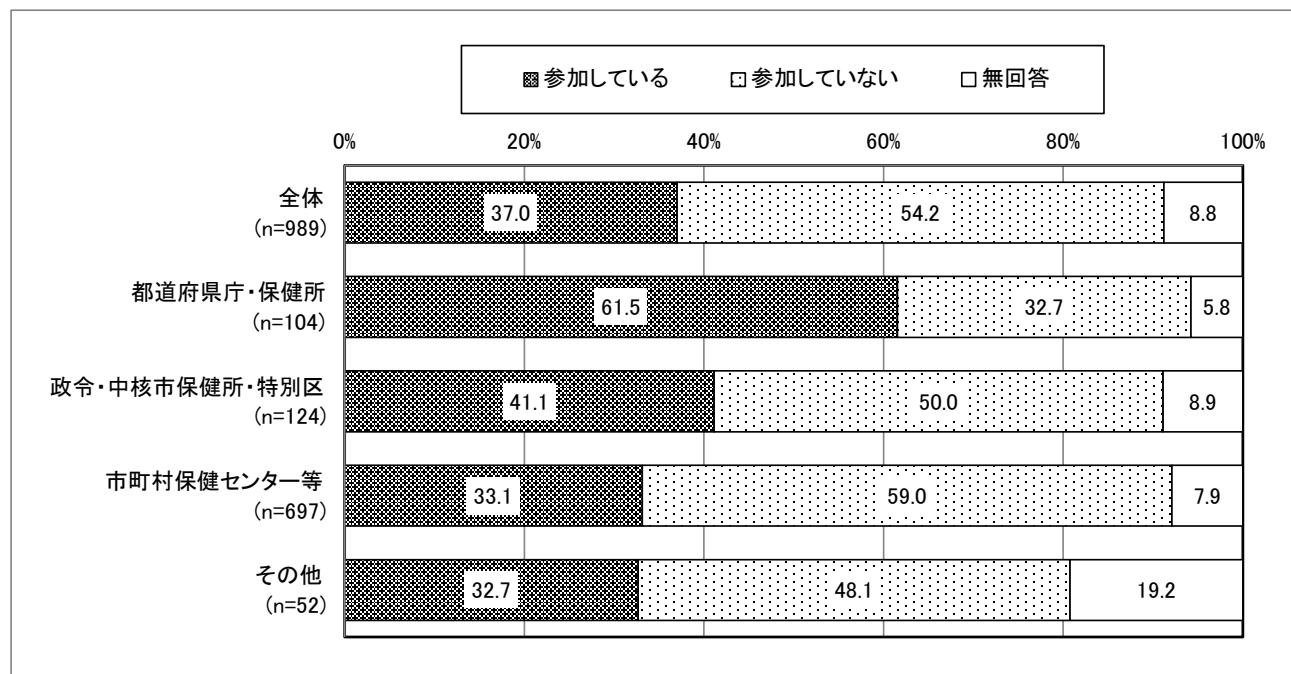


図 8-27 地域歯科保健医療計画に関する件（企画や調整に参加している事業）

地域連携に関する件数を全体でみると、「参加している」が30.2%であり、勤務先別で「参加している」をみると、「都道府県庁・保健所」が59.6%、「政令・中核市保健所・特別区」が36.3%、「市町村保健センター等」が25.4%である（図8-28）。

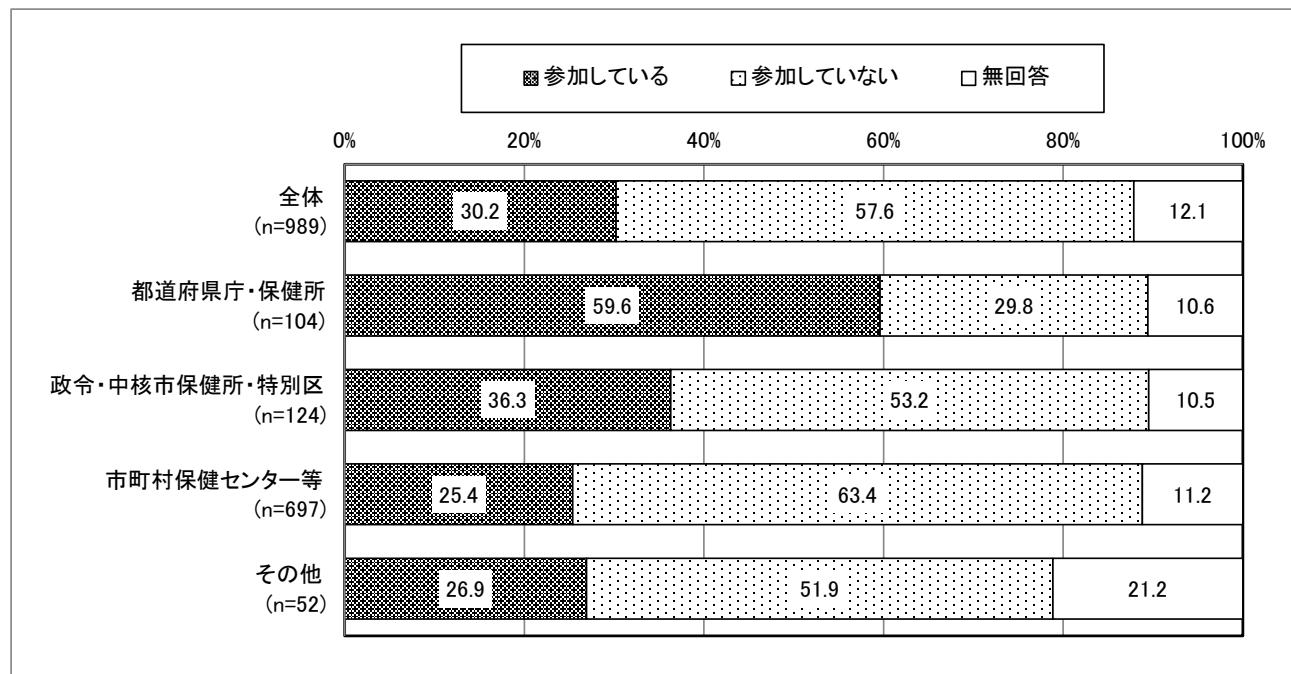


図8-28 地域連携に関する件数（企画や調整に参加している事業）

広報紙の発行に関する件数を全体でみると、「参加している」が23.6%であり、勤務先別で「参加している」をみると、「政令・中核市保健所・特別区」が40.3%、「都道府県庁・保健所」が33.7%、「市町村保健センター等」が19.9%である（図8-29）。

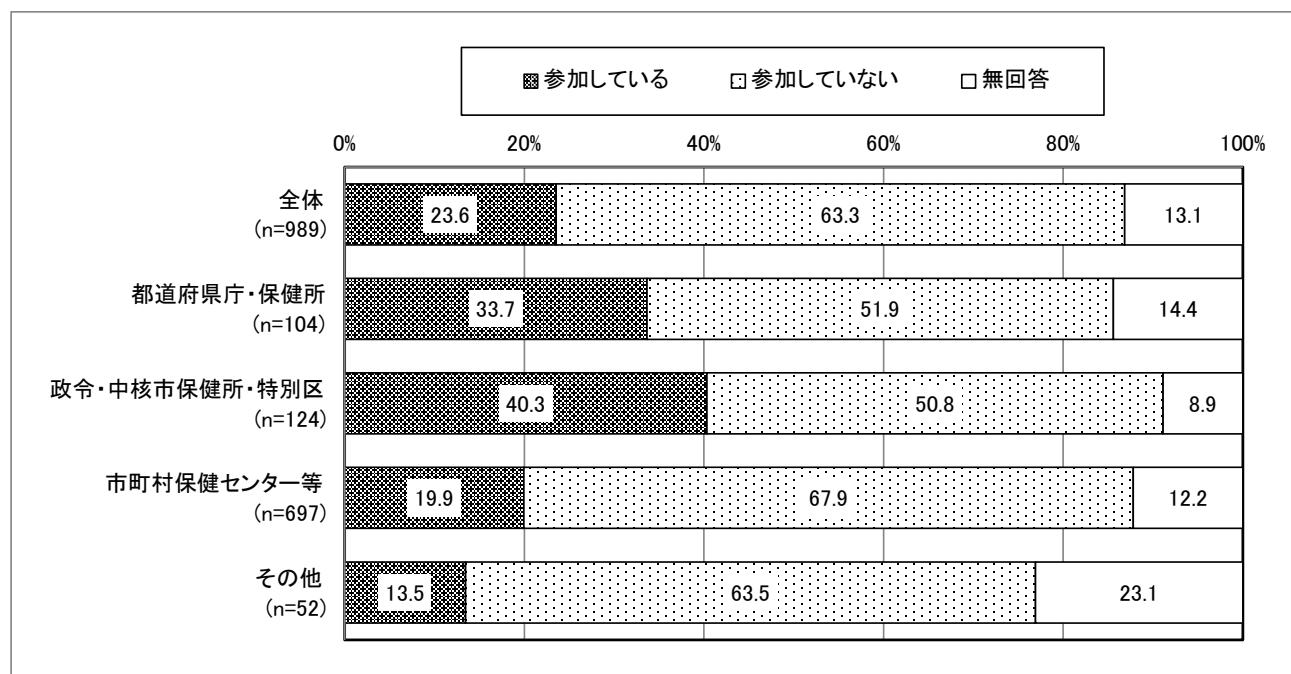


図8-29 広報紙の発行に関する件数（企画や調整に参加している事業）

住民参加型の事業に関する件数を全体でみると、「参加している」が 22.2%であり、勤務先別で「参加している」をみると、「政令・中核市保健所・特別区」が 33.1%、「都道府県庁・保健所」が 31.7%、「市町村保健センター等」が 19.4%である（図 8-30）。

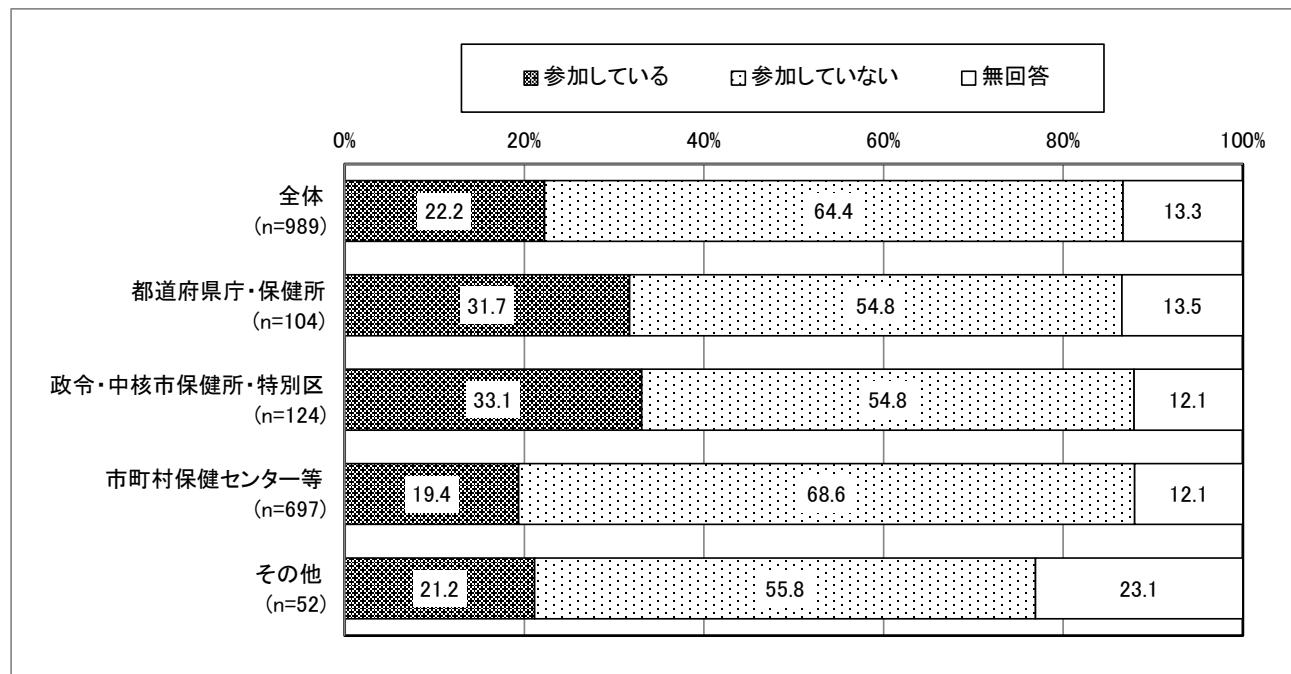


図 8-30 住民参加の事業に関する件数（企画や調整に参加している事業）

歯科衛生士の人材育成等を全体でみると、「参加している」が 16.7%であり、勤務先別で「参加している」をみると、「都道府県庁・保健所」が 40.4%、「政令・中核市保健所・特別区」が 33.1%、「市町村保健センター等」が 11.0%である（図 8-31）。

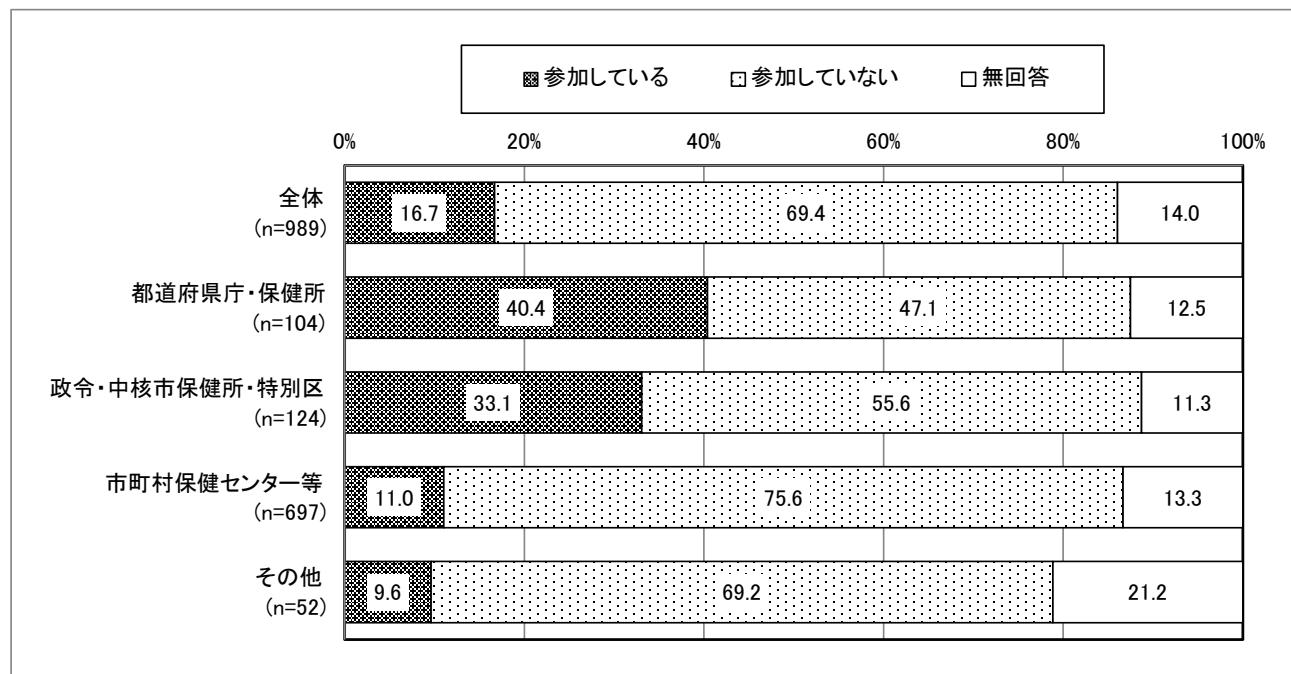


図 8-31 歯科衛生士の人材育成等（企画や調整に参加している事業）

災害支援対策等を全体でみると、「参加している」が13.5%であり、勤務先別で「参加している」をみると、「都道府県庁・保健所」が32.7%、「政令・中核市保健所・特別区」が25.0%、「市町村保健センター等」が9.5%である（図8-32）。

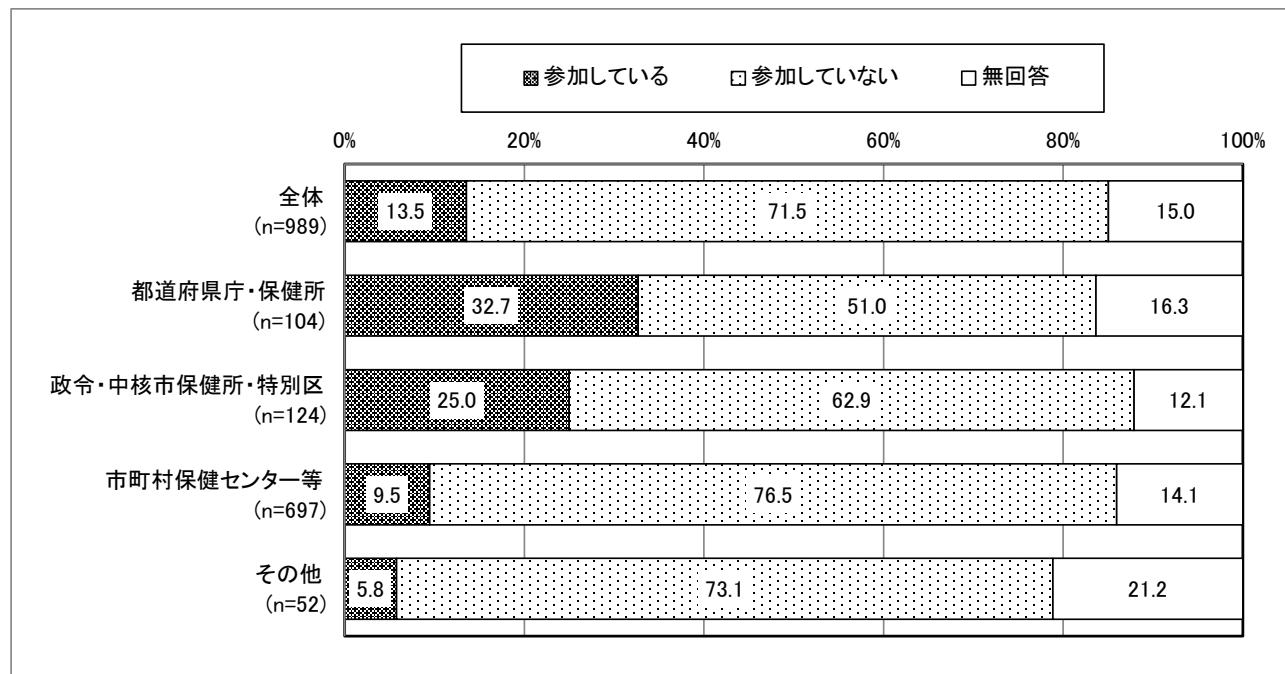


図8-32 災害支援対策等（企画や調整に参加している事業）

次世代育成支援事業に関する件を全体でみると、「参加している」が13.5%であり、勤務先別で「参加している」をみると、「政令・中核市保健所・特別区」が24.2%、「都道府県庁・保健所」が18.3%、「市町村保健センター等」が11.8%である（図8-33）。

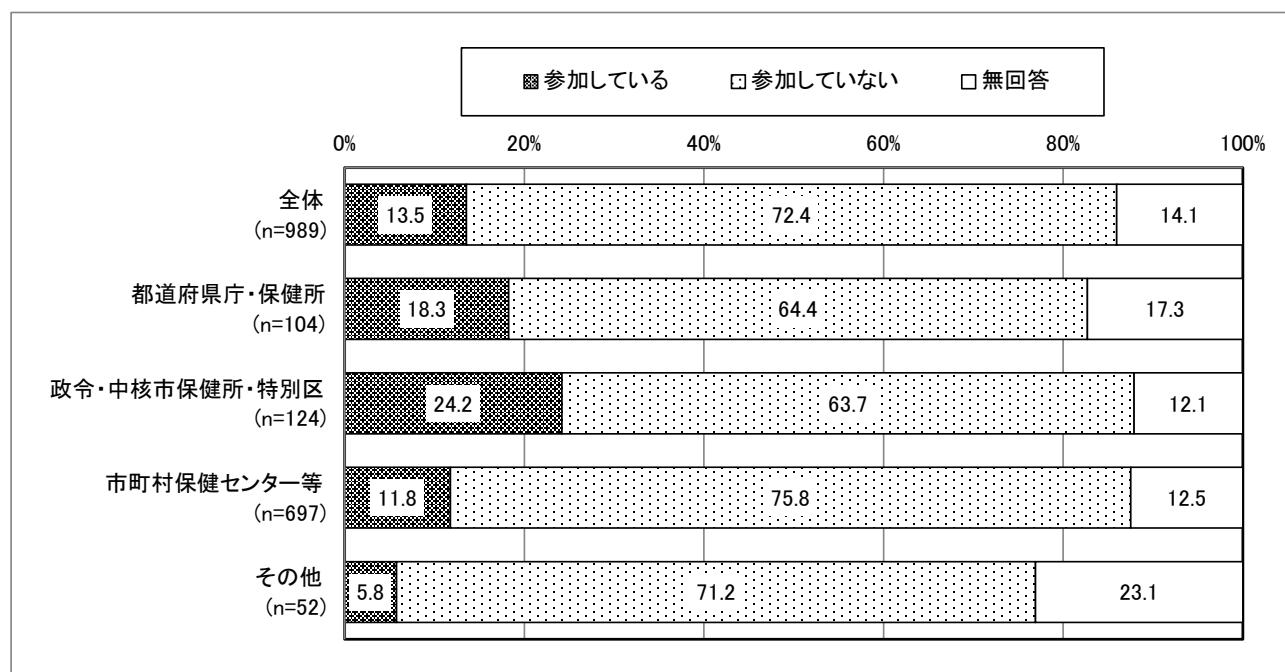


図8-33 次世代育成支援事業に関する件（企画や調整に参加している事業）

臨地実習に関することを全体でみると、「参加している」が 15.0%であり、勤務先別で「参加している」をみると、「政令・中核市保健所・特別区」が 34.7%、「都道府県庁・保健所」が 31.7%、「市町村保健センター等」が 9.3%である（図 8-34）。

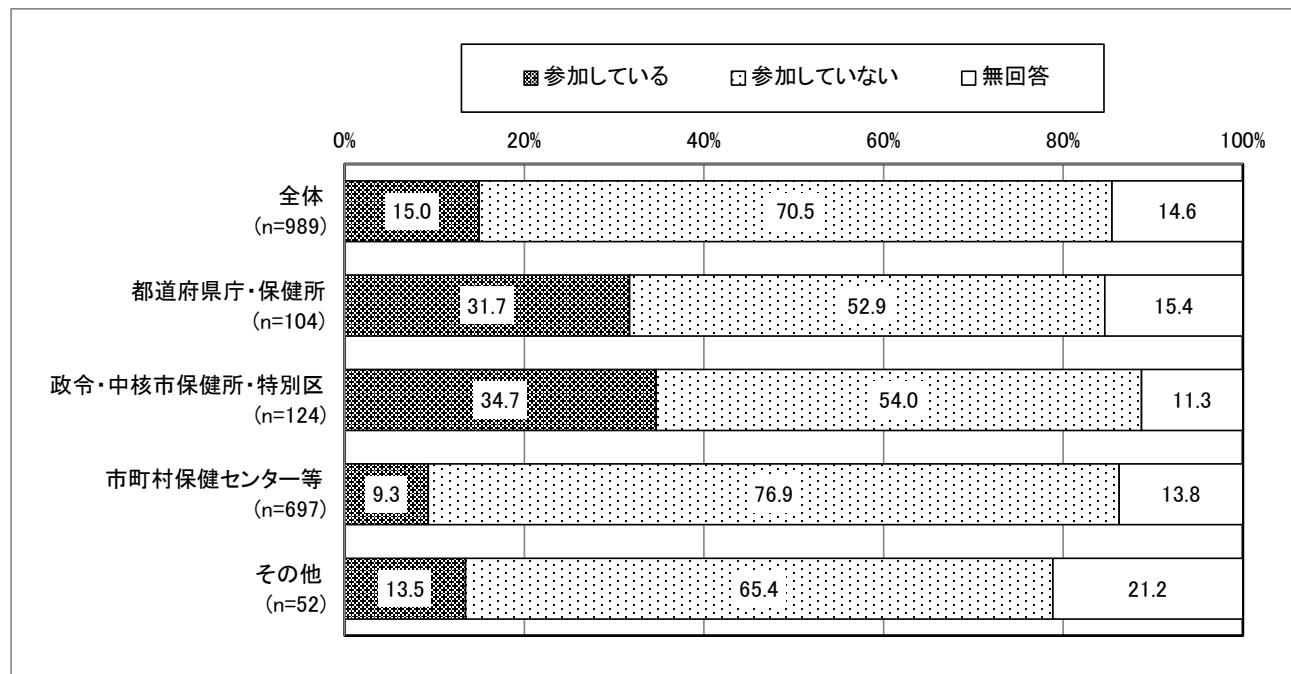


図 8－34 臨地実習に関すること（企画や調整に参加している事業）

## 19. 食育基本法に関する事業等への参加・協力の有無

食育基本法に関する事業等への参加・協力の有無を全体でみると、「参加・協力している」が 26.7%、「今後実施予定」が 2.1%、「参加・協力していない」が 69.1%である。

勤務先別で「参加・協力している」をみると、「政令・中核市保健所・特別区」が 45.2%、「都道府県庁・保健所」が 28.8%、「市町村保健センター等」が 23.5%である（図 8-35）。

就業状況別で「参加・協力している」をみると、「常勤」が 46.8%、「非常勤」が 17.3%である（図 8-36）。

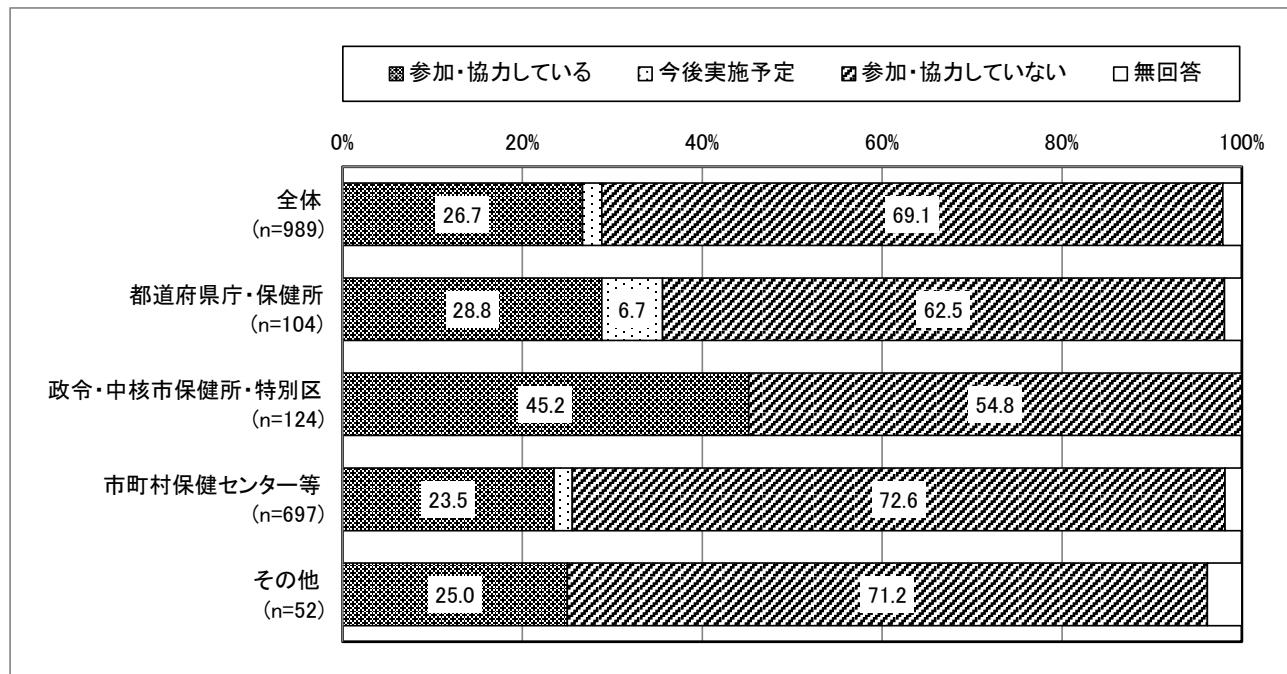


図 8-35 食育基本法に関する事業等への参加・協力の有無

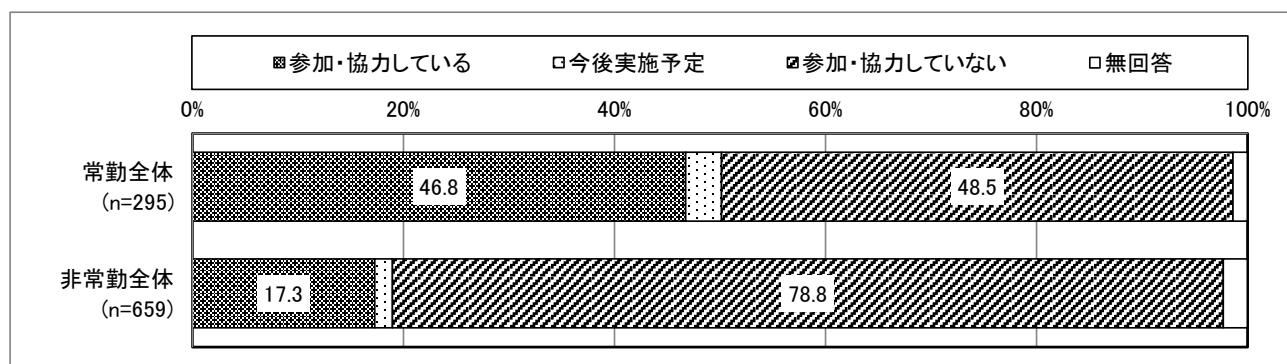


図 8-36 食育基本法に関する事業等への参加・協力の有無（就業状況別）

## 20. 食育基本法に関する事業等の対象者

食育基本法に関する事業等の対象者を全体でみると、「乳幼児」が 62.5%、「保育園・幼稚園児」が 48.1%、「高齢者」が 39.4%、「成人」が 35.2%、「児童・生徒」が 31.8%、「妊産婦」が 31.4%である(図 8-37)。

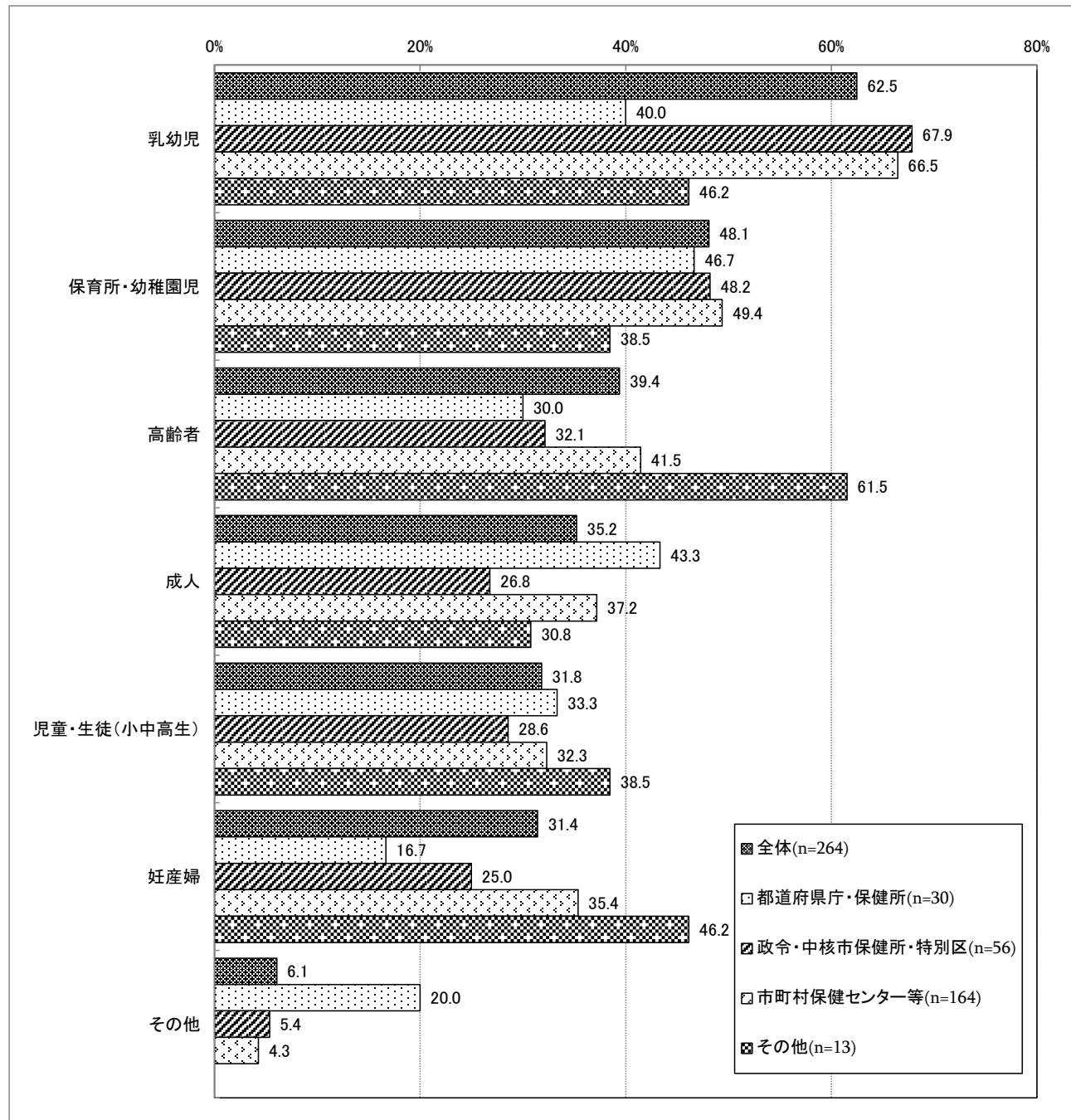


図 8-37 食育基本法に関する事業等の対象者（複数回答）

## 2.1. 食育基本法に関する事業等で連携している職種

食育基本法に関する事業等で連携している職種を全体でみると、「管理栄養士・栄養士」が91.3%、「保健師」が62.5%、「歯科医師」が35.2%、「看護師」が18.6%、「事務職」が17.8%、「医師」が8.3%である(図8-38)。

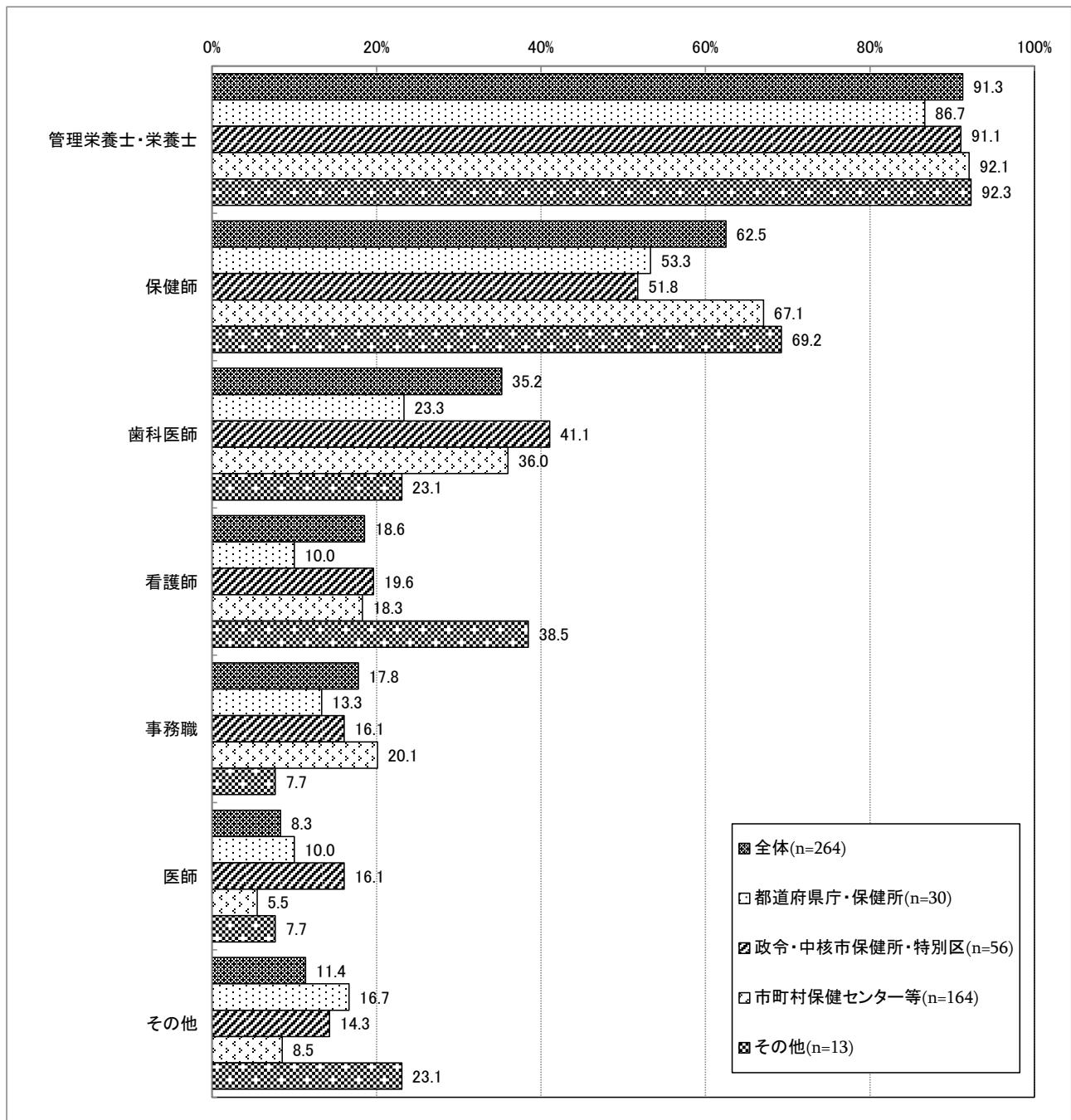


図8-38 食育基本法に関する事業等で連携している職種（複数回答）

## IX. 歯科衛生士教育養成機関

【歯科衛生士教育養成機関の回答者数は全体で 472 人である】

### 1. 勤務先の設置主体

勤務先の設置主体を全体でみると、「学校法人」が 54.7%、「社団法人」が 26.5%、「国公立」が 12.1% である。

就業状況別でみると、「常勤」、「非常勤」とも全体とほぼ同様の割合である（図 9-1）。

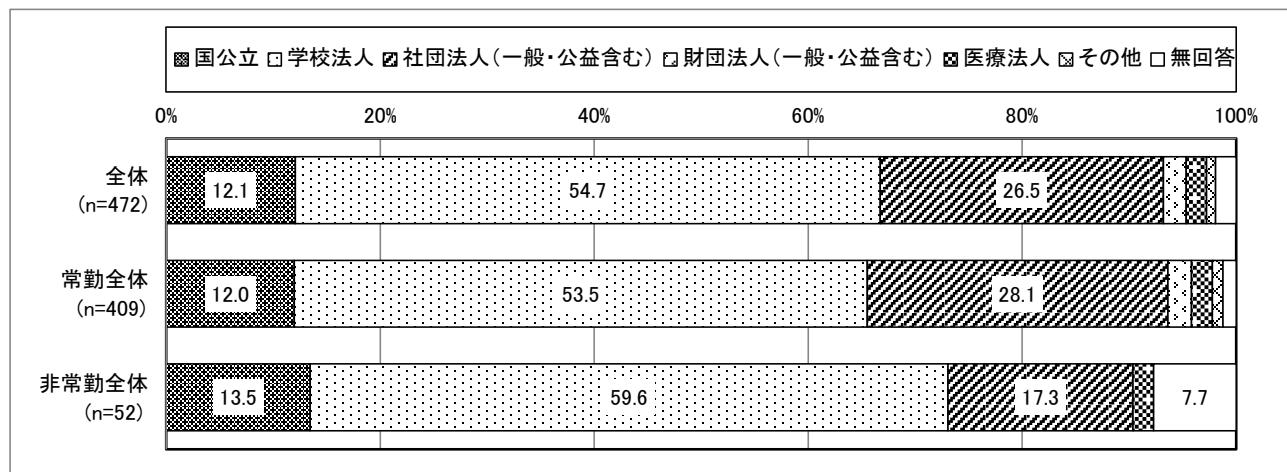


図 9-1 勤務先の設置主体

### 2. 教務経験年数

教務経験年数を全体でみると、「5 年以上 10 年未満」が 23.7%、「10 年以上 20 年未満」が 19.3%、「3 年以上 5 年未満」が 12.7%、「20 年以上 30 年未満」が 11.9%、「1 年以上 3 年未満」が 11.4%、「1 年未満」、「30 年以上」がともに 4.2% である。

就業状況別でみると、「常勤」、「非常勤」とも全体とほぼ同様の割合である（図 9-2）。

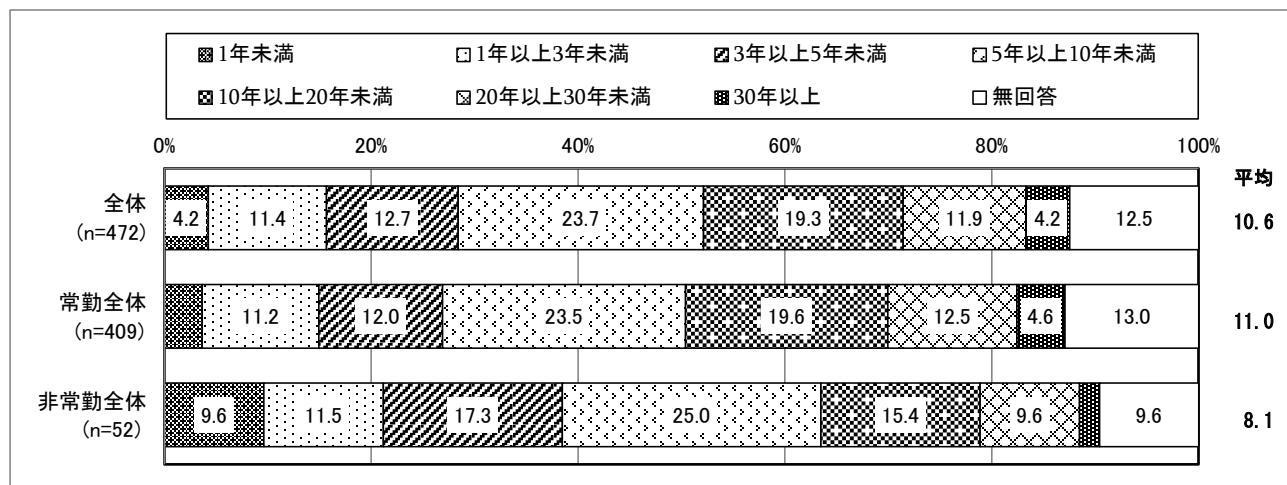


図 9-2 勤務経験年数

### 3. 歯科衛生士としての業務に従事した職域

歯科衛生士としての業務に従事した職域を「常勤」でみると、「診療所」が73.6%、「歯科衛生士教育養成機関」が49.6%、「病院」が27.1%、「公衆衛生」が13.9%である（図9-3）。

のことから、歯科診療所等の経験を経てから歯科衛生士教育機関に勤務していることがうかがえる。

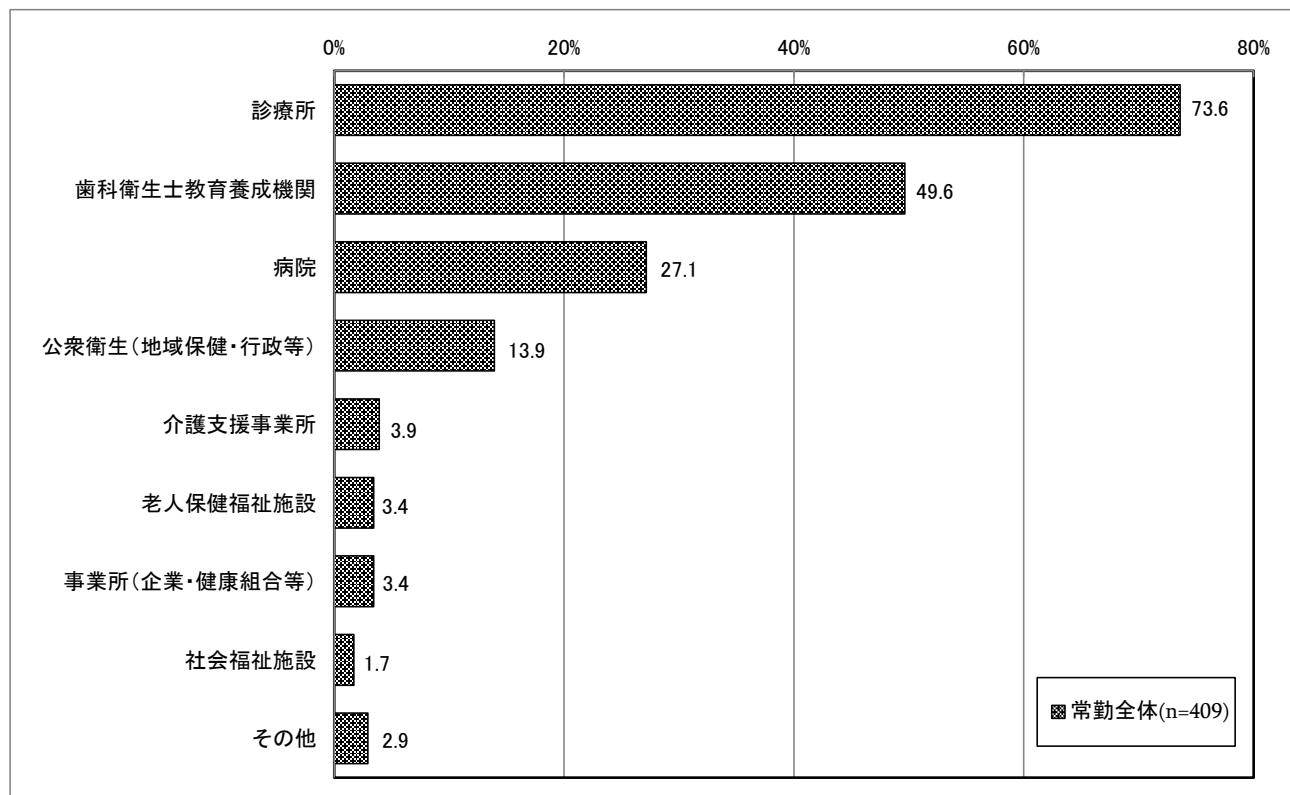


図9-3 歯科衛生士としての業務に従事した職域（複数回答）

### 4. 学校での立場

学校での立場を「常勤」でみると、「専任講師・教員」が51.3%、「教務（室長、科長、主任）」が24.2%、「講師・助教」が11.7%、「教授・准教授」が5.9%、「助手」が2.2%、「校長」が0.7%である（図9-4）。

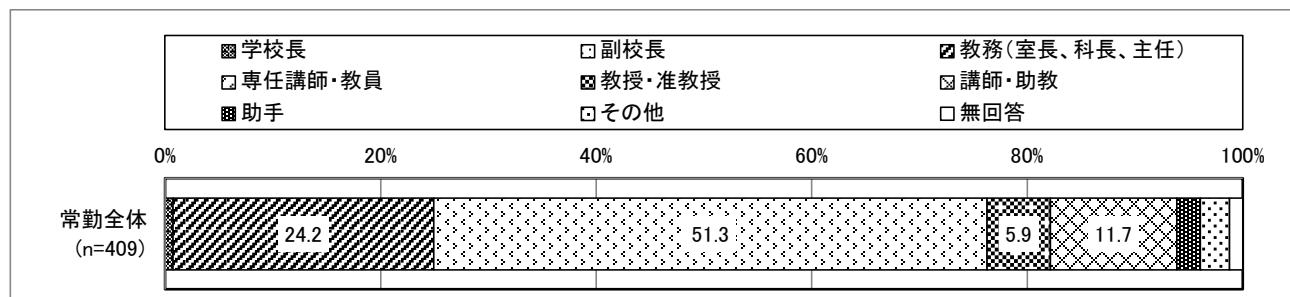


図9-4 学校での立場

## 5. 歯科衛生士専任教員認定等の取得

歯科衛生士専任教員認定等の取得を「常勤」でみると、「取得している」が48.2%、「現在、取得中」が35.0%である。一方、「取得していない」は16.1%である（図9-5）。

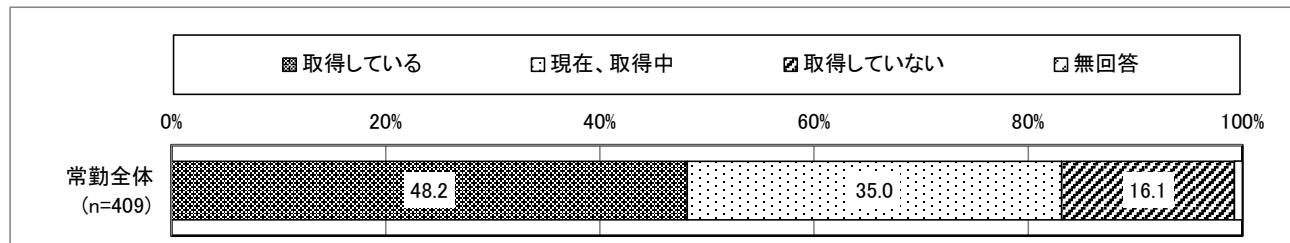


図9-5 歯科衛生士専任教員認定等の取得

## 6. 教職へのやりがい

教職へのやりがいを「常勤」でみると、「非常にある」と「ややある」の合計は94.9%であり、ほとんどの者がやりがいを感じている。一方、「あまりない」は3.9%、「全くない」は0.5%である（図9-6）。

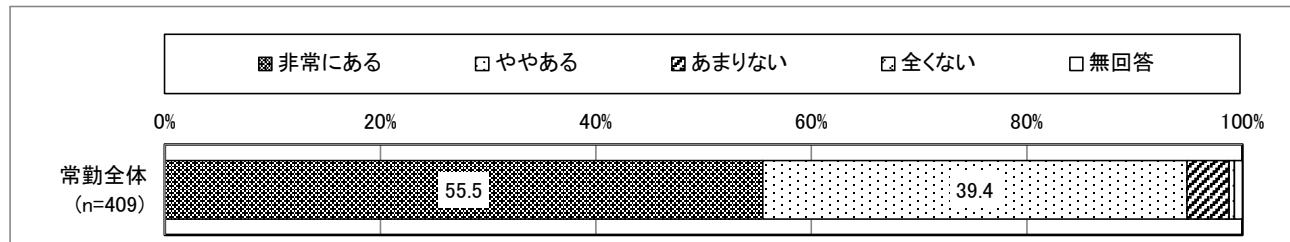


図9-6 教職へのやりがい

## 7. 教職業務の改善要望

教職業務の改善要望について「常勤」でみると、「ある」が 82.2%、「ない」が 16.1%であり、改善要望をしている割合が多い（図 9-7）。

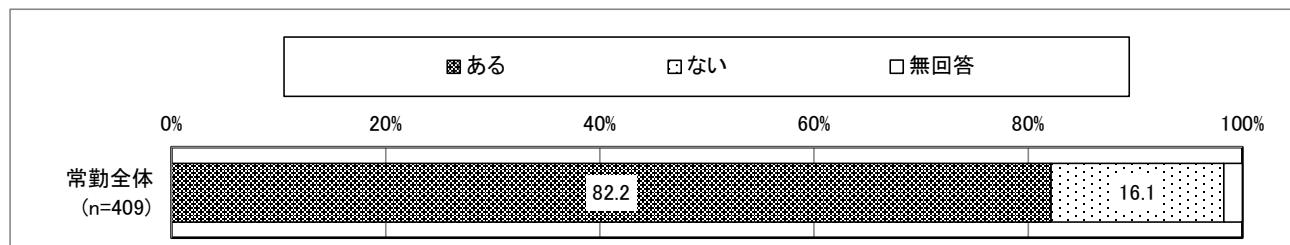


図 9-7 教職業務の改善要望

## 8. 改善してほしいこと

改善してほしいことについて「常勤」でみると、「教務外業務に関すること」が 41.4%、「勤務体制に関すること」が 16.1%、「講義・実習時間に関すること」が 12.8%、「学校側と教員側の意見交換」が 9.2%である（図 9-8）。

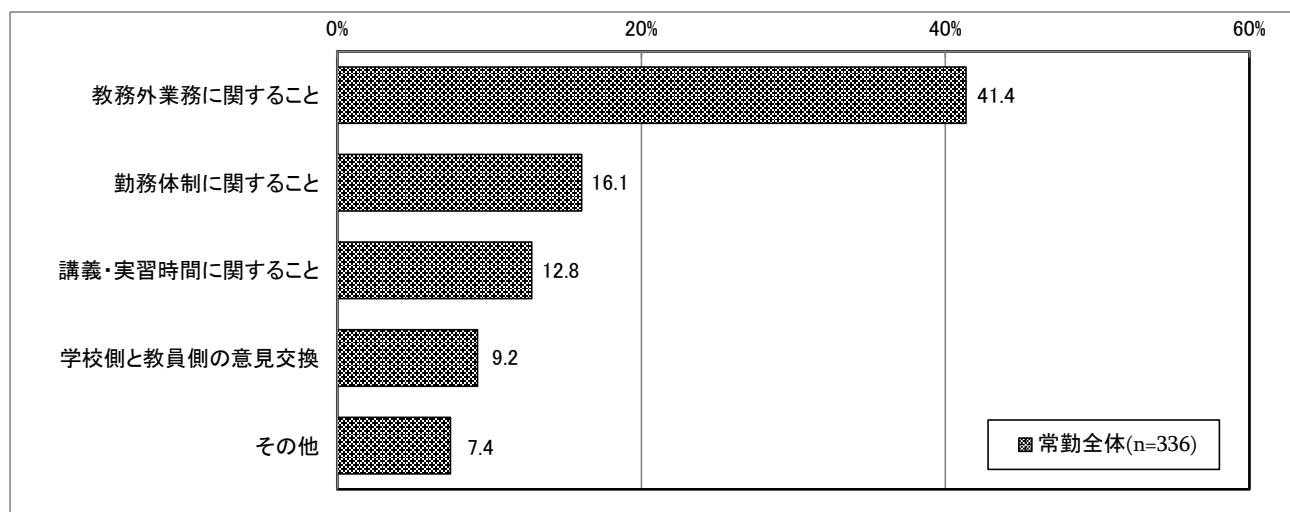


図 9-8 改善してほしいこと

## 9. 現在の担当の講義、実習・演習

現在、担当している講義を全体でみると、「歯科予防処置論」が37.5%、「歯科保健指導論」が35.8%、「歯科診療補助論」が33.3%、「歯科衛生士概論」が23.1%、「口腔保健管理」が13.6%、「摂食嚥下・訓練法」が5.9%、「栄養指導」が4.4%、「災害支援」が1.3%である（図9-9）。

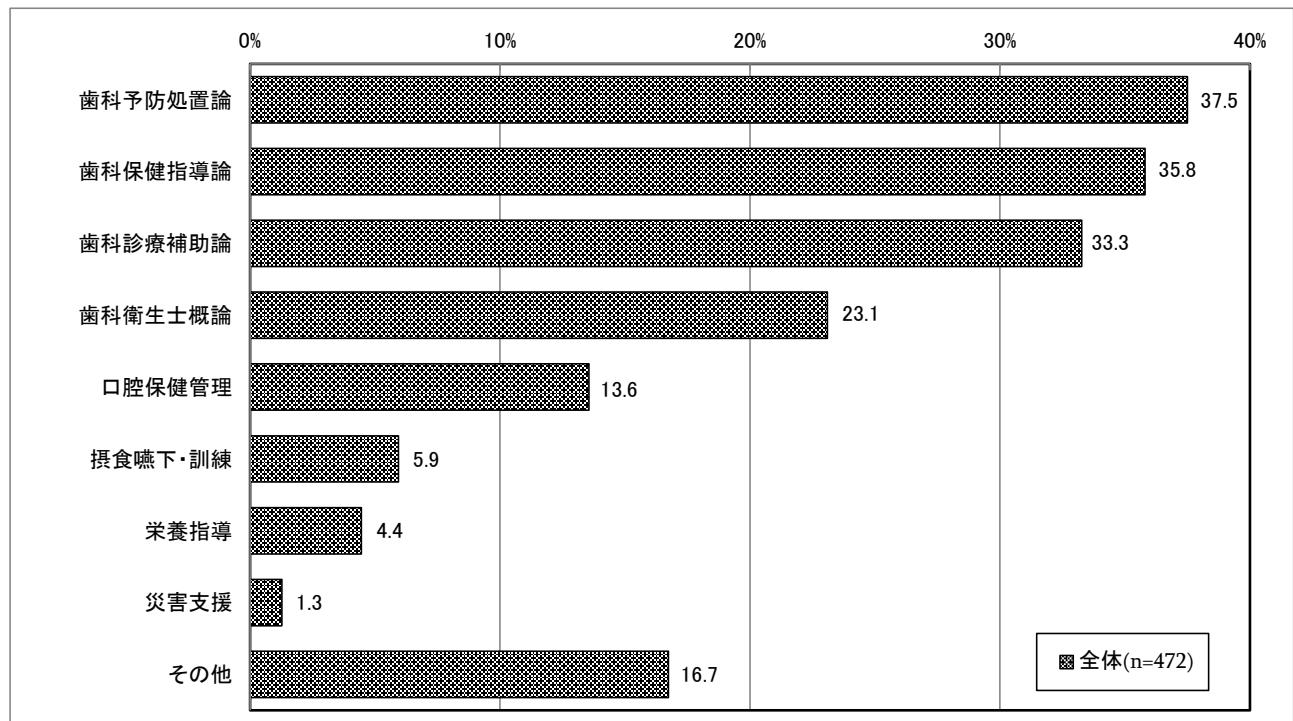


図9-9 現在、担当している講義

現在、担当している実習・演習を全体でみると、「歯科予防処置論」が 61.2%、「歯科診療補助論」が 56.4%、「歯科保健指導論」が 46.8%、「口腔保健管理」が 13.8%、「摂食嚥下・訓練法」が 13.3%、「栄養指導」が 2.8%、「歯科衛生士概論」が 2.3%、「災害支援」が 0.4%である（図 9-10）。

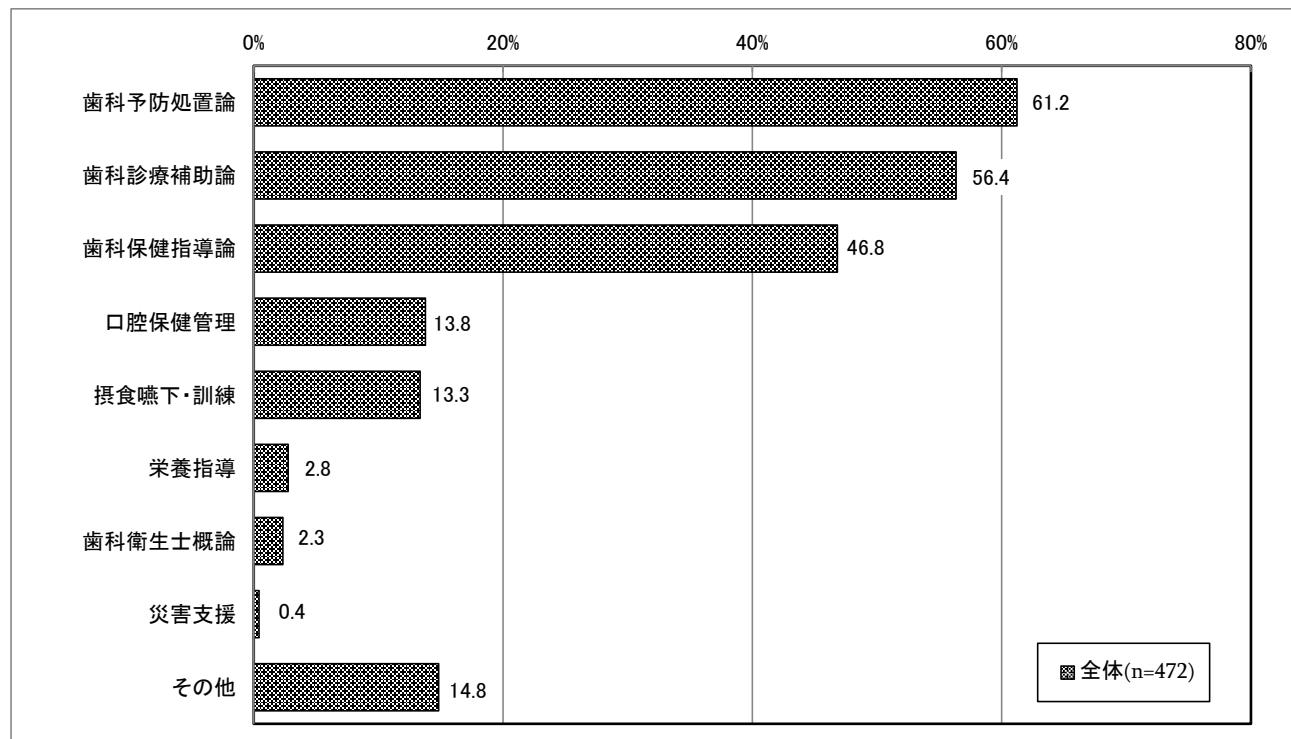


図 9-10 現在、担当している実習・演習

## 10. 専任教員の人員構成

専任教員の人員構成を全体でみると、平均人数が最も多いのは「歯科衛生士」の6.1人である。「歯科衛生士」の分布は「4~5人」が41.1%、「6~9人」が40.7%、「10人以上」が9.3%である。「歯科医師」の平均人数は1.4人であり、その分布は「0人」が56.1%、「1人」が15.5%、「2人」が8.9%、「3人」が5.3%である。「看護師・保健師」、「介護福祉士」は「0人」の割合が9割を超えていている（図9-11）。

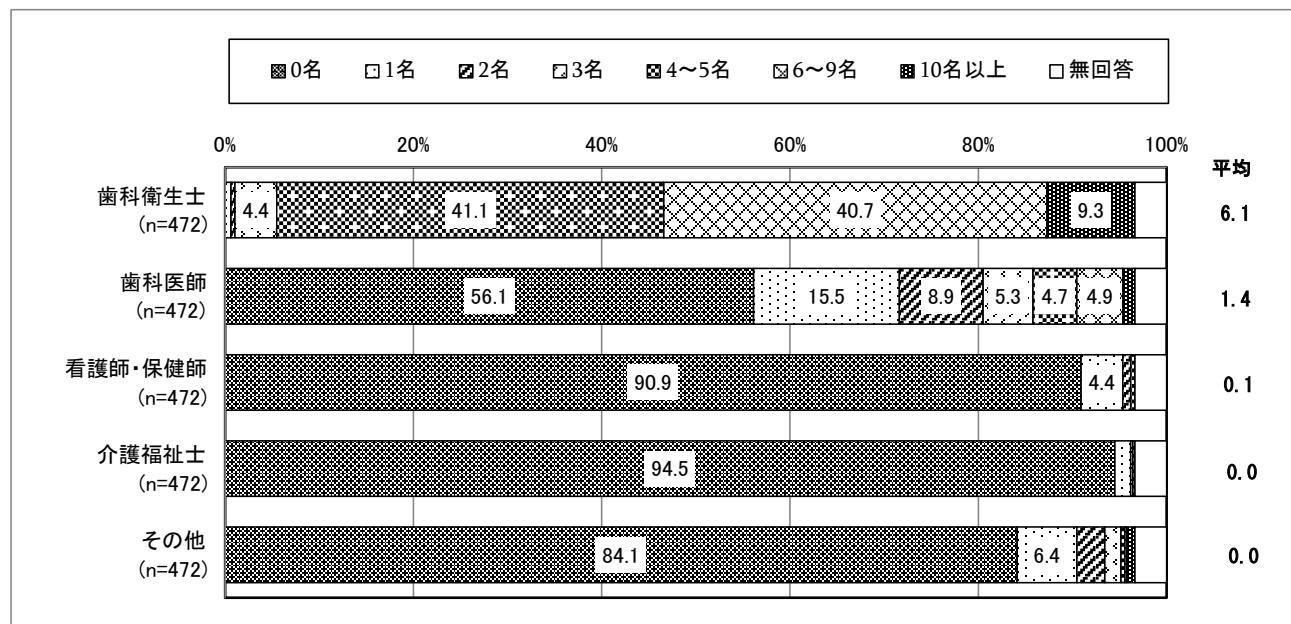


図9-11 専任教員の人員構成

## 1.1. 教員評価の実施状況

教員評価の実施状況を全体でみると、「学生から評価されている」が 51.3%、「上司から評価されている」が 40.7%、「自己評価を提出している」が 39.6%、「評価は行っていない」が 19.3%である(図 9-12)。

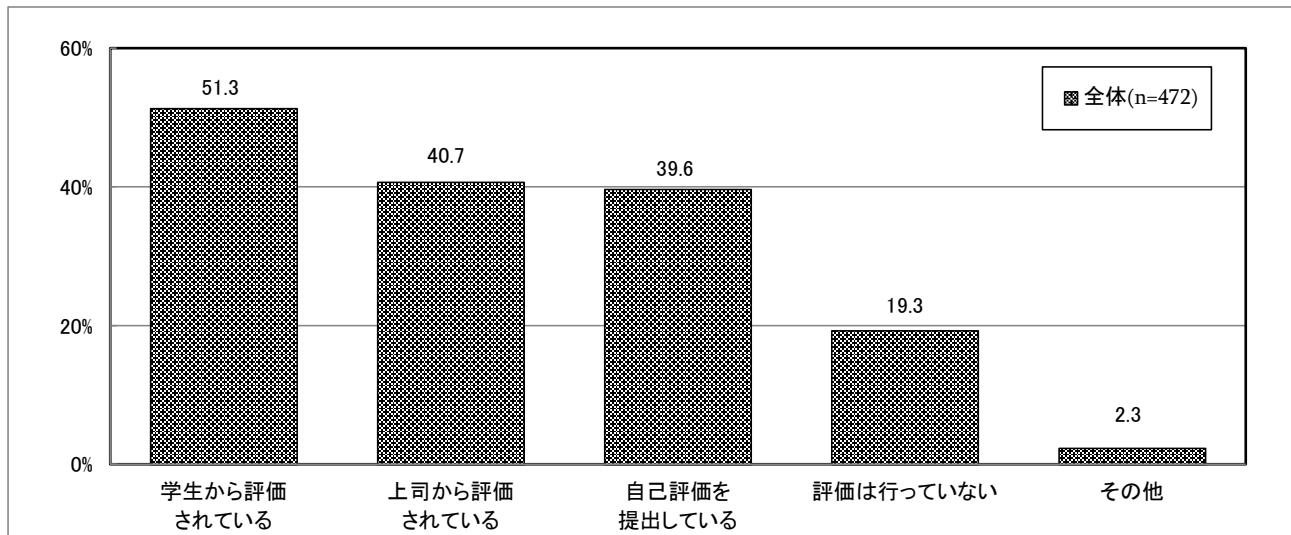


図 9-12 教員評価の実施状況（複数回答）

## 1.2. 教員評価の必要性

教員評価の必要性を全体でみると、「必要である」と「ある程度必要」の合計が 94.5%であり、ほとんどの回答者が必要性を感じている(図 9-13)。

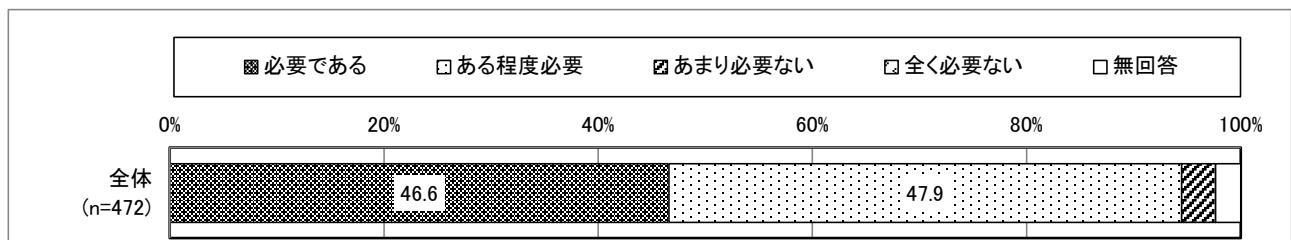


図 9-13 教員評価の必要性

### 1.3. 教員評価の昇進・昇給への反映状況

教員評価の昇進・昇給への反映状況を全体でみると、「反映されている」と「やや反映されている」の合計が26.7%、一方、「あまり反映されていない」と「全く反映されていない」の合計は62.3%であり、「反映されていない」割合が多い(図9-14)。

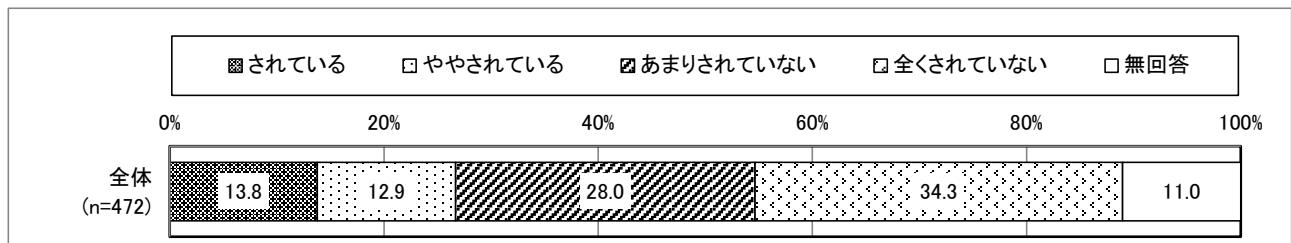


図9-14 教員評価の昇進・昇給への反映状況

### 1.4. 教員評価に関与する項目

教員評価に関与する項目を全体でみると、「学生からの授業・実習等の評価」が55.6%、「学会等の発表」が41.3%、「論文等の発表」が35.7%、「学会・研修会等への参加」が30.2%、「広報活動」が25.4%、「学会・関連団体等の役員歴」、「学生の補講・相談」がともに21.4%である(図9-15)。

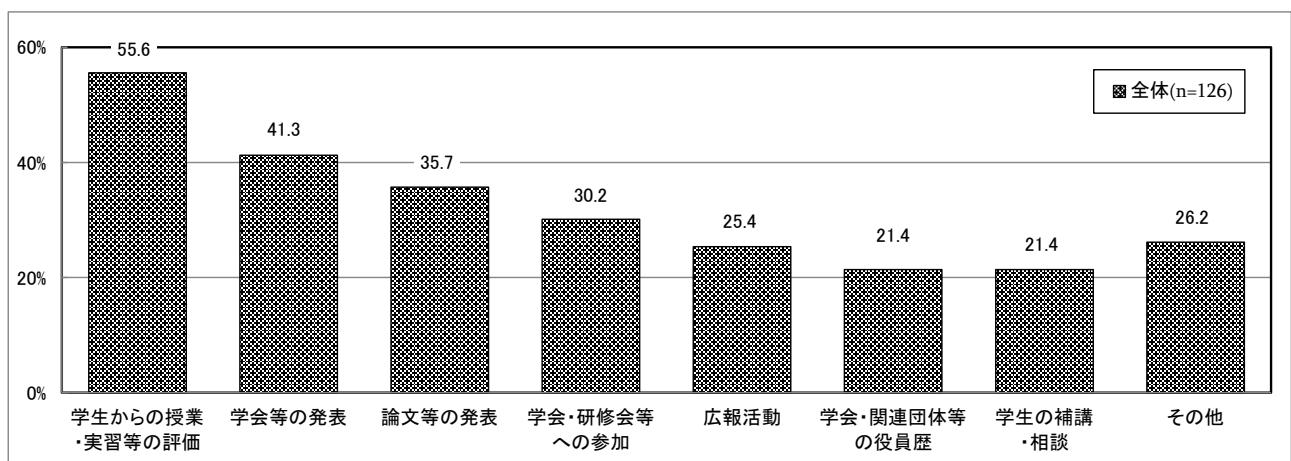


図9-15 教員評価に関与する項目（複数回答）

## 学生の臨床実習・臨地実習について

### 15. 実習先別担当指導員の有無

実習先別担当指導員の有無を「担当指導員がいる」でみると、「病院実習」が89.6%、「歯科医院実習」が86.9%、「保健所、保健センター実習」が72.9%、「介護・福祉施設実習」が34.5%である。一方、「担当指導員がない」では「介護・福祉施設実習」が30.7%で最も多い（図9-16）。

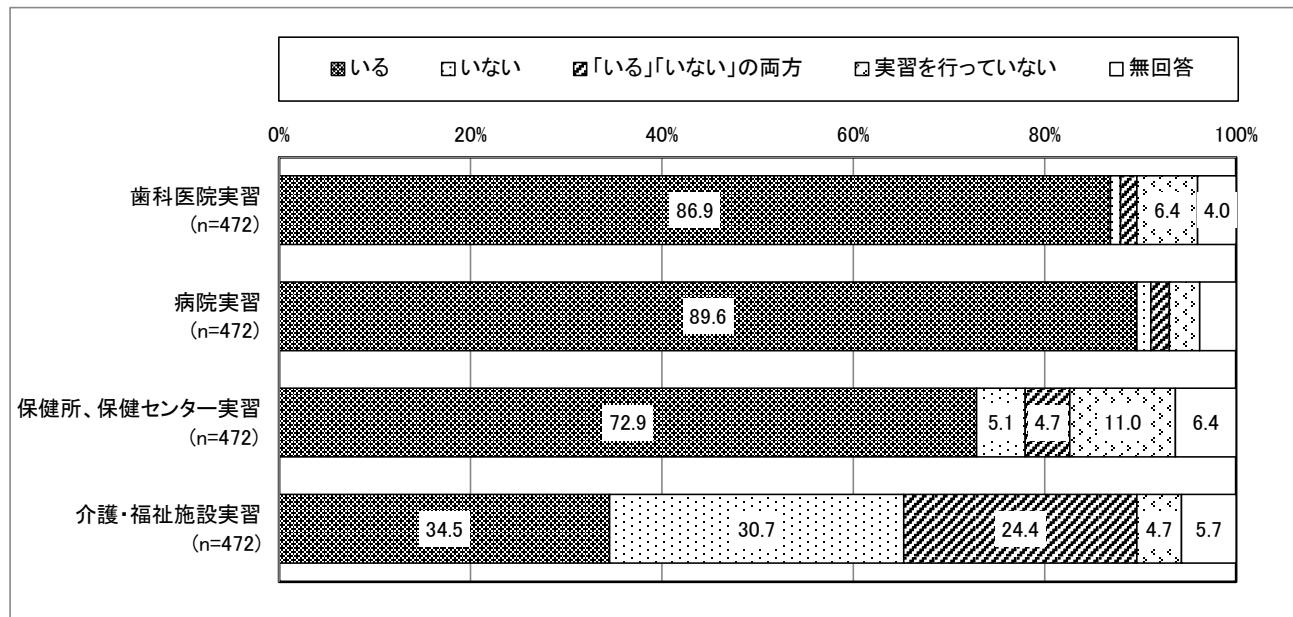


図9-16 実習先別担当指導員の有無

## 16. 臨床実習・臨地実習施設との連携

臨床実習・臨地実習施設との連携を全体でみると、「十分に連携をとっている」が 51.1%、「年に何度か連携をとっている」が 32.4%、「必要なことが生じたら連携を図っている」が 11.2%である。

年齢別で「十分に連携をとっている」をみると、「25～29 歳」が 63.3%、「30～34 歳」が 55.6%、「50～54 歳」、「55 歳以上」がともに 51.8 である。

就業状況別で「十分に連携をとっている」をみると、「常勤」が 53.1%、「非常勤」が 40.4%である（図 9-17）。

以上のことから、若年ほど十分に連携をとっている割合が高い。

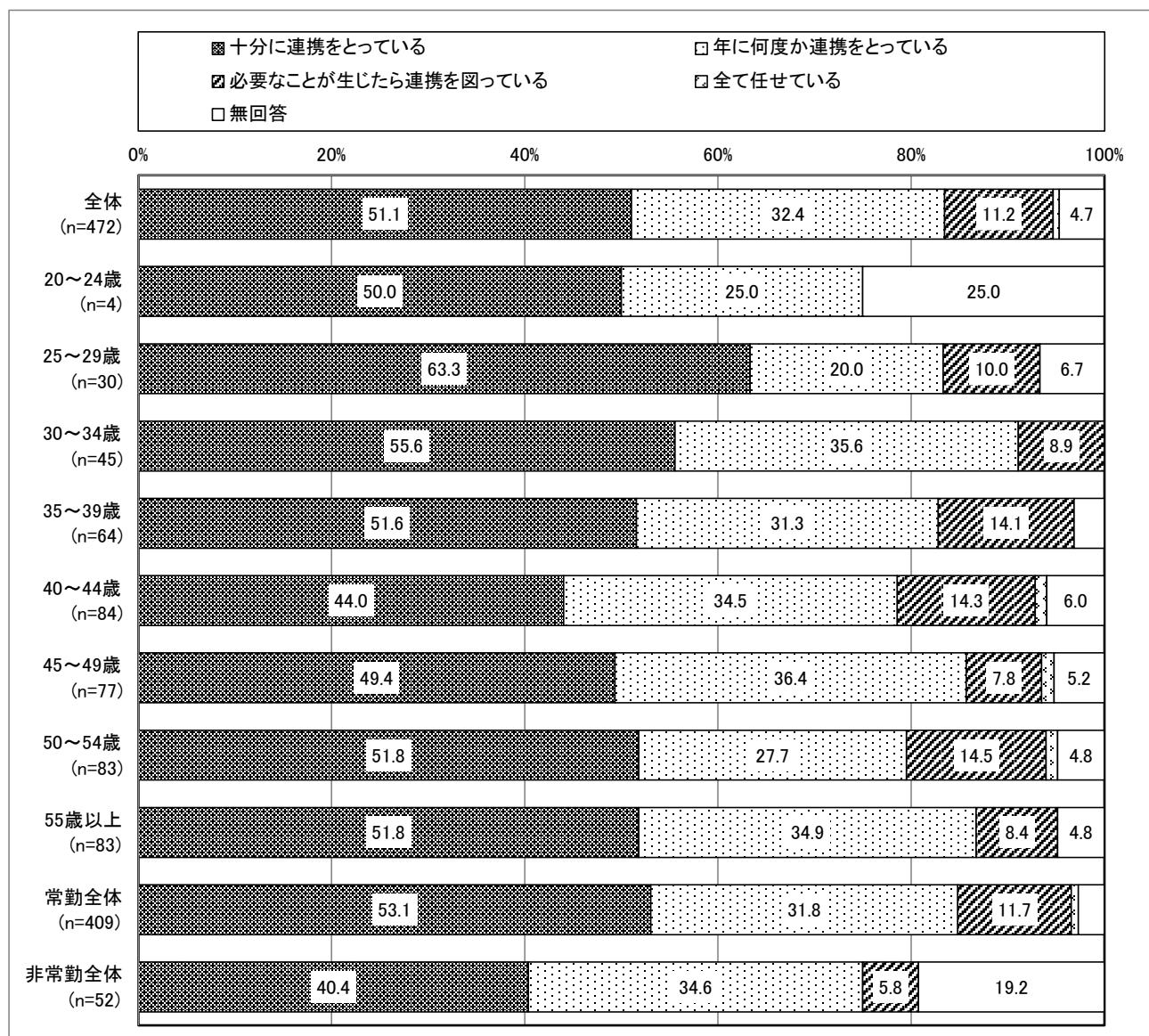


図 9-17 臨床実習・臨地実習施設との連携

## 17. 臨床・臨地実習指導マニュアルの活用の有無

臨床・臨地実習指導マニュアル（日本歯科衛生士会作成）の活用の有無を全体でみると、「活用している」が55.3%、「活用していない」が36.4%である。

年齢別で「活用している」をみると、「25～29歳」が63.3%で最も多く、「20～24歳」が25.0%で最も少ない（図9-18）。

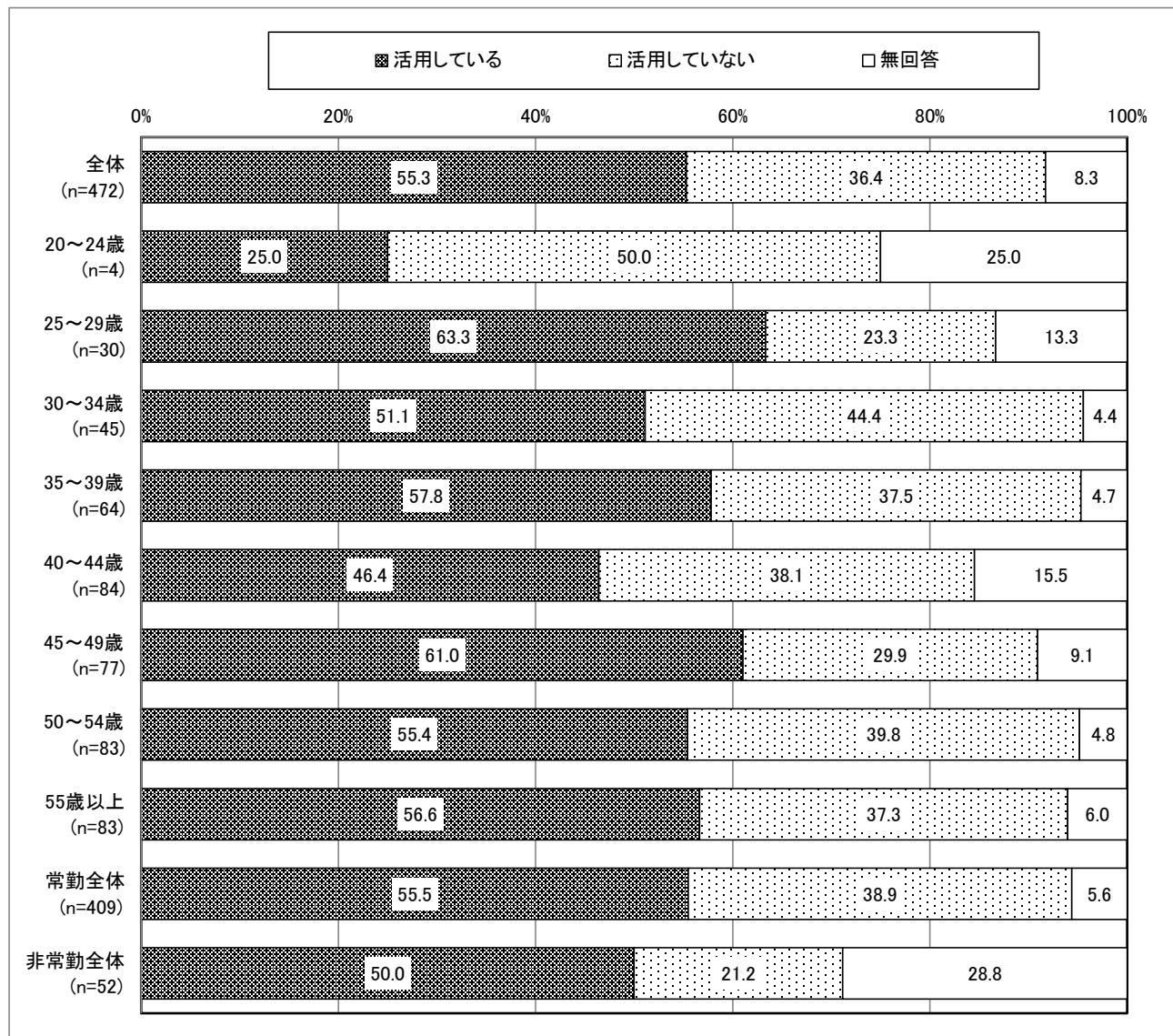


図9-18 臨床・臨地実習指導マニュアルの活用の有無

## 18. 今後の臨床・臨地実習指導マニュアル活用の意向

今後の臨床・臨地実習指導マニュアル活用の意向を全体でみると、「どちらともいえない」が 56.4%、「今後、活用を考えている」が 34.3%、「活用する予定はない」が 6.4%である。

年齢別で「今後、活用を考えている」をみると、「45～49歳」が 47.8%、「35～39歳」が 41.7%、で多く、「30～34歳」が 15.0%で少ない。

就業状況別で「今後、活用を考えている」をみると、「常勤」が 35.8%、「非常勤」は 18.2%である(図 9-19)。

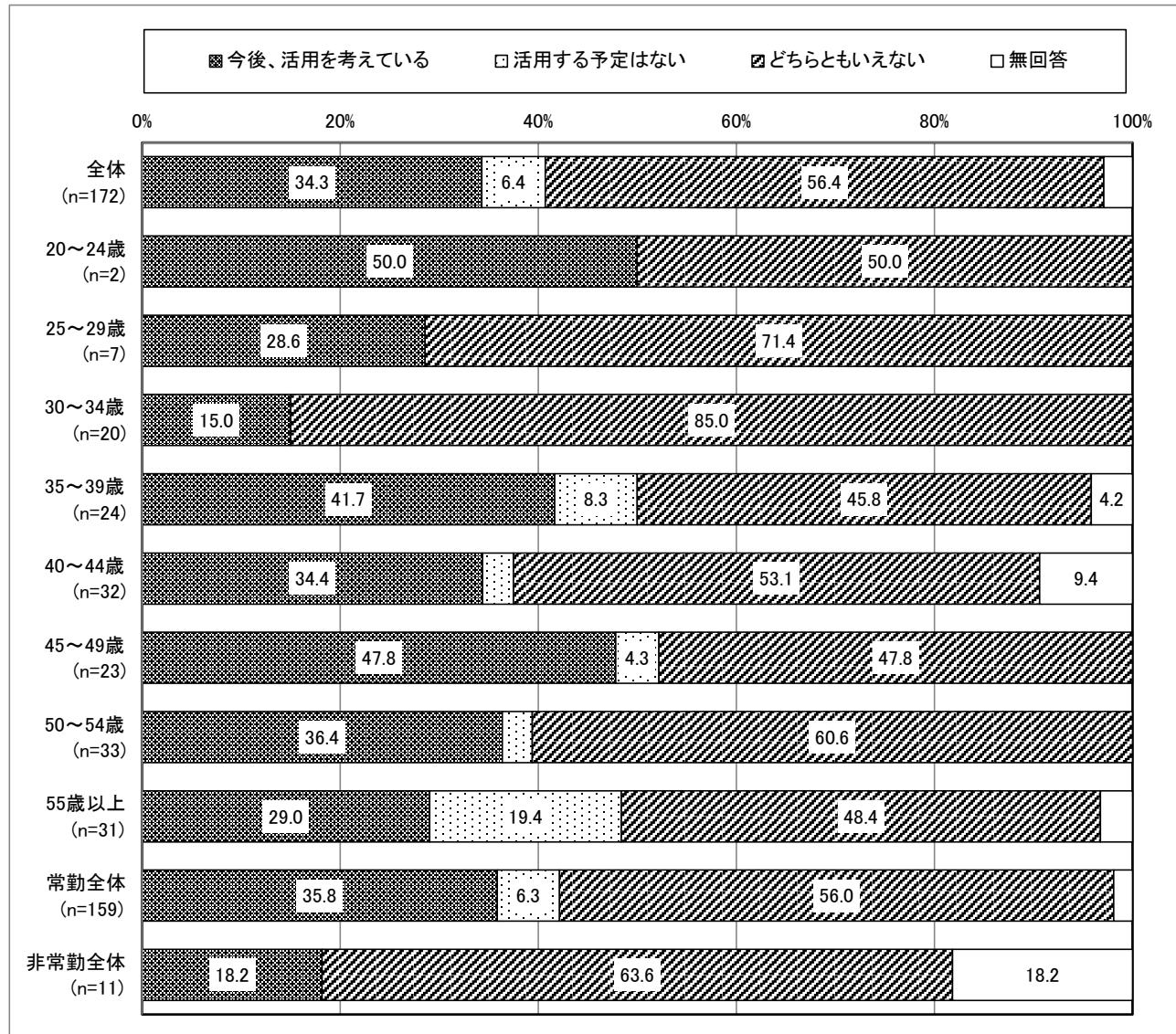


図 9-19 今後の臨床・臨地実習指導マニュアル活用の意向

## 19. 実習中の学生のインシデント（ヒヤリ・ハット）の経験

実習中の学生のインシデント（ヒヤリ・ハット）経験を全体でみると、「直接学生から聞いた」が 53.8%、「他の教員や人伝てに聞いた」が 21.6%「実習先から聞いた」が 11.9%、「聞いたことがない」が 5.5%である。

就業状況別で「直接学生から聞いた」をみると、「常勤」が 58.4%、「非常勤」が 23.1%である。

また、「他の教員や人伝てに聞いた」では「常勤」が 19.6%、「非常勤」が 36.5%である（図 9-20）。結果として「インシデント（ヒヤリ・ハット）の経験」は半数を超えている。

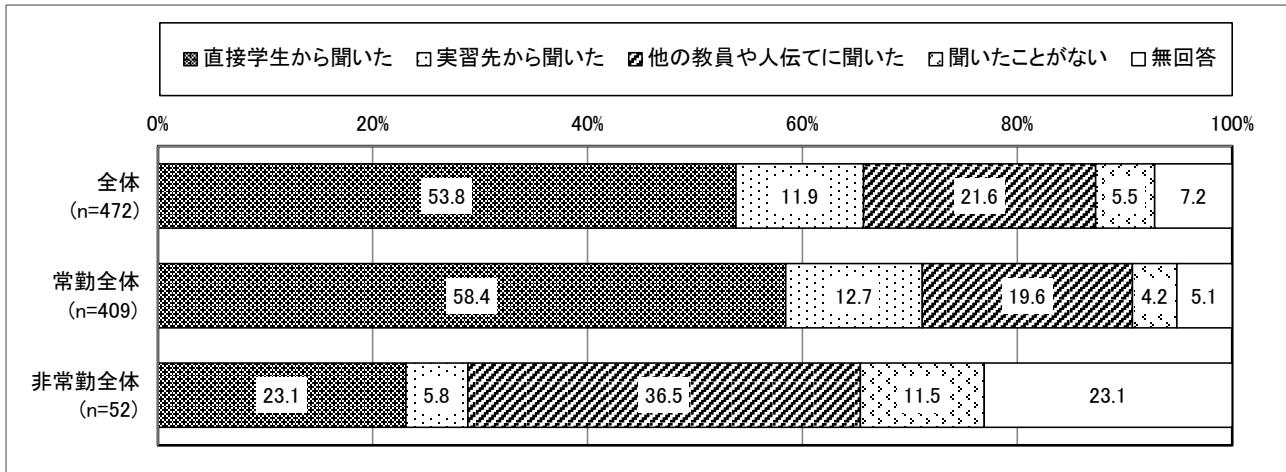


図 9-20 実習中の学生のインシデント（ヒヤリ・ハット）の経験

## X. 介護保険施設等

【介護保険施設等の回答者数は全体で 326 人である】

### 1. 勤務先の設置主体

勤務先の設置主体を全体でみると、「介護老人福祉施設」が 39.9%、「介護老人保健施設」が 35.0%、「居宅介護支援事業所」が 7.1%、「介護療養型医療施設」が 6.4%である。

就業状況別でみると、「常勤」では「介護老人保健施設」が 42.1%、「非常勤」では「介護老人福祉施設」が 43.4%で最も多い（図 10-1）。

結果的に「介護老人福祉施設」と「介護老人保健施設」で 7 割強を占めている。

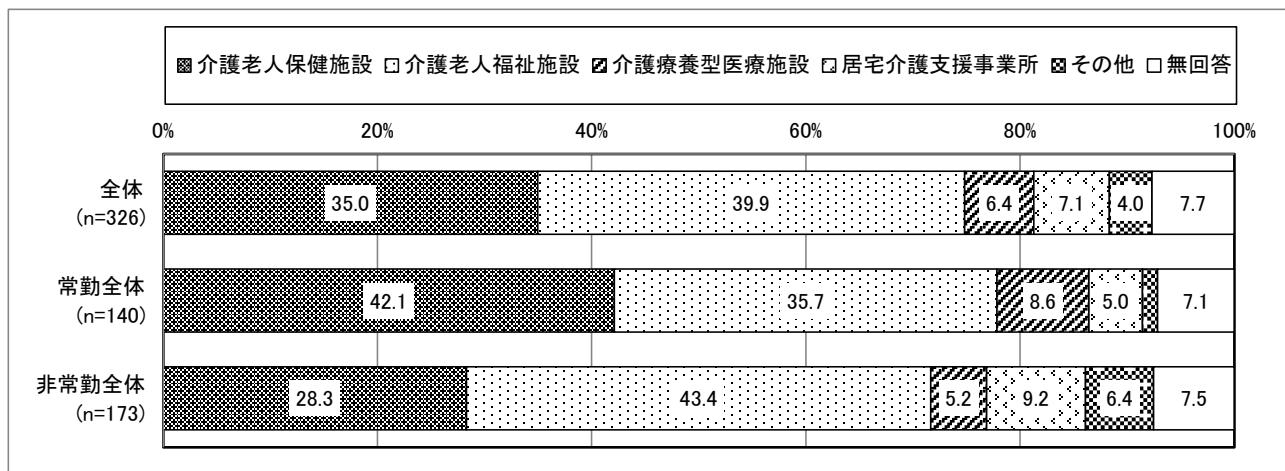


図 10-1 勤務先の設置主体

### 2. 併設医療機関（関連法人の医療機関を含む）

併設医療機関を全体でみると、「併設医療機関はある」が 55.2%、「併設医療機関はない」が 36.5%、「不明」が 2.1%である。

就業状況別で「併設医療機関はある」をみると、「常勤」が 68.6%、「非常勤」45.1%である（図 10-2）。

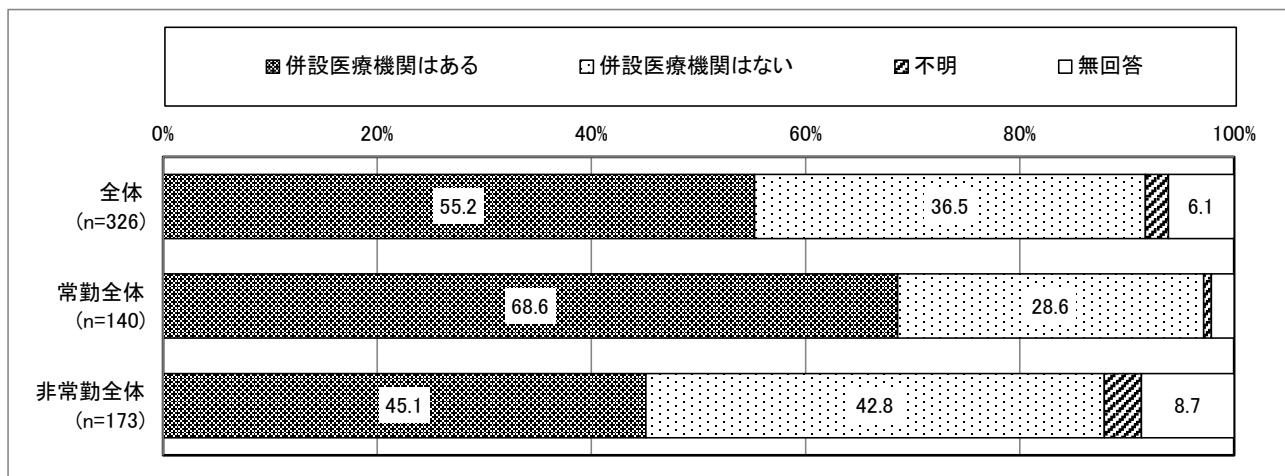


図 10-2 併設医療機関（関連法人の医療機関を含む）

### 3. 併設歯科医療機関（関連法人の歯科医療機関を含む）

併設歯科医療機関を全体でみると、「併設歯科医療機関はある」が 18.1%、「併設歯科医療機関はない」が 74.2%、「不明」が 1.5%である（図 10-3）。

就業状況別でみると、「常勤」、「非常勤」とも全体とほぼ同様の割合である。

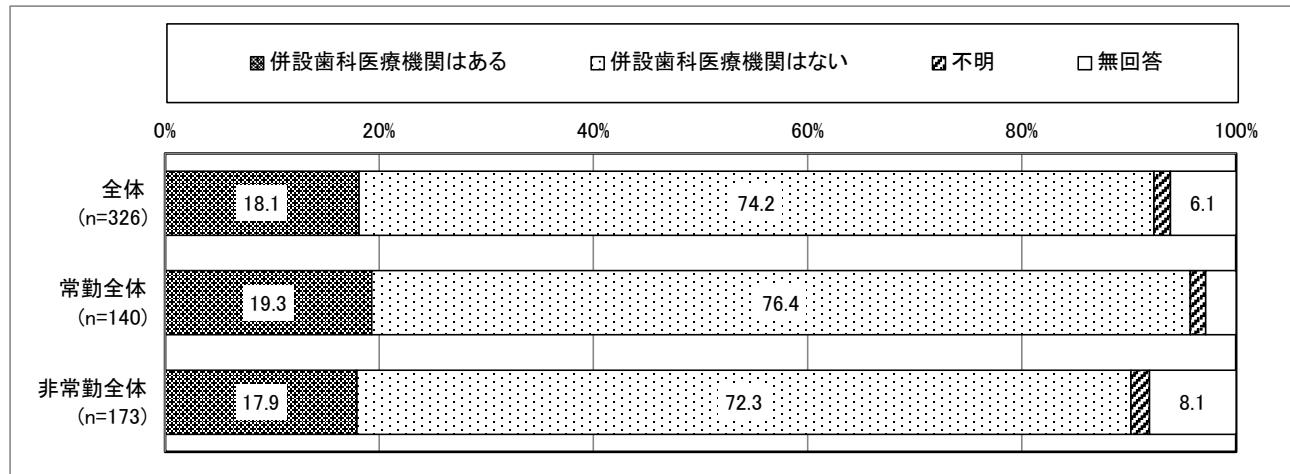


図 10-3 併設歯科医療機関（関連法人の歯科医療機関を含む）

### 4. 協力歯科医療機関の有無

併設歯科医療機関で「併設歯科医療機関はない」、「不明」と回答した者を対象に協力歯科医療機関の有無を全体でみると、「協力歯科医療機関がある」が 88.3%、「協力歯科医療機関はない」が 10.1%、「不明」が 1.6%である（図 10-4）。

就業状況別で「協力歯科医療機関がある」をみると、「常勤」が 92.7%、「非常勤」が 83.6%である。

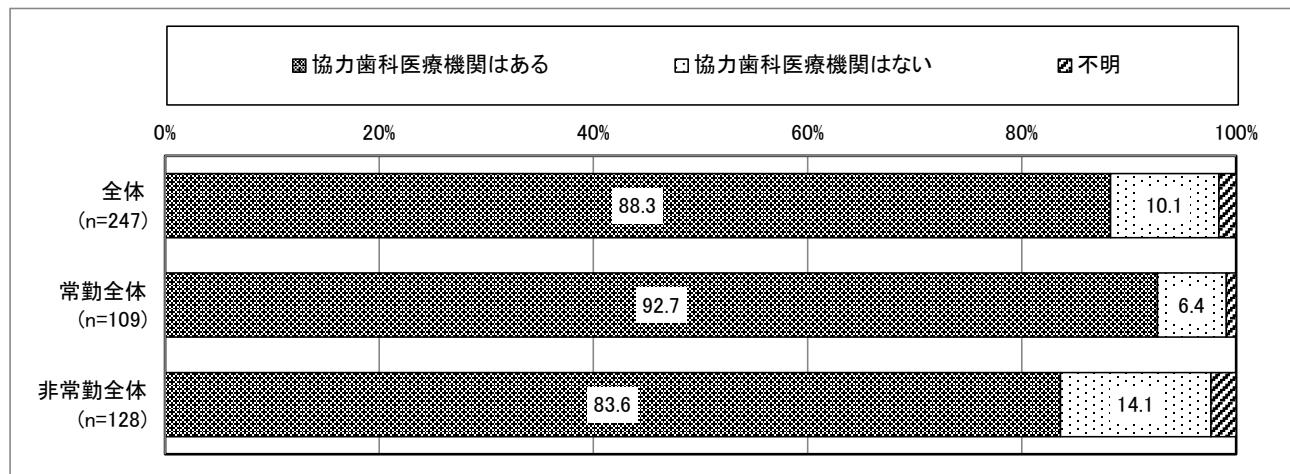


図 10-4 協力歯科医療機関の有無

## 5. 施設への定期的な歯科訪問診療の有無

協力歯科医療機関で「協力歯科医療機関がある」と回答した者を対象に施設への定期的な歯科訪問診療の有無を全体でみると、「行われている」が74.8%、「行われていない」が13.8%、「緊急時のみ」が11.5%である（図10-5）。

就業状況別で「行われている」をみると、「常勤」が78.2%、「非常勤」が70.1%である。

のことから、協力歯科医療機関の歯科訪問診療の実施状況は7割強である。

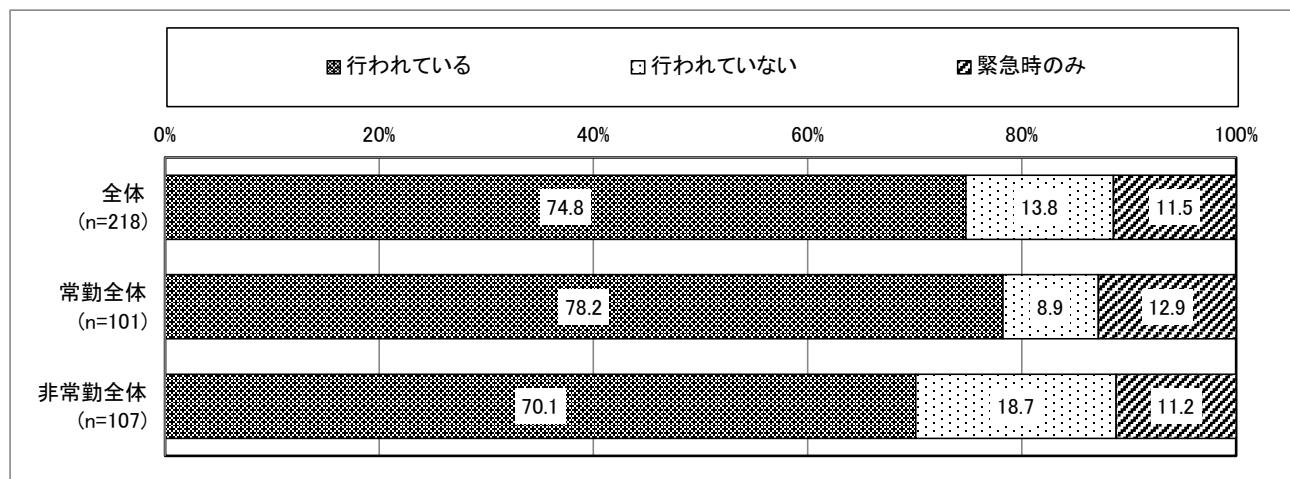


図10-5 施設への定期的な歯科訪問診療の有無

## 6. 協力歯科医療機関の施設での口腔ケアや摂食・嚥下等の対応に関する協力レベル

施設への定期的な歯科訪問診療の有無で「行われている」と回答した者を対象に協力歯科医療機関の施設での口腔ケアや摂食・嚥下等の対応に関する協力レベルを全体でみると、「協力的である」が66.3%、「あまり協力的ではない」が29.4%、「無関心である」が3.1%である。

就業状況別でみると、「常勤」、「非常勤」とも全体とほぼ同様の割合である（図10-6）。

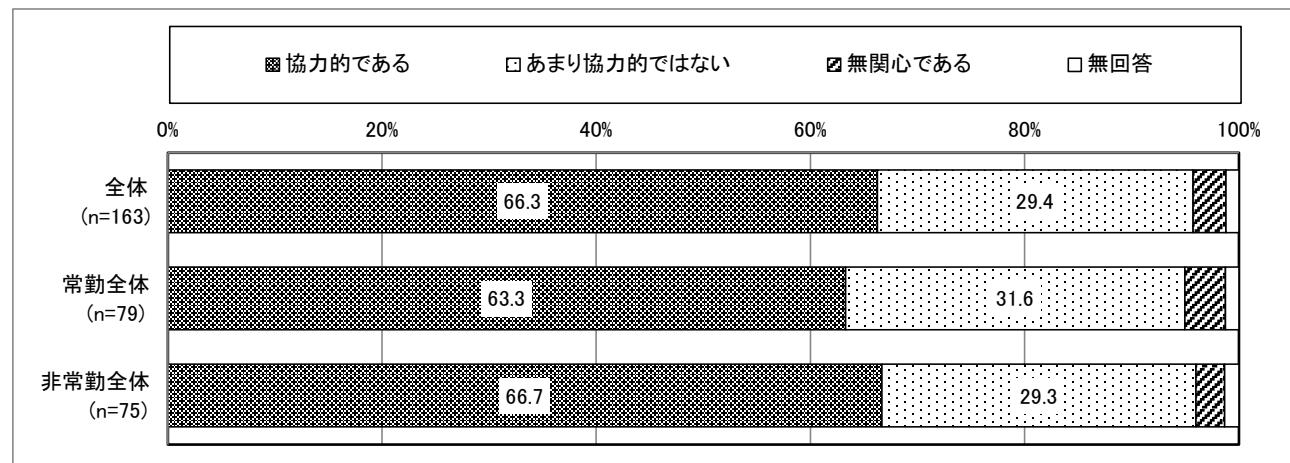


図10-6 協力歯科医療機関の施設での口腔ケアや摂食・嚥下等の対応に関する協力レベル

## 7. 医療関係職種の人員構成

医療関係職種の人員構成を全体の平均でみると、「看護師・准看護師」が 12.0 人、「理学療法士」が 2.4 人、「歯科衛生士」が 1.8 人、「医師」、「作業療法士」、「管理栄養士・栄養士」がそれぞれ 1.7 人、「歯科医師」が 0.8 人、「言語聴覚士」が 0.5 人である（図 10-7）。

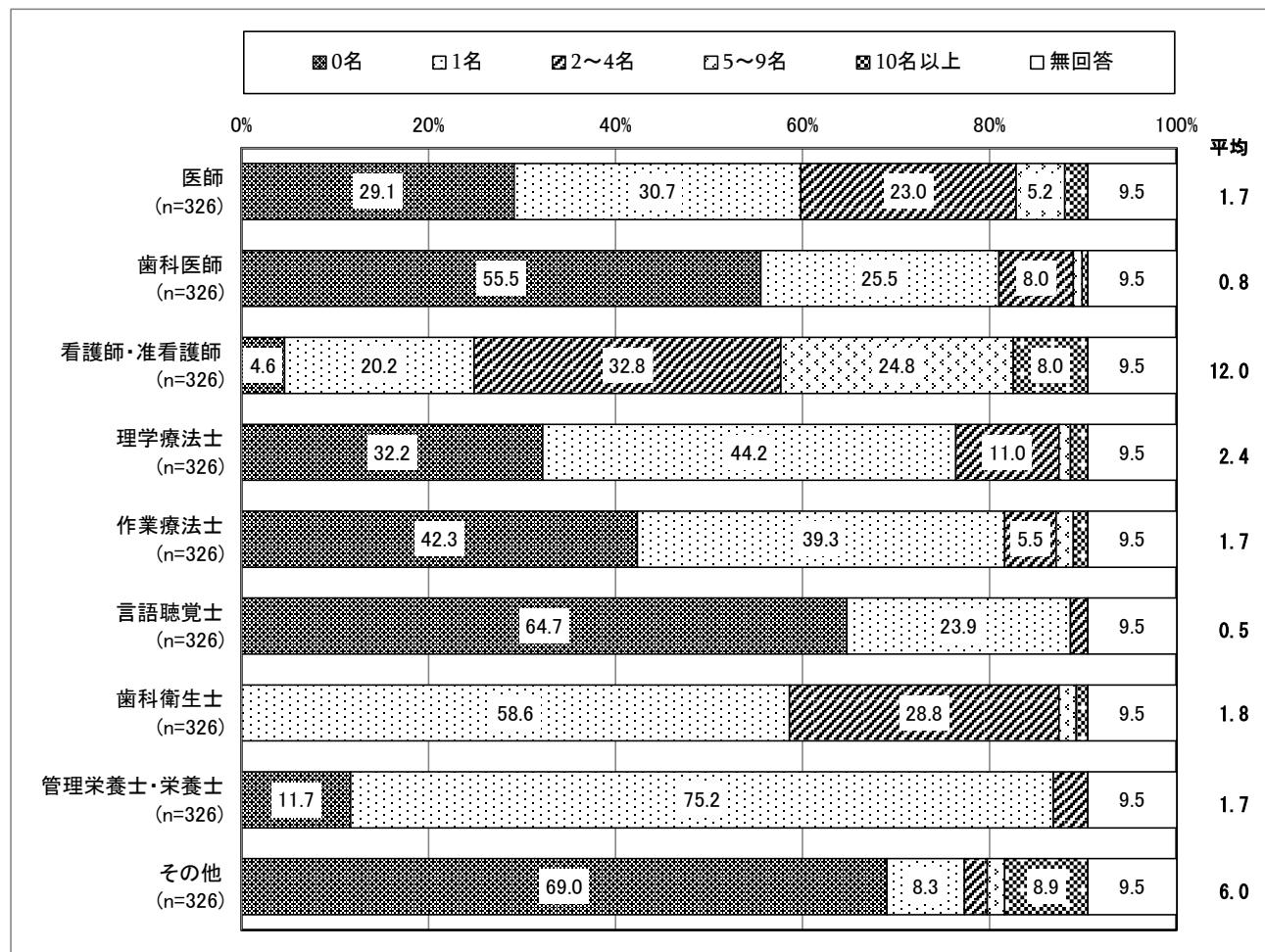


図 10-7 医療関係職種の人員構成

## 8. 歯科衛生士による業務について

### (1) 歯科衛生士の「口腔ケアや摂食・嚥下等」の業務の実施の有無

歯科衛生士の「口腔ケアや摂食・嚥下等」の業務の実施の有無を全体でみると、「口腔ケア」では「実施している」が92.3%、「実施していない」が1.8%、「摂食・嚥下機能訓練等」では「実施している」が62.3%、「実施していない」が25.2%である(図10-8、10-9)。

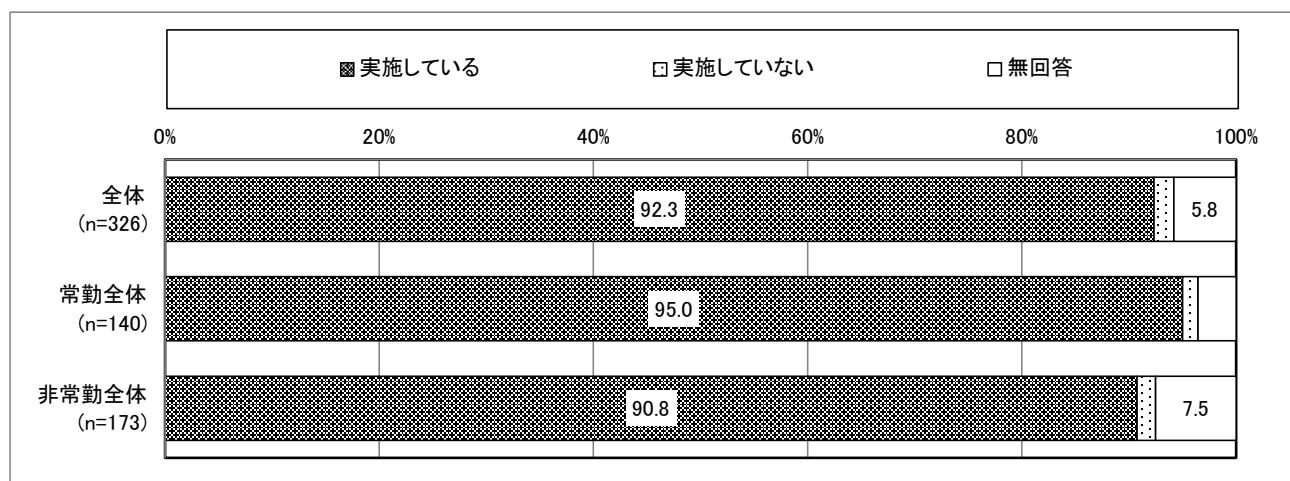


図10-8 「口腔ケア」

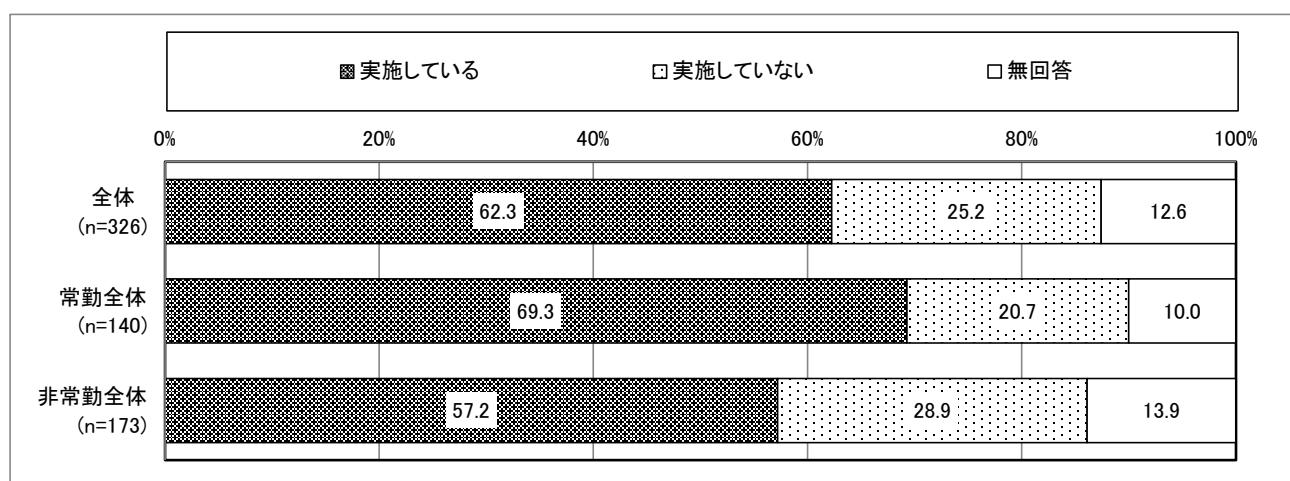


図10-9 「摂食・嚥下機能訓練等」

## (2) 口腔機能維持管理等の加算を算定している項目

口腔機能維持管理等の加算を算定している項目を全体でみると、「口腔ケア」では「口腔機能維持管理体制加算」、「口腔機能維持管理加算」がともに 62.8%、「経口維持加算」が 15.9%、「算定していない」が 15.0%、「摂食・嚥下機能訓練等」では「口腔機能維持管理体制加算」が 61.1%、「口腔機能維持管理加算」が 57.6%、「経口維持加算」が 25.6%、「算定していない」が 13.8%である（図 10-10、10-11）。

のことから、「口腔ケア」と「摂食・嚥下機能訓練等」を加算算定しているのは、「口腔機能維持管理体制加算」、「口腔機能維持管理加算」の 2 項目が 6 割前後であり、それ以外の加算算定の割合は低い。

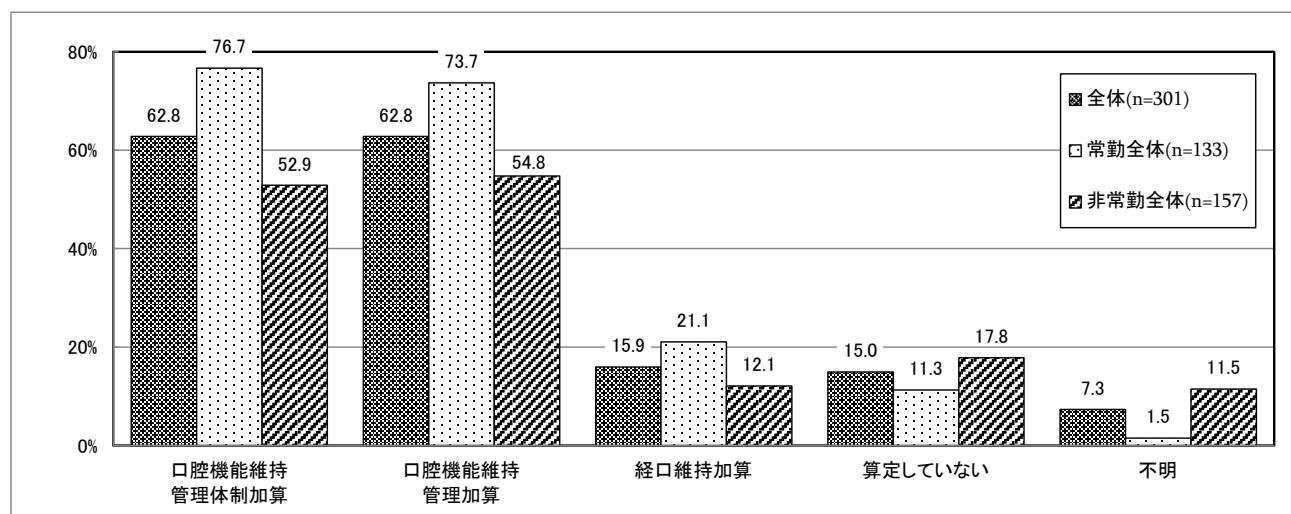


図 10-10 「口腔ケア」（複数回答）

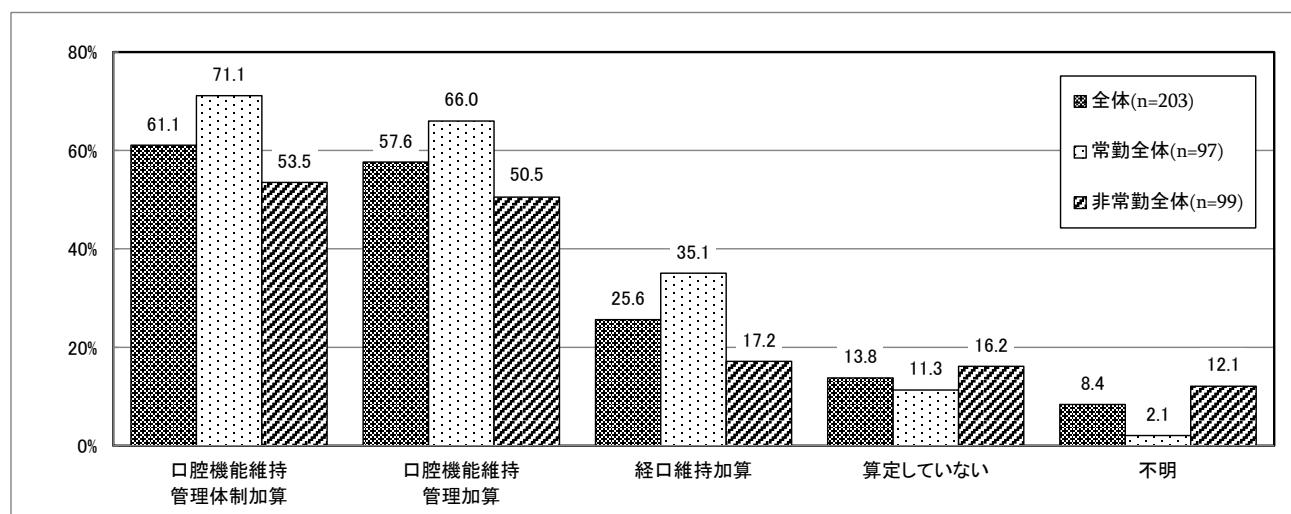


図 10-11 「摂食・嚥下機能訓練等」（複数回答）

### (3) 算定していない理由

算定していない理由を全体でみると、「歯科医師の指示が得られない」が32.1%、「業務負担が大きい」、「歯科訪問診療に伴う訪問歯科衛生指導料（居宅療養管理指導）算定のため」がともに20.8%、「口腔ケア・マネジメント計画書が作成できない」が7.5%である（図10-12）。

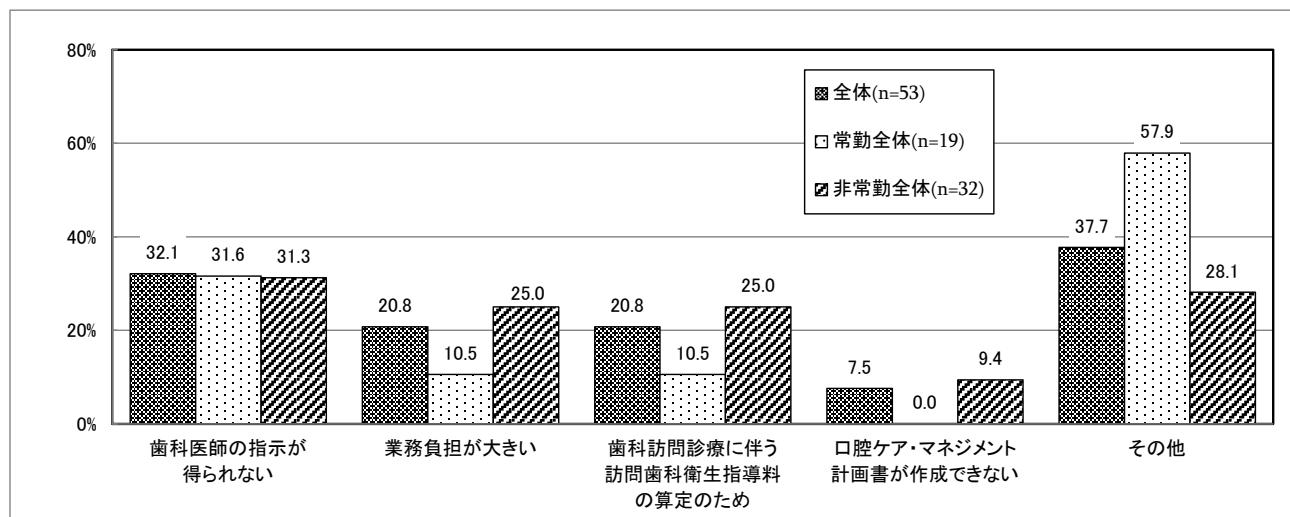


図10-12 算定していない理由（複数回答）

## 9. 施設の歯科衛生士の業務について

施設の歯科衛生士の業務についてを全体でみると、「要介護者の口腔内状況の観察」が89.0%、「義歯の清掃・取扱い指導」が88.7%、「要介護者（本人）への口腔清掃指導」が85.9%、「介護職員への口腔ケアに係る技術的助言・指導」が83.4%、「専門的口腔清掃」が82.8%、「口腔機能向上訓練」が75.8%、「口腔ケア・アセスメント票の作成」が74.5%、「歯科医師・協力歯科医療機関との連絡・調整」が67.8%、「関連職種への口腔ケアに関する教育研修」が61.7%、「口腔機能の評価」が61.0%、「摂食・嚥下訓練」が57.1%、「担当者会議への参加」が42.9%、「入所者の歯科健診の補助」が37.1%、「入・退所時カンファレンスへの参加」が25.8%、「フッ化物の歯面塗布」が4.3%である（図10-13）。

のことから、歯科衛生士が広範囲に亘る業務を行なっていることがわかる。

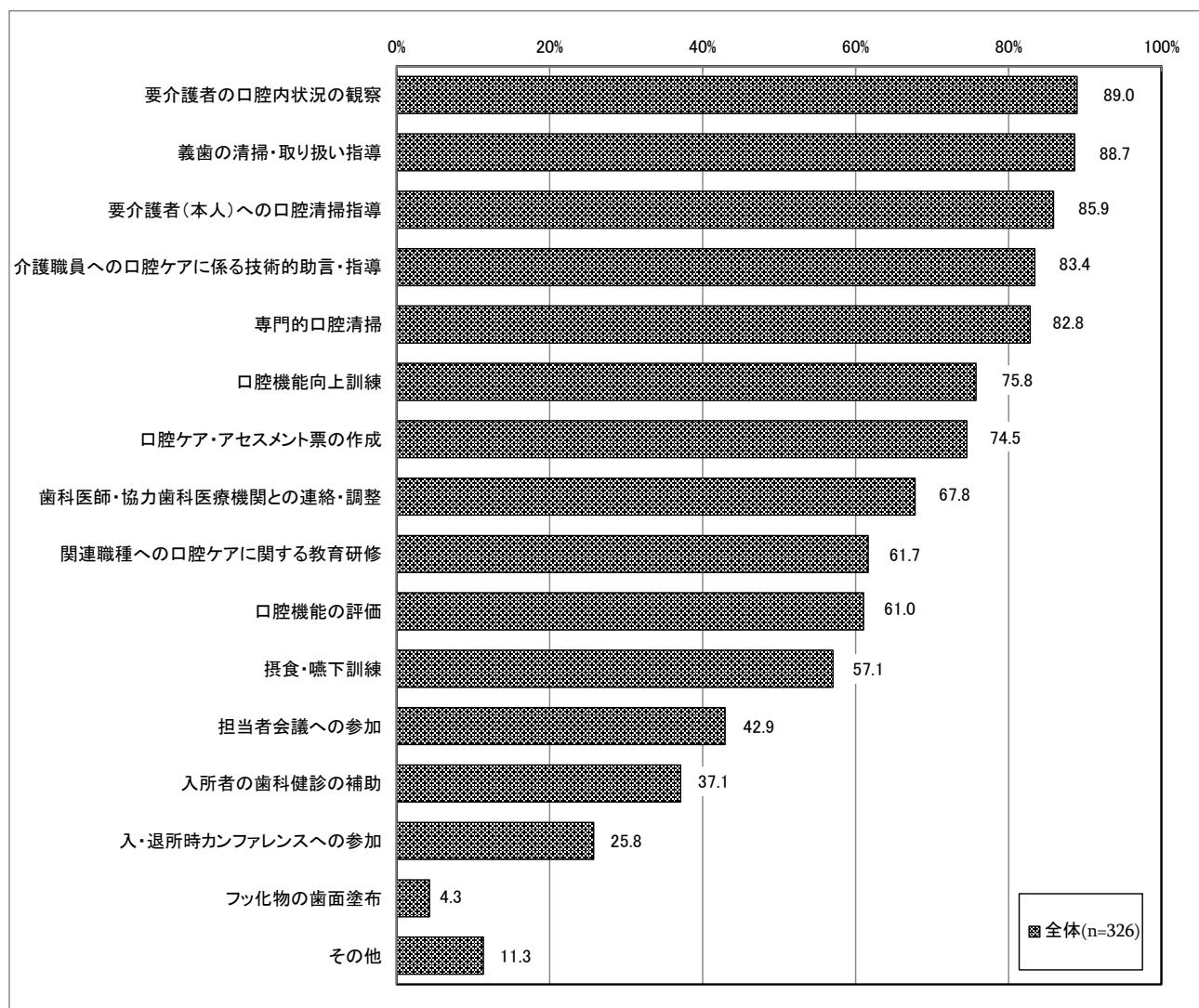


図10-13 施設の歯科衛生士の業務について（複数回答）

## 10. 介護保険施設等の業務についての継続意向

介護保険施設等の業務についての継続意向を全体でみると「続けたい」が 77.6%、「続けたくない」が 1.8%、「わからない」が 14.1%である。

就業状況別で「続けたい」をみると、「常勤」が 82.1%、「非常勤」が 75.7%である（図 10-14）。施設での業務の継続意向は 8 割弱であり、今後継続して勤務したい意向を持つ者が多い。

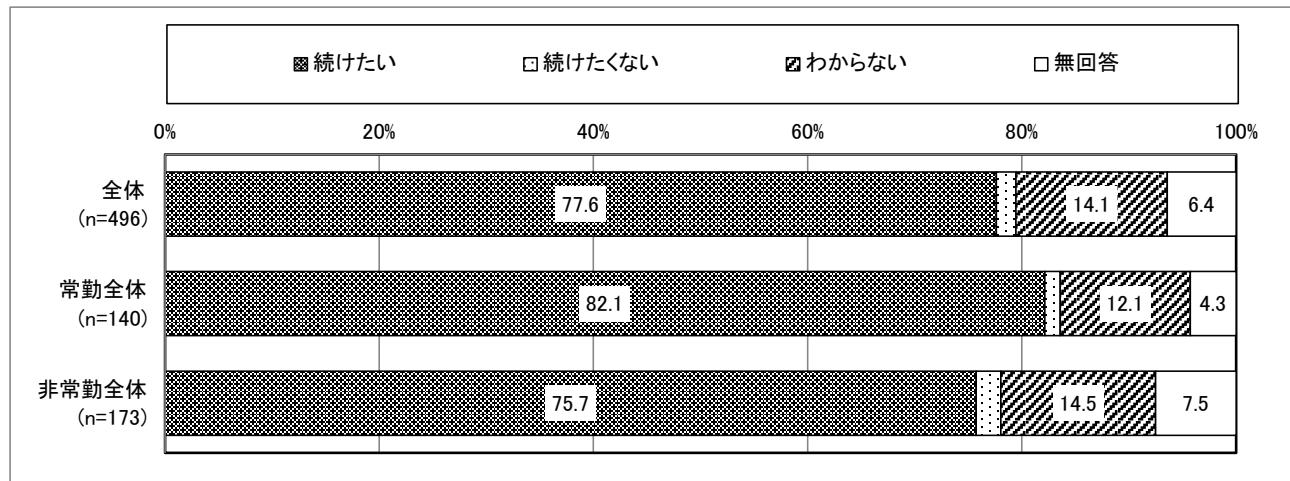


図 10-14 介護保険施設等の業務についての継続意向

## X I. 非就業者

【全回答者の内、非就業者は 1,195 人である】

### 1. 現在就業していない理由

非就業者 1,195 人の現在就業していない理由を全体でみると、「出産・育児」が 20.6%、「退職・高齢」が 13.8%、「歯科以外への興味」が 11.1%、「家庭の事情」が 10.5% である。

年齢別で「出産・育児」をみると、「30~34 歳」が 70.2%、「35~39 歳」が 51.8%、「25~29 歳」が 49.2% である。また、「歯科以外への興味」では「45~49 歳」、「50~54 歳」がともに 17.6% である。「家庭の事情」では「45~49 歳」が 20.5%、「50~54 歳」が 16.2%、「40~44 歳」が 13.6% である。「職場の人間関係」では「20~24 歳」が 13.2% で最も多い。

「その他」の内訳を多い順でみると、「介護支援専門員として従事している」、「歯科衛生士以外の職種に従事している」である（図 11-1、表 11-1）。

結果として、30 歳代前半が「出産・育児」で 7 割が一旦退職している。また、40 歳後半から 50 歳前半にかけては、「歯科以外への興味」が出てくる年代層となっている。

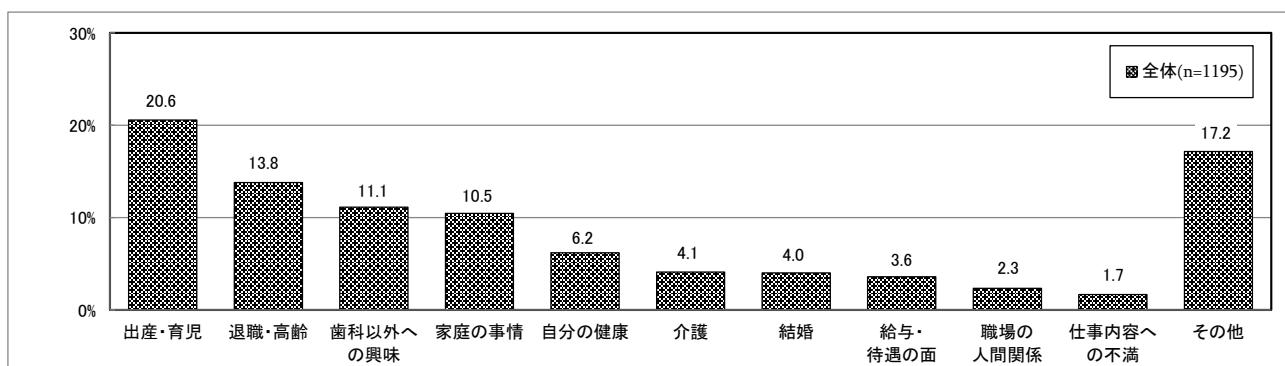


図 11-1 現在就業していない理由

表 11-1 現在就業していない理由の割合（年齢別）

	サンプル数	出産・育児	退職・高齢	歯科以外への興味	家庭の事情	自分の健康	介護	結婚	給与・待遇の面	職場の人間関係	仕事内容への不満	その他	無回答
全体	1195	20.6%	13.8%	11.1%	10.5%	6.2%	4.1%	4.0%	3.6%	2.3%	1.7%	17.2%	4.9%
20~24歳	38	23.7%	—	10.5%	5.3%	5.3%	2.6%	10.5%	—	13.2%	7.9%	18.4%	2.6%
25~29歳	65	49.2%	—	9.2%	1.5%	3.1%	1.5%	12.3%	4.6%	4.6%	3.1%	7.7%	3.1%
30~34歳	114	70.2%	—	1.8%	5.3%	2.6%	—	6.1%	2.6%	1.8%	1.8%	3.5%	4.4%
35~39歳	137	51.8%	2.2%	8.8%	2.9%	5.1%	.7%	10.2%	2.2%	.7%	2.2%	8.0%	5.1%
40~44歳	118	28.0%	1.7%	7.6%	13.6%	6.8%	.8%	2.5%	5.9%	6.8%	.8%	19.5%	5.9%
45~49歳	176	9.1%	.6%	17.6%	20.5%	5.1%	2.3%	3.4%	6.3%	1.7%	2.3%	26.7%	4.5%
50~54歳	148	1.4%	4.1%	17.6%	16.2%	8.1%	5.4%	1.4%	5.4%	2.7%	1.4%	31.8%	4.7%
55歳以上	391	.5%	38.9%	10.7%	9.0%	7.7%	8.4%	1.0%	1.8%	.5%	.5%	15.3%	5.6%

## 2. 退職してからの年数

歯科衛生士として働いていた勤務先を退職してからの年数を全体でみると、「3年以上10年未満」が29.4%、「10年以上20年未満」が19.4%、「1年未満」が17.7%、「1年以上3年未満」が17.1%、「20年以上」が12.7%である（図11-2）。

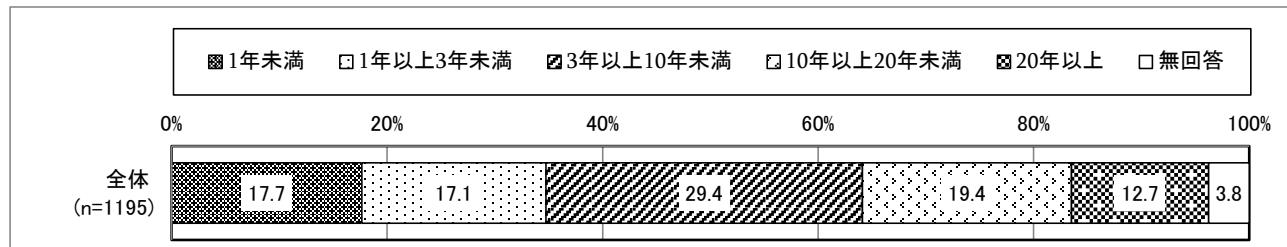


図11-2 退職してからの年数

## 3. 再就職の意向

再就職の意向を全体でみると、「すぐにでも再就職したい」と「条件が合えば再就職したい」の合計は47.6%、「そのつもりはない」が30.9%、「わからない」が20.0%である。

年齢別で「条件が合えば再就職したい」をみると、「30～34歳」が74.6%、「25～29歳」が70.8%、「35～39歳」が67.2%である。また、「すぐにでも再就職したい」では「20～24歳」が23.7%が多い（図11-3）。

結果として、再就職の意向は5割以上であり、歯科衛生士としての勤労意欲がみえる。

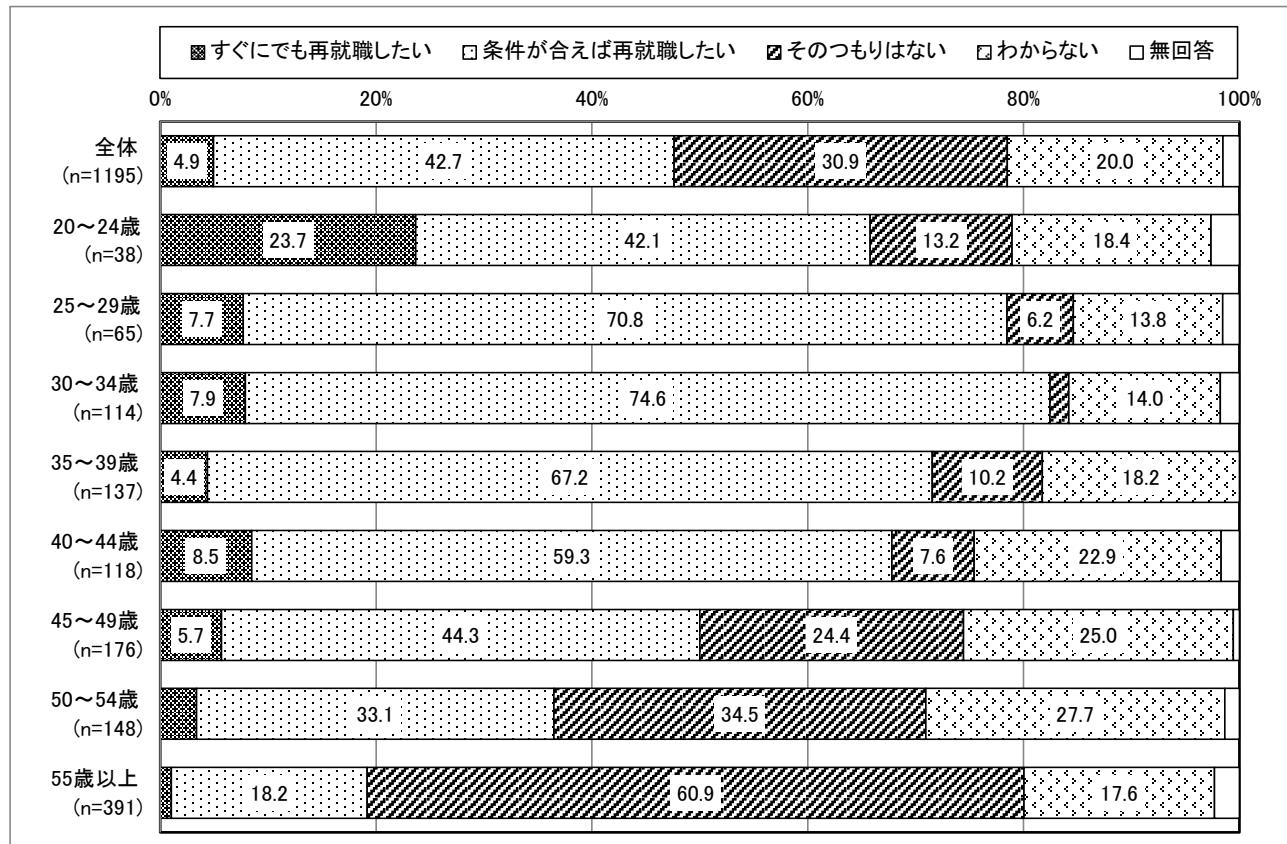


図11-3 再就職の意向

#### 4. 就職先の探し方

就職先の探し方を全体でみると、「ハローワーク」が 56.7%、「友人・知人からの紹介」が 45.4%、「求人誌」が 32.2%、「歯科医師会・歯科衛生士会の無料職業紹介」が 27.4%である（図 11-4）。

この結果から、「ハローワーク」「友人・知人からの紹介」が多く、「求人誌」「歯科医師会・歯科衛生士会の無料職業紹介」「インターネット」等の活用があった。

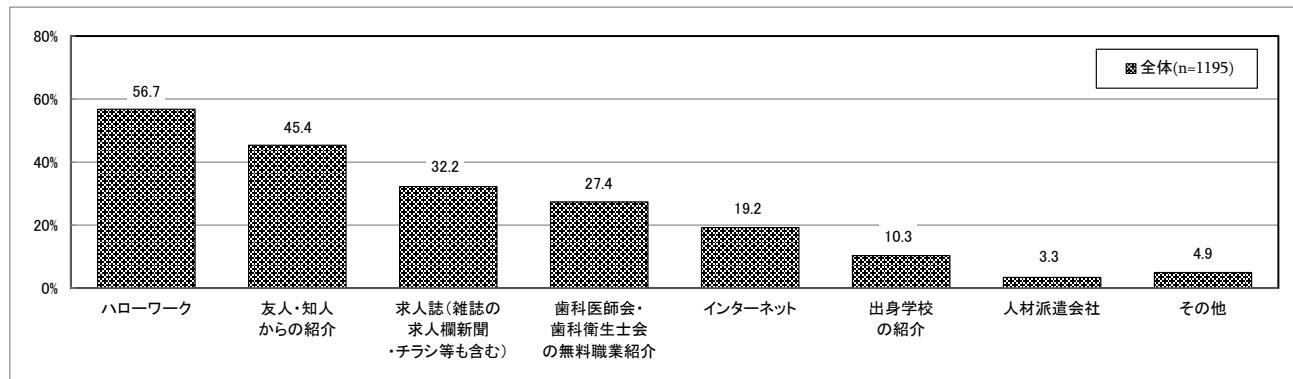


図 11-4 就職先の探し方（複数回答）

## 5. 再就職する際の障害の有無

再就職する際の障害の有無を全体でみると、「ある」が 75.8%、「ない」が 16.9%である。

年齢別で「ある」をみると、「40~44 歳」が 89.0%、「30~34 歳」が 88.6%、「25~29 歳」が 83.1%であり、「55 歳以上」が 63.7%で最も少ない（図 11-5）。

のことから、「再就職の障害あり」では、「25 歳~44 歳」までは、8 割以上と非常に高く、「55 歳以上」になると 6 割程度に減少する。

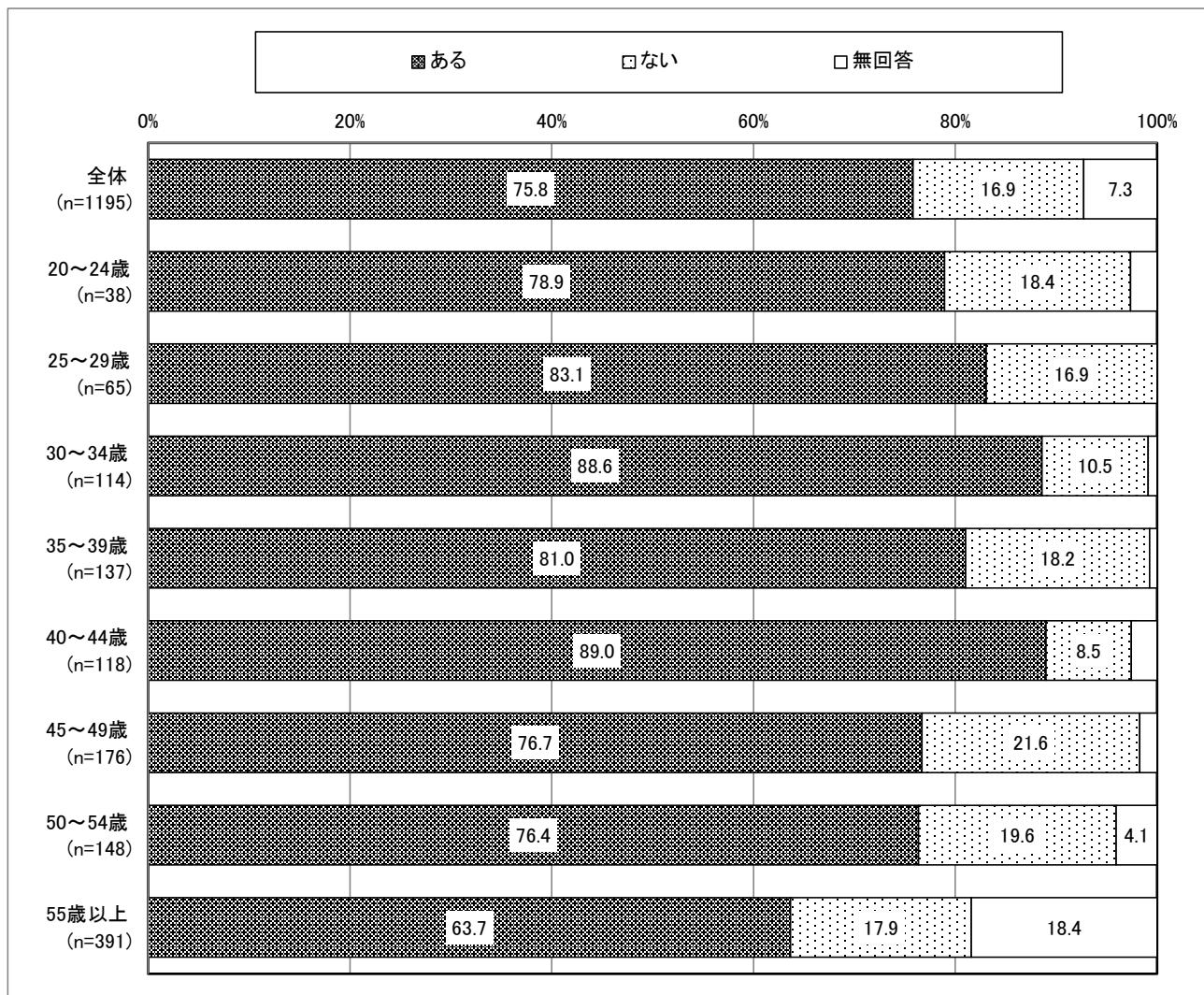


図 11-5 再就職する際の障害の有無

## 6. 再就職する際の障害の内容

再就職する際の障害の内容を全体でみると、「勤務時間」が54.1%、「自分のスキル」が50.0%、「高齢のため」が33.1%、「給与待遇の面」が21.4%、「相談窓口がない」3.6%である（図11-6）。

「その他」の内訳を多い順でみると、「育児や子供の預け先が障害となっている」、「自分の健康問題が障害になっている」である。

結果として、「勤務時間」の問題が最も多く、半数を超えている。

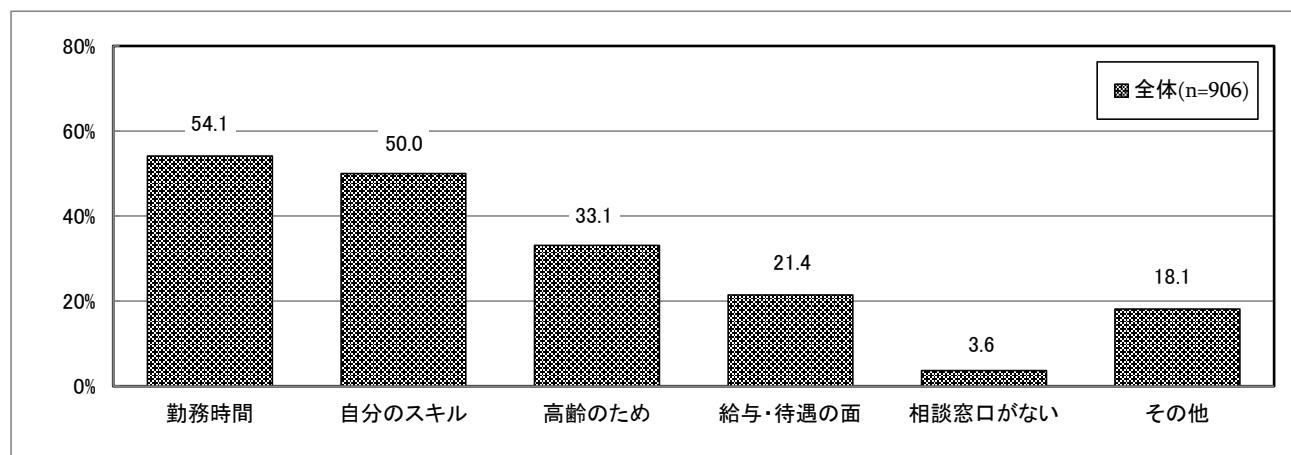


図11-6 再就職する際の障害の内容（複数回答）

## 7. 再就職のための研修の希望の有無

再就職のための研修の希望の有無を全体でみると、「希望する」が 57.1%、「希望しない」 35.0%である。

年齢別でみると、「40～44 歳」が 76.3%、「35～39 歳」が 74.5%、「30～34 歳」が 67.5%、「20～24 歳」が 63.2%、「45～49 歳」が 61.4%である（図 11-7）。

これらのことから、再就職する場合には「研修を希望」する者が多いことから、「研修」は不可欠だと考えられる。

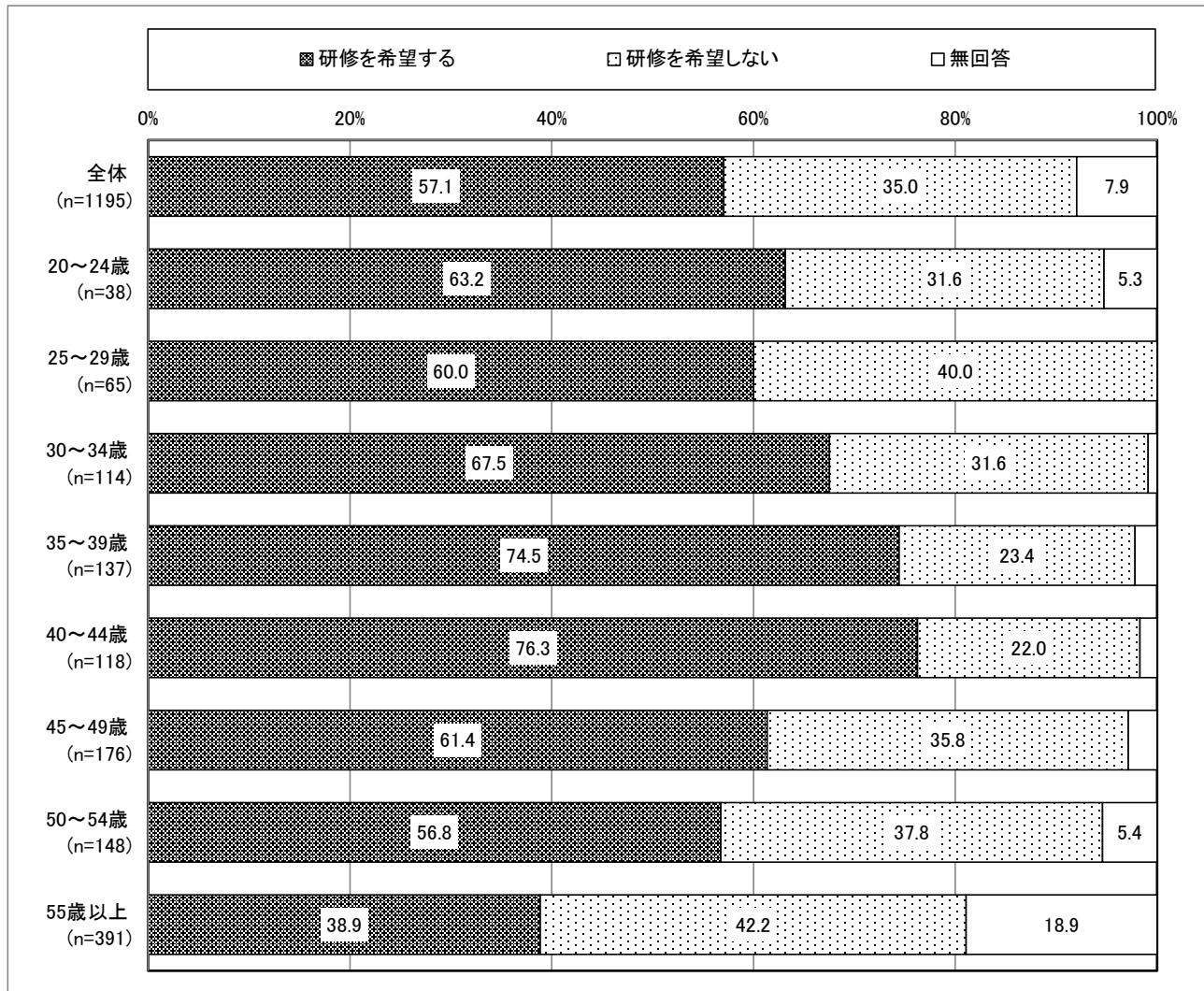


図 11-7 再就職のための研修の希望の有無

## 8. 希望する再就職研修の内容

希望する再就職研修の内容を全体でみると、「摂食・嚥下機能訓練に関する技術」が 58.2%、「専門的口腔ケア技術」が 55.9% 「スケーリング・ルートプレーニング等の歯周疾患に関する技術」 53.1%である（図 11-8）。

これらのことから、上記の 3 項目の研修が 5 割を超えている。

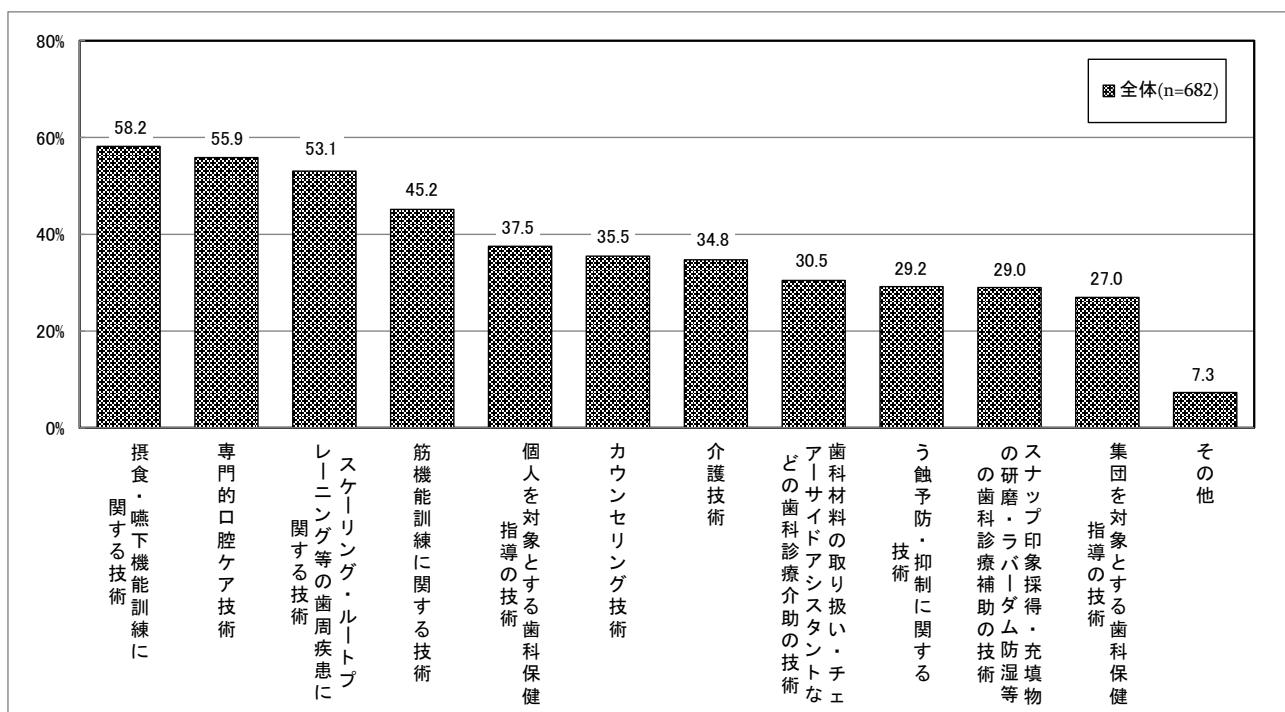


図 11-8 希望する再就職研修の内容（複数回答）

## 9. 最も希望する再就職研修の内容

最も希望する再就職研修の内容を全体でみると、「スケーリング・ルートプレーニング等の歯周疾患に関する技術」が 27.4%、「摂食・嚥下機能訓練に関する技術」が 19.5%、「専門的口腔ケア技術」が 17.4%である（図 11-9）。

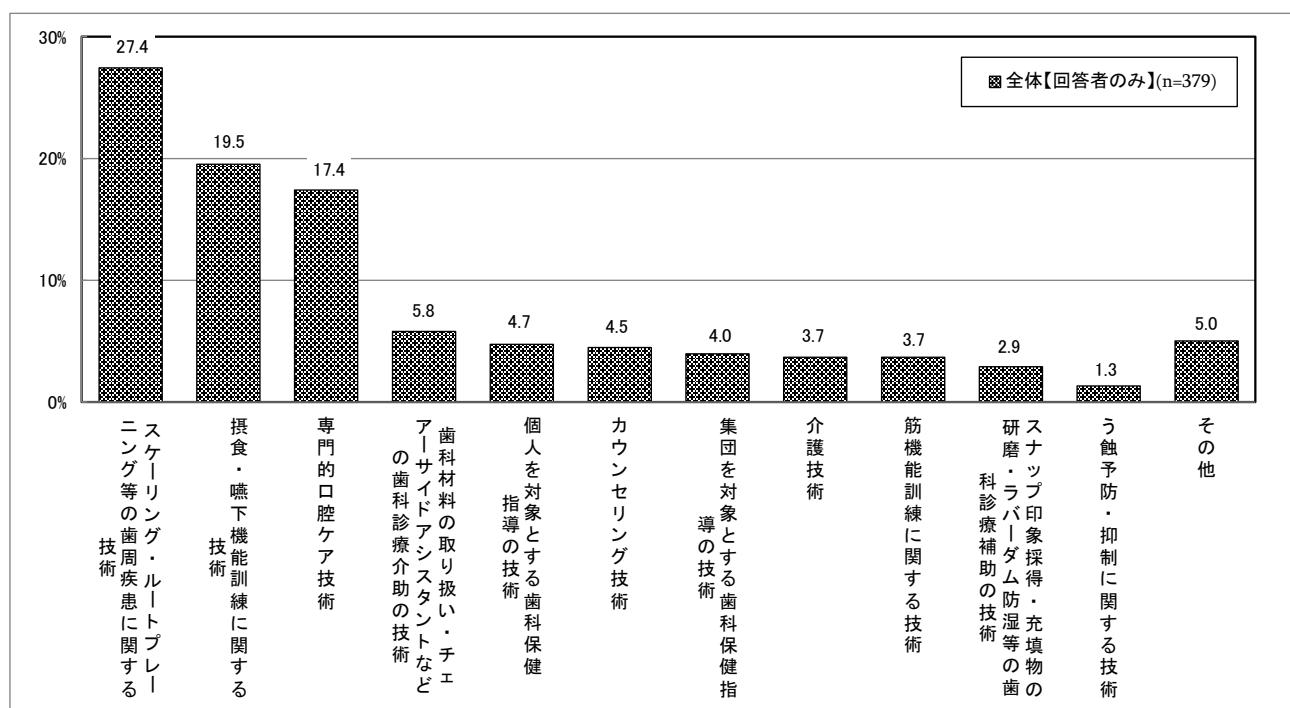


図 11-9 最も希望する再就職研修の内容

## 第4章 資料



平成 26 年 10 月 1 日

## 第8回 歯科衛生士の勤務実態調査

会員の皆様へ

公益社団法人 日本歯科衛生士会  
会長 金澤紀子

### 「歯科衛生士の勤務実態調査」に関するご協力のお願い

会員の皆様には、日頃から本会事業に格別のご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、「歯科衛生士の勤務実態調査」は、広く社会に歯科衛生士の業務や勤務の実態を示すとともに、会員の皆様の意向をまとめ、本会の事業に反映できるよう、5年ごとに行っているものです。

ひとりでも多くの会員にご協力をいただくことで、資料としての信頼度と価値が高まります。  
つきましては、是非とも本調査票にご記入いただき、ご返送下さるようお願い申し上げます。

この調査は無記名です。回答いただいたご意見は、すべて統計的に処理するため、個人が特定されたり情報が漏れることは一切ございません。

アンケートの集計結果は、全体および都道府県歯科衛生士会別にまとめ、報告書としてフィードバックいたします。ダイジェスト版は「歯科衛生だより（会報）」に掲載し、会員の皆様にお知らせいたします。

このアンケートは、会員全員の方にお答えいただくことになっておりますので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださるようよろしくお願いいたします。

**本調査票は多数の質問がありますが、全員の方が回答する質問と、就業場所別に回答する質問で構成されています。実際に回答していただく質問は就業場所によって異なりますが、22ページ中、10ページ前後ですので、指示に沿って問1から順番にご回答下さい。**

### <ご記入にあたってのお願い>

- ・アンケートの記入方式は、【選択式】と【記入式】があります。
  - ・【選択式】には、(○印を1つ) 選ぶものと、複数選ぶ（あてはまるもの全てに○印）ものがあります。  
質問の指示に従って、ご回答下さい。
  - ・【記入式】には、数字を記入するものと、お考えを書いていただくものがあります。
  - ・ご記入済みの調査票は同封の返信用封筒に入れて（切手は貼らずに）
- 平成26年10月31日（金）までに** ご投函下さいますようお願い申し上げます。
- ・ご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせ下さい。

〒169-0072  
東京都新宿区大久保2-11-19  
公益社団法人 日本歯科衛生士会  
Tel : 03-3209-8020 Fax : 03-3209-8023

● あなた自身のことについてお伺いします

※以下の質問は全て平成 26 年 10 月 1 日現在でお答え下さい

問 1) あなたの所属する都道府県歯科衛生士会をご記入下さい (○印は 1 つ)

- |         |          |         |          |         |          |
|---------|----------|---------|----------|---------|----------|
| 1. 北海道  | 2. 青森県   | 3. 岩手県  | 4. 宮城県   | 5. 秋田県  | 6. 山形県   |
| 7. 福島県  | 8. 茨城県   | 9. 栃木県  | 10. 群馬県  | 11. 埼玉県 | 12. 千葉県  |
| 13. 東京都 | 14. 神奈川県 | 15. 新潟県 | 16. 富山県  | 17. 石川県 | 18. 福井県  |
| 19. 山梨県 | 20. 長野県  | 21. 岐阜県 | 22. 静岡県  | 23. 愛知県 | 24. 三重県  |
| 25. 滋賀県 | 26. 京都府  | 27. 大阪府 | 28. 兵庫県  | 29. 奈良県 | 30. 和歌山県 |
| 31. 鳥取県 | 32. 島根県  | 33. 岡山県 | 34. 広島県  | 35. 山口県 | 36. 徳島県  |
| 37. 香川県 | 38. 愛媛県  | 39. 高知県 | 40. 福岡県  | 41. 佐賀県 | 42. 長崎県  |
| 43. 熊本県 | 44. 大分県  | 45. 宮崎県 | 46. 鹿児島県 | 47. 沖縄県 |          |

問 2) あなたの年齢と歯科衛生士免許取得年をご記入下さい

満  歳 免許取得年  (昭和・平成) 年

問 3) 最終学歴は次のうちどれですか (○印は 1 つ)

- |                     |              |              |
|---------------------|--------------|--------------|
| 1. 歯科衛生士専門学校        | 2. 短期大学      | 3. 大学        |
| 4. 歯科衛生士専門学校以外の専門学校 | 5. 大学院修士課程修了 | 6. 大学院博士課程修了 |
| 7. その他 (具体的に )      |              |              |

問 4) 歯科衛生士として実際に働いた年数 (経験年数) は何年ですか

年  力月

問 5) 現在、歯科衛生士として就業していますか (○印は 1 つ)

- |       |                            |
|-------|----------------------------|
| 1. はい | 2. いいえ → 22 ページの「問 8 9」以降へ |
|-------|----------------------------|

問 5-1) 現在の主な勤務先の就業状況は (○印は 1 つ)

- |  |
|--|
| 1. <u>常勤 (正規雇用)</u> → 問 5-2 へ進む        |
| 2. <u>常勤 (非正規雇用・任期付き等)</u> → 問 5-2 へ進む |
| 3. <u>非常勤</u> → 問 5-3 へ進む              |
| 4. 日々雇用                                |
| 5. その他 (具体的に )                         |

【問 5-1 で「1. 2. 常勤」と回答した方にお尋ねします】

問 5-2) 現在の職場における勤務年数は何年ですか

年  力月

【問 5-1 で「3. 非常勤」と回答した方にお尋ねします】

問 5-3) 歯科衛生士としての就業場所は (○印は 1 つ)

- |                  |
|------------------|
| 1. 1か所のみで勤務している  |
| 2. 複数の就業先で勤務している |

問 5-4) 直近 1か月間で歯科衛生士としての就業場所は何か所ありましたか

か所

● 勤務先の労働条件・福利厚生についてお伺いします

【勤務先が2つ以上ある場合は、主に勤務されているもの1つについてお答え下さい】

問6) 就業規則はありますか（○印は1つ）

- |       |       |          |
|-------|-------|----------|
| 1. ある | 2. ない | 3. わからない |
|-------|-------|----------|

問7) 有給休暇はありますか（○印は1つ）

- |                |       |
|----------------|-------|
| 1. ある（年間<br>日） | 2. ない |
|----------------|-------|

問8) 特別休暇・休日はありますか（○印は1つ）

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問8-1) どのような休暇・休日がありますか（あてはまるもの全てに○印）

- |                |         |                  |        |        |
|----------------|---------|------------------|--------|--------|
| 1. 結婚          | 2. 産休   | 3. 育休            | 4. 介護休 | 5. 忌引き |
| 6. 夏休み（お盆休み含む） | 7. 年末年始 | 8. その他（具体的に<br>） |        |        |

問9) 1週間の勤務日数は何日ですか。直近1か月の平均でお答え下さい（半日勤務は0.5日で算出して下さい）

日（小数点第1位まで記入）

問10) 1日当たりの勤務時間（実働時間）は何時間ですか。直近1か月の平均でお答え下さい

時間

問11) 交代勤務はありますか（○印は1つ）

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問11-1) 交代勤務の制度は何ですか（○印は1つ）

- |         |         |             |                  |
|---------|---------|-------------|------------------|
| 1. 二交代制 | 2. 三交代制 | 3. フレックスタイム | 4. その他（具体的に<br>） |
|---------|---------|-------------|------------------|

問12) 歯科衛生士の職名が入っているネームプレート（ネームホルダーを含む）をつけていますか（○印は1つ）

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. ついている | 2. つけていない |
|----------|-----------|

問12-1) ネームプレート（ネームホルダーを含む）をつけていない理由は何ですか（○印は1つ）

- |                 |          |                  |
|-----------------|----------|------------------|
| 1. 職場の全員がつけていない | 2. 院長が反対 | 3. その他（具体的に<br>） |
|-----------------|----------|------------------|

問12-2) 今後、ネームプレート（ネームホルダーを含む）をつける必要があると思いますか（○印は1つ）

- |       |         |
|-------|---------|
| 1. 思う | 2. 思わない |
|-------|---------|

問13) 給与の形態は次のうちどれですか（○印は1つ）

- |       |       |       |        |                  |
|-------|-------|-------|--------|------------------|
| 1. 月給 | 2. 週給 | 3. 日給 | 4. 時間給 | 5. その他（具体的に<br>） |
|-------|-------|-------|--------|------------------|

問13-1) 主な勤務先の時給（税込）はどのくらいですか（○印は1つ）

- |                     |                     |                     |
|---------------------|---------------------|---------------------|
| 1. 700円未満           | 2. 700円以上900円未満     | 3. 900円以上1,100円未満   |
| 4. 1,100円以上1,300円未満 | 5. 1,300円以上1,500円未満 | 6. 1,500円以上1,700円未満 |
| 7. 1,700円以上1,900円未満 | 8. 1,900円以上2,100円未満 | 9. 2,100円以上         |

問14) あなたの全ての年収（複数の就業先含む・税込）はおおむねどのくらいですか（○印は1つ）

- |                   |                   |                   |                   |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 130万円未満        | 2. 130万円以上200万円未満 | 3. 200万円以上300万円未満 | 4. 300万円以上400万円未満 |
| 5. 400万円以上500万円未満 | 6. 500万円以上600万円未満 | 7. 600万円以上        |                   |

問14-1) 主な勤務先での平成25年（1～12月）の年収（税込）はいくらでしたか

円

問15) 現在の給与に満足していますか（○印は1つ）

- |       |           |       |          |
|-------|-----------|-------|----------|
| 1. 満足 | 2. ある程度満足 | 3. 不満 | 4. 非常に不満 |
|-------|-----------|-------|----------|

問16) 諸手当はありますか（○印は1つ）

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問16-1) 諸手当の種類は何ですか（あてはまるもの全てに○印）

- |         |                  |         |         |         |
|---------|------------------|---------|---------|---------|
| 1. 通勤手当 | 2. 時間外手当         | 3. 資格手当 | 4. 役付手当 | 5. 住宅手当 |
| 6. 皆勤手当 | 7. その他（具体的に<br>） |         |         |         |

問17) 退職金制度はありますか（○印は1つ）

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問18) 公的な健康保険に加入していますか（○印は1つ）

- |                  |                    |            |
|------------------|--------------------|------------|
| 1. 被保険者の本人となっている | 2. 被保険者の扶養家族になっている | 3. 加入していない |
|------------------|--------------------|------------|

問18-1) 公的な健康保険の種類は何ですか（○印は1つ）

- |                      |                   |                   |
|----------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 歯科医師国保            | 2. 国民健康保険（勤務先負担有） | 3. 国民健康保険（勤務先負担無） |
| 4. 協会けんぽ（旧 政府管掌健康保険） | 5. 健保組合健康保険       | 6. 共済組合健康保険       |
| 7. その他（具体的に<br>）     |                   |                   |

問19) 年金に加入していますか（○印は1つ）

- |                   |                    |            |
|-------------------|--------------------|------------|
| 1. 本人が年金制度に加入している | 2. 配偶者の年金制度に加入している | 3. 加入していない |
|-------------------|--------------------|------------|

問19-1) 年金の種類は何ですか（あてはまるもの全てに○印）

- |                 |                 |              |
|-----------------|-----------------|--------------|
| 1. 国民年金（勤務先負担有） | 2. 国民年金（勤務先負担無） | 3. 厚生年金      |
| 4. 共済年金         | 5. 個人年金（民間含）    | 6. その他（<br>） |

問20) 雇用保険に加入していますか（○印は1つ）

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 加入している | 2. 加入していない |
|-----------|------------|

問21) 労災保険に加入していますか（○印は1つ）

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 加入している | 2. 加入していない |
|-----------|------------|

問22) 歯科衛生士賠償責任保険に加入していますか（○印は1つ）

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 加入している | 2. 加入していない |
|-----------|------------|

問23) 職場の費用負担で定期健康診断を受けていますか（○印は1つ）

- |               |               |           |
|---------------|---------------|-----------|
| 1. 全額負担で受けている | 2. 一部負担で受けている | 3. 受けていない |
|---------------|---------------|-----------|

問23-1) 職場以外で定期健康診断を受けていますか（○印は1つ）

- |           |             |              |
|-----------|-------------|--------------|
| 1. 受けていない | 2. 自費で受けている | 3. その他（具体的に） |
|-----------|-------------|--------------|

問24) 職場で次の検査を受けていますか、または受ける機会がありますか（あてはまるもの全てに○印）

- |              |         |           |       |
|--------------|---------|-----------|-------|
| 1. B型肝炎      | 2. C型肝炎 | 3. H I V  | 4. 結核 |
| 5. その他（具体的に） |         | 6. 受けていない |       |

## ● 職場環境・職務についてお伺いします

問25) 現在の仕事にやりがいを感じていますか（○印は1つ）

- |             |              |              |             |
|-------------|--------------|--------------|-------------|
| 1. 非常に感じている | 2. ある程度感じている | 3. あまり感じていない | 4. 全く感じていない |
|-------------|--------------|--------------|-------------|

問26) 歯科衛生士の仕事の魅力は何ですか（あてはまるもの全てに○印）

- |                   |                    |                   |
|-------------------|--------------------|-------------------|
| 1. 国家資格であり一生続けられる | 2. 専門性の高い仕事である     | 3. 転職・就職に困らない     |
| 4. 収入が安定している      | 5. 人々社会に貢献できる      | 6. 人の命や健康を守る仕事である |
| 7. 女性として働きやすい     | 8. 人に直接関われる・手助けできる | 9. 特にない           |
| 10. その他（具体的に）     |                    |                   |

問27) 現在の職場に最も改善してほしいことに○印（1つ）、改善してほしいことに○印（いくつでも）をおつけください（○印は1つ、□印はいくつでも）

- |                    |                       |               |
|--------------------|-----------------------|---------------|
| 1. 待遇改善（給料引上げ・昇給等） | 2. 業務量の軽減             | 3. 職場の人間関係の改善 |
| 4. 労働時間の短縮         | 5. 休暇の取得              | 6. 子育ての支援の充実  |
| 7. 専門性・資格等の評価      | 8. 教育研修等、レベルアップの機会の充実 |               |
| 9. 多様な勤務形態・勤務時間の導入 | 10. 医療安全体制の充実         |               |
| 11. 雇用の安定性の確保      | 12. 福利厚生の充実           |               |
| 13. 特にない           | 14. その他（具体的に）         |               |

問28) 勤務先を変わったことがありますか（ただし、同一勤務先の転勤異動は含まない）（○印は1つ）

- |                  |         |         |         |           |
|------------------|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 勤務先を変わったことはない | 2. 1回ある | 3. 2回ある | 4. 3回ある | 5. 4回以上ある |
|------------------|---------|---------|---------|-----------|

問28-1) 勤務先を変わった主な理由は何ですか（変わったことが複数回ある場合は直近の勤務先とする）（○印は1つ）

- |              |            |                   |
|--------------|------------|-------------------|
| 1. 仕事内容への不満  | 2. 給与・待遇の面 | 3. 職場の人間関係        |
| 4. 家庭の事情     | 5. 結婚      | 6. 出産・育児          |
| 7. 介護・看病     | 8. 自分の健康   | 9. 仕事内容のレベルアップのため |
| 10. 歯科以外への興味 | 11. 家族の転勤  | 12. その他（具体的に）     |

問29) 日本歯科衛生士会認定のほかに認定を受けている学会等はありますか (○印は1つ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問29-1) どの学会等の認定を受けていますか (あてはまるもの全てに○印)

- |   |   |
|---|---|
| 1. 日本歯周病学会                              | 2. 日本臨床歯周病学会                            |
| 3. 日本小児歯科学会                             | 4. 日本障害者歯科学会 (審査:日本障害者歯科学会 認定:日本歯科衛生士会) |
| 5. 日本老年歯科医学会 (審査:日本老年歯科医学会 認定:日本歯科衛生士会) | 6. 日本口腔衛生学会 (審査:日本口腔衛生学会 認定:日本歯科衛生士会)   |
| 7. 日本歯科審美学会                             | 8. 日本歯科人間ドック学会                          |
| 9. 日本咀嚼学会                               | 10. 日本口腔インプラント学会                        |
| 11. 日本口腔感染症学会                           | 12. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会                   |
| 13. 日本顎咬合学会                             | 14. その他 (具体的に )                         |

問30) 過去5年間で心肺蘇生法及びAEDの講習を受けたことがありますか (○印は1つ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

## ● 研究活動についてお伺いします

問31) 過去3年の間に、研究活動をしていますか (○印は1つ)

- |         |          |
|---------|----------|
| 1. している | 2. していない |
|---------|----------|

問31-1) 研究をしていない理由は何ですか (あてはまるもの全てに○印)

- |                |                |          |          |
|----------------|----------------|----------|----------|
| 1. 指導者・相談者がいない | 2. 方法がわからない    | 3. 時間がない | 4. 興味がない |
| 5. 必要性を感じない    | 6. その他 (具体的に ) |          |          |

問31-2) 今後、研究をしてみようと思いますか (○印は1つ)

- |       |         |
|-------|---------|
| 1. 思う | 2. 思わない |
|-------|---------|

問32) 全員にお伺いします。

研究活動を推進するためには、どのような条件が必要ですか (あてはまるもの全てに○印)

- |                 |           |                |
|-----------------|-----------|----------------|
| 1. 研究の支援 (指導者等) | 2. 発表の場   | 3. 職場の理解       |
| 4. 研究の手引書       | 5. 研究費の助成 | 6. その他 (具体的に ) |

問33) 日本歯科衛生学会のほかに所属している学会はありますか (○印は1つ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問33-1) 所属している学会は何ですか (あてはまるもの全てに○印)

- |                 |                 |                      |
|-----------------|-----------------|----------------------|
| 1. 日本口腔衛生学会     | 2. 日本歯周病学会      | 3. 日本臨床歯周病学会         |
| 4. 日本小児歯科学会     | 5. 日本公衆衛生学会     | 6. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 |
| 7. 日本障害者歯科学会    | 8. 日本老年歯科医学会    | 9. 日本歯科医療管理学会        |
| 10. 日本歯科医学教育学会  | 11. 日本咀嚼学会      | 12. 日本口腔インプラント学会     |
| 13. 日本歯科審美学会    | 14. 日本歯科人間ドック学会 |                      |
| 15. その他 (具体的に ) |                 |                      |

## ● 今後の就業についてお伺いします

問3 4) 今後も歯科衛生士として働き続けたいと思いますか (○印は1つ)

1. 思う      2. 思わない

問3 4-1) 関心がある分野・職域は何ですか (あてはまるもの全てに○印)

- |                     |                              |
|---------------------|------------------------------|
| 1. 診療所              | 2. 病院                        |
| 3. 地域保健             | 4. 在宅歯科医療 (居宅療養管理指導、訪問口腔ケア等) |
| 5. 高齢者介護施設          | 6. 障害者歯科                     |
| 7. 企業等の健康管理室、職域歯科保健 | 8. 歯科衛生士教育機関                 |
| 9. その他 (具体的に )      |                              |

問3 5) 現在勤務している就業場所は次のどれにあたりますか。

勤務先が2つ以上ある場合は主に勤務されているもの1つについてお答え下さい (○印は1つ)

- |        |            |   |                  |                |                                  |                         |                |           |   |  |                 |
|--------|------------|---|------------------|----------------|----------------------------------|-------------------------|----------------|-----------|---|--|-----------------|
| 1. 診療所 | 2. 病院・大学病院 | 3. 障害者歯科診療所等 (障害者歯科診療を実施している口腔保健センター等を含む) | 4. 行政 (保健所・市町村等) | 5. 歯科衛生士教育養成機関 | 6. 企業・事業所 (歯科診療室・健康管理室・健保組合等の業務) | 7. 企業・事業所 (歯科診療業務以外の業務) | 8. 歯科健診・保健活動機関 | 9. 社会福祉施設 | 10. 介護保険施設等 (該当施設に○印をつけてください)<br>【 a. 介護老人保健施設    b. 介護老人福祉施設    c. 介護療養型医療施設    d. 居宅介護支援事業所等】 | 11. 地域包括支援センター等 (該当施設に○印をつけてください)<br>【 a. 地域包括支援センター    b. 在宅歯科医療連携室    c. 口腔保健支援センター】 | 12. その他 (具体的に ) |
|--------|------------|---|------------------|----------------|----------------------------------|-------------------------|----------------|-----------|---|--|-----------------|

次ページからは、勤務先の就業場所別による質問となっております。

問3 5 (上記の質問) で回答した「主な勤務先」で、次の1~7の就業場所に該当する方は、常勤・非常勤に関わらず下記の指示に従ってご回答下さい。

### <就業場所別>

- |                               |                        |
|-------------------------------|------------------------|
| 1. 診療所                        | 問3 6~問5 3 ( 7~13ページ) へ |
| 2. 病院・大学病院                    | 問3 6~問5 3 ( 7~13ページ) へ |
| 3. 障害者歯科診療所等                  | 問3 6~問5 3 ( 7~13ページ) へ |
| 4. 行政 (保健所・市町村等)              | 問5 4~問6 6 (14~16ページ) へ |
| 5. 歯科衛生士教育養成機関                | 問6 7~問8 0 (17~19ページ) へ |
| 6. 企業・事業所 (歯科診療室・健康管理室・健保組合等) | 問3 6~問5 3 ( 7~13ページ) へ |
| 7. 介護保険施設等                    | 問8 1~問8 8 (20~21ページ) へ |

上記1~7以外の就業場所の方は、質問が終わりました

ご多忙のところ、ご協力ありがとうございました

記入もれがないか再度点検の上、返信用封筒にてご投函下さるようお願い申し上げます

**歯科医療施設（歯科診療所、病院、大学病院、障害者歯科診療所、企業の歯科診療所等）に勤務している方にお伺いします**

問3 6) 勤務先の経営形態は次のどれに当てはまりますか（○印は1つ）

- |                      |                        |         |                     |
|----------------------|------------------------|---------|---------------------|
| 1. 個人診療所             | 2. 医療法人                | 3. 学校法人 | 4. 公益法人（財団法人・社団法人等） |
| 5. 公的医療機関（公立病院・診療所等） | 6. 社会保険関係医療機関（病院・診療所等） |         |                     |
| 7. 企業・健保組合等の診療所等     | 8. その他（具体的に）           |         |                     |

問3 7) 標榜科名を教えて下さい（あてはまるもの全てに○印）

- |               |         |         |           |              |
|---------------|---------|---------|-----------|--------------|
| 1. 歯科         | 2. 小児歯科 | 3. 矯正歯科 | 4. 歯科口腔外科 | 5. その他（具体的に） |
| 6. 歯科を標榜していない |         |         |           |              |

**● 勤務先の状況についてお伺いします**

問3 8) 勤務先の人員構成を教えて下さい。あなたが従事している歯科の診療所（室、科）の、常勤・非常勤を含めた1日あたりの平均人数をお答え下さい。該当者がいない場合は「0」名とご記入下さい

a. 歯科医師	名
b. 歯科衛生士	名
c. 歯科技工士	名
d. 看護師	名
e. 管理栄養士・栄養士	名
f. 理学療法士	名
g. 言語聴覚士	名
h. 歯科業務補助者（歯科助手・看護助手）	名
i. その他（具体的に）	名

問3 9) あなたが従事している診療所（室、科）の設備についてお答え下さい

a. ユニット数

台

b. 歯科衛生士が使用する専用ユニット

1. ある	2. ない
-------	-------

台

c. 歯科専用病床

1. ある	2. ない
-------	-------

床

問4 0) 在宅療養支援歯科診療所の指定施設ですか（○印は1つ）

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

## ● 業務の実施状況についてお伺いします

問4 1) 業務内容別の実施状況について、該当する番号に○印をご記入下さい（○印は各項目1つずつ）

### 1. 歯科診療の補助業務について

※業務内容のうち、歯科診療の補助に係る業務は、主に、一定の経験年数や比較的高い能力が必要とされる業務の中から項目別に提示しました。

#### 1) 聞きとり・医療面接・相談指導・インフォームドコンセント

業 務 内 容	実施している	実施していない
a. 口腔内の予備診査（問診含）	1	2
b. 治療内容の説明・相談	1	2
c. 術前の注意事項の説明	1	2
d. 医薬品の授与と服薬指導	1	2
e. 患者・家族への相談・対応	1	2

#### 2) 検査・モニタリング

a. バイタルチェック（血圧、脈拍、体温等）	1	2
b. 心電計及びモニターの装着	1	2
c. 唾液検査	1	2
d. カリエスリスク検査（う蝕活動性試験含）	1	2
e. ペリオリスク判定	1	2
f. 口臭度チェック・判定	1	2
g. 咬合検査、咬合接触検査	1	2
h. チェックバイト	1	2
i. 歯列の検査	1	2
j. 咀嚼機能検査	1	2
k. 嚥下機能検査	1	2

#### 3) 歯周治療

a. 歯周組織検査（プロービング、歯肉炎症度、歯牙動搖度など）	1	2
b. スケーリング・ルートプレーニング	1	2
c. SPT・メインテナンス	1	2
d. 歯周外科手術の補助	1	2

#### 4) 印象採得・咬合採得

業務内容	実施している	実施していない
a. スタディモデルの印象採得	1	2
b. 支台歯形成の前準備（歯肉圧排）	1	2
c. インレー窩洞の印象採得	1	2
d. インレー窩洞の咬合採得	1	2
e. スプリント用印象採得	1	2
f. スプリント用咬合採得	1	2
g. クラウン・ブリッジの印象採得	1	2
h. クラウン・ブリッジの咬合採得	1	2

#### 5) 矯正歯科

a. セファロトレース	1	2
b. バンディング	1	2
c. プラケットのボンディング	1	2
d. 印象採得（平行模型用全顎印象）	1	2
e. 装置の研磨・調整	1	2
f. 装置の撤去	1	2
g. 筋機能訓練（MFT）	1	2

#### 6) 口腔インプラント

a. インプラント周囲のプロービング	1	2
b. インプラント体の動搖度検査	1	2
c. インプラント体周囲のスケーリング	1	2
d. インプラント手術の補助	1	2
e. 手術前・後の注意事項の説明	1	2

#### 7) 静脈路等

a. 輸液剤の交換・輸液速度の調節	1	2
b. 静脈確保	1	2
c. 採血	1	2
d. 点滴	1	2
e. 薬剤の投与（静脈注射、挿肛等—吸入鎮静法時の亜鉛化窒素濃度の調整および静脈内鎮静法時の薬物の追加投与等も含）	1	2

## 8) 障害者歯科

業務内容	実施している	実施していない
a. 一般歯科治療時のモニタリング機器装置・モニタリング・記録	1	2
b. ラバーダム防湿	1	2
c. 摂食機能療法・間接訓練	1	2
d. 摂食機能療法・直接訓練	1	2
e. 筋機能療法 (MFT)	1	2
f. 摂食訓練時の気切部気管吸引	1	2
g. 咽頭部の吸痰	1	2

## 9) 在宅・施設等への訪問業務（介護保険関連を含む）

a. 在宅患者への歯科訪問診療の補助	1	2
b. 在宅患者への訪問歯科衛生指導（居宅療養管理指導含む）	1	2
c. 摂食・嚥下機能障害の間接訓練	1	2
d. 摂食・嚥下機能障害の直接訓練	1	2
e. 口腔ケアプランの作成	1	2
f. カンファレンス等への参加	1	2
g. ケアマネージャー・他職種との連絡・調整	1	2

## 10) 周術期口腔機能管理について

本調査票における「周術期の口腔機能管理」とは、周術期等（手術の前後の期間、または放射線治療・化学療法の治療中、もしくはそれらによる急性症状が寛解するまでの期間）における口腔疾患の治療や口腔管理を含めた総合的な歯科診療（歯科診療の補助含む）をいいます。

① 外来患者や入院患者（他医療機関の入院患者を含む）に対して周術期口腔機能管理を実施していますか  
(○印は1つ、診療報酬の算定有無にかかわらず)

1. 実施している

2. 実施していない → 11) へ進む

①-1 周術期の口腔機能管理における専門的口腔衛生処置として実際に実施していることをお答えください  
(あてはまるもの全てに○印)

- |                       |                             |               |
|-----------------------|-----------------------------|---------------|
| 1. 術者による歯磨き（歯間部清掃も含む） | 2. 歯石除去および機械的歯面清掃           | 3. 舌や粘膜の清掃    |
| 4. 口腔内保湿              | 5. フッ化物歯面（根面含む）             | 6. 洗口         |
| 7. 歯肉、粘膜等への薬物塗布       | 8. 口腔清掃等の実地指導（患者本人・介護者・家族等） |               |
| 9. 義歯の清掃              | 10. 摂食・嚥下訓練                 | 11. 口腔内アセスメント |
| 12. その他（具体的に          |                             | )             |

①-2 診療報酬の周術期専門的口腔衛生処置の算定をしていますか (○印は1つ)

1. 算定している

2. 算定していない

11) 医科歯科連携のチーム医療（体制）に参加（所属）していますか（あてはまるもの全てに○印）

- |              |          |             |           |             |
|--------------|----------|-------------|-----------|-------------|
| 1. 栄養サポート    | 2. 摂食・嚥下 | 3. 口腔ケア     | 4. がん治療   | 5. 緩和ケア     |
| 6. 呼吸サポート    | 7. 褥瘡対策  | 8. 感染（制御）対策 | 9. 医療安全対策 | 10. 参加していない |
| 11. その他（具体的に |          |             |           | )           |

## 2. 歯科予防処置について

業務内容	実施している			実施していない
	直近の1ヵ月で 週平均10人未満	直近の1ヵ月で 週平均10人以上 20人未満	直近の1ヵ月で 週平均20人以上	
a. フッ化物歯面塗布	1	2	3	4
b. シーラント	1	2	3	4
c. 予防的歯石除去（歯周治療以外）	1	2	3	4

## 3. 患者指導について

a. 歯科衛生実地指導（小児患者）	1	2	3	4
b. 歯科衛生実地指導（歯周疾患患者）	1	2	3	4
c. リコールによる患者指導	1	2	3	4
d. 義歯の清掃・取り扱い等の指導	1	2	3	4
e. フッ化物洗口法の指導	1	2	3	4
f. 禁煙指導	1	2	3	4
g. 入院患者に対する口腔ケア・指導管理（訪問含む）	1	2	3	4
h. 電話による相談・指導	1	2	3	4
i. その他（具体的に）	1	2	3	4

## 4. 診療室の事務・管理について

業務内容	実施している	実施していない
a. 受付事務	1	2
b. レセプト事務	1	2
c. コンピュータ入力事務	1	2
d. 器材・器具の滅菌・消毒	1	2
e. 薬剤・器材の発注・管理	1	2
f. スタッフの指導管理	1	2
g. 実習生（歯科衛生士学生）の指導管理	1	2
h. その他（具体的に）	1	2

## ● 医療安全、感染予防、インシデント（ヒヤリ・ハット経験）等についてお伺いします

問4 2) あなたは、勤務先（歯科診療所等）において医薬品安全管理者になっていますか（○印は1つ）

1. はい      2. いいえ

問4 3) あなたは、勤務先（歯科診療所等）において医療機器安全管理者になっていますか（○印は1つ）

1. はい      2. いいえ

問4 4) 医療安全管理に係る担当者研修を受けていますか（○印は1つ）

1. はい      2. いいえ

問4 4-1) 担当者研修の頻度はどの程度ですか（○印は1つ）

1. 年2回以上受けている      2. 年に1回程度受けている      3. その他（ ）

問4 4-2) 感染対策に関する院内マニュアルはありますか（○印は1つ）

1. ある      2. ない      3. わからない

問4 5) グローブの交換について該当するものはどれですか (○印は1つ)

- |                |             |                     |
|----------------|-------------|---------------------|
| 1. 患者一人ずつ交換    | 2. 午前・午後に交換 | 3. 観血処置の補助を行った時のみ交換 |
| 4. 破損・汚れに応じて交換 | 5. 1日中交換しない | 6. グローブは使用していない     |

問4 6) マスクの使用について該当するものはどれですか (○印は1つ)

- |             |             |          |
|-------------|-------------|----------|
| 1. 全ての患者に使用 | 2. 一部の患者に使用 | 3. 使用しない |
|-------------|-------------|----------|

問4 7) 目の保護具・眼鏡の使用について該当するものはどれですか (○印は1つ)

- |             |             |          |
|-------------|-------------|----------|
| 1. 全ての患者に使用 | 2. 一部の患者に使用 | 3. 使用しない |
|-------------|-------------|----------|

問4 8) 観血処置時において歯科衛生士が予防衣やディスポガウンを使用するのはどの診療ですか  
(あてはまるもの全てに○印)

- |                |              |                |          |
|----------------|--------------|----------------|----------|
| 1. 口腔外科手術の補助   | 2. 歯周外科手術の補助 | 3. インプラント手術の補助 | 4. 使用しない |
| 5. その他 (具体的に ) |              |                |          |

問4 9) 注射針の使用後に、歯科衛生士が処理をする場合にはどのように行っていますか (○印は1つ)

- |                            |                            |
|----------------------------|----------------------------|
| 1. キャップをしないで特定の容器に廃棄する     | 2. キャップを手で持ってキャップしてから処理をする |
| 3. キャップは手で持たないでキャップして処理をする | 4. その他 (具体的に )             |

問5 0) 減菌・消毒方法についてお伺いします

問5 0-1) ハンドピースの減菌・消毒は次のうちどの方法で行っていますか (主なもの1つに○印)

- |              |         |                |
|--------------|---------|----------------|
| 1. オートクレーブ滅菌 | 2. ガス滅菌 | 3. 乾熱滅菌        |
| 4. 薬液消毒      | 5. 煮沸消毒 | 6. その他 (具体的に ) |

問5 0-2) バーやポイントなどの減菌・消毒は次のうちどの方法で行っていますか (主なもの1つに○印)

- |              |         |                |
|--------------|---------|----------------|
| 1. オートクレーブ滅菌 | 2. ガス滅菌 | 3. 乾熱滅菌        |
| 4. 薬液消毒      | 5. 煮沸消毒 | 6. その他 (具体的に ) |

問5 0-3) ミラーや探針等の減菌・消毒は次のうちどの方法で行っていますか (主なもの1つに○印)

- |              |         |                |
|--------------|---------|----------------|
| 1. オートクレーブ滅菌 | 2. ガス滅菌 | 3. 乾熱滅菌        |
| 4. 薬液消毒      | 5. 煮沸消毒 | 6. その他 (具体的に ) |

問5 0-4) 減菌・消毒は十分に対応されていると思いますか (○印は1つ)

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1. 十分対応している | 2. 対応している    |
| 3. やや対応に欠ける | 4. 非常に対応に欠ける |



問5 0-5) 対応に欠ける理由は何ですか (○印は1つ)

- |                           |                 |
|---------------------------|-----------------|
| 1. 時間がないから                | 2. 減菌器等の器材がないから |
| 3. 上司やスタッフの減菌・消毒に対する意識の相違 | 4. その他 (具体的に )  |

問5 1) 勤務中、歯科衛生士業務において過去1年間にインシデント（ヒヤリ・ハット等）を経験したことはありますか（○印は1つ）

1. ある	2. ない
-------	-------

問5 1-1) どのようなインシデント（ヒヤリ・ハット等）を経験したことがありますか  
(あてはまるもの全てに○印)

1. 勤務中に使用済みの注射針や鋭利な器具類（リーマー・ファイル・ピンセット・探針・スケーラなど）を間違って刺してしまった
2. 本来予定していた薬剤・歯科材料などを間違えてしまった
3. 患者の目に薬剤・歯科材料などを入れてしまった
4. 患者の衣服・所持品などに薬剤・印象材などを付着させてしまった
5. 患者の保険証・所持品などを破損・紛失してしまった
6. 予定とは異なる患者を治療台に誘導してしまった
7. 患者が診療室内で転倒してしまった
8. 治療予定部位を間違えてしまった
9. 口腔清掃指導中などにおいて患者の全身状態が悪化した
10. 実地指導記録などの記載を間違えてしまった
11. その他（具体的に）

問5 2) あなたの勤務先では、インシデントの収集を行っていますか（○印は1つ）

1. はい	2. いいえ	3. わからない
-------	--------	----------

問5 2-1) あなたの勤務先では、インシデントの報告を行っていますか（○印は1つ）

1. はい	2. いいえ	3. わからない
-------	--------	----------

問5 2-2) 報告を行わないのは何故ですか（あてはまるもの全てに○印）

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1. 報告することによる制裁が心配 | 2. 報告する用紙・システム等が煩雑 |
| 3. 報告する目的がわからない   | 4. その他（具体的に）       |

問5 3) あなたは勤務先で医療安全管理等のチェックシートを使用していますか（○印は1つ）

1. はい	2. いいえ	3. わからない
-------	--------	----------

問5 3-1) チェックシートの使用頻度は  
どの程度ですか（○印は1つ）

- |                  |
|------------------|
| 1. 殆ど毎日または週に数回程度 |
| 2. 時々（月に数回程度）    |
| 3. まれに（年に数回程度）   |

問5 3-2) 今までにチェックシートを  
使用したことがありますか（○印は1つ）

- |                 |
|-----------------|
| 1. 以前に使用したことがある |
| 2. 全く使用したことがない  |

ご多忙のところ、ご協力ありがとうございました

記入もれがないか再度点検の上、返信用封筒にてご投函下さるようお願い申し上げます

## 行政（保健所・市町村等）に勤務している方にお伺いします

問5 4) 勤務先は次のどれに当てはまりますか（主なもの1つに○印）

- |               |                  |        |
|---------------|------------------|--------|
| 1. 都道府県庁・保健所  | 2. 政令・中核市保健所     | 3. 特別区 |
| 4. 市町村保健センター等 | 5. その他（具体的に<br>） |        |

問5 5) 所属している係（班）の主な事業内容は次のどれですか（あてはまるもの全てに○印）

- |           |                  |               |
|-----------|------------------|---------------|
| 1. 母子保健   | 2. 成人保健          | 3. がん・特定健診等   |
| 4. 介護予防事業 | 5. 感染症予防         | 6. 難病・精神      |
| 7. 庶務     | 8. その他（具体的に<br>） | 9. 所属している係はない |

問5 6) 所属している係（班）の上司の職種は次のどれですか（○印は1つ）

- |                  |        |               |
|------------------|--------|---------------|
| 1. 歯科衛生士（本人含む）   | 2. 保健師 | 3. 栄養士        |
| 4. 歯科医師          | 5. 看護師 | 6. 事務職        |
| 7. その他（具体的に<br>） |        | 8. 所属している係はない |

問5 7) あなたの職場での立場は次のどれですか。呼称が異なる場合は準ずる立場を選択してください（○印は1つ）

- |           |                  |             |
|-----------|------------------|-------------|
| 1. 課長     | 2. 補佐（専任）        | 3. 補佐（業務兼任） |
| 4. 係長（専任） | 5. 係長（業務兼任）      | 6. 主任等      |
| 7. 歯科衛生士  | 8. その他（具体的に<br>） |             |

## ● あなた自身の勤務状況についてお伺いします

問5 8) 対人サービスを行っていますか（○印は1つ）

- |          |                           |
|----------|---------------------------|
| 1. 行っている | 2. 行っていない → 15ページの「問6 4」へ |
|----------|---------------------------|

問5 9) 歯科健康相談（所内・所外を含む）を実施していますか（○印は1つ）

- |         |          |
|---------|----------|
| 1. している | 2. していない |
|---------|----------|

問5 9-1) 対象者は誰ですか（あてはまるもの全てに○印）

- |           |           |                   |                |
|-----------|-----------|-------------------|----------------|
| 1. 妊産婦    | 2. 乳幼児    | 3. 保育所・幼稚園児       | 4. 児童・生徒（小中高生） |
| 5. 障害（児）者 | 6. 成人一般   | 7. 動機づけ支援者        | 8. 積極的支援者      |
| 9. 一般高齢者  | 10. 特定高齢者 | 11. その他（具体的に<br>） |                |

問6 0) 歯科健康教育を実施していますか（○印は1つ）

- |         |          |
|---------|----------|
| 1. している | 2. していない |
|---------|----------|

問6 0-1) 対象者は誰ですか（あてはまるもの全てに○印）

- |           |           |                   |                |
|-----------|-----------|-------------------|----------------|
| 1. 妊産婦    | 2. 乳幼児    | 3. 保育所・幼稚園児       | 4. 児童・生徒（小中高生） |
| 5. 障害（児）者 | 6. 成人一般   | 7. 動機づけ支援者        | 8. 積極的支援者      |
| 9. 一般高齢者  | 10. 特定高齢者 | 11. その他（具体的に<br>） |                |

問6 1) 健康診査（一般・歯科）に参加していますか（○印は1つ）

1. している	2. していない
---------	----------

↓

問6 1-1) 参加している健康診査はどれですか（あてはまるもの全てに○印）

1. 妊産婦歯科健診	2. 乳幼児健診	3. 1歳6か月児健診
4. 3歳児健診	5. 学校歯科健診	6. 成人歯科健診
7. 特定健診	8. 介護予防健診	9. その他（具体的に ）

問6 2) 歯科予防処置を実施していますか（○印は1つ）

1. している	2. していない
---------	----------

↓

問6 2-1) 実施している予防処置はどれですか（あてはまるもの全てに○印）

1. フッ化物歯面塗布	2. フッ化物洗口	3. 予防的歯石除去	4. その他（具体的に ）
-------------	-----------	------------	------------------

問6 3) 訪問指導を実施していますか（○印は1つ）

1. している	2. していない
---------	----------

↓

問6 3-1) 対象者は誰ですか（あてはまるもの全てに○印）

1. 乳幼児	2. 要介護者	3. 心身障害者（児）	4. 難病患者	5. 精神障害者（ひきこもり者等を含む）
6. その他（具体的に ）				

問6 4) 研修・教育を企画したり、協力をしていますか（○印は1つ）

1. している	2. していない
---------	----------

↓

問6 4-1) 実施している研修・教育の企画は何ですか（あてはまるもの全てに○印）

1. 都道府県単位の研修	2. 保健所単位の研修	3. 市町村単位の研修
4. 他団体と共催の研修	5. 口腔機能向上に関する研修	6. 学生実習
7. 媒体・資料作成	8. その他（具体的に ）	

問6 5) 次の事業の企画や調整に参加していますか（○印は各項目1つずつ）

業務内容	している	していない
a. 8020運動推進特別事業に関すること	1	2
b. 地域歯科保健医療計画に関すること	1	2
c. 健康増進法に関すること	1	2
d. 次世代育成支援事業に関すること	1	2
e. 住民参加型の事業に関すること（ソーシャルキャピタル等）	1	2
f. 地域連携に関すること	1	2
g. 介護予防事業に関すること	1	2
h. 広報紙の発行に関すること	1	2
i. 臨地実習に関すること	1	2
j. 災害支援対策等	1	2
k. 歯科衛生士の人材育成等	1	2
l. その他（内容を具体的に ）		

問6 6) 食育基本法に関する事業等に参加・協力していますか（○印は1つ）

- |         |           |          |
|---------|-----------|----------|
| 1. している | 2. 今後実施予定 | 3. していない |
|---------|-----------|----------|

問6 6-1) 対象者は誰ですか（あてはまるもの全てに○印）

- |        |        |              |                |
|--------|--------|--------------|----------------|
| 1. 妊産婦 | 2. 乳幼児 | 3. 保育所・幼稚園児  | 4. 児童・生徒（小中高生） |
| 5. 成人  | 6. 高齢者 | 7. その他（具体的に） |                |

問6 6-2) どの職種と連携していますか（あてはまるもの全てに○印）

- |        |              |              |         |
|--------|--------------|--------------|---------|
| 1. 保健師 | 2. 管理栄養士・栄養士 | 3. 医師        | 4. 歯科医師 |
| 5. 看護師 | 6. 事務職       | 7. その他（具体的に） |         |

問6 6-3) 現在、食育について実施している事業、または実施予定の事業名と事業内容をご記入下さい


ご多忙のところ、ご協力ありがとうございました

記入もれがないか再度点検の上、返信用封筒にてご投函下さるようお願い申し上げます

## 歯科衛生士教育養成機関に勤務している方にお伺いします

問6 7) 勤務先の設置主体は次のどれにあてはまりますか（○印は1つ）

- |                  |         |                  |
|------------------|---------|------------------|
| 1. 国公立           | 2. 学校法人 | 3. 社団法人（一般・公益含む） |
| 4. 財団法人（一般・公益含む） | 5. 医療法人 | 6. その他（具体的に<br>） |

### ● あなた自身の勤務内容についてお伺いします

問6 8) 教務経験年数は何年ですか

年

問6 9) 歯科衛生士としての業務（臨床・公衆衛生等）に従事した職域は次のどれにあたりますか  
(あてはまるもの全てに○印)

- |                |                  |                   |
|----------------|------------------|-------------------|
| 1. 診療所         | 2. 病院            | 3. 公衆衛生（地域保健・行政等） |
| 4. 歯科衛生士教育養成機関 | 5. 社会福祉施設        | 6. 老人保健福祉施設       |
| 7. 介護支援事業所     | 8. 事業所（企業・健康組合等） | 9. その他（具体的に<br>）  |

問7 0) 学校での立場は次のどれですか（○印は1つ）

- |            |                  |                 |
|------------|------------------|-----------------|
| 1. 校長      | 2. 副校長           | 3. 教務（室長、科長、主任） |
| 4. 専任講師・教員 | 5. 教授・准教授        | 6. 講師・助教        |
| 7. 助手      | 8. その他（具体的に<br>） |                 |

問7 1) 歯科衛生士専任教員の認定等を取得していますか（○印は1つ）

- |                                   |         |
|-----------------------------------|---------|
| 1. 取得している：全衛協の歯科衛生士専任教員講習会受講修了認定証 | 他（<br>） |
| 2. 現在、取得中：全衛協の歯科衛生士専任教員講習会Ⅰ～V     | 他（<br>） |
| 3. 取得していない                        |         |

問7 2) 教職の仕事はやりがいがありますか（○印は1つ）

- |          |         |          |         |
|----------|---------|----------|---------|
| 1. 非常にある | 2. ややある | 3. あまりない | 4. 全くない |
|----------|---------|----------|---------|

問7 3) 現在の教職業務で改善してほしいことはありますか（○印は1つ）

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|



問7 3-1) 最も改善してほしいことは何ですか（○印は1つ）

- |                  |                  |               |
|------------------|------------------|---------------|
| 1. 講義・実習時間に関すること | 2. 教務外業務に関すること   | 3. 勤務体制に関すること |
| 4. 学校側と教員側の意見交換  | 5. その他（具体的に<br>） |               |

問7 4) 下記a～hの科目のうち、現在、講義を担当していれば「1」に○印を、実習・演習を担当していれば「2」に○印をつけて下さい。a～h以外で担当している科目があれば「その他」にご記入下さい

	講義	実習・演習
a. 歯科衛生士概論	1	2
b. 歯科予防処置論	1	2
c. 歯科診療補助論	1	2
d. 歯科保健指導論	1	2
e. 栄養指導	1	2
f. 口腔保健管理	1	2
g. 摂食嚥下・訓練法	1	2
h. 災害支援	1	2
その他1 ( )	1	2
その他2 ( )	1	2
その他3 ( )	1	2
その他4 ( )	1	2
その他5 ( )	1	2

問7 5) 歯科衛生士の教育を担当している専任教員の人員構成をご記入下さい

なお、内訳の中で専任教員がいない場合は「0」名とご記入下さい

- a. 歯科衛生士
- b. 歯科医師
- c. 看護師・保健師
- d. 介護福祉士
- e. その他（具体的に）

名
名
名
名
名

問7 6) 教員の評価は行われていますか（あてはまるもの全てに○印）

- |                |                |                |
|----------------|----------------|----------------|
| 1. 上司から評価されている | 2. 自己評価を提出している | 3. 学生から評価されている |
| 4. 評価は行っていない   | 5. その他（具体的に）   | )              |

問7 6-1) 教員の評価は必要だと思いますか（○印は1つ）

- |          |           |            |           |
|----------|-----------|------------|-----------|
| 1. 必要である | 2. ある程度必要 | 3. あまり必要ない | 4. 全く必要ない |
|----------|-----------|------------|-----------|

問7 6-2) 教員評価は、昇進・昇給に反映されていますか（○印は1つ）

- |          |            |              |             |
|----------|------------|--------------|-------------|
| 1. されている | 2. ややされている | 3. あまりされていない | 4. 全くされていない |
|----------|------------|--------------|-------------|

問7 6-3) 教員評価に関与している項目は何ですか（あてはまるもの全てに○印）

- |                 |                   |                |
|-----------------|-------------------|----------------|
| 1. 学会等の発表       | 2. 論文等の発表         | 3. 学会・研修会等への参加 |
| 4. 学会・関連団体等の役員歴 | 5. 学生からの授業・実習等の評価 | 6. 学生の補講・相談    |
| 7. 広報活動         | 8. その他（具体的に）      | )              |

● 学生の臨床実習・臨地実習についてお伺いします

問77) 実習先には担当指導員（歯科衛生士）がいますか（○印は各項目に1つずつ）

業務内容	いる	いない	「いる」「いない」の両方	実習を行ってない
a. 歯科医院実習	1	2	3	4
b. 病院実習	1	2	3	4
c. 保健所、保健センター実習	1	2	3	4
d. 介護・福祉施設実習	1	2	3	4
e. その他（内容を具体的に）				

問78) 臨床実習・臨地実習施設との連携は図っていますか（○印は1つ）

- |                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| 1. 十分に連携をとっている        | 2. 年に何度か連携をとっている |
| 3. 必要なことが生じたら連携を図っている | 4. 全て任せている       |

問79) 「臨地実習指導事例集」「臨地実習講義・習得表」を活用していますか（○印は1つ）

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 活用している | 2. 活用していない |
|-----------|------------|



問79-1) 今後、活用することを考えていますか（○印は1つ）

- |                |              |              |
|----------------|--------------|--------------|
| 1. 今後、活用を考えている | 2. 活用する予定はない | 3. どちらともいえない |
|----------------|--------------|--------------|

問80) 実習中に学生がヒヤリ・ハットを経験したことを聞いたことがありますか（○印は1つ）

- |              |             |                 |             |
|--------------|-------------|-----------------|-------------|
| 1. 直接学生から聞いた | 2. 実習先から聞いた | 3. 他の教員や人伝てに聞いた | 4. 聞いたことがない |
|--------------|-------------|-----------------|-------------|

問80-1) 直接学生から聞いた方は内容を具体的にご記入下さい


ご多忙のところ、ご協力ありがとうございました

記入もれがないか再度点検の上、返信用封筒にてご投函下さるようお願い申し上げます

## 介護保険施設等に勤務している方にお伺いします

問8 1) 勤務先は次のどれに当てはまりますか（主なもの1つに○印）

- |              |             |              |              |
|--------------|-------------|--------------|--------------|
| 1. 介護老人保健施設  | 2. 介護老人福祉施設 | 3. 介護療養型医療施設 | 4. 居宅介護支援事業所 |
| 5. その他（具体的に） |             |              |              |

問8 2) 併設医療機関（あるいは関連法人の医療機関）がありますか（○印は1つ）

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 1. あり | 2. なし | 3. 不明 |
|-------|-------|-------|

問8 3) 併設歯科医療機関（あるいは関連法人の歯科医療機関）がありますか（○印は1つ）

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 1. あり | 2. なし | 3. 不明 |
|-------|-------|-------|

問8 3-1) 協力歯科医療機関はありますか（○印は1つ）

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 1. あり | 2. なし | 3. 不明 |
|-------|-------|-------|

問8 3-2) 施設に定期的な歯科訪問診療が行われていますか（○印は1つ）

- |           |            |          |
|-----------|------------|----------|
| 1. 行われている | 2. 行われていない | 3. 緊急時のみ |
|-----------|------------|----------|

問8 3-3) 協力歯科医療機関は、施設の口腔ケアや摂食・嚥下等の対応に関して協力的ですか（○印は1つ）

- |           |               |           |
|-----------|---------------|-----------|
| 1. 協力的である | 2. あまり協力的ではない | 3. 無関心である |
|-----------|---------------|-----------|

問8 4) 貴施設の医療関係職種の人員構成について教えてください。常勤、非常勤に問わらず記入してください。  
該当者がいない場合は「○」名と記入してください

a. 医師	名
b. 歯科医師（常時対応可能な歯科医師）	名
c. 看護師・准看護師	名
d. 理学療法士	名
e. 作業療法士	名
f. 言語聴覚士	名
g. 歯科衛生士	名
h. 管理栄養士・栄養士	名
i. その他（具体的に）	名

問8 5) 貴施設での歯科衛生士による「a. 口腔ケア」「b. 摂食・嚥下機能訓練等」それぞれの業務についてお伺いします

	a. 口腔ケア	b. 摂食・嚥下機能訓練等
1) 歯科衛生士が「口腔ケアや摂食・嚥下等」の業務を実施していますか (○印は各項目1つずつ)	1. 実施している 2. 実施していない	1. 実施している 2. 実施していない
2) 口腔機能維持管理等の加算を算定しているのはどれですか (あてはまるもの全てに○印)	1. 口腔機能維持管理体制加算 2. 口腔機能維持管理加算 3. 経口維持加算 <u>4. 算定していない</u> 5. 不明	1. 口腔機能維持管理体制加算 2. 口腔機能維持管理加算 3. 経口維持加算 <u>4. 算定していない</u> 5. 不明
3) 算定していない理由は何ですか (あてはまるもの全てに○印) ※「算定していない」にどちらかでも○印が付いたら回答してください	1. 業務負担が大きい 2. 歯科医師の指示が得られない 3. 口腔ケア・マネジメント計画書が作成できない 4. 歯科訪問診療に伴う訪問歯科衛生指導料の算定のため 5. その他（具体的に ）)	

問8 6) 施設の歯科衛生士として、どのような業務を実施していますか（あてはまるもの全てに○印）

1. 要介護者の口腔内状況の観察	9. 口腔機能向上訓練
2. 口腔ケア・アセスメント票の作成	10. 摂食・嚥下訓練
3. 要介護者（本人）への口腔清掃指導	11. 関連職種への口腔ケアに関する教育研修
4. 介護職員への口腔ケアに係る技術的助言・指導	12. 歯科医師・協力歯科医療機関との連絡・調整
5. 専門的口腔清掃	13. 入所者の歯科健診の補助
6. 義歯の清掃・取り扱い指導	14. 担当者会議への参加
7. フッ化物の歯面塗布	15. 入・退所時カンファレンスへの参加
8. 口腔機能の評価	16. その他（具体的に ）)

問8 7) 今後も、介護保険施設等での業務を続けたいと思いますか（○印は1つ）

1. はい	2. いいえ	3. わからない
-------	--------	----------

問8 8) 介護保険施設等で歯科衛生士が業務を行う上で、どのような問題がありますか。

下の欄にご記入ください


ご多忙のところ、ご協力ありがとうございました

記入もれがないか再度点検の上、返信用封筒にてご投函下さるようお願い申し上げます

## 現在、歯科衛生士として就業していない方にお伺いします

問8 9) 現在、歯科衛生士として就業していない理由は何ですか (○印は1つ)

- |             |            |                 |          |
|-------------|------------|-----------------|----------|
| 1. 仕事内容への不満 | 2. 給与・待遇の面 | 3. 職場の人間関係      | 4. 家庭の事情 |
| 5. 結婚       | 6. 出産・育児   | 7. 介護           | 8. 自分の健康 |
| 9. 歯科以外への興味 | 10. 退職・高齢  | 11. その他 (具体的に ) |          |

問9 0) 歯科衛生士として働いていた勤務先を退職してから、おおよそ何年くらいになりますか

約 年

問9 1) 歯科衛生士として再就職したいと考えていますか (○印は1つ)

- |                |                 |             |          |
|----------------|-----------------|-------------|----------|
| 1. すぐにでも再就職したい | 2. 条件が合えば再就職したい | 3. そのつもりはない | 4. わからない |
|----------------|-----------------|-------------|----------|

問9 2) 歯科衛生士として再就職する場合、どのようにして就職先を探しますか (あてはまるもの全てに○印)

- |               |                            |
|---------------|----------------------------|
| 1. ハローワーク     | 2. 求人誌 (雑誌の求人欄、新聞・チラシ等も含む) |
| 3. 友人・知人からの紹介 | 4. 出身学校の紹介                 |
| 5. インターネット    | 6. 歯科医師会・歯科衛生士会の無料職業紹介     |
| 7. 人材派遣会社     | 8. その他 (具体的に )             |

問9 3) あなたが歯科衛生士として再就職する際、障害になっていることはありますか (○印は1つ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問9 3-1) それはどのようなことですか (○印は3つまで)

- |            |                |           |            |
|------------|----------------|-----------|------------|
| 1. 給与・待遇の面 | 2. 勤務時間        | 3. 自分のスキル | 4. 相談窓口がない |
| 5. 高齢のため   | 6. その他 (具体的に ) |           |            |

問9 4) 再就職するための研修を希望しますか (○印は1つ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. する | 2. しない |
|-------|--------|

問9 4-1) どのような内容の研修を希望しますか (あてはまるもの全てに○印、最も受けたいものに◎印)

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. スケーリング・ルートプレーニング等の歯周疾患に関する技術       |
| 2. う蝕予防・抑制に関する技術                      |
| 3. 個人を対象とする歯科保健指導の技術                  |
| 4. 集団を対象とする歯科保健指導の技術                  |
| 5. 歯科材料の取り扱い・チアーサイドアシスタントなどの歯科診療介助の技術 |
| 6. スナップ印象採得・充填物の研磨・ラバーダム防湿等の歯科診療補助の技術 |
| 7. 介護技術                               |
| 8. 摂食・嚥下機能訓練に関する技術                    |
| 9. 筋機能訓練に関する技術                        |
| 10. カウンセリング技術                         |
| 11. 専門的口腔ケア技術                         |
| 12. その他 (具体的に )                       |

ご多忙のところ、ご協力ありがとうございました

記入もれがないか再度点検の上、返信用封筒にてご投函下さるようお願い申し上げます